第15回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレク広島2002

平成14年10月5日（土）～10月8日（火）

報告書



来んさい！ しんさい！ はじけんさい！



アービー

全国スポレク祭

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレク広島2002

平成14年10月5日（土）～8日（火）

報告書


38
46 - 3



発刊にあたって

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭会長
広島県知事　藤田 雄山

「来んさい！ しんさい！ はじけんさい！」のスローガンのもと、広島県において開催しました第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島2002」は、多くの出会いと交流の中、さわやかな笑顔と感動を生み、大成功のうちに終了することができました。

本祭典の開催にあたっては、スポーツ・レクリエーション活動の「楽しさ」、「気軽さ」、「感動」を発見できる祭典を目指して、県内全市町村で249に及ぶ協賛事業を実施していただくとともに、開会式では、新しい入場方法の採用や「ふるさと応援団」の参加、そして多くの児童生徒の参画など様々な演出で、出演者と参加者が一体となった感動を味わっていただきました。

さらに、全国各地や韓国から参加いただいた約1万人の選手・役員の皆様には、世代や地域を超えて交流の輪を広げられるとともに、紅葉の中国山地や多島美を誇る瀬戸内海、世界遺産である厳島神社や原爆ドームなど、豊かな自然・文化を有する広島県を大いに満喫していただけたものと思います。

今、広島県では、「元気な広島県」を目指し、「エンジョイ チャレンジ スポーツ広島」という21世紀の広島のスポーツ理念を生かした取り組みを進めておりますが、このたびの全国スポレク祭を契機に、288万県民が積極的にスポーツ・レクリエーションに親しみ、豊かで生きがいのある生活が営めるよう、生涯スポーツ事業を一層推進して参りたいと考えています。

本祭典の開催にあたり、多大な御支援と御協力をいただきました関係者の皆様をはじめ、お力添えをいただきました県民の皆様に、心から感謝申し上げます。

本報告書は、県内市町村及び関係団体の御協力を得てまとめました。広く皆様に御覧いただき、「スポレク広島2002」の良き思い出として、また、今後の生涯スポーツ振興の一助となれば幸いに存じます。

目次

発刊にあたって …… 3
シンボルマーク・マスコット等 …… 5

■開会式
オープニング …… 6
セレモニー …… 8
アトラクション …… 12

■特別行事
会場図 …… 16
夢きらめきゾーン …… 18
ふれあい交流ゾーン …… 20
元気・体験ゾーン …… 22

■シンポジウム
…… 24

■種目別大会
開催種目会場一覧 …… 28
都道府県代表参加種目
グラウンド・ゴルフ …… 29
ゲートボール …… 30
壮年サッカー …… 31
ソフトバレーボール …… 34
女子ソフトボール …… 35
ラージボール卓球 …… 37
ターゲット・バードゴルフ …… 38
男女混合綱引 …… 39
年齢別テニス …… 40
年齢別ソフトテニス …… 41
バウンドテニス …… 42
年齢別バドミントン …… 43
壮年ボウリング …… 44
マスターズ陸上競技 …… 45
インディアカ …… 46
フォークダンス …… 47
エアロビック …… 48
トランポリン …… 49
フリー参加種目
ウォークラリー …… 50
エスキーテニス …… 51
サイクリング …… 52
3B体操 …… 53
太極拳 …… 54
マスターズ水泳 …… 55
マラソン …… 56

■閉会式
プロローグ …… 58
セレモニー&アトラクション …… 59
フィナーレ …… 61

■協賛事業 …… 62

■開催までのあゆみ
…… 76

■制作物 …… 78

■県民の参画 …… 80

■開催概要
●祭典概要
◎全体概要 …… 82
◎事業概要 …… 82
主催事業 …… 82
開会式 …… 82
特別行事 …… 84
シンポジウム …… 84
種目別大会 …… 86
閉会式 …… 91
協賛事業 …… 92
●準備概要
総　務 …… 97
企画広報 …… 107
宿泊輸送 …… 115
式　典 …… 122
種目交流 …… 125

資　料
準備経過の概要 …… 127
全国スポーツ・レクリエーション祭開催要綱 …… 132
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項 …… 132
関係要項・要領等 …… 135
広島県実行委員会会則 …… 170
広島県実行委員会事務局規程 …… 171

名　簿
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭祭典役員 …… 174
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会等 …… 176

シンボルマーク・名称ロゴタイプ・スローガン・マスコット

シンボルマーク

全国スポレク祭

青空を象徴するコバルトブルーのだ円の中に、やわらかく跳躍する子どもの姿を表現し、健康で、楽しく、誰でも参加できるスポレクを印象的にアピールしています。

名称ロゴタイプ

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭

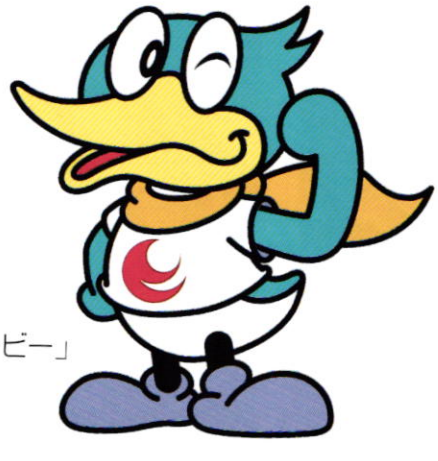
スポレク広島2002

スローガン

来んさい！　しんさい！　はじけんさい！

「ぜひ、集まってください」「気軽に参加してください」「思い切り楽しんでください」という気持ちを込めて、勢いのある明るい広島弁で「スポレク広島2002」への積極的な参加を呼びかけています。

マスコット



愛称
「アービー」

広島県の県鳥「アビ」をモチーフに、県章の入ったTシャツとマフラーで、親しみやすくスポーティーなキャラクターにしました。愛称の「アービー」は、誰にもわかり、親しみやすく呼びやすいということで名づけられました。

《開会式》オープニング

●10月5日（土）　◆広島市／広島広域公園陸上競技場（広島ビッグアーチ）

小学生のマーチングドリルや中・高校生を中心とした、ダイナミックなバトン演技、都道府県代表参加種目の開催市町の子どもたちによる実施種目の紹介がオープニングを飾りました。スポレク祭のテーマソング「明日を信じて」が演奏・合唱される中、バックスタンドでは3,000人の高校生が人文字を、フィールドでは、400人の中学生が広島の2つの世界遺産「原爆ドーム」と「宮島大鳥居」の地上絵を作り、会場を沸かせました。







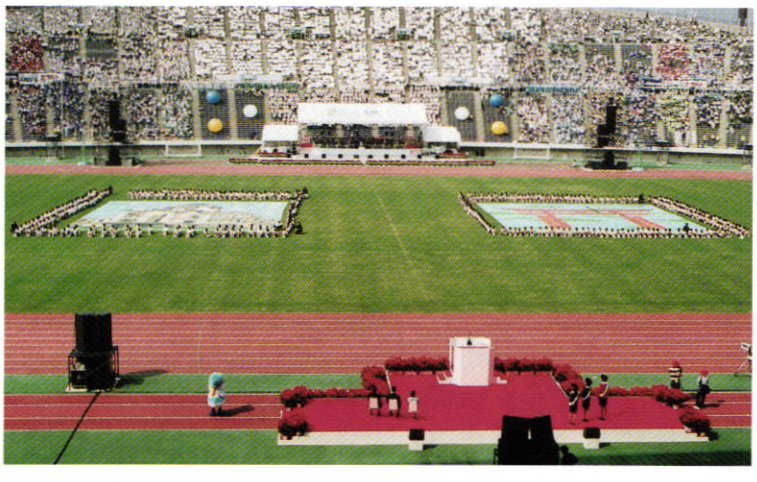














《開会式》セレモニー

選手団入場では、各都道府県の選手も観客の一人として最初からスタンドに着席する中、代表38人がアピールステージで「一言メッセージ」を行った後、直接フィールドに入場するという新しい入場方法を採用しました。その後、広島県選手団と各都道府県代表が「ヤングマン」の演奏に乗って、ハイタッチを交わしながら前進・交差する形で歓迎の気持ちを表すなど、選手を主役とした広島らしいセレモニーになりました。式典の最後には、広島県選手団代表による「スポレク宣言」が行われました。



開祭宣言

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭会長
広島県知事　藤田 雄山

全国各地から参加の選手・監督並びに関係者の皆様、
ようこそ広島へお越しいただきました。
288万県民あげて心から歓迎を申し上げます。
「来んさい！しんさい！はじけんさい！」のスローガンのもと、
今日から4日間、楽しく、気軽に、笑顔と交流の輪を
大きく広げていただきますとともに、
広島の魅力を十分に味わっていただきたいと思います。
それではここに、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
「スポレク広島2002」の開祭を宣言いたします。







主催者挨拶

文部科学大臣　遠山 敦子

さわやかな秋空のもと、全国スポーツ・レクリエーション祭が、ここ広島県において盛大に開催されるに当たり、主催者を代表して御挨拶を申し上げます。

スポーツ・レクリエーションは、心と体の健全な発達を促すとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会づくりの上でも極めて大きな意義を有するものであり、その重要性はますます高まってきております。

すべての国民が、いつでも、どこでも、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめる環境を整備するため、文部科学省としましても、様々な施策の推進に努めてまいっております。先般、中央教育審議会から、子どもたちの体力の長期にわたる低下傾向を踏まえた総合的な向上方策について、貴重な御提言をいただきました。それらの御提言も踏まえ、国民が活力ある生活を送る上での基礎となる体力の向上を図り、心身ともに健全な子どもたちの育成に向けて、取組を一層進めてまいりたいと考えております。

このような中、第15回目を迎える今年の「スポレク広島2002」では、「来んさい!しんさい!はじけんさい!」のスローガンのもと、全国から集う皆さんが、交流を深めつつ、日頃鍛えた技と力を競い合うわけですが、同時に、地元の方々とのスポーツ交流や広島の歴史と伝統を盛り込んだ多彩な行事なども、県内全域で開催される予定とうかがっております。

さらに、今回も「日韓スポーツ交流」による韓国選手団の皆様をお迎えしております。全世界に大きな感動を与え、大成功のうちに閉幕した日韓共催によるワールドカップ・サッカー大会は記憶に新しいところですが、今後とも、スポーツをはじめ様々な分野での両国間の交流が一層進むことを願っております。

全国から御参集の皆さん、どうか、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、この大会を通じて、日本各地や韓国の仲間たちとの友情の輪を広げられ、引き続き、明るい社会づくりのため御尽力いただきますよう期待いたしております。

最後になりましたが、県民総参加のもとに本祭典の諸準備に御努力くださいました広島県をはじめとする関係者の皆様方に心より御礼を申し上げ、開会に当たっての御挨拶といたします。

どうぞ皆さん、力一杯頑張ってください。



セレモニー



歓迎挨拶

広島県議会議長　**檜山 俊宏**

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島2002」を本県で開催できますことは、私ども広島県民にとりまして、大きな喜びであり、全国各地からお越しくださいました皆様を心から歓迎申し上げます。

御案内のとおり、スポーツ・レクリエーション活動は、健康の維持・増進に寄与するとともに、互いの親睦を深め、連帯感を高揚する上でも大変有意義なものであり、豊かで活力のある地域社会の構築に向けて、生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の更なる振興が重要な課題となっております。

こうした中、「スポレク広島2002」が開催され、25種目の大会などを通じて、体を動かすことの楽しさや喜びを実感し、世代や地域を超えた交流が促進されますことは、誠に意義深いものであります。

参加される皆様には、大いに楽しんで爽やかな汗を流されますとともに、是非この機会に、広島の豊かな自然や歴史、文化を満喫していただき、本祭典が生涯に残る、思い出深いものとなりますよう念願する次第であります。

終わりに、開催に当たり、格別の御尽力をいただきました関係各位に対しまして、深く敬意と感謝を申し上げますとともに、本祭典の御成功と、皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



スポレク宣言

スポーツを愛し　レクリエーションを愛し

ここ　広島に集う選手一同は

スポレク広島2002を通じて　新しい多くの仲間と出会い

ふれあい　心うるおう感動を分かち合い

スポーツを生涯の友とし　思いっきり楽しみ

一人ひとりが美しく輝くことを

ここに　宣言します。



広島県選手団代表

田槇　昭　　山口 セツコ



《開会式》アトラクション

アトラクションは、祭典スローガンの「来んさい!しんさい!はじけんさい!」にちなみ、三つの構成にしました。第一景「来んさい!」では、フィールドミュージカル「いのちの旅」を披露し、一枚のもみじの葉っぱを主人公に、未来を担う子どもたちが、四季の移り変わりの中で育まれる生命の輝き、生命の尊さを表現しました。第二景「しんさい!」のボディパーカッションでは、選手・観客などスタンドの全員が一体となって、手拍子のハーモニーを響かせました。第三景「はじけんさい!」では、西城秀樹さんが「ヤングマン2002」を熱唱し、選手・観客の皆さんも一緒に歌い踊り、開会式は最高潮に達しました。エンディングでは、子どもたちのメッセージをつけた環境に優しいエコ風船を大空に放ちました。翌日からの種目別大会での選手の皆さんの健闘を願いながら、フィナーレとなりました。























アトラクション





























特別行事会場図

●10月5日（土）・6日（日）　◆広島広域公園

「まるごとスポレクフェスティバル」と題して、3つのゾーンを設け、様々なニュースポーツの体験・紹介や情報発信などスポーツ・レクリエーションの楽しさと気軽さを多くの方に実感していただくとともに、広島の郷土芸能や特産物の紹介・販売などにより、広島らしさをアピールしました。

元気・体験ゾーン

- ニュースポーツ体験コーナー
- レクリエーション情報コーナー
- こども元気プラザ
- サッカー広場（5日のみ）
- スポレク広島2002記念カップフットサル大会（6日のみ）
- からだ元気・体験コーナー
- 広島まるかじり（特産・名産）コーナー

ふれあい交流ゾーン

- ふるさと応援団
- 後催県（香川県、福井県、岩手県）コーナー
- 健康ガムカムダンベル体操
- ふれあいフリーマーケット
- JAの秋まつり「実りの収穫祭」
- 「ふるさとの食 にっぽんの食」広島フェスティバル
- 広島まるかじり（特産・名産）コーナー





5日・6日

「元気」「ふれあい」「夢」いっぱい

スポレク広島2002 特別行事

まるごと スポレクフェスティバル

夢きらめきゾーン

- 広島まるかじり(特産・名産)コーナー
- 広島県観光情報コーナー
- セルプ製品(障害者手作り製品)コーナー
- 郵便局コーナー
- 協賛企業コーナー
- 夢きらめきステージ
- スポーツ文化継承展
  「残したい 広島スポーツ博物史」



特別行事《夢きらめきゾーン》

●10月5日(土)・6日(日)　◆広島広域公園

夢きらめきステージでは,広島の伝統芸能ステージやケイン・コスギに挑戦するステージ,とっとこハム太郎着ぐるみショーなどを開催。誰もが楽しめるバラエティーに富んだステージが繰り広げられ,多くの家族連れで賑わいました。広島まるかじり(特産・名産)コーナーでは,お好み焼きなど広島の名産に選手や来場者が舌鼓を打っていました。スポーツ文化継承展「残したい　広島スポーツ博物史」では,広島県出身の故織田幹雄さんがアムステルダム五輪の三段跳びで獲得した,日本人初の金メダルや用具などが展示され,訪れた人々の注目を集めました。


















広島県
樽酒
¥150




広島県観光土産品協議会
www.nekoshima.jp


広島県授産事業振興センター


アフガニスタン難民救援金




スポーツ文化継承展
残したい 広島スポーツ情報史
会期 10月5日(土)～6日(日)
時間 5日9時～17時 / 6日10時～16時
スポレク広島2002

特別行事《ふれあい交流ゾーン》

在広都道府県人会によるふるさと応援団のブースや、後催県（香川県など）コーナー、健康ガムカムダンベル体操、ふれあいフリーマーケット、JAの秋まつり「実りの収穫祭」、NHK「ふるさとの食にっぽんの食」広島フェスティバルを開催しました。選手や来場者が大いにふれあい、交流を深めました。


















米っくん


広島県ふるさと
産品協議会
ウーロン茶
緑茶


300円
100円
300円
広島
鹿児島県人会
DUET PAL


出雲そば
山掛そば
山菜そば
つま天ぷそば
山菜そば




福井県
越前そば
あなたのいた、福井に行きたい。




NHKコーナー

特別行事《元気・体験ゾーン》

ニュースポーツ体験コーナー、レクリエーション情報コーナー、こども元気プラザ、サッカー広場、スポレク広島2002記念カップフットサル大会、からだ元気・体験コーナーなどを設け、多彩なイベントを開催しました。ニュースポーツを楽しむ子どもたちの歓声が響いていました。






















THIS WAY IN








砂糖を科学する会


広島県ふるさと産
ひろしまふるさと物産

シンポジウム《Will To Win！～勝つことではなく　勝とうとすること～》

●10月6日（日）　◆福山市／ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）

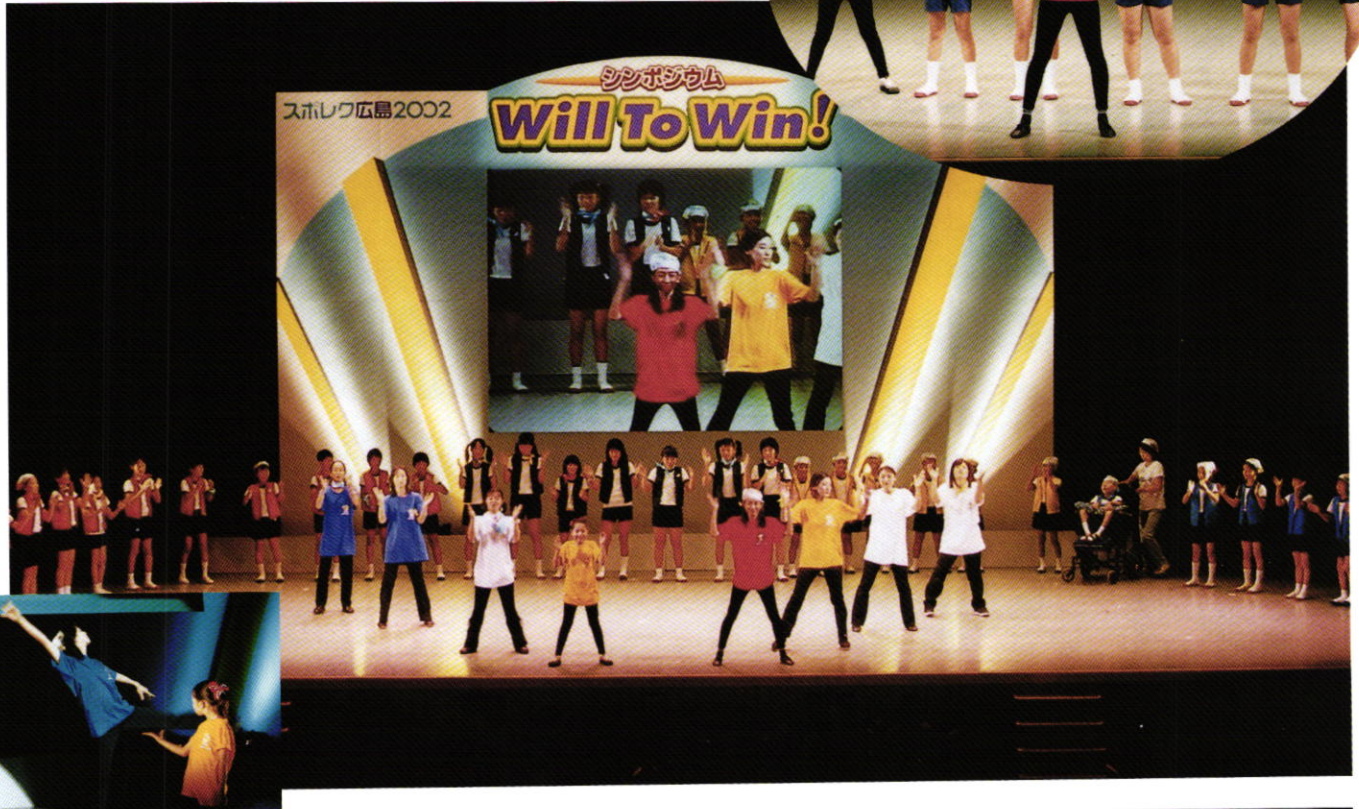
スポーツの目的は勝つことだけではない。勝ちたいと思う一生懸命な気持ちとその情熱が大切。そんな思いの込められた「Will To Win! ～勝つことではなく 勝とうとすること～」というテーマで、シンポジウムが開催されました。まずは、「スポレクはじけ隊」によるボディパーカッションで元気に幕開け。続くスポーツトークでは、広島市立大学教授の荒井貞光さんのコーディネートで、スポーツ界の第一人者である4人のパネリストたちが勝利にかける情熱を大いに語り合いました。会場は地元の高校生を中心としたスポーツ愛好者で埋め尽くされ、終始熱気に包まれたシンポジウムとなりました。

【第1部】プレアトラクション　スポレクはじけ隊によるボディパーカッション

アップテンポなリズムにのって元気いっぱいにステージに現れたのは、福山市立駅家小学校のボディパーカッションクラブとダンスチーム「アフターファイブキッズ」から成る「スポレクはじけ隊」の皆さん。リズミカルでパワフルな演技に観客も釘付けでした。

後半は会場の人たちも参加。開会式でも行われたボディパーカッションでリズムに合わせて身体を動かし、楽しみながらストレッチをしました。









【第2部】スポーツトーク「いっしょうけんめいについて考える」



コーディネーター
広島市立大学教授
荒井　貞光

パネリスト
プロゴルファー
坂田　信弘

元ノルディック複合日本代表
荻原　健司

横浜FC
ゼネラルマネージャー
奥寺　康彦

ドッジボール
全国大会優勝監督
梶川　洋子

●勝ち続けること，その喜びと苦しみ

荒井　今日は4つのテーマを柱に話を進めていきたいと思います。まずは1つ目のテーマ、「勝ち続けること、その喜びと苦しみ」についてです。荻原さんからお願いします。

荻原　私は中学1年生からスキーを始め、20年以上やってきました。1992年のアルベールビルオリンピックで金メダルを獲得してから世界の舞台で10年間プレーしてきました。その間、一番大変だったことは自分の競技力を維持すること、成績を出し続けることでした。振り返って考えてみると、初めて1位を取ったときよりも、1位を取り続けることの方がずっと大変な作業だったと思います。スポーツには1位以上が存在しません。その中でどうやって自分の目標を見つけていくか、これが大きなポイントです。私は1位を維持するという気持ちではなく、常に次の目標を定め、それに向かって自分を進化させるというやり方で競技に対する意欲を高めてきました。これが、長い競技生活を維持できた秘訣だったのではではないかと思います。

坂田　タイガー・ウッズは、ゴルフの歴史が始まって以来、一番強い人でしょう。この人のすごいところは、試合が終わってすぐに練習をすること。ミスを反省するのではなく、その日に一番成功したショットを練習するんです。これが次の試合で自信になります。戦っていく上で一番頼りになるのは、練習の量でも質でもなく自信なんです。

荒井　本日のメインテーマの「Will To Win!」は「勝とうとすること」という意味です。これは「Must To Win」ではありません。これについて皆さんはどう思われますか。

荻原　ワールドカップで19回優勝しましたが、同じ1位でも内容は様々で、「もっとこうすればよかった」と反省することも多々ありました。次も1位になろうではなく、次はこういう内容を目指そうという気持ちが強かった。これが良かったのかもしれません。

奥寺　私も自分を高めること、向上心が何よりだと思います。自分がそれを達成したいとか、習得したいという思いを持って臨まなければ、何時間練習しても良い結果が出ません。

荒井　本日来場くださった高校生の皆さんに、事前に記入していただいたアンケートを見ると、「勝つとどう思うか」という問いには「うれしい」、「負けたらどう思うか」という問いには「頑張ろうと思う」という回答が一番多いと出ています。この頑張ろうを持続するのが大変だと思うのですが、近ごろの子どもたちはどうなんでしょうか。

梶川　私が携わっているのはチームプレー。それだけに頑張れなくなった子は、頑張っている子に励まされ、また頑張れるのです。これはチーム競技のいいところですよね。

荻原　失敗の中から学ぶことも多いもの。失敗したことを悔やむのではなく、その中から新しい次の目標を見つけ挑戦を始める、この気持ちの切り替えが大切。くよくよしないこと。その悔しさを次にぶつければいいんです。

●子どもたちの輝く瞳，そのきっかけづくり

荒井　今日は、梶川さんのチームの子どもたちもたくさん来てくれています。その子どもたちの話も交えながら、2つ目のテーマの「子どもたちの輝く瞳、そのきっかけづくり」について、まずは梶川さん、お話しください。

梶川　私は子どもたちと一緒に頑張ってきました。その中で、子どもたちから聞いた言葉は「僕たちはドッジボールが大好きだ。だから強くなりたい。勝ちたい。」ということ。好きだからこそ、厳しい練習にも耐えられるんだと思います。子どもたちは練習中によく泣きますが、それは私が怖いからではなく、できないことが悔しいからなんです。できないことがあると、もっと練習して乗り越えるのか、それともやめてしまうのか、それは本人が決めること。仲間や家族は励ましてくれるでしょう。でも、一番大切なのは自分なんです。苦しい戦いに立ち向かう勇気は後ですばらしいエネルギーになります。結果にとらわれるのではなく、自分が頑張ることに意味があると思うんです。

奥寺　どうして頑張れるのかというと、やはり、そのことが好きだから。好きであれば自然と負けたくないという気持ちもわいてくるし、目標もはっきりしてくると思います。

荻原　僕も皆さんから「頑張れ、頑張れ」と言われてきました。どうして頑張れたのか振り返ってみると、スキーが好きだからなんですよね。心の底から好きだと思うことこそが頑張るための基本だと思います。

荒井　坂田さんはジュニアの指導をしていら



荒井（あらい）　貞光（さだみつ）
（広島市立大学教授）

神奈川県出身。東京教育大学（現筑波大学）体育学部大学院修士課程修了。広島大学総合科学部助教授などを経て、現在は広島市立大学国際学部教授。専門はスポーツ社会学。日本体育学会理事、日本スポーツ社会学会理事。クラブ文化の再生や楽しむスポーツの推進者として知られ、総合型地域スポーツクラブの設立やスポーツクラブ都市を模索中。



坂田（さかた）　信弘（のぶひろ）
（プロゴルファー）

熊本県出身。京都大学中退後24歳でプロゴルファーをめざす。プロテスト合格後はツアー参戦。ゴルフ場設計者、坂田ジュニアゴルフ塾塾長としても活躍し、若手育成に情熱を傾けている。日本漫画大賞受賞のゴルフ漫画「風の大地」の原作者としても知られる。ゴルフ界特別功労賞受賞。著書には「野生塾」などがある。

シンポジウム《Will To Win! ～勝つことではなく　勝とうとすること～》

っしゃいますが、子どもを頑張らせるキーワードは何ですか。

坂田　子どもたちは「やる気、負けん気、へこたれん気」という3つの気を持っています。この気がないと、何ごとも前に進まないと思うんです。それを出させてやるのが指導。そのために何が必要かというと、情熱なんです。指導者は子どもの3倍の情熱を持てば、子どもたちに伝わるもの。子どもたちは皆、才能を持っています。でも、残念ながら、それを見つけられない子どもが多いんです。成績というのは神様の贈り物。いくら願っても手に入るものではありません。だから、私は子どもたちを成績では叱らないことにしているんです。ライバルは自分を高めるための味方なんです。だから、ライバルにも感謝の気持ちを忘れてはいけないんです。



奥寺　康彦（おくでら　やすひこ）
（横浜FCゼネラルマネージャー）

神奈川県出身。昭和52年、旧西ドイツの名門チーム「1FCケルン」から日本人初のプロサッカー選手としてデビュー。以後9年間、ブンデスリーガ（西ドイツ1部リーグ）で通算235試合に出場、25得点。昭和61年に帰国し日本国内初のプロサッカー選手となる。現在は横浜FC代表取締役ゼネラルマネージャー。2002FIFAワールドカップ™横浜開催準備委員も務めた。

●体・技・心、自分を見つめること

荒井　3つ目のテーマは「体と技と心の関係」です。よく「心・技・体」という言葉を聞きますが、坂田さんの指導コンセプトは「体・技・心」ですよね。そのこころは何なのでしょうか。

坂田　よく心を正せと言いますが、背中が曲がっていては真っすぐな球は打てません。まずは体だと思うんです。体ができると技術が向上する、技術が向上すると心ができてきます。皆が同じスピードで成長することはできませんが、人間の中で一番早く成長するのは体なんです。次が技。心はゆっくりと咲いていくんです。咲き急ぐことはありません。

奥寺　指導者は結果を求めて焦ることがあります。しかし、大切なのは本人に勝ちたいという気持ちを持たせること。子どもたちなら「好きだ、楽しい」という気持ちを持たせること。楽しいから続けたい、好きだから勝ちたい…という気持ちになってくるでしょう。指導者はこの気持ちを導き出してやることが大切だと思います。

荒井　それがまさに「Will To Win」の気持ちですよね。その辺り荻原さんは、いかがですか。

荻原　私の初めての国際大会は高校生の時でしたが、結果は散々でした。それは今までやってきたことが全て否定されたような気がしました。このままでは世界で活躍できるような選手にはなれないなと思いました。まずはトレーニングをしっかりして外国の選手に負けない体を作り、きちんと技術を身につけることがいかに大切か気がつきました。もっともっと自分の頭の中をスキーに集中しなければいけないと、そう思いました。こうしたことは経験を通じて初めて分かることであり、もっと強くなりたいという気持ちもわいてきました。

荒井　一生懸命にスポーツをやるということは、究極は、自分の長所や弱点と向き合うことにもなるんじゃないかと思いますが、その辺はどうですか。

梶川　私が指導するのは小学生ですから、競技に向き合える体力をつけさせることから始めます。私が一番に指導しているのは「朝ごはんを食べなさい」ということ。好きなことをしようとした時に自分の体が動かないのはあきらめる第一歩になると思うんです。何ごとにおいても体力が基本。特に子どもの場合はそうですね。



荻原　健司（おぎわら　けんじ）
（元ノルディック複合日本代表）

群馬県出身。1992年アルベールビル冬季五輪、1994年リレハンメル冬季五輪の団体で連続金メダル。ワールドカップでも1993年、1994年、1995年と個人総合3連覇を成し遂げ「キングオブスキー」として海外からも厚く支持される。2002年ソルトレークシティ冬季五輪で4大会連続出場を果たし、2002年5月に惜しまれながら現役を引退した。



梶川　洋子（かじかわ　ようこ）
（ドッジボール全国大会優勝監督）

広島県出身。平成4年7月に廿日市市のドッジボールチーム「金剛寺ファイターズ」を結成し、平成14年3月までの約10年間監督を務めた。この間、全国制覇3回、3位3回のチームに育てた。容赦ない梶川さんの厳しい特訓に戸惑いながらも、メンバー達に除々に変化が起こる姿は全国に感動をよんだ。現在は府中町のドッジボールチーム「マンテンスターキッズ」顧問。平成14年8月の全国大会では3位に入賞。

●これからの日本のスポーツ環境

荒井　会場の皆さんにお願いしたアンケートに「スポーツは楽しいですか」という質問がありました。「楽しい」が79.8%。でも、楽しいのか、楽なのか…、ここが難しいところです。楽しいにもレベルがあります。どういうふうに工夫をすれば、それがより深くなるのか。その辺りも、このシンポジウムでディスカッションできたらと思います。次の「人生にスポーツは必要ですか」という質問には、やはり70%ぐらいの人が「必要」と答えている。これを一般社会人に質問すると、90%が「必要」と答えます。それはスポーツが必要なのか、それともスポーツを支えているクラブや運動部が必要性を生み出しているのか…、この辺りは面白いテーマだと思います。そこで、ここからは、「これからの日本のスポーツ環境」について話していただきたいと思います。今では海外で活躍する日本選手も多くなりましたが、奥寺さんはその先駆者です。海外で活躍する中で苦労されたことや、今の日本のスポーツ環境についてお話しいただけますか。

奥寺　日本だと学校体育がベースになっていますが、ドイツなんかは各地域にいろいろな種目別のクラブがあって、それぞれ地域の人たちが会員になり、会費を払って支えて運営しています。サッカーの場合なら、専用の芝



生があって子どもたちがプレーしているのをいろいろな人が見ている。クラブハウスにはお茶を飲むスペースがあって、家族や地域の人たちのコミュニケーションの場になっている。この地域に根付いた環境はすばらしいと思いました。日本は、まだまだ学校体育が主体で環境が整っていません。地域全体で支える環境があり、子どもたちも自由にスポーツに関われる環境ができたらいいと思います。今も学校教育で一生懸命指導に当たっている方はたくさんいらっしゃいますが、それが難しくなりつつあるのが現状です。これからは、地域、自治体、企業の三つで支える環境づくりを進めていかなければならないと思います。

荒井　これまでは学校や企業でやってきたスポーツを、今後、いかに地域と連携して展開していくかは、現在の日本のスポーツ界の大きなテーマであるし、その節目に来ていますよね。荻原さん、外国との比較も含めて、違う観点からいかがですか。

荻原　スキージャンプというのは、雪があるからと出掛けていって、いつでもジャンプ台で練習できるのかと言ったら、そうではないんです。たくさんの人による準備が必要だったりするので、すごく限られた日程でしか練習できないのが現状なんです。しかし、これが外国に行ったら違うんです。たった1人のためにでも整備してくれて、トレーニングすることができるんです。これを支えているのが地域の人たちなんです。日本にも各地にジャンプ台がありますが、雪に埋もれているのが現状です。私たちがふらっと出掛けていって、いつでも好きなだけ練習できるようになったらいいなあと思いますし、今後は日本もそういう環境になれるように役割を何かしていきたいと思っています。

荒井　梶川さんは、地域でスポーツをやっておられるわけですが、学校や保護者との連携など、その辺りはどういうふうにしておられるのでしょうか。

梶川　私たちも地域に大きく支えられています。当番制はとっていませんが、自分が子どもたちのために何かをしてやろうという気持ちを持ってくださった方々に手伝ってもらっています。そうは言っても、全国大会に行けばお金もかかりますが、そこは保護者に支えてもらっています。私が「たくさんお金がかかって申し訳ない」と言いますと、「それには代えられないものを頂いている」と言われます。そんな気持ちに応えるには、子どもたちの一生懸命やっている姿を見てもらい、感動してもらうことなのかなと思います。

荒井　奥寺さん、広島でもサンフレッチェが頑張っているのですが、どうも観客が入りません。私も大学でサポータークラブをつくって応援しているのですが、なかなかで…。奥寺さんのところは「ソシオ制度（市民会員によってクラブを運営するシステム）」をとっておられますが、その可能性はどうなんでしょうか。

奥寺　サッカーも今までは企業に支えられているクラブが多かったわけです。しかし、企業が経営不振になれば一番に影響が出るのもクラブです。私が関わっている横浜FCもそうでした。しかし、ファンの人たちがお金を出し合って立ち上げたのが今の形です。私たちの地域にはすばらしいチームがあって、選手がいる。これをみんなが誇りに思えれば、地域密着につながってくると思うんです。

荒井　奥寺さんの関わっているような市民が支えるチームや坂田さんが開いているゴルフ塾なんかを見ていると、着実に選択肢は増えていると感じますし、今後はこういう動きに注目していきたいと思います。

質疑応答



Q:親の子どもに対する愛は自己愛に値しますか。

A:坂田　値します。ただ、親としては10を期待して子どもが1(いち)応えてくれたら、それは親孝行。子と親は生き方が違うので確執があるのは当然。ただ少なくとも、親の愛は子どもに降り注がれていることも認めてもらいたい。親は熱くなくちゃいけません。あなたも親になったら分かるでしょう。

Q:試合にとって一番大切なことは何ですか。

A:梶川　指導者とすれば、普段の練習通りに試合をさせること。子どもたちにとっては、全てを忘れて目の前にあるものと戦う勇気だと思います。

荻原　準備じゃないでしょうか。トレーニングも準備の一つです。準備が完璧なら、大舞台でも自信を持って臨むことができます。

奥寺　自分はやれるという自信でしょうか。不安だとミスも出ますからね。

坂田　勝つことです。試合で勝てなかったら、練習量で勝てばいい。勝つこととは試合結果だけじゃないはず。それまでの過程にもあるし、日常生活にもある。何でもいいんです。何か一つ、勝てるものがあったら次につながると思います。

皆さんに贈るメッセージ

荒井　最後に、会場に集まった皆さんに伝えたいキーワードを書いていただき、簡単に説明してください。

坂田　「夢一つ、生きる道一つ」。私は55年生きてきて何にもできなかった。まさに、「夢一つ、生きる道一つ」、そう思っています。

奥寺　「楽しむ心と目的意識」。自分が好きな道だから楽しみたいし、目的もしっかり持っていきたいなと思っています。

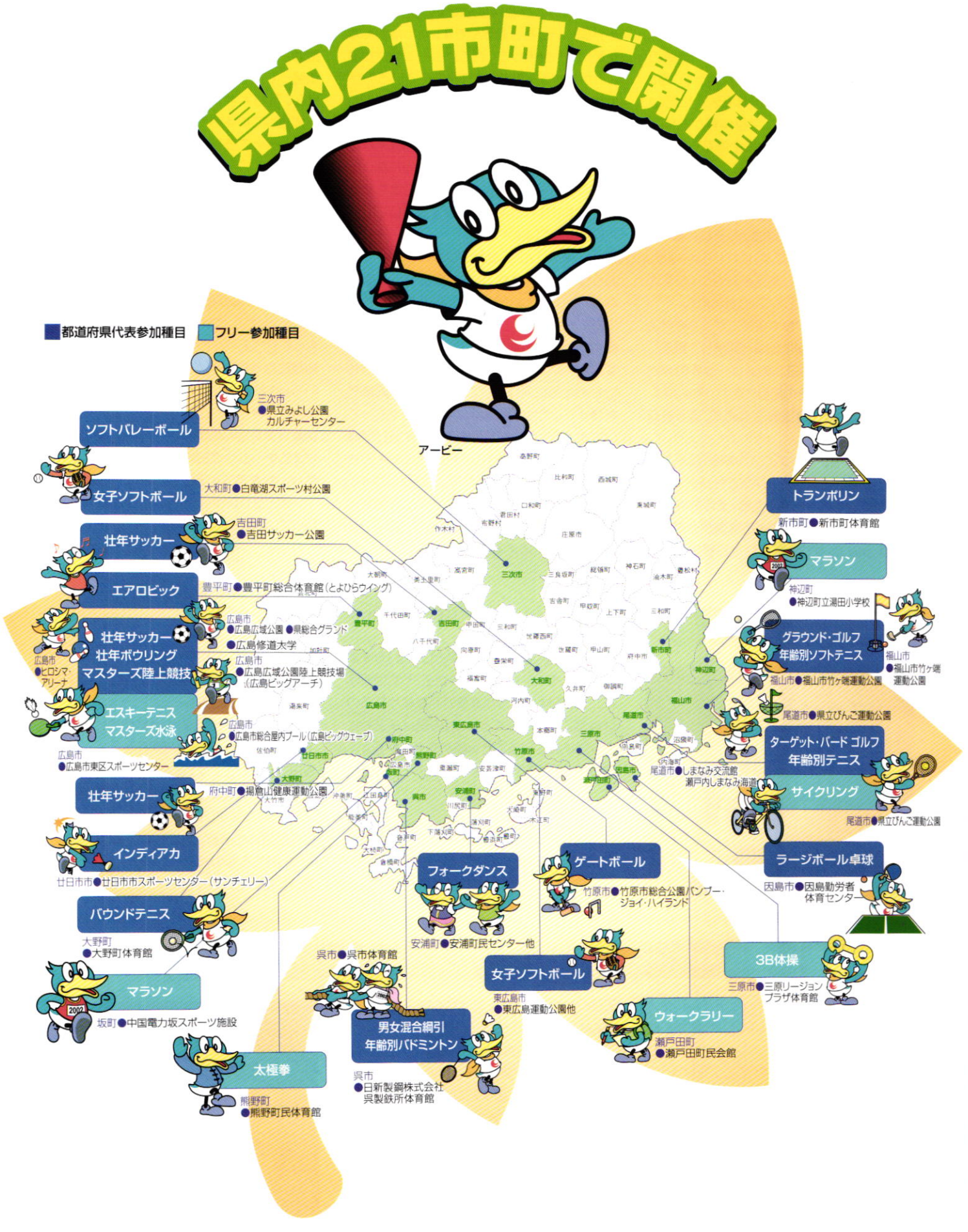
荻原　「Be Strong（強くなれ）」。スポーツで強くなれということではなくて、人間として強くなってほしいということです。いろんなタフなハートの持ち主になってほしいと思います。

梶川　「夢は夢で終わらず。努力なくして栄光なし」。努力したら、必ず先にはいいことがある。これは私の今後の生き方にも通じる言葉です。

荒井　皆さんも、今日のシンポジウムの中から何か一つ、良い言葉を持って帰ってください。そして今度は、自分として何ができるかを考えてください。今日はありがとうございました。



開催種目会場一覧


県内21市町で開催
アービー
都道府県代表参加種目
フリー参加種目
ソフトバレーボール
三次市
●県立みよし公園
カルチャーセンター
女子ソフトボール
大和町●白竜湖スポーツ村公園
壮年サッカー
吉田町
●吉田サッカー公園
エアロビック
豊平町●豊平町総合体育館（とよひらウイング）
壮年サッカー
壮年ボウリング
マスターズ陸上競技
広島市
●広島広域公園 ●県総合グランド
●広島修道大学
広島市
●広島広域公園陸上競技場
（広島ビッグアーチ）
広島市
●ヒロシマ・アリーナ
エスキーテニス
マスターズ水泳
広島市
●広島市総合屋内プール（広島ビッグウェーブ）
広島市
●広島市東区スポーツセンター
壮年サッカー
府中町●湯倉山健康運動公園
インディアカ
廿日市市●廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）
バウンドテニス
大野町
●大野町体育館
マラソン
坂町●中国電力坂スポーツ施設
太極拳
熊野町
●熊野町民体育館
男女混合綱引
年齢別バドミントン
呉市
●日新製鋼株式会社
呉製鉄所体育館
呉市●呉市体育館
女子ソフトボール
東広島市
●東広島運動公園他
フォークダンス
安浦町●安浦町民センター他
ゲートボール
竹原市●竹原市総合公園バンブー・
ジョイ・ハイランド
ウォークラリー
瀬戸田町
●瀬戸田町民会館
3B体操
三原市●三原リージョン
プラザ体育館
ラージボール卓球
因島市●因島勤労者
体育センター
サイクリング
尾道市●県立びんご運動公園
ターゲット・バード ゴルフ
年齢別テニス
尾道市●しまなみ交流館
瀬戸内しまなみ海道
グラウンド・ゴルフ
年齢別ソフトテニス
福山市●福山市竹ヶ端運動公園
福山市
●福山市竹ヶ端
運動公園
尾道市●県立びんご運動公園
マラソン
神辺町
●神辺町立湯田小学校
トランポリン
新市町●新市町体育館

グラウンド・ゴルフ

●10月6日（日）・7日（月）　◆福山市／福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場・野球場

グラウンド・ゴルフは陸上競技場と野球場の2会場をA・Bブロックに分け、プレーが行われました。事前準備から当日まで、幼稚園児から中学・高校生等多くの人が世代を超え、大会に参加しました。また、福山市の情報発信という点でも、参加記念品配布や特産品販売、そして鞆の浦や福山城等の文化ゾーンを散策された選手も多く、「歴史とばらの香るまち福山」に心ゆくまで接していただきました。















参加者からの一言



選手 **前川 幸子**さん（53歳）
福井県　清明GG愛好会

初めての全国大会「スポレク広島2002」

このような全国規模の大会に初めて参加し、何もかも驚きと感動でした。緊張の中で競技が始まり、メンバーの温かい心にふれることができました。広島の方には特に気配りをしていただき、2日目には何とホールインワンが2回も出て、「スポレク広島」は今後グラウンド・ゴルフを続けていくにも、生涯忘れられない大会になりました。
これもひとえに皆様の御尽力の賜物と感謝しております。



役員 **益成 妙子**さん（55歳）
広島県

お世話させていただく喜びを感じました

会場が福山市に決まってから、役員の研修、打ち合わせと忙しい日々が続きましたが、お世話させていただく喜びを感じながら本番に臨みました。老若男女、障害者も同じレベルで競技できるグラウンド・ゴルフだからこそ、生まれて8ヵ月の時に小児麻痺にかかり、右下半身麻痺の私に、委員長としての大役が果たせたと思っています。福山市、県協会役員皆さんの「思いやりと優しさ」に満ちた協力で大成功に終えることができ、深く深く感謝申し上げています。

ゲートボール

●10月6日（日）・7日（月）　◆竹原市／竹原市総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド

竹原市総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド多目的グラウンドで行われたゲートボールは24面のコートで一斉にスタートしました。選手たちは得点獲得のため真剣にプレーするものの、ボールを打つスティックの軽快な響きの中、和気あいあいと大会が行われました。また、サービスコーナーでは、うどん、豚汁等を提供し交流を深めました。















参加者からの一言



選手 **三木 静代**さん（63歳）
香川県　小豆島オリーブス

韓国チームと対戦できて良い記念になりました

全国大会には何度か参加したことがあり、優勝や上位入賞も経験していますが、対戦したことのないチームとの試合等、大変良い勉強になります。韓国チームと対戦、交流もすることができ、非常に良い記念となりました。

大会運営については、開会式で行われた子どもさんによるアトラクションが良かったと思います。地元のサービスもよく、竹原の町並みもきれいでした。



役員 **山田 茂人**さん（81歳）
広島県

大会運営がうまくいきました

大会運営については、トラブルで選手を待たせるということもなく、また選手やチームの協力もあり、流れは非常に良かったと思います。心配した雨が朝には止んだのも有り難かった。

会場のグラウンドは、「非常に整備が行き届いている」と多くの選手の方々から評価していただき、関係者として安心しました。勝負に余りこだわらず、仲良く競技するのが良いと思います。

壮年サッカー

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆広島市／広島広域公園第一球技場、広島県総合グランド、広島修道大学第3グラウンド

860人の選手が一堂に会しての開始式の後、広島市では16チームが3会場で熱戦を展開。選手の皆さんは、時に和やかに、時に激しくゴールを目指し、年齢を感じさせない素晴らしいプレーを繰り広げました。スタッフやボランティアの皆さんの応援にも力が入り、青い芝上で選手がゴールをねらうたびに大きな声援を送り、会場が一体となって交流の輪を広げました。















参加者からの一言



選手 **鄭 海成（チョン・ヘ・ソン）**さん（51歳）
韓国

健康のため、毎朝2時間練習

サッカーを始めて30年、現在も健康のために続けています。毎朝2時間練習していますが、その成果を発揮でき、いつもどおりのプレーができたのが良かったと思います。

広島はとてもきれいな街で、人々がみんな笑顔で迎えてくれました。とてもありがたかったです。



ボランティア **渡辺 葉子**さん（53歳）
広島県

韓国チームを精一杯応援

競技式典班として、壮年サッカーの開始式・表彰式を担当しました。大会運営には、昨年の三重県大会の見学や、ねんりんピックの運営に携わった経験を生かすことができました。

韓国チームには応援団がいないので、精一杯応援しました。

来てくれた選手に、「広島に来てよかった」と思ってもらえたらいいですね。

壮年サッカー

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆府中町／揚倉山健康運動公園

府中町揚倉山健康運動公園では、第3・4グループ16チームにより熱戦が繰り広げられました。同公園は、府中町から瀬戸内海まで一望でき、眺めは絶景、芝グラウンドの状態も良く、全国各地から参加された選手の皆さんにはとても好評でした。また、交流コーナーでは対戦相手チームとの親交、会場ボランティアとの会話も弾み、心温まる雰囲気の中、終了しました。













参加者からの一言



選手 **馬場 博**さん（51歳）
千葉県　千葉県シニア

35年ぶりの広島に感激

サッカー歴は約40年、下手の横好きですが、サッカーは飯より好きで、妻の次に愛しています。広島はインターハイ以来だったので、スポレクが広島で開催されるに当たり、どうしても35年ぶりに広島を訪れてみたかったです。お酒もおいしいし。

バスで来たんですが、府中町は広島市内から近くて、山に囲まれ、非常にきれいな所ですね。私の生まれた所がこんな感じの所なので、心身が癒されました。



ボランティア **清水 眞智子**さん（23歳）
広島県

サッカーの楽しさを再発見

今年、広島県でスポレク祭が開催され、我が町でも壮年サッカーが開催されるということで、観光大使「つばき娘」として参加しました。

今年は日韓ワールドカップが共同開催され、サッカーを身近なものとして感じていました。高年齢でありながらハードなスポーツを楽しんでおられる姿や各県の方言・人柄に少しでも触れることができ、違う視点でサッカーの楽しさを教えていただき、ありがとうございました。

壮年サッカー

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆吉田町／吉田サッカー公園

吉田サッカー公園で行われた第5・6グループの試合は、いずれも白熱した好試合ばかりで、全面芝生のグラウンドも大変好評でした。会場全体も、交流コーナーを中心に賑わい、温かいふれあいができました。閉会式においても、地元、吉田高校の吹奏楽部に生演奏をしていただくなど、終始和やかな閉会式となりました。















参加者からの一言



監督・選手 **今泉 勁介**さん（57歳）
北海道　登別四十雀サッカークラブ

売店の方の親切と役場の対応に感謝

試合結果は1勝1敗1分けでしたが、各県の選手と声を掛け合うなど十分に楽しみ、満足しております。

吉田町では、是非、毛利元就に関わる歴史に触れたいと思い、売店の方にお話ししたところ、休館日にもかかわらず「吉田町歴史民俗資料館」を見学することができました。売店の方の親切と、役場の対応にただ感謝するばかりです。華やかな開会式と吉田町のスタッフの方々の温かさが大きな思い出となりました。



監督 **手島 大介**さん（63歳）
広島県　広島サンプレ

精一杯戦って悔いなし

大会を間近に控え、広島県サッカー協会から広島県代表Cチームの編成依頼があり、急遽チーム編成して出場することになりました。

結果は3連敗に終わりましたが、精一杯戦って悔いはなく、遠来の友を少々もてなしたという感じです。大会期間中、各県選手から、「ピッチがすばらしい」との声を数多く聞きましたが、プレーヤーにとって最高の喜びは、良いピッチでプレーすることです。吉田町は最高の「おもてなし」をされたと思います。

ソフトバレーボール

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆三次市／県立みよし公園カルチャーセンター

市内小学生が作成した各県別応援旗や幟旗・サルビアの花を会場内・外に飾り付け、物産・飲食コーナーやお茶席などを設置し、ボランティアスタッフと共に選手の皆さんをお迎えしました。物産・飲食コーナーや市内観光コースも大変好評で、交流ゲームでは珍プレー・好プレーの続出で笑いの“ウズ”が巻き起こり、3日間にわたり和やかな雰囲気の中、白熱した試合が繰り広げられました。















参加者からの一言



選手 **久保 信二**さん（49歳）
香川県　まんでがん香西

来年の香川県のスポレク祭に是非おいでください

三次は緑が多く、空気がきれいで、とてもいいところですね。会場の雰囲気は、スタッフの方がとても親切で、気持ち良く過ごさせていただきました。スポレク祭は今年初めて参加したのですが、全国のレベルは高いと感じました。何とか一つでも勝てるよう頑張りました。

来年は香川県で「うどんツルツル！　スポーツスルスル!!」をキャッチフレーズに開催します。是非おいでください。



役員 **堀場 勝三**さん（55歳）
広島県

多くの皆さんの協力で、立派な運営ができました

三次市は、非常に人情深いすばらしい街だと思います。

審判委員長として運営に携わってきましたが、全員一体となり努力し、多くの皆さんの御協力をいただいて、立派な運営をすることができました。涙が出る思いです。ありがとうございました。

女子ソフトボール

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆東広島市／東広島運動公園ほか

開始式は体育館を球場に見たてて行われ、地元中学生による歓迎アトラクションが式典を盛り上げました。各球場では、チームのサポーターとなった地元ソフトボール少年団の大声援をうけて、各選手が日頃の練習の成果を発揮し、全国のソフトボール仲間と交流を深めました。東広島市は「まかせんさい!さわやか笑顔でおもてなし」を合い言葉に、全国から集まった大会参加者を温かく歓迎しました。















参加者からの一言



選手 **日向野 ケイ**さん（54歳）
栃木県　宇都宮クラブ

地元の子どもたちとの交流に感激

今までに参加した大会には地域との交流は余りありませんでした。今大会のように子どもたちと大会前から交流するということもありませんでした。地元のスポーツ少年団との交流ができたことが、今大会に参加して一番感激したことです。

広島はいつも素通りするだけでしたが、今回は原爆ドームやお好み村を回ることができ、原爆資料館には心を打たれました。次に来るときは時間があれば酒蔵も見て回りたいです。



ボランティア **有吉 啓一**さん（12歳）
広島県

応援旗の作成や手紙の交換で、楽しい思い出ができました

開始式のプラカード保持者として大会に参加しましたが、全国からいろいろなチームが集まってきていて、とても緊張しました。この大会に向けてずいぶん前から応援旗を作ったり、手紙を交換したりして準備をしてきました。僕が担当するチームの人達は、優しくて明るい人ばかりで、よく話しかけてくれたので、楽しい思い出ができました。

女子ソフトボール

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆大和町／白竜湖スポーツ村公園

大和町会場では、町内小学生による「ヤングマン2002」に始まり、激励の旗や中学生によるメッセージボールの贈呈を行い、大会の歓迎ムードを盛り上げました。球場においては、全町民による「スタンドいっぱい運動」の展開により、各試合とも1地域1チームの応援合戦が繰り広げられ、好試合の連続でした。本大会は、町民と選手団の間に感動と交流の輪が広がり、意義深い素晴らしい大会でした。













参加者からの一言



選手 **斎藤 久美子**さん（36歳）
山形県　白鷹レディース

町を挙げての歓迎ぶりに感激しました

山の中の静かな湖、広大な自然。来る者をホッとさせ、全てを包み込んでくれるような素敵な大和町で伸び伸びとプレーできたことをとてもうれしく思います。歓迎レセプション、売店、そして応援団の皆さん…町を挙げての歓迎ぶりに、涙が出るほど感激しました。

試合は残念ながら2戦2敗で予選リーグ敗退。ミラクルパワーを見せずして終わったことが少し残念ですが、地元応援団の皆さんのお陰で心に残る試合ができました。



監督 **米丸 優**さん（53歳）
広島県　大和レディース

スポレク祭を機会に若い人にもスポーツの楽しさを伝えていきたい

大和町でスポレク祭が開催されるというので、2年前ほとんど未経験者でチームを立ち上げました。守備・打撃の不安も、試合を重ねるごとに上手になっていきました。決勝トーナメントまで良く頑張れたと思います。これは、選手の家族や周りの人の協力と、大和町が国体でソフトボールを開催したという下地があったからだと思います。他県の人とも交流ができたし、これを機会に、若い人にもスポーツの楽しさを伝えていきたいです。

ラージボール卓球

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆因島市／因島勤労者体育センター

ラージボール卓球は、韓国選手も参加し、40歳以上357人が参加し、熱戦を繰り広げました。試合が終わってからもあちらこちらで、県の枠を超え和気あいあいとした雰囲気の中、交流の輪ができていました。交流行事では、水軍鍋、焼き鳥、うどん、ぜんざい等が振るまわれ、観光物産販売コーナーも人気を集めました。開始式では、因島村上水軍陣太鼓が披露され、好評を博しました。

















参加者からの一言



監督・選手 **上野 雅昭**さん（60歳）
広島県　広島もみじ

全員一丸で取り組みました

全員一丸となって、取り組んだお陰で何とか予選リーグを1位で通過することができ、地元としても良かったと思います。

スタッフや地域の方々が献身的に会場内外で運営に取り組んでいただき、非常に競技しやすい大会でした。

これを機会に、見ている人を含め、様々な形で生涯スポーツの輪が広がればと思います。



選手 **井上 秀司**さん（57歳）
香川県　多度津クラブ

来年の香川大会もいい大会にしていきたいです

1セット目でゲームポイントに届いていたが、結局競り負けてしまい、それ以降チームも5試合目までもつれたものの、2−3で負けて残念でした。ただ、私たちのチームは小学校のスポーツ少年団指導員が集まって、今年4月に結成した若いチームなので、あとの試合を勝ち越していい形で明日に臨みたいです。

来年は私たちの多度津町で大会が行われるので、この大会でしっかり学び、是非来年もいい大会になるようにしていきたいと思います。

ターゲット・バードゴルフ

●10月6日（日）・7日（月）　◆尾道市／県立びんご運動公園多目的広場

自然に囲まれた広島県立びんご運動公園に設営した「しまなみコース」は、多目的広場を利用した平坦な「しまコース」と、クリークに見立てたジョギングコースや健康スポーツセンターの庭を利用したトリッキーな林間コース「なみコース」からなり、参加選手に大変好評でした。ふれあい交流広場では、地元女性会が瀬戸内の小魚料理でもてなし、大人気でした。















参加者からの一言



選手 **沖光 正彦**さん（50歳）
広島県　広島選抜A

ダブル優勝で人生最良の日になりました

ターゲット・バードゴルフは、ゴルフのドライバーで二百数十ヤード飛ばす爽快感はありませんが、テクニックと戦略性に富み、若い人からお年寄りまで体力の差を感じないで楽しめるスポーツで、何よりも幅広い人と交流を深めることができます。

今回のスポレク祭では、秋田県の人と親しくなり郷土の話題で大いに盛り上がりました。今回はダブル優勝の名誉に輝き、人生最良の思い出の一つになりました。



ボランティア **柿本 眞弓**さん（68歳）
広島県

食事を褒めていただき、感慨もひとしおです

今回のスポレク祭では、2日間で延べ2千人の方々に心からのお食事のおもてなしをしました。

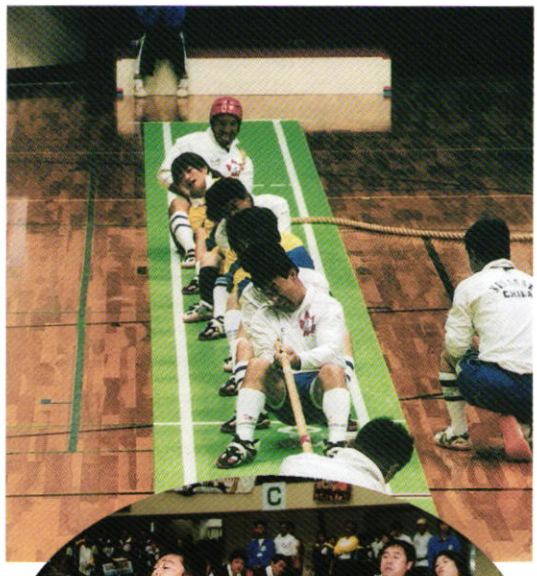
旬の素材をふんだんに使って、「尾道の海の幸」を味わっていただきたいと、磯めしは女性会のオリジナル、それに小いわし、えびの空揚げ、ワカメの味噌汁でした。大勢の人から、「こんな美味しい食事は初めていただいた」と、感激やお褒めの言葉を頂き、苦労も疲れも吹き飛び、感慨もひとしおでした。

男女混合綱引

●10月6日（日）・7日（月）　◆呉市／呉市体育館

呉市体育館で行われた大会は迫力ある白熱した試合が続きました。市内の小・中学生が心を込めて作成した応援ポスターを会場内に飾り、選手の皆さんからも大変好評でした。アトラクションの和太鼓ではアンコールの声も出て、大いに盛り上がりました。ふれあい交流広場のもてなし・物産コーナーも大好評でした。選手見送りの時、笑顔で「ありがとう」等の声も聞かれ、感動的な大会でした。















参加者からの一言



選手 **長尾 正彦**さん（35歳）
香川県　サヌキAYAKAMI

参加できて名誉に思っています

全国スポレク祭男女混合綱引に参加することができ、大変名誉に思っております。

今回の大会は、呉市が総力を挙げ取り組んだ大会という感じが関係者から伝わり、恥ずかしい試合だけはできないという気負いを感じた反面、"交流を深め、スポーツを楽しむ"ことが大事なんだということを改めて知ることができた大会でした。来年は香川県で開催されますが、今回参加された皆さんにまた会えることを楽しみにしています。



ボランティア **長田 高義**さん（20歳）
広島県

貴重な体験を今後に役立てていきたい

学生として運営ボランティア活動に参加しましたが、とても充実したものでした。

この大会は、ボランティアの方が多かったため、地域の方々と交流ができたこと、各県の選手の方々と和やかな雰囲気で楽しめたことがとても良かったと思います。学生としては、なかなか味わうことのできない、他県や地域の方々との交流体験を、これからの生活に役立てていきたいと思います。貴重な体験ができたことに対して感謝しております。

年齢別テニス

●10月6日（日）・7日（月）　◆尾道市／県立びんご運動公園テニスコート

広島県立びんご運動公園の大規模スポーツ施設に挟まれた18面のテニスコートでは、2日間とも好プレーが続出し歓声がこだましました。空きコートでの交流試合も大盛況で、テニス愛好者の交流の輪はますます深まりました。全国各地の代表選手や韓国からの選手、また大会スタッフは、この大会の思い出を胸に再会を楽しみに帰途につきました。















参加者からの一言



選手 **中川 みゆき**さん（43歳）
香川県　うどんつるつる

スケールの大きさに感動!

「なんてスケールの大きな大会!」これが第一印象でした。そして、開会式は、県民一体となってすばらしく、本当に感動しました。その上、春に国際交流で訪れた韓国で知り合えたメンバーにも再会でき、すてきな偶然に感謝しました。

来年は、いよいよ香川県です。選手として出場することはできませんが、せめて運営の面で協力して、大会を盛り上げていくことをみんなで約束し、尾道を後にしました。



役員 **高橋 由啓**さん（55歳）
広島県

大会が無事終わってホッとしました

表彰式が無事終わってホッとしたというのが実感です。昨年、三重大会を視察し、私なりに1つの課題を設けてスタートしました。それはこの競技を、従来3日間で行っていたものを、2日間でいかに順位を競うかにあったわけです。

初日、雨にたたられたものの、多くの交流を図りながら無事全ての順位が確定できたのも、選手・運営役員の皆様方の御協力の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。

年齢別ソフトテニス

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆福山市／福山市竹ヶ端運動公園庭球場

海と山に囲まれた自然豊かな瀬戸内の交流拠点都市福山で、352人の全国のソフトテニス愛好者と韓国選手団を迎え開催しました。大会開催にあたっては、幼稚園児に応援幟旗の作成、高等学校のソフトテニス部員には大会運営の協力をいただいたりと多くのボランティアの方々に支えていただきました。選手間はもとより運営する者と選手の交流も行われ、好評のうちに終了することができました。

















参加者からの一言



選手 **小野 早苗**さん（56歳）
広島県　広島もみじ

大きな声援に燃えました

開会式のスケールの大きさには圧倒され、感動しました。高校時代以来の全国大会出場で、喜びと不安、半々でしたが、「来んさい!しんさい!はじけんさい!」のスローガンで楽しもうと思うと不安も消えました。ソフトテニス会場では、ボランティアの皆様から大きな声援をいただき、もみじの葉のように紅く燃えました。韓国の人たちとも対戦でき、国際交流の一端を担ったようでした。願わくば、少々会話ができたら楽しさも倍増したことでしょう。



役員 **高橋 耕造**さん（64歳）
広島県

試行錯誤しましたが、成功裏に大会を終了しました

本大会が福山市で開催されることが決定してから2年間、石川大会、三重大会を視察に行くことから始まり、先催県を参考にしながら、福山版を行政と共に試行錯誤してまいりました。関係者が一丸となって、立派な大会にしたいとの思いで努力いたしました。お陰で天候にも恵まれ、4日間予定通り進行することができ、多くの方々より「すばらしい大会であった」との賛辞をいただき、成功裏に大会が終了できたことを役員一同喜んでおります。

バウンドテニス

●10月6日（日）・7日（月）　◆大野町／大野町体育館

バウンドテニス大会は、チーム別対抗ラリー戦、ダブルス戦、そして各県混合チームで対戦するスポレクラリー戦が行われました。選手、監督、スタッフそれぞれの協力のもと、和やかな、そして熱い戦いが繰り広げられました。交流広場では、アサリの貝汁などに舌鼓を打ちながら談笑の輪が広がり、地元小学生の「お国ことば調査」のインタビューなども行われ、思い出に残る大会となりました。

















参加者からの一言



選手 **正治 美恵子**さん（49歳）
福井県　福井フェニックス

おしゃもじで楽しかった広島大会を思い出しています

10月6日の朝、素朴な広島弁で会場に案内していただき、緊張していた心が「ポッ」と温かくなり、大会1日目が始まりました。我が福井フェニックスチームは、お陰さまで1位リーグで優勝、最高の思い出となりました。

最後にみんなで宮島のおしゃもじを打ち鳴らしながらの踊りも、とても楽しかったです。あの時のおしゃもじで御飯を盛りながら、楽しかった広島大会を思い出しています。



ボランティア **長尾 典子**さん（60歳）
広島県

全国の方々と心温まる交流ができました

大野町女性会は、お土産に貝びな、貝根付け、交流広場での接待、表彰式前の民踊と、お手伝いをさせていただきました。

「大野小唄」と宮島の名産の杓子を持っての「鯉城やっさ」は、多くの方々の飛び入りで大きな踊りの輪ができ、会場が一つになり、フィナーレにふさわしい踊りだったと自負しております。皆様のお帰りの際の笑顔と後から届きました礼状を見て、この大会に協力できたことを喜んでおります。

年齢別バドミントン

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆呉市／日新製鋼株式会社呉製鉄所体育館

日新製鋼株式会社呉製鉄所体育館を会場にして行われた年齢別バドミントン大会は、45道府県チーム、韓国2チーム、地元広島県から3チーム合計50チームを迎え、地元の中学生や小学生の大応援団の声援を受け白熱した試合が行われました。また、ふれあい交流広場では、呉が発祥の地として有名な“肉じゃが”が振るまわれ、選手や関係者の間で大変好評でした。

















参加者からの一言



選手 **田中 妙子**さん（50歳）
福井県　越前かに

お好み焼きを食べ、観光もし、とても楽しい4日間でした

福井県では各ダブルスの予選を行い、計8名が代表に選ばれますが、ほとんど知らない方々のため、一緒の行動に不安もありました。でも、そんな不安はすぐに吹き飛び、あっという間に意気投合。1日目の酒宴はすご～く盛り上がり、部屋での2次会へと発展。

肝心の試合ではトーナメント戦に進めませんでしたが、夜は相手県に頂いた焼酎で話が弾み、広島までお好み焼きを食べに出掛けたり、宮島へ観光に行ったり、とても楽しい4日間でした。



ボランティア **村田 結香**さん（13歳）
広島県

いい思い出になりました

私は鹿児島県のプラカードを持ちましたが、選手の人たちはとても優しく、いい人達で、一緒に写真を撮ったりしました。とてもいい思い出になりました。



ボランティア **木村 真衣**さん（14歳）
広島県

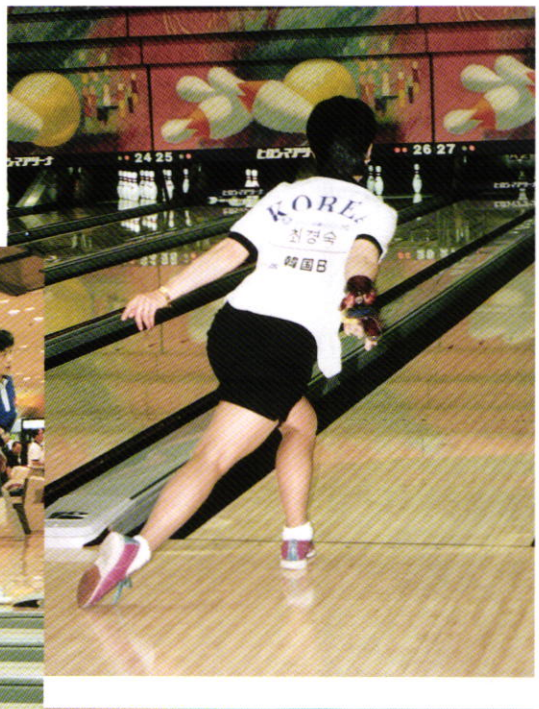
年上の友達ができたみたいでした

私は高知県のプラカードを持ちました。初めはすごくドキドキしてましたが、とても優しく接してくれ、一緒に笑ったり、肉じゃがや弁当を食べたり、写真を撮ったり、何か年上の友達ができたみたいでした。

壮年ボウリング

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆広島市／ヒロシマ・アリーナ

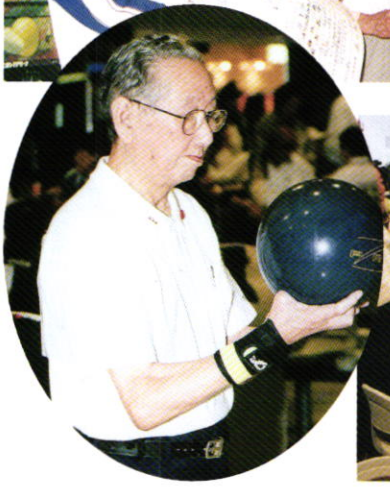
会場のヒロシマ・アリーナは、連日多くの観衆がつめかけ、選手たちは歓声と熱気に包まれ、白熱したゲームを展開することができました。入場時に演奏をしてくれた市立安西小学校の皆さん、プラカードを持ってくれた市立白島小学校の皆さんが素晴らしい開始式にしてくれました。















参加者からの一言



選手 **森安 静夫**さん（72歳）
香川県　さぬきツルツル

30年前に始め、週に2〜3回練習しています

スポレク祭には、監督で3回出たことがありますが、今回は選手として参加しました。ボウリングは仕事の得意先から誘われ、30年前に始めて、現在は週に2〜3回練習しています。今日はスコアはあまり良くありませんでしたが、韓国の方と一緒にプレーができ、とても楽しかったです。



役員 **狄野 和男**さん（55歳）
広島県

印象に残る大会になりました

開催が決定していろいろ準備を進めてまいりました。大会運営は「笑顔で」、トラブル発生時には「迅速に対応を」と、スタッフ全員で申し合わせ、無事大会を終えることができました。役員一同ホッとしております。

開始式で、地元小学生がプラカードを持って元気に選手誘導を行ったり、日本国国歌斉唱、大韓民国国歌独唱の演奏を行うなど大活躍していたのが印象に残りました。大変良い大会となり関係者の方々に深く感謝しております。

マスターズ陸上競技

●10月6日（日）・7日（月）・8日（火）　◆広島市／広島広域公園陸上競技場

陸上競技を愛好する男子40歳以上、女子35歳以上の皆さんが、同年代の競技クラスに分かれ、郷土の代表として、楽しく勝敗を競い、自己の力と技を存分に発揮されました。大会を支えた競技役員やボランティアの皆さんと参加した選手の皆さんの笑顔がひとつになって、秋の広島に交流の輪が広がった3日間でした。

















参加者からの一言



選手 **景山 十造**さん（71歳）
広島県

全国の選手と交流でき満足！

小さなころから足が速く、走るのが大好きでした。今も毎日10キロ以上走っています。今回地元でスポレク祭が開催されると聞き、参加しました。全国からすばらしい選手が集まっている中で競走でき、満足しています。

他県の選手とも交流でき、和やかで気持ちの良い大会でした。競技ですから競争という面もありますが、人と人との輪が広がっていくのがいいですね。他県の人に広島の良さを理解してもらえたらうれしいです。



選手 **上薗 修一**さん（48歳）
大阪府

よみがえる青春！

肢体が不自由な娘がパラリンピックアジア大会に出場することになりました。バレーボールの選手をしていますが、親子で共通の話題を持とうと思い立ち、陸上競技を始め、やり投と円盤投でスポレク祭に出場することとなりました。スポレク祭は48歳でチャレンジしても出場できる身近なところがいいですね。次回は走高跳にもチャレンジしたいと思っています。青春がよみがえった感じで、楽しい経験ができました。

インディアカ

●10月6日（日）・7日（月）　◆廿日市市／廿日市市スポーツセンター

廿日市市スポーツセンターで行われたインディアカ大会は、選手の白熱したプレーと、園児、小学生、高校生による歓迎アトラクション、審判団の歓迎の気持ち一杯の笑顔で大いに盛り上がりました。最後は、審判団全員で作ったアーチで選手をお見送りし、涙と笑顔の感動のフィナーレとなりました。

















参加者からの一言



選手 **中西 浩司**さん（28歳）
香川県　一宮クラブ

開閉会式は大いに盛り上がりました

インディアカの開閉会式は、我々をびっくりさせるような、すばらしいアトラクションで大いに盛り上がったと思います。

競技役員の皆様には、早朝から笑顔で出迎えていただき、また競技では一生懸命審判等をしてもらい、進行もスムーズだったと思います。

来年は香川町でインディアカ競技を開催しますが、廿日市市の皆さんに負けないよう頑張りますので、是非香川にお越しください。



選手 **山根 慶輔**さん（27歳）
広島県　もみじまんじゅう

スタッフのお陰で楽しくプレーできました

インディアカ競技に出場しましたが、いろいろな県と対戦できて非常に楽しかったです。

20歳の若い方から69歳の方まで参加しており、改めてインディアカの楽しさが見えた大会でした。我がチームも非常に健闘できたと思います。最後に大会が終わった際のスタッフの方々の感動の涙が非常に印象的でした。我々がケガなく楽しくプレーできたのも、陰で支えてくれた多くのスタッフの協力があったからだと思います。

フォークダンス

●10月6日（日）・7日（月）　◆安浦町／安浦町民センターほか

きらびやかなコスチュームや、みやびやかな着物に身を包んだ476人の選手は、2日間、交流と踊りを満喫しました。1,200株のベゴニアで鮮やかに彩られた会場周辺では、安浦特産品で作った「カキフライ」「サラダ」「ようかん」「きなこうどん」などを振るまい、地元の小・中・高校生による安浦の民謡「たんと節」をアレンジして新しく作ったジャズダンスやヒップホップのアトラクションもあり大好評でした。















参加者からの一言



監督 **大原 香寿子**さん（65歳）
山梨県　山梨県フォークダンス連盟

ありがとう、「海と緑とロマンの町」安浦町！

スポレク祭参加2回目だから感じる"ときめき"の反面、代表者としての責任の重さもあったのですが、関係各位、特に安浦町やフォークダンス関係の皆様方の心温かなおもてなし、細部にわたっての気配りをいただき、何の戸惑うことなく楽しく過ごすことができました。何より嬉しかったことは、日本中のフォークダンス愛好者と旧知の友のように笑顔で交流が深められたことでした。本当にありがとう、「海と緑とロマンの町」安浦町！



ボランティア **池田 敏行**さん（68歳）
広島県

会場を花いっぱいにしました

私たち公衆衛生推進委員52名は、全員で、「スポレク祭の安浦会場を花いっぱいにしよう！」を合い言葉に、6月から4ヵ月間、ベゴニアとサフィニア1200株の花づくりに取り組みました。

真夏の花管理はとても大変でしたが、大会当日、満開に咲きそろったベゴニアには、委員の熱意とひたむきな努力があふれ、そのプランターを配置したときは感無量でした。

エアロビック

●10月6日（日）・7日（月）　◆豊平町／豊平町総合体育館（とよひらウイング）

練習の成果を発揮した各チームに対して、拍手と歓声が場内を包み込みました。歓迎アトラクションでは、平均年齢70歳のボランティアグループによるパワーあふれるエアロビック。また町内の全小学生による「キッズエアロビック」、元気いっぱいの子どもたちに選手は大感激。曲の半ばで選手を踊りの輪に招き入れた子どもたち、参加者全員による感動のエアロビックが実現しました。

















参加者からの一言



選手・指導者 **横山 有里**さん（34歳）
広島県　MATOI

本当によくやった!

本当によくやってくれちゃった。初めは"エアロビック"の"エ"の字を知るところからだったのですが、大会に出るまでに頑張ってこれました。最初の頃は緊張と不安で笑顔もありませんでしたが、大会前には楽しそうな笑顔になっていました。気持ちが伝わってきたし、エアロビックが町のスポーツになった気がしています。

今回のことは町の多くの人が関わってできたこと。一人一人が"主役"になれた大会だと思います。



選手 **宮川 真希**さん（27歳）
岐阜県　Dynamite

歓迎アトラクションが和気あいあいで、うれしくなりました

豊平町って、自然がたくさんあっていいところですね。歓迎アトラクションの「つくしの会」や子供たちのエアロビック、もう和気あいあいという感じで、見ている私たちまで、うれしくなりました。

本番のステージでは、マイペースで日頃の成果を出すように頑張りました。

トランポリン

●10月6日（日）・7日（月）　◆新市町／新市町体育館

43都道府県から254人の監督・選手が参加し大会が行われました。パフォーマンスや方言交じりのアピールによる入場行進で幕をあけ、真剣かつ和やかな対戦が繰り広げられました。観覧には1,000人を超える人が訪れ、交流試合として行った地元小学生の対戦や、デモンストレーション演技は大変好評を得ました。















参加者からの一言



選手 **中野 ますみ**さん（53歳）
福井県　チャマゴン福井

だからトランポリンはやめられない

「おはようございます。頑張ってください。」、町民の皆さんの笑顔のあいさつ、スタッフの方々の人情味あふれる温かいおもてなし、気配り、目配り、心配りの行き届いた運営に感激！だからトランポリンはやめられない。全国の仲間と会えてよかった。

おそば最高！太鼓も最高！新市最高！ありがとう。皆さんのハートをお土産に帰ります。2004年「スポレク福井」、トランポリンは私の町、勝山市です。お待ちしています。



監督・選手 **宮永 幸子**さん（50歳）
広島県　新市ポリン&ラン

地元開催のスポレク祭に初参加、楽しく競技できました

地元、新市町で開催のトランポリン競技に初参加。大会関係者の方々の準備、運営の働きを身近に感じながら、開催地ならではの良い緊張と興奮の中、楽しく競技できたことに感謝しています。また、歓迎レセプションでは、各県の選手や大会関係者の方々との交流の輪が広がり、試合前後には対戦チームとのお土産交換もなされるほどでした。今後も大会を通じてスポーツを楽しむ仲間が増えることを願っています。

ウォークラリー

●10月6日（日）　◆瀬戸田町／瀬戸田町民会館～町内

文化の薫る町“せとだ”を満喫してもらうため3ルート5コースを設定。親子、友達、子ども会などいろいろなグループでウォークラリーを楽しんでいました。また、「潮風空中散歩」・「みかんの島一周」の2つのウォーキングコースでは、ベビーカーを押して参加した親子などが秋晴れの1日を楽しんでいました。

















参加者からの一言



選手 **別府 信道**さん（36歳）
広島県

望外の優勝はチームワークの勝利です

小2の伜は、缶けりやおみくじといったポイント獲得ゲームで高得点を連発。妻は巷間ささやかれる男女間の視点の差を見事に発揮して、私にはわからなかった観察問題の正解を見つけました。4歳になったばかりの娘は「靴に砂が入った」「もう歩けん」「この花きれい」と言っては度々歩みを止め、知らず知らず設定タイムに近づけてくれた模様。皆それぞれに持ち味を生かし、チームに貢献。結果は望外の優勝。エっ、父ちゃんは何をしてたかって…



役員 **岡田 梓**さん（22歳）
広島県

仲間やスタッフに助けられ、大役を果たすことができました

今回、町青年連盟でステージ係を担当し、私は初めての「司会」。緊張してなかなかうまくできず、仲間や周りのスタッフの皆さんにたくさん助けていただきました。そんな中、参加者の皆さんのゴールした時のさわやかな顔や入賞した方のうれしそうな顔を見るとホッとし、私までうれしくなりました。アッという間の1日でしたが、いろいろな出会いがあり、楽しかったです。また、こういう機会があれば、是非参加したいと思います。

エスキーテニス

●10月6日（日）　◆広島市／広島市東区スポーツセンター

広島生まれのエスキーテニスには、地元広島県以外からも1府5県293人の選手が参加し、第23回全日本選手権大会を兼ね、盛大に開催されました。開始式の入場行進では、地元公民館サークルのマンドリン演奏が華を添え、20代から60代までの老若男女が、アリーナいっぱいに熱戦を繰り広げ、終日温かいふれあいができました。













参加者からの一言



選手 **大坪 恵子**さん（49歳）
福井県　錦クラブ

エスキーテニスを始めて20年。楽しくプレーできました

開始式にマンドリンの演奏があって、とっても感動しました。関係者やボランティアの方など、大会の運営に関わられた方にも感謝しています。

錦クラブは自治会のクラブで、私もエスキーテニスを始めて20年くらいになります。チームとしては、予選を通過して1部に残りましたが、初戦で負けて残念でした。でも、みんな楽しくプレーできました。また、来年、再来年と続けて出場できるよう頑張ります。



役員 **迫田 勝十司**さん（58歳）
広島県

この大会を機にエスキーテニスをもっと広めたい

大会を無事、終了できてほっとしています。毎年、半分くらいは新しいチームにかわっており、競技レベルも少しずつ上がっているように思います。各チームには、勝っても負けても楽しくプレーしていただけたら満足です。この大会を機会に、エスキーテニスをもっと広められたらと思います。

サイクリング

●10月6日（日）　◆尾道市／瀬戸内しまなみ海道（尾道～今治・大三島往復）

瀬戸内海の多島美を眺めながらの爽快なサイクリング。参加選手は、世界一の斜張橋「多々羅大橋」や三連吊橋「来島海峡大橋」等9つの橋があるサイクリングロードを、沿道からの住民の声援や潮風を受けながら走破しました。ゴール地点のふれあい交流広場では、完走者を尾道ラーメンのもてなしで出迎え、選手同士や運営スタッフとの交流が図られました。

















参加者からの一言



選手 **古澤 慎一**さん（46歳）
北海道

遠来賞をいただきました

昨日は出走の前に遠来賞などをいただきまして感激しました。思えば昨年のツールド北海道の市民参加部門で室蘭の白鳥大橋を時間制限のために渡ることができず、悔しい思いをしたのが今回参加した理由でした。今シーズンは、初夏のオホーツクサイクル、先々週のツールド能登、今回のしまなみを3大目標にしてきましたが、何とか目標達成です。また来年も、時間とお金に余裕があったら参加する予定です。



役員 **垣内 康司**さん（41歳）
広島県

サイクリングの人気と注目度を感じました

サイクリングの運営委員長として携わらせていただきました。500名の募集に対して600名を超える応募があり、100名近くをお断りするほどの人気で、注目度を感じました。当日は午後からあいにくの雨となりましたが、ほとんどの方が雨の中を走り貫き、大変満足した顔でゴールされていました。

ゴール後の交流会でも、選手同士和気あいあいとお互いの健闘を称え合い、とても和んだものとなりました。

3B体操

●10月6日（日）　◆三原市／三原リージョンプラザ体育館

当初の予定を上回る3,088人が参加した3B体操大会。午前の部は中国地方を中心に屋外広場で、午後の部は全国から11地域が参加した交流大会を屋内体育館で実施しました。屋外及び文化ホールに大型画面を設置して、演技状況を実況中継し、好評でした。
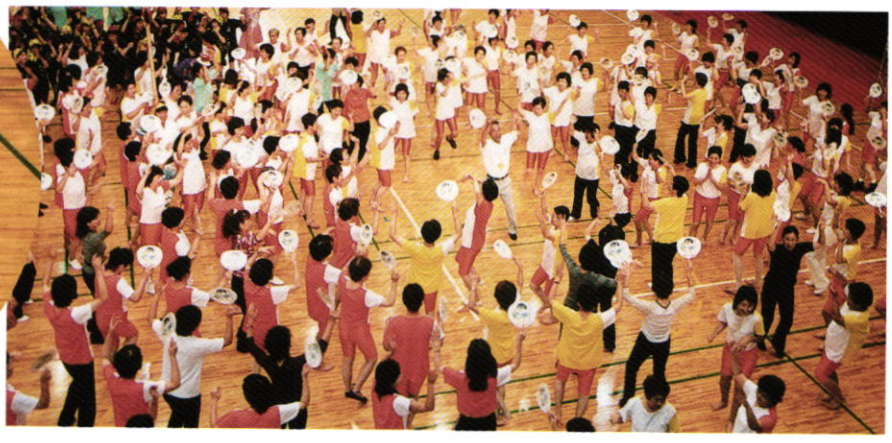
















参加者からの一言



選手 **山本 豊子**さん（76歳）
広島県

新聞に載りました

「ボールを持った、あなたの笑顔が新聞に載っとるよ。」と、電話の向こうから友達の弾んだ声。

後日、別の友人からも新聞の切り抜きが届きました。見ると、白髪の76歳が楽しそうにボールを手に、若い仲間と演技しています。

「目線を高く、笑顔で楽しく」と、練習の時から心がけていたことが、本番で出せてほっとしました。5分足らずの演技でしたが、充実のひとときでした。



選手 **高杉 幸之**さん（59歳）
岡山県

全国交流大会で気持ち良く踊ることができました

最初に、お世話してくださいました皆様に心からお礼を申し上げます。不安から始まった競技の部の練習ですが、回を重ねるたびに仲間意識が深まり、随分皆に助けていただきました。練習は十分し、意気揚々と三原へ…。

全国交流大会では、大勢の仲間から温かい拍手を頂き、上がることなく気持ちよく踊ることができました。「来んさい!しんさい!はじけんさい!」のスローガンどおり、楽しく参加できたことに感謝しています。

太極拳

●10月6日（日）　◆熊野町／熊野町民体育館

精神統一をし、集中力を高めた選手が、会場を埋め尽くす観衆の前で演武するという緊張感あふれる競技会場でしたが、熊野筆等の特産品販売やバザーでは、選手や地元の人が笑顔でふれあう姿が見られました。前日には、熊野ならではの書の体験をする選手・監督も多く、地元婦人会による郷土料理を囲んだレセプションでは、地域の人やスタッフによる歓迎が好評で、大いに盛り上がりました。













参加者からの一言



選手 **森 千賀子**さん（53歳）
広島県

太極拳は生活の全てです

子育てから手が離れて、始めた太極拳ですが、はや16年経ち、今では生活の全てです。これからも楽しんでいきたいと思います。



選手 **上吉川 久美子**さん（50歳）
香川県

来年は香川のおいしいうどんを食べに来てください

競技場によって雰囲気は違うのですが、ここは観客の皆さんが近くて、手がガクガク震えてしまいました。広島に来て、皆さんの言葉が柔らかく、とても親切で、それをとてもうれしく思いました。来年は、私の地元香川でのスポレク祭開催ということで、大変楽しみにしています。おうどんもおいしいですから、是非皆さんで来てください。

マスターズ水泳

●10月6日（日）　◆広島市／広島市総合屋内プール

広島県内を中心に、大阪、兵庫、愛媛から30歳以上の水泳愛好者204人が集い、力強い水しぶきをあげました。スタート前の緊張感、ゴールした後のさわやかな笑顔など、会場となった広島市総合屋内プールは、選手の活気と応援の皆さんの和やかな雰囲気で楽しさいっぱいのふれあいができました。

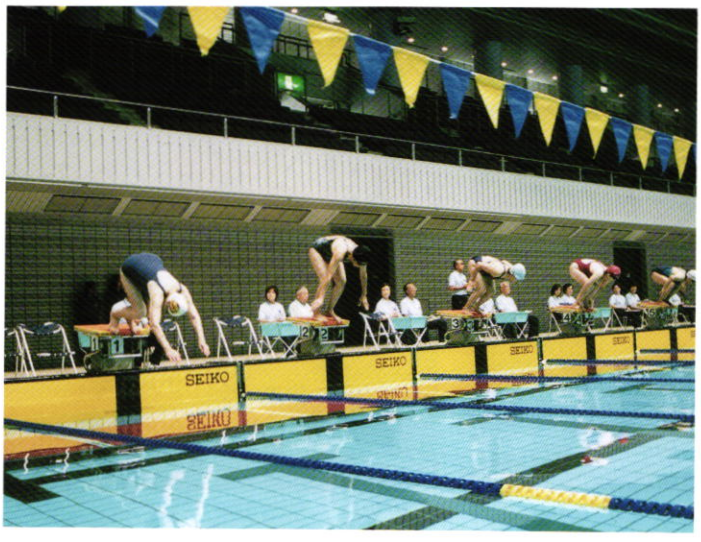














参加者からの一言



選手 **福川 キミ子**さん（81歳）
広島県

泳ぎ始めて22年。これからも水泳を続けます

泳ぎ始めて22年になります。区内にある吉島屋内プールで、週に2回程度、たくさんの仲間と泳いでいます。水泳は、浮いて体を動かすだけですから、私のように年齢が高くても十分に楽しむことができます。

これからも続けて、来年も参加したいと思います。



役員 **花房 弘美**さん（66歳）
広島県

皆様方の御協力で運営できました

大会の宣伝期間が短く、運営も今回のような形は3回目でしたので、戸惑った面もありましたが、皆様方の御協力で何とか運営できたのではないかと思っています。水泳は、どんな方でも気軽に始めることができ、健康管理にも役立つ生涯スポーツとして最適なスポーツです。目的を持って、楽しく続けていただきたいですね。

マラソン

●10月6日（日）　◆坂町／中国電力坂スポーツ施設～町内

仲秋の広島湾沿いのコースを沿道の声援を受けながら、自分の力を試される方、家族で和気あいあいと参加される方など、さまざまな方に大会を盛り上げていただきました。走り終えた選手は、大会名物となった坂町特産の「カキ雑炊」に舌鼓を打ち、おいしいと好評でした。また、抽選会の目玉である韓国慶州マラソン招待や数々の賞品が当たるお楽しみ抽選会では大いに楽しんでいただきました。

















参加者からの一言



選手 **隼田 正夫・由比子**夫妻（57歳・58歳）
福岡県

夫婦で出場し、土地の名産を食べ、楽しみました

フルマラソンの部に夫婦で出場しました。

私たち夫婦は、年間30回、各地の大会に参加しています。各地の大会に参加する楽しみは、地域の特産品を食べたり、温泉につかったりすることです。今回の楽しみは、走り終えた後の"かき雑炊"です。また、コースは平坦で走りやすく、同じコースを行き来するため、仲間と励まし合いながら完走することができました。これからも夫婦で、各地の大会に参加していきたいです。



役員 **折出 龍興**さん（62歳）
広島県

無事大会が終了し、苦労が吹き飛びました

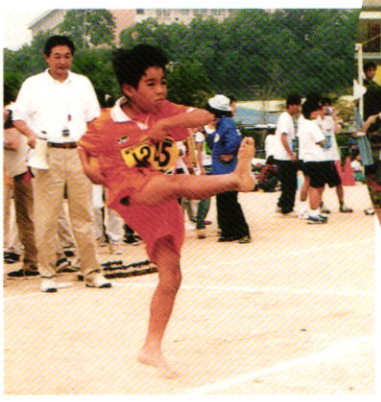
毎年行われている広島ベイマラソン大会が、今年は全国スポレク祭の一環として開催されることになり、私たちはいつもより緊張して迎えました。そんな中、フルマラソン参加選手がスタートラインに並んでいるコースに、先に出走していたジョギングの選手が入ってくる予期せぬ状況になりましたが、選手の誰かの一声で、選手が一斉に左右に分かれ、拍手の嵐で迎える演出をしてくれました。参加選手にも助けられ無事大会が終了し、役員一同、これまでの苦労が一遍に吹き飛びました。

マラソン

●10月6日（日）　◆神辺町／神辺町立湯田小学校～町内

備後和太鼓研究会の勇壮な太鼓の音でオープニング。恵まれた天候のもと、全国から10km・5km・2.5kmの3コースに1,000人を超える選手の参加により開催されました。ふれあいと交流をメインテーマとし、沿道には多数の地元応援者が疲れたランナーの後押し。ゴールをすると豚汁・うどん・おにぎりでもてなしました。また、ニュースポーツで「下駄とばし」を体験していただき、大変賑わいました。















参加者からの一言



選手 **塚本 昭彦**さん（44歳）
広島県

連続優勝できて満足!

体調は余り良くなかったのですが、昨年のタイムを18秒上回り2年連続優勝ができて満足です。

今後の目標は、来春のびわこマラソンで2時間25分台で走り切ることです。次回のこの大会も3連覇を目指して出場したいと思っています。大変お世話になりました。



選手 **武田 しのぶ**さん（37歳）
広島県

懐かしいコースで高校時代を思い出しました

高屋川沿いなど、走った道は高校時代陸上部で練習していた懐かしいコースです。必死だったので周囲の景色を楽しむ余裕はなかったけど、高校時代を思い出しました。これからもランニング仲間を増やしながら、いろいろな大会に出場していきたいと思っています。

来年も近くの大会ですので楽しみにしています。

《閉会式》プロローグ

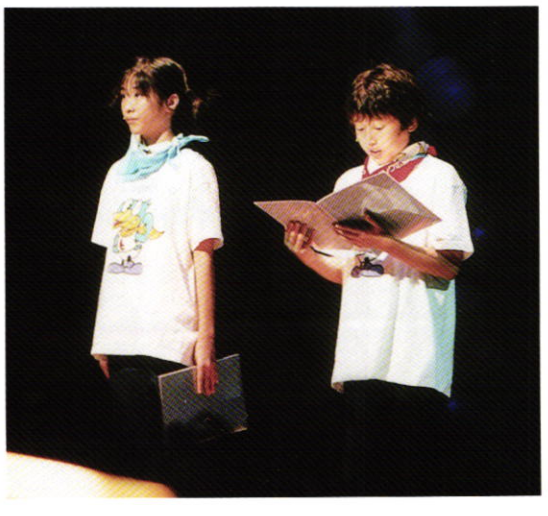
●10月8日（火）　◆広島市／広島国際会議場フェニックスホール

プロローグは、岩田英憲さんの静かなパンフルートの演奏で始まりました。中国山地から瀬戸内海に至る広島の美しい自然の映像がスクリーンに映し出され、続いて広島交響楽団による演奏の中、記録映像により広島の祭典の感動を再びよみがえらせました。また、子どもたちが祭典をたたえる詩を朗読しました。









《閉会式》セレモニー&アトラクション

スポレクテーマソング「明日を信じて」に乗せて子どもたちにより運ばれてきた祭典旗を、広島県副知事から、文部科学省生涯スポーツ課長の手を経て、次期開催県の香川県副知事にしっかり引き継ぎました。香川県のPRアトラクションとして少林寺拳法が披露され、続いて広島県と香川県のキャンペーン隊によるエールの交換を行いました。



開催県副知事挨拶

広島県副知事　田口 尚文

「来んさい!しんさい!はじけんさい!」をスローガンに、10月5日から4日間にわたって開催いたしました、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島2002」が、本日、無事フィナーレの時を迎えることができました。

祭典を支え、また盛り上げていただきました会場の皆様をはじめ、多くの皆様に対しまして、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

広島県のスポレク祭では、スポーツ・レクリエーション活動の「楽しさ」、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも行える「気軽さ」、人々とのふれあいや心うるおう新たな「感動」を発見できる祭典を目指して参りました。

多くの皆さんが、この4日間で、スポーツ・レクリエーション活動の「楽しさ」、「気軽さ」、「感動」を改めて感じていただいたものと確信いたしております。

また、県内21の市と町では25種目の競技が行われ、地域の方々と全国から集まった選手・役員の皆さんとが、さわやかな汗と笑顔で交流の輪を広げていただきました。

この祭典を契機に、今後さらに生涯スポーツの振興が図られていくことを念願いたしております。

さて、来年の祭典は四国・香川県で開催されますが、交流と感動を通して、生涯スポーツの輪がさらに大きく広がることを念願いたしております。

終わりに、「スポレク広島2002」を開催するに当たりまして、関係各位から寄せられました多大な御支援と御協力に重ねてお礼を申し上げますとともに、来年の香川県の祭典も大成功となりますことをお祈り申し上げまして、ごあいさつといたします。

どうもありがとうございました。







次期開催県副知事挨拶

香川県副知事　川北 文雄

皆さん、こんにちは。

次期開催県の香川県を代表して、ごあいさつを申し上げます。

「スポレク広島2002」が、全国各地から大勢の方々が参加して盛大に開催され、しかも、大成功のうちに閉会の日を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

開催に御尽力されました藤田知事さんはじめ、広島県の皆様方に深く敬意を表したいと思います。

来年の11月、香川県で「スポレク香川2003」が6市14町において開催をされます。

「香川」といえば、皆さん御承知のように、「さぬきうどん」であります。「さぬきうどん」ということで、祭典のスローガンは、「うどんツルツル！　スポーツスルスル!!」というユニークなものであります。関係者一同、このスローガンに負けない立派な大会になるよう準備を進めているところでございます。

さて、皆さん御承知かと思いますが、現在、「四国霊場八十八カ所」が癒しの場として注目を集め、八十八カ所を歩いてお参りをする「歩き遍路」がブームになっております。そこで、来年の種目の中に、八十八カ所の結願の寺であります八十八番札所の「大窪寺」を目指すウォークラリーを選定いたしました。また、スポーツチャンバラ、ボールルームダンス、そして人工スキー、これらはスポレクでは初めてではないかと思いますが、新しい種目として予定をしております。

このように工夫をしておりますので、どうか皆さん、必ず御参加をいただきたいと思います。そして、香川の躍進する姿や、深まりゆく秋の讃岐路、さらに、うどんに代表されます食文化にもふれていただきたいと思っております。

香川県は全国で一番小さな県でありますけれども、皆さんを大きな心と温かい心で歓迎いたします。

それでは、来年、皆さんとお会いする日を楽しみにしております。







《閉会式》フィナーレ

会場全員による「ヤングマン2002」の大合唱、続いて広島交響楽団の演奏とジュピター少年少女合唱団の合唱により、エンディングテーマ曲「シー・ユー・トゥモロー」が流れ、全ての関係者への感謝のうちにフィナーレを迎えました。広島の祭典の感動とともに、新たな交流と友好の輪の広がりを香川県へ引き継ぎ、祭典の幕を閉じました。







協賛事業



●1月1日（火）～10月8日（火）　◆広島県内全市町村

協賛事業として、全市町村（86市町村）及び関係種目団体・施設等の主催により、平成14年1月1日から10月8日までの期間、県内各地で過去最多の249事業が開催されました。それぞれの地域や主催者の特色が活かされたスポーツ・レクリエーション活動が行われ、小さな子どもからお年寄りまで25万人を超える多くの参加があり、県民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を一層図ることができました。

※開催日順に掲載


●第11回新春グラウンド・ゴルフ大会〈1/1〉
◆高宮ハーモニー広場


●第15回熊野新春スター駅伝大会〈1/12〉
◆熊野町民グラウンド他周辺



●第26回みわ町スター式駅伝大会〈1/13〉
◆三和中学校グラウンド他町内


●第31回新市町ロードレース大会〈1/13〉
◆戸手高等学校～芦田川堤防線


●第42回大和町一周駅伝大会〈1/13〉
◆大和町内一円


●2002新春府中市マラソン大会〈1/13〉
◆府中市役所～芦田川周辺


●第25回倉橋町駅伝大会〈1/14〉
◆倉橋町（桂浜ふれあいセンター～鹿島宮の口）


●第17回沼隈町駅伝大会〈1/14〉
◆沼隈町内全域


●第29回府中市健脚大会〈1/20〉
◆JR備後三川駅～府中市役所


●第5回豊田郡ロードレース兼万葉の里マラソンinあきつ大会〈1/20〉
◆三津小学校グラウンド他町内


●第21回三原市民ビーチボールバレー大会〈1/20〉
◆三原リージョンプラザ主体育館


●第43回世羅西町駅伝大会〈1/20〉
◆山福田分館～せらにしタウンセンター


●働く青年のための「若衆宿」〈1/20～27・7/13～21〉
◆国立江田島青年の家


●地域スポーツ指導者研修事業〈1/26〉
◆県立総合体育館



●チャレンジ・冬の郡山〈1/26・27〉
◆県立吉田少年自然の家



●第34回廿日市市民ロードレース大会〈2/3〉
◆廿日市市役所市民プラザ～木材港周辺



●第16回安浦町ふれあい駅伝大会〈2/3〉
◆安浦中学校グラウンド他周辺



●第28回さわやかオレンジロードレース大会〈2/3〉
◆蒲刈小学校グラウンド他大浦地区



●第5回広島県雪合戦大会〈2/3〉
◆高野町町民広場特設会場



●第7回さくらアーチカップバスケット3on3大会〈2/3〉
◆庄原市総合体育館



●第17回瀬戸内ふれあいマラソン大会〈2/3〉
◆内海中学校グラウンド他町内



●川尻町民マラソン大会〈2/3〉
◆川尻町民グラウンド他町内



●子ども自然探検クラブ 冬 ボランティア・ミーティング〈2/9·10〉
◆県立福山少年自然の家



●第20回作木村卓球大会〈2/10〉
◆作木中学校体育館



●第29回熊野駅伝大会〈2/10〉
◆熊野町民グラウンド他町内



●第27回みつぎ駅伝大会〈2/10〉
◆御調町文化会館他町内



●第37回東城町民スキー大会〈2/10〉
◆道後山高原スキー場



●第8回大野オイスターカップバドミントン大会〈2/10·11·17〉
◆大野町体育館、大野東小·中学校体育館



●第20回豊浜町駅伝大会〈2/16〉
◆豊浜町内一円



●第29回黒瀬川駅伝競走大会〈2/17〉
◆黒瀬町文化センター周辺



●安浦町スキー教室〈2/17〉
◆スキーパーク寒曳



●瀬戸田町体力つくりスポーツ大会〈2/17〉
◆瀬戸田勤労者体育センター 他



●第15回本郷町町民駅伝大会〈2/17〉
◆本郷中学校グラウンド他町内

協賛事業


●第6回広島県障害者卓球大会〔身体障害者の部〕〈2/17〉
◆県立身体障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター


●第20回深安駅伝大会〈2/17〉
◆神辺町民グラウンド他周辺


●地域スポーツ指導者研修事業〈2/23〉
◆県立総合体育館


●女子サッカーチーム交流会〈2/23·24〉
◆県立ふれあいの里青年の家


●第21回ふくやまマラソン〈2/24〉
◆福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場他周辺


●第23回木江町ロードレース大会〈2/24〉
◆木江町役場他町内


●平成13年度広島県インディアカ講習会〈2/24〉
◆広島市中区スポーツセンター


●第9回広島県武術太極拳選手権大会〈3/2〉
◆県立総合体育館武道場


●第25回沖美町かきカキマラソン大会〈3/3〉
◆沖美町高祖埋立地他町内


●熊野町スポーツ少年団交流会"みんなともだち"〈3/3〉
◆熊野町民体育館


●第33回美土里剣道大会〈3/3〉
◆美土里町B&G海洋センター



●第22回いんのしま健康マラソン大会〈3/3〉
◆因北小学校グラウンド他周辺


●インドアトライアスロンinひろしま〈3/3〉
◆県立総合体育館


●ユアーズカップ第8回広島県ソフトバレーボールフェスティバル
◆県立総合体育館〈3/9·10〉


●JINSEKI 雪どけマラソン〈3/10〉
◆神石町山村開発センター周辺


●MTB大会〈3/17〉
◆国営備北丘陵公園


●第31回坂町駅伝競走大会〈3/17〉
◆坂町北新地グラウンド他周辺


●第14回コミュニティースポーツ大会〈3/17〉
◆坂町北新地グラウンド、坂町B&G海洋センター



●本郷町健康ウォーク大会〈3/17〉
◆本郷町内



●のうみグリーンウォーキング〈3/21〉
◆能美海上ロッジ駐車場～真道山森林公園他



●筆の里スポーツクラブフェスティバル〈3/23〉
◆熊野町民体育館・グラウンド



●親子自転車学校〈3/23、4/13、6/22、9/14〉
◆県立中央森林公園サイクルセンター



●東野町ふるさと探検ウォークラリー〈3/24〉
◆東野町文化センター他町内



●安芸府中チャンピオンシップサッカー大会〈3/26～28〉
◆揚倉山健康運動公園、空城山公園



●2002古鷹山ウォーキングフェスティバル〈4/7〉
◆江田島町古鷹山林道・オタカ広場



●第14回江の川親水マラソン〈4/14〉
◆三次市十日市河川敷（親水公園）



●向島町民グラウンド・ゴルフ大会〈4/14〉
◆向島町運動公園



●第71回加計町民運動会〈4/21〉
◆加計町民体育館



●豊浜町ゲートボール大会〈4/21〉
◆大浜小学校グラウンド



●尾道市ゲートボール連合選手権大会〈4/23〉
◆向東市民スポーツ広場



●安芸府中サッカーフェスティバル〈4/27～29〉
◆揚倉山健康運動公園



●第13回広島県バウンドテニス ダブルス選手権大会
◆広島市佐伯区スポーツセンター〈4/28〉



●第8回新市町グラウンド・ゴルフ大会〈4/28〉
◆芦田川緑地



●呉みなとまつり（大綱引大会）〈4/29〉
◆呉市蔵本通り



●広島県障害者水泳競技大会2002〈4/29〉
◆県立身体障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター



●「わんぱくの森」アスレチックコース体験
◆県立もみのき森林公園〈4/29、5/5〉

協賛事業



●第13回東広島市民スポレク祭グラウンド・ゴルフ大会
◆アクアパーク多目的広場〈5/11〉



●西日本カバディ大会〈5/11・12〉
◆美土里町総合運動公園



●どんぐりテニス大会〈5/12〉
◆豊平町総合運動公園テニス場



●豊浜町ターゲット・バードゴルフ大会〈5/12〉
◆豊浜町架橋記念公園



●第7回豊松村グラウンド・ゴルフ大会〈5/12〉
◆豊松村山村広場



●第15回廿日市市民スポーツ大会〈5/12〉
◆廿日市市スポーツセンター 他



●第20回安浦町総合体育大会〈5/12〉
◆安浦中学校、安浦町民センター 他



●中国地区春季エスキーテニス大会〈5/12〉
◆県立総合体育館 小アリーナ



●第12回広島県グラウンド・ゴルフ交歓大会〈5/12〉
◆休暇村帝釈峡グラウンド・ゴルフ場



●第15回広島県ソフトバレーボール大会〈5/12〉
◆広島サンプラザ



●第23回広島市南区民スポーツ大会〈5/18・19〉
◆マツダ体育館、南区スポーツセンター他



●第5回おおがきスポーツデー〈5/19〉
◆大柿町総合運動公園



●第8回音戸町ファミリーバドミントン大会〈5/19〉
◆音戸勤労者体育センター



●第29回さいきアーチェリー大会〈5/19〉
◆佐伯国際アーチェリーランド



●第23回広島市中区民スポーツ大会〈5/19〉
◆千田公園、中区スポーツセンター 他



●第23回広島市安佐北区民スポーツ大会〈5/19〉
◆安佐北区スポーツセンター 他



●第18回広島市佐伯区民スポーツ大会〈5/19〉
◆佐伯区スポーツセンター 他



●第13回比婆山国際スカイラン大会〈5/19〉
◆県民の森～比婆山連峰



●2002もみのきサイクル耐久レース（春）〈5/19〉
◆県立もみのき森林公園サイクリングコース



●キンボール体験会及び普及指導者講習会兼交流大会
◆県立総合体育館〈5/25〉



●下蒲刈町ゲートボール大会〈5/26〉
◆下蒲刈町民広場



●第19回上下町民運動会〈5/26〉
◆上下運動公園グラウンド



●初夏の野鳥ウォッチングと新緑の森の散策〈5/26〉
◆県立中央森林公園



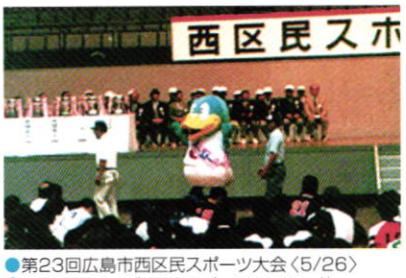
●豊町内親善ソフトボール大会〈5/26〉
◆豊中学校グラウンド



●第25回総領町民運動会〈5/26〉
◆総領小学校グラウンド



●第23回広島市東区民スポーツ大会〈5/26〉
◆戸坂運動広場、東区スポーツセンター他



●第23回広島市西区民スポーツ大会〈5/26〉
◆広島サンプラザ、西区スポーツセンター他



●第23回広島市安佐南区民スポーツ大会〈5/26〉
◆広島修道大学、広島市立大学他



●第23回広島市安芸区民スポーツ大会〈5/26〉
◆瀬野川公園、安芸区スポーツセンター他



●第16回ビーチボールバレー大会〈5/26〉
◆福富町民体育館



●第28回蒲刈町PTA球技大会〈5/26〉
◆蒲刈町B&G海洋センター



●世羅町地区民体育大会〈5/26〉
◆大田小学校、西大田農村広場グラウンド他



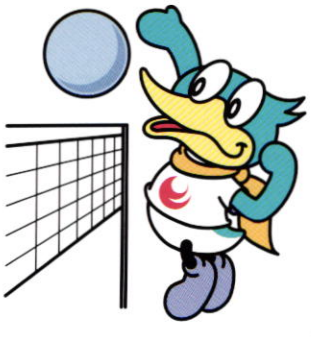
●フィットネスフェスティバルinはつかいち〈6/1・2〉
◆廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）



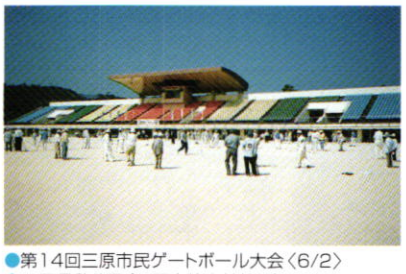
●第8回あったか村スポーツフェスティバル〈6/2〉
◆君田村総合グラウンド



●第12回大和町民ソフトボール大会〈6/2〉
◆白竜湖スポーツ村公園総合運動場



協賛事業



●第14回三原市民ゲートボール大会〈6/2〉
◆三原運動公園（三原市陸上競技場）



●第16回三原市民グラウンド・ゴルフ大会〈6/2〉
◆三原運動公園（三原市民球場）



●第14回東広島市民スポーツ大会（陸上競技の部）
◆アクアパーク陸上競技場〈6/2〉



●宮島町民グラウンド・ゴルフ大会〈6/2〉
◆宮島小・中学校グラウンド



●第11回安芸津万葉バドミントン大会〈6/5〉
◆安芸津町B&G海洋センター



●豊町内親善ソフトバレーボール大会〈6/5・12・19〉
◆豊小学校・旧久比小学校体育館



●第13回尾道市グラウンド・ゴルフ大会〈6/8〉
◆県立びんご運動公園多目的広場



●デュアスロンヒロシマ2002スプリング〈6/8〉
◆県立中央森林公園サイクリングロード



● 100フェスティバル&カーニバル（100セットソフトバレーボール）
◆呉市体育館〈6/8・9〉



●第34回福山地区市町村対抗競技大会〈6/9〉
◆福山市竹ヶ端運動公園、福山市体育館



●わが村を歩こう会〈6/9〉
◆作木村内



●第18回三原マスターズ水泳大会〈6/9〉
◆三原リージョンプラザ温水プール



●第1回上下町民ソフトバレーボール大会〈6/9〉
◆上下高等学校体育館



●第4回東城町チャレンジ・スポーツ大会〈6/9〉
◆東城中央運動公園陸上競技場



●第20回広島県バウンドテニス親善大会〈6/9〉
◆広島市安芸区スポーツセンター



●ウイングカップフットサル大会〈6/15・16・22・23〉
◆豊平町総合体育館（とよひらウイング）



●第3回広島県ターゲット・バードゴルフ大会〈6/16〉
◆県立びんご運動公園他目的広場



●第6回油木町グラウンド・ゴルフ大会〈6/16〉
◆仙養ヶ原ふれあいの里 草原広場



●向島町民ペタンク大会〈6/16〉
◆向島町運動公園芝グラウンド



●第10回自治会対抗市民ラージボール卓球大会
◆大竹市総合体育館〈6/16〉



●第22回神辺町スポーツ祭〈6/16〉
◆神辺町民グラウンド他



●第7回比和町吾妻山クロスカントリー大会〈6/16〉
◆国定公園 吾妻山



●第31回庄原市民キャンプ〈6/22・23〉
◆県民の森キャンプ場



●第6回美土里ビーチボールバレー大会〈6/23〉
◆美土里町B&G海洋センター



●呉市・下蒲刈町ソフトバレーボール大会〈6/23〉
◆下蒲刈町民体育館



●瀬戸田町生涯スポーツ大会〈6/23〉
◆瀬戸田中学校グラウンド他



●ファミリーバドミントン交流大会〈6/23〉
◆海田西中学校体育館



●せらにし青少年旅行村グラウンド・ゴルフ大会〈6/28〉
◆せらにし青少年旅行村グラウンド



●みつやの里スポーツクラブ交流会〈6/29〉
◆吉田運動公園



●全国カローリング交流広島大会〈6/29〉
◆呉市体育館



●WeLoveSportsひろしま スポーツフェスタ2002〈6/29〉
◆広島広域公園（陸上競技場、補助競技場）



●第9回村長杯ビーチボールバレー大会〈6/29、7/6〉
◆布野小・中学校



●第21回熟年ソフトバレーボール大会〈6/30〉
◆久井町B&G海洋センター、久井高等学校



●第18回芸北町民グラウンド・ゴルフ大会〈6/30〉
◆大佐スキー場特設コース



●第2回広島県障害者フライングディスク競技大会〈6/30〉
◆東広島運動公園陸上競技場



●七瀬川フィッシング大会〈6/30〉
◆佐伯町七瀬川渓流釣り場

協賛事業



●広島県インディアカ交流会〈6/30〉
◆広島市東区スポーツセンター



●第20回上下町民ゲートボール大会〈7/5〉
◆上下運動公園グラウンド



●第12回庄原市スポーツフェスティバル
◆庄原市総合体育館他〈7/7~7/21〉



●第4回三次市民グラウンド・ゴルフ大会〈7/7〉
◆みよし運動公園陸上競技場



●第17回広島県ゲートボール選手権大会〈7/7〉
◆三原市運動公園陸上競技場



●第9回カーター記念球場招待ゲートボール大会〈7/13〉
◆甲奴町カーター記念球場



●第25回広島市スポーツ少年団大会〈7/13~10/5〉
◆広島県総合グランド陸上競技場、各区スポーツセンター他



●第8回三和町グラウンド・ゴルフ大会〈7/14〉
◆三和中学校グラウンド



●向島町民ソフトバレーボール大会〈7/14〉
◆向島町マリン・ユース・センター



●大朝町支部対抗球技大会〈7/14〉
◆大朝中学校、クローバードーム



●河内町コミュニティーソフトバレーボール大会〈7/14〉
◆入野小学校体育館



●ニュースポーツフェスタ2002〈7/14〉
◆湯来町総合体育館



●第34回御調町内ソフトボール大会〈7/14〉
◆御調町ソフトボール球場



●第35回御調町内バレーボール大会〈7/14〉
◆御調町民体育館



●第12回作木村内ビーチボールバレー大会〈7/15〉
◆作木中学校体育館



●吉舎町内グラウンド・ゴルフ交歓大会〈7/20〉
◆吉舎町農山村広場



●さわやかウォークの日〈7/21〉
◆東広島市小谷小学校~小谷ウォーキングコース他



●第16回支部対抗ソフトボール大会〈7/21〉
◆千代田町運動公園



●第43回支部対抗バレーボール大会〈7/21〉
◆千代田町運動公園



●安浦町小学生スポーツ大会〈7/21〉
◆安浦中学校、安浦町民センター他



●第2回ミニトライアスロン競争大会〈7/27〉
◆千代田町古保利橋周辺



●みんなであそぼう ゆうすふる サンデー〈7/27〉
◆高宮町B&G海洋センター



●MTBもみのきサイクル耐久レース&クロスカントリーレース
◆県立もみのき森林公園サイクリングコース〈7/28〉



●第36回三次地区陸上競技大会〈7/28〉
◆みよし運動公園陸上競技場



●第19回八幡川リバーマラソン〈7/28〉
◆広島市八幡川河川敷（三島橋下）



●第7回比和町かさべるで杯親善ゲートボール大会〈7/28〉
◆比和町総合運動公園多目的広場



●吉和村内グラウンド・ゴルフ大会〈7/28〉
◆吉和村農村広場



●第5回近郡市健康づくり親善ゲートボール大会〈8/1〉
◆総領町田総の里多目的広場



●口和町分館対抗ソフトボール大会〈8/1・2〉
◆口和町運動公園



●高蓋地区ジョギングの会〈8/3〉
◆三和町さんわ総合センター周辺



●第1回庄原市民グラウンド・ゴルフ大会〈8/3〉
◆（株）ニッテツグラウンド



●第8回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース
◆道後山高原クロカンパーク〈8/3・4〉



●八千代湖交流ボート大会〈8/4〉
◆八千代湖



●第56回県内オープンソフトテニス大会〈8/4〉
◆世羅町せら香遊ランドテニスコート



●第13回高宮町民健康づくり朝のつどい〈8/4〉
◆川根コミュニティ広場他9会場



協賛事業



●甲山町ソフトバレーボール大会〈8/4〉
◆甲山中学校体育館



●第26回上下町民ソフトボール大会〈8/4〉
◆上下運動公園、上下高等学校、上下中学校



●第53回呉の夏まつり（よしゃこい踊り大会）〈8/4〉
◆呉市中央公園



●第14回吾妻山グリーンラリー〈8/8〉
◆比和町民会館、国定公園吾妻山



●第3回おりづる広島オープン車いすバスケットボール大会〈8/10・11〉
◆身体障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター他



●第38回三次地区学童水泳記録会〈8/11〉
◆三次市営水泳プール



●夏だキャンプだファイヤーだ〈8/13～15〉
◆県民の森キャンプ場



●第47回甲奴町内野球大会〈8/15〉
◆カーター記念球場、甲奴中学校グラウンド



●第3回ひろしまクロスカントリー大会〈8/17〉
◆道後山高原クロカンパーク



●100フェスティバル&カーニバル（100イニングソフトボール）
◆呉市民広場〈8/17〉



●豊浜町グラウンド・ゴルフ大会〈8/17〉
◆豊浜町架橋記念公園



●青少年剣道錬成大会〈8/17・18〉
◆県立ふれあいの里青年の家、御調高等学校・御調中学校



●水辺の自然観察と野外ゲーム〈8/18〉
◆県立中央森林公園



●第3回ウイングカップJrソフトボールフェスティバル〈8/18〉
◆豊平町総合運動公園野球場（どんぐりスタジアム）



●第14回東広島市民スポーツ大会（球技の部）〈8/18〉
◆アクアパーク陸上競技場・体育館他



●安芸ッ子チャレンジキャンプ〈8/20～22〉
◆倉橋町桂浜ふれあいセンター他周辺



●夏山ワクワクなぎなたフェスティバル兼西城町長杯なぎなた競技会
◆道後山高原総合体育館〈8/23～25〉



●第10回宮島コーラルソフトバレーボール交流フェスティバル
◆大野町体育館〈8/24・25〉



●ラグビーフットボール交流会〈8/24·25〉
◆県立ふれあいの里青年の家



●第7回広島県インディアカ大会〈8/25〉
◆廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）



●第27回竹原市民体育大会〈8/25〉
◆総合公園バンブー·ジョイ·ハイランド 他



●尾三地区体育協会連絡協議会交流競技大会〈8/25〉
◆世羅町せら香遊ランド芝生広場



●第21回東区親善スポーツ大会〈8/25〉
◆戸坂中学校



●口和町グラウンド·ゴルフ大会〈8/26〉
◆口和町運動公園



●第16回広島県女子ゲートボール選手権大会〈9/1〉
◆三次市十日市町河川敷特設コート



●2002尾道市スポーツフェスティバル〈9/1〉
◆県立びんご運動公園、東尾道市民スポーツ広場他



●吉田町スポーツ·レクリエーション大会〈9/1〉
◆吉田運動公園



●第19回八幡高原聖湖マラソン大会〈9/1〉
◆芸北町八幡高原191スキー場～八幡高原聖湖畔



●第4回広島県ターゲット·バードゴルフ大会〈9/8〉
◆県立びんご運動公園多目的広場



●第20回神辺町陸上選手権大会〈9/8〉
◆神辺町民グラウンド



●第24回筒賀村民運動会〈9/8〉
◆筒賀小学校グラウンド



●豊町内職域団体対抗ゲートボール大会〈9/14〉
◆旧久比小学校グラウンド



●全国レクリエーションラージボール卓球大会〈9/18·19〉
◆吉田町運動公園体育館



●ファミリーキャンプ〈9/21·22〉
◆県立吉田少年自然の家



●ファミリーキャンプ「ふれあい·スポレクまつり」
◆県立福山少年自然の家〈9/21·22〉



●第7回筒賀村グラウンド·ゴルフ大会〈9/22〉
◆筒賀村多目的スポーツ広場

協賛事業



●第54回ふくやまスポーツ祭〈9/22〉
◆福山市竹ヶ端運動公園他



●第4回広島県ユニカール大会〈9/22〉
◆福山市東小学校体育館



●2002もみのきサイクル耐久レース(秋)〈9/22〉
◆県立もみのき森林公園サイクリングコース



●第8回沼隈町グラウンド・ゴルフ大会〈9/23〉
◆みろくの里 ショートコースゴルフ場



●中国地区秋季エスキーテニス大会〈9/23〉
◆広島市東区スポーツセンター



●みつやの里スポーツクラブ交流会〈9/28〉
◆吉田運動公園



●第9回三良坂オープンふれあいビーチボールバレー大会
◆三良坂町立体育館〈9/29〉



●豊町内職域団体対抗バレーボール大会〈9/29〉
◆旧沖友小学校体育館



●ファミリー投げ釣り大会(宮島キス投げ釣り大会)〈9/29〉
◆宮島町桟橋前広場・町内の海岸



●第1回広島県身体障害者陸上競技大会〈9/29〉
◆東広島運動公園陸上競技場



●広島マウンテンバイカーズ・フェスティバル 2002〈9/29〉
◆国営備北丘陵公園



●デュアスロンヒロシマ2002チャンピオンシップ〈9/29〉
◆県立中央森林公園サイクリングロード



●インドアトライアスロンinひろしま〈10/5〉
◆県立総合体育館



●スポレク広島2002親子ふれあいトスボール大会
◆広島市西部埋立第5公園〈10/5〉



●全日本ポケットビリヤードU.Sナインボール大会〈10/5・6〉
◆東広島市賀茂ボール



●10人制ラグビーフットボール大会〈10/5・6〉
◆広島県総合グランドラグビー場



●大崎町町民体育大会〈10/6〉
◆中野小学校グラウンド



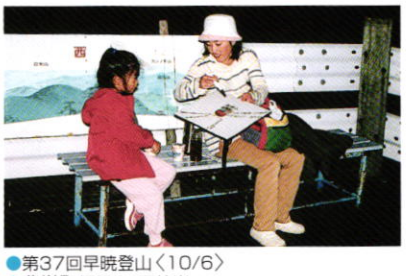
●ふるさと再発見"ウォーク・ラリー KAITA"〈10/6〉
◆海田小学校グラウンド他町内



●ウォークラリー大会「歩いてわが町を知ろう」〈10/6〉
◆黒瀬町文化センター周辺



●第6回甲田町民スポーツ大会地区対抗グラウンド・ゴルフ大会
◆甲立多目的広場〈10/6〉



●第37回早暁登山〈10/6〉
◆豊栄町板鍋山・天神嶽



●第6回広島ミニテニス交流大会〈10/6〉
◆広島市中区スポーツセンター



●のうみ健康ウォーク〈10/6〉
◆能美町のうみスポーツセンター他町内



●第58回東野町民体育大会〈10/6〉
◆東野小・中学校グラウンド



●青年の家ひろば〈10/6〉
◆県立七塚原青年の家



●むかいはら ふれあいピック〈10/6〉
◆向原町運動広場



●第5回深入山グラウンド・ゴルフ大会〈10/6〉
◆戸河内町深入山グリーンシャワー



●第16回もみのき森林公園ファミリーマラソン〈10/6〉
◆県立もみのき森林公園



●広島パークオリエンテーリング大会〈10/6〉
◆広島市中央公園、県立総合体育館周辺



●広島市立大学国際学部「フライングディスク教室」〈10/6〉
◆広島市立大学グラウンド



●スポレク広島2002スポーツチャンバラ大会〈10/6〉
◆県立総合体育館武道場



●全国パドルテニス大会〈10/6〉
◆佐伯町総合スポーツ公園・友和小学校体育館



●ヒューストン吹矢競技選抜全日本選手権大会〈10/6〉
◆大竹市総合体育館



●第11回フィンスイミング短水路日本選手権大会〈10/6〉
◆県立総合体育館プール



●全国マレットゴルフひろしま交流大会〈10/7・8〉
◆県立みよし公園



開催までのあゆみ



「第15回全国スポーツ・レクリエーション祭」広島県実行委員会設立総会
〔平成13年5月21日〕



「第14回全国健康福祉祭広島大会2001ねんりんピック広島」でのPR
〔平成13年10月6日～9日〕



スポレク祭1年前WEEK
〔平成13年10月7日～13日〕



「スポレク2001みえ」でのPR
〔平成13年11月10日～13日〕



年末交通事故防止キャンペーンでのPR
〔平成13年12月11日〕



新春PRイベント（残日計の除幕式）
〔平成14年1月5日〕



「2002ひろしまフラワーフェスティバル」でのPR（平和大通りパレード）
〔平成14年5月3日～5日〕



「2002 ひろしま夏祭り太田川花火大会」でのPR
〔平成14年8月10日〕



100日前イベント（「スポーツフェスタ2002」と同時開催）
〔平成14年6月29日〕



1ヵ月前イベント（「スポレク・アービー号」出発式）
〔平成14年9月6日〕



1ヵ月前イベント（1ヵ月前式典）
〔平成14年9月6日〕



「ひろしまバスまつり」でのPR
〔平成14年9月15日〕

制作物

ポスター



第1次



第2次



第3次



第4次（祭典案内）

PRポスター



スローガン・マスコット募集



キャンペーンスタッフ募集

PRチラシ



デザインシート



協賛事業案内



祭典総合ガイドブック 会場案内・プログラム



宿泊・輸送 医事衛生関係



スポレク弁当



種目別大会要項 参加申込書



種目別大会プログラム



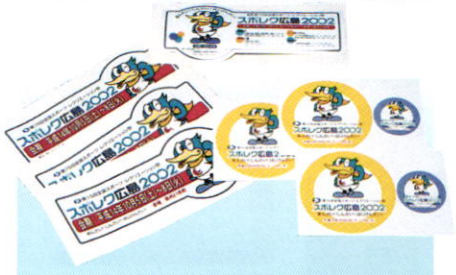
賞状・委嘱状 大会記録報告書



ゼッケン



ステッカー・シール



封筒・エコー葉書 バスカード・宝くじ



入場券



PRグッズ



Tシャツ・ぬいぐるみ



広報制作物
（メモ帳・ティッシュ・バッジ・ばんそうこう等）



広報制作物
（うちわ・ウォッシュタオル・ハンドタオル）

手提袋等



ナイロンストリングバッグ・ポリ手提袋
紙袋

参加記念品



アービーポシェット・バンダナ
便箋セット（授産施設製品）

服飾



ジャンパー〔上〕（広報用）
ジャンパー〔下〕・帽子・名札
（実施本部員・ボランティア用・報道関係者用）

のぼり旗



一般広報用



歓迎用

祭典記録ビデオ



制作物

広告塔・看板



看板（福山駅）



看板（広島駅）



残日計（広島県庁）



広告塔



懸垂幕



バナー
（平和大通り）



PRパネル（広島県庁）



路面電車側面広告（スポレク・アービー号）

県民の参画


県立西条農業高等学校生徒による
開会式会場を飾るサルビアの植替え


ボランティア活動



開催概要

祭典概要

全体概要 …… 82
事業概要 …… 82
主催事業 …… 82
・開会式 …… 82
・特別行事 …… 84
・シンポジウム …… 84
・種目別大会 …… 86
・閉会式 …… 91
協賛事業 …… 92

準備概要

総　務 …… 97
企画広報 …… 107
宿泊輸送 …… 115
式　典 …… 122
種目交流 …… 125

資　料

準備経過の概要 …… 127
全国スポーツ・レクリエーション祭開催要綱 …… 132
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項 …… 132
関係要項・要領等 …… 135
広島県実行委員会会則 …… 170
広島県実行委員会事務局規程 …… 171

名　簿

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭祭典役員 …… 174
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会等 …… 176

祭典概要

Ⅰ　全体概要

1　概　　況

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」は、平成１４年１０月５日（土）～８日（火）の４日間、全国各地や韓国から多くの参加者を迎え、爽やかな汗と笑顔で交流の輪を広げ、「楽しさ」「気軽さ」「感動」を発見できた祭典となり、成功裏に終了しました。

「スポレク広島２００２」では、種目別大会２５種目（都道府県代表参加種目１８、フリー参加種目７）、協賛事業２４９事業が実施されました。特に協賛事業は、過去最大の事業数となり、平成１４年１月１日から１０月８日にかけて、広島県内全市町村で多彩なスポーツ・レクリエーション活動が展開され、多くの県民が参加しました。

2　趣　　旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭は、広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実施する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的としています。

3　基本方針

全国から集う人々と県民との交流を図り、楽しさ（Enjoyment）・気軽さ（Ease）・感動（Excitement）を発見できる祭典とし、地域を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ることを基本的な方針としました。

4　名称、スローガン及びマスコット

（１）名　　称　　第15回全国スポーツ･レクリエーション祭
　　「スポレク広島２００２」
（２）スローガン　　「来んさい！しんさい！はじけんさい！」
（３）マスコット　　「アービー」

5　主催者

文部科学省、広島県、（財）日本体育協会、（財）日本レクリエーション協会、（社）全国体育指導委員連合

ただし、種目別大会については、各種目団体、会場地市町村及びその他この祭典の趣旨に賛同する団体

6　会　　期

平成１４年１０月５日（土）～８日（火）　４日間

7　事業内容

（１）主催事業
　①　開会式
　②　特別行事
　③　シンポジウム
　④　種目別大会
　⑤　閉会式（リレーステージ）
（２）協賛事業

8　参加者数

（単位：人）

事業名	参加者内訳	人数
開会式	選手・監督	9,531
	出演者	7,663
	観客	16,948
	招待者	775
	実施本部員、ボランティア等（報道員、視察を含む。）	1,934
	小計	36,851
特別行事	10月5日（実施本部員、ボランティアを含む。）	41,451
	10月6日（実施本部員、ボランティアを含む。）	52,700
	小計	94,151
シンポジウム	出演者	62
	観客	1,623
	招待者	38
	実施本部員、ボランティア等（報道員を含む。）	105
	小計	1,828
種目別大会	選手・監督	26,405
	役員・係員	14,388
	観客	26,830
	ボランティア	5,240
	小計	72,863
閉会式	選手・監督	205
	出演者	202
	観客	429
	招待者	126
	実施本部員、ボランティア等（報道員、視察を含む。）	187
	小計	1,149
協賛事業	選手・監督	119,505
	観客等	135,149
	小計	254,654
合計		461,496

Ⅱ　事業概要

【主催事業】

1　開会式

（１）日　時　平成１４年１０月５日（土）
　　１２：３０～１４：４０（開場　１１：００）
（２）会　場　広島広域公園陸上競技場（広島ビッグアーチ）
（３）内　容

開会式は、「来んさい！しんさい！はじけんさい！」の祭典スローガンのもと、オープニング、セレモニー、アトラクションの三部で構成しました。観客と参加者の一人ひとりが主体的に参加し、すべての人が感動を分かち合うとともに、広島の自然、歴史と伝統に育まれた文化を紹介し、「広島の活力」をアピールしました。

まず、第１部・オープニングでは、小学生のマーチングドリルを幕開けに、スポレク祭のため高校生を中心として編成されたスポレクバトンチームが、ダイナミックなバトン演技を披露しました。

続いて、都道府県代表参加種目開催市町の子どもたちにより、実施種目が紹介されました。そして、スポ

レク吹奏楽団とスポレク合唱団により、スポレクテーマソング「明日を信じて」が演奏、合唱される中、バックスタンドでは3,０００人の高校生が人文字を、フィールドでは４００人の中学生が広島の２つの世界遺産「原爆ドーム」と「宮島大鳥居」の地上絵を披露し、会場を沸かせました。

第２部・セレモニーの各都道府県選手団の入場では、新しい入場方法を採用しました。各都道府県の選手も観客の一人としてスタンドに着席する中、代表３８人がアピールステージで「一言メッセージ」の後、フィールドに直接入場しました。お国言葉を交えた楽しいメッセージが交換されました。

その後、広島県選手団が各都道府県選手団代表をハイタッチにより歓迎するなど、選手を主役とした広島らしいセレモニーになりました。

セレモニーの最後には、広島県選手団代表２人が「スポレク宣言」を元気に行いました。

バックスタンドでは、3,０００人の高校生が祭典スローガンのヒューマンアートを披露しました。

第３部・アトラクションは、祭典スローガンの「来んさい！しんさい！はじけんさい！」にちなみ、３つの構成にし、第１景「来んさい！」は、フィールドミュージカル「いのちの旅」で、１枚のもみじの葉っぱを主人公に、未来を担う子どもたちがダンス＆ミュージックで四季の移り変わりの中で育まれる生命の輝き、生命の尊さを表現しました。

第２景「しんさい！」は、ボディパーカッション「手拍子の花束」で、選手、観客などスタンドの全員が一体となって手拍子のハーモニーを響かせました。これだけ多くの人が参加して行うのは、世界初の試みでした。

第３景「はじけんさい！」は、「ヤングマン２００２」の大合唱で、西城秀樹さんの登場とともに、選手、観客も一緒に歌い踊り、開会式は最高潮に達しました。エンディングでは、子どもたちの明日への夢や願いを書いたメッセージとともに、環境に優しいエコ風船を大空に放ちました。

スポレクテーマソング「明日を信じて」が再び流れる中、全出演者が選手、観客に手を振り、明日から始まる種目別大会での選手の皆さんの健闘を願いながらフィナーレとなりました。

次　第	時刻	シーン	内　容
前説及びボディパーカッション事前練習	12:00	前説及びボディパーカッション事前練習	司会者挨拶（司会：風見　しんご、アシスタント　森　好香）、アービースタンドの観客等、ボディパーカッションの事前練習
オープニング	12:30	オープニング 実施種目紹介 スポレクテーマソング合唱	マーチングドリル演奏、バトン演技 都道府県代表参加種目開催市町の子どもたちにより、それぞれ実施種目の紹介 祭典テーマソング「明日を信じて」の演奏と合唱、フィールドでは、中学生により、２つの世界遺産「原爆ドーム」と「宮島大鳥居」の地上絵を披露
セレモニー	13:05	アテンション／平和の鐘 国旗・祭典旗・県旗入場 開式通告 選手団入場 選手整列 開祭宣言 国旗掲揚 祭典旗・県旗掲揚 主催者挨拶 歓迎挨拶 スポレク宣言 選手退場	場内に平和の鐘が鳴り響く カラーガード＆鼓隊の先導で、ボーイスカウトとガールスカウトにより、国旗・祭典旗・県旗入場。ヒューマンアート 司会者による開式通告 各県の選手団代表が、選手団席よりアピールステージで一言メッセージを披露してフィールドへ。広島県選手団とハイタッチを交わして交差し整列 韓国選手団紹介、ヒューマンアート 広島県知事　　藤田　雄山 国歌斉唱の中、国旗掲揚 祭典テーマソング「明日を信じて」の演奏で、祭典旗と県旗を同時に掲揚 文部科学大臣　　遠山　敦子 広島県議会議長　檜山　俊宏 広島県選手団代表　　田槇　昭、山口　セツコ 選手団は特設階段よりスタンドに退場。ヒューマンアート
アトラクション	14:05	第１景／「来んさい！」 第２景／「しんさい！」 第３景／「はじけんさい！」 フィナーレ	フィールドミュージカル～いのちの旅～小・中学生を中心に高校生と専門学校生で編成するミュージック・キッズによるフィールド・パフォーマンス ボディパーカッション～手拍子の花束～スタンドの選手、観客全員でボディパーカッション（リーダー：日本ボディパーカッション協会　山田　俊之） ヤングマン２００２～西城秀樹登場～会場全体で「ヤングマン２００２」の大合唱、終わりに子どもたちのメッセージを付けたエコ風船を放天 拍手の中、祭典テーマソング「明日を信じて」の合唱
	14:30	閉式通告	司会者による閉式通告

祭典概要

2　特別行事

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　9:00～17:00
　　平成14年10月6日（日）　10:00～16:00
（2）会　場　広島広域公園
（3）内　容

夢きらめきゾーンなど3つのゾーンを設け、生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動に対する関心を高めるとともに、スポレクに関する情報発信やニュースポーツの体験・紹介などにより、楽しさと気軽さを実感できるような構成としました。

また、全国からの参加者と県民が気軽にふれあい、交流を深める場として、広島の郷土芸能や特産物の紹介などにより、広島らしさをアピールするとともに、完全学校週5日制の実施を踏まえ、家族やグループ、地域で参加し、楽しめる内容としました。

●夢きらめきゾーン

広島の伝統芸能やバラエティーに富んだステージ、広島の郷土料理を味わうコーナーなど、家族で楽しめる内容で構成しました。

コーナー名	内　容
広島まるかじり（特産・名産）コーナー	飲食、お土産など
広島県観光情報コーナー	広島県内の観光案内
セルプ製品（障害者手作り製品）コーナー	県内の授産施設で制作した製品の販売
郵便局コーナー	切手類・記念台紙販売、ゆうパック引き受け
協賛企業コーナー	「スポレク広島２００２」の協賛企業の製品販売
夢きらめきステージ	次期開催県（香川県）ＰＲ 郷土芸能（神楽・備後大田庄太鼓など） 車いすダンス とっとこハム太郎着ぐるみショー ケインに挑戦！ニュースポーツ！ 健康ガムカムダンベル体操 よしもとモーレツスポレク教室
スポーツ文化継承展「残したい　広島スポーツ博物史」	広島県出身の故織田幹雄選手の日本人初の金メダルの展示や懐かしい体操服、県内のスポーツに関する貴重な品々の展示
スポレクおもてなし茶屋（5日のみ）	お茶のサービス
日赤アフガン難民救援金	募金支援活動（場の提供）

●ふれあい交流ゾーン

大会参加者と広島県民、大会参加者同士が交流できる内容で構成しました。また、広島県外からの選手の皆さんにエールを込めて、在広都道府県人会による郷土料理・観光情報コーナーや後催県コーナーを設けました。

コーナー名	内　容
ふるさと応援団	在広都道府県人会による郷土料理の提供・販売及び観光情報の提供（広島道産子会、ひろしま福島県人会、広島福井県人会、広島鳥取県人会、広島島根県人会、広島山口県人会、在広鹿児島県人会）
後催県（香川県、福井県、岩手県）コーナ	後催県の紹介
健康ガムカムダンベル体操	体操指導、咀嚼力測定
ふれあいフリーマーケット	１日３６店×２日間
ＪＡの秋まつり「実りの収穫祭」（同時開催）	オリジナルふりかけをつくろう ひろしまオリジナル丼 ドリブルコンテスト おかわりステージ 地産地消
NHK「ふるさとの食　にっぽんの食」広島フェスティバル（同時開催）	
広島まるかじり（特産・名産）コーナー	飲食、お土産など

●元気・体験ゾーン

来場者が、スポーツ・レクリエーションを様々な形で気軽に参加、体験できる内容で構成しました。

コーナー名	内　容
ニュースポーツ体験コーナー	フライングディスク、カバディ、ユニカール、スポーツチャンバラ、クロリティー、トランポビクス、ディスコン、お手玉、ペタンク
レクリエーション情報コーナー	ニュースポーツ・レクリエーションの紹介、用具の展示・販売
こども元気プラザ	キックスピード測定ゲーム ハンドボールフリーシュート バドミントンでサービスエース アタックｄｅビンゴ バスケットフリースローゲーム 大型遊具（ジャングルスライダー）
サッカー広場	５日のみ
スポレク広島２００２記念カップフットサル大会	６日のみ、総勢２２チームが参加、「サンフレッチェ」の選手も来場し、サッカー教室も併せて開催
からだ元気・体験コーナー	（社）広島県柔道接骨師会、（社）広島県鍼灸マッサージ師会によるコーナー
広島まるかじり（特産・名産）コーナー	飲食、お土産など

3　シンポジウム

（1）日　時　平成１４年１０月６日（日）
　　１３：３０～１５：３０（開場　１２：３０）
（2）会　場　ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）
（3）内　容

①　方　　針

ア　スポーツ界の第一人者に勝利にかける情熱を熱く語ってもらい、会場の若者たちにとってある意味では辛口とも思えるトークの中で、次世代に対する深い愛情と希望のこもったメッセージを伝える。

イ　スポーツ・レクリエーションを競技面から語ってもらうとともに、各パネリストの体験談を通して地域におけるスポーツ・レクリエーションの役割や意義を伝える。

②　構　　成

第１部では、プレアトラクションとして、スポレクはじけ隊によるボディパーカッションで心と身体のス

トレッチを行い、第２部では、スポーツ界の頂点を極めた個性的なパネリストが一堂に会し、自らの経験に基づくパワフルなスポーツトークを展開しました。

ア　テーマ　「Ｗｉｌｌ　Ｔｏ　Ｗｉｎ！～勝つことではなく　勝とうとすること～」

イ　第１部　プレアトラクション

スポレクはじけ隊によるボディパーカッション

ボディパーカッションインストラクター：
河上　典子

「スポレクはじけ隊」：
福山市立駅家小学校ボディパーカッションクラブ
ダンスチーム『アフター・ファイブ・キッズ』

ウ　第２部　スポーツトーク

「いっしょうけんめいについて考える」

①勝ち続けること、その喜びと苦しみ、②子どもたちの輝く瞳、そのきっかけづくり、③体・技・心、自分を見つめること、④これからの日本のスポーツ環境というテーマでスポーツトークを行いました。会場からの質疑応答があり、エンディングでは、色紙にパネリスト４人のメッセージを書いて紹介しました。

コーディネーター：荒井貞光
パネリスト　：坂田信弘
　奥寺康彦
　荻原健司
　梶川洋子
司　会　：長竹千賀

出演者プロフィール

荒井貞光（広島市立大学教授）

神奈川県出身。東京教育大学（現筑波大学）体育学部大学院修士課程修了。広島大学総合科学部助教授などを経て、現在は広島市立大学国際学部教授。専門はスポーツ社会学。日本体育学会理事、日本スポーツ社会学会理事。クラブ文化の再生や楽しむスポーツの推進者として知られ、総合型地域スポーツクラブの設立やスポーツクラブ都市を模索中。

坂田信弘（プロゴルファー）

熊本県出身。京都大学中退後２４歳でプロゴルファーを目指す。プロテスト合格後はツアー参戦。ゴルフ場設計者、坂田ジュニアゴルフ塾塾長としても活躍し、若手育成に熱い情熱を傾けている。日本漫画大賞受賞のゴルフ漫画「風の大地」の原作者としても知られる。ゴルフ界特別功労賞受賞。著書には「野生塾」などがある。

奥寺康彦（横浜ＦＣゼネラルマネージャー）

神奈川県出身。昭和５２年、旧西ドイツの名門チーム「１ＦＣケルン」から日本人初のプロサッカー選手としてデビュー。以後９年間、ブンデスリーガ（西ドイツ１部リーグ）で通算２３５試合出場、２５得点。昭和６１年に帰国し日本国内初のプロサッカー選手となる。

現在は横浜ＦＣ代表取締役ゼネラルマネージャー。２００２年ＦＩＦＡワールドカップ™横浜開催準備委員も務めた。

荻原健司（元ノルディック複合日本代表）

群馬県出身。１９９２年アルベールビル冬季五輪、１９９４年リレハンメル冬季五輪の団体で連続金メダル。ワールドカップでも１９９３年、１９９４年、１９９５年と個人総合３連覇の偉業を成し遂げ「キングオブスキー」として海外からも厚く支持される。１９９８年の長野冬季五輪では、日本選手団主将として選手宣誓を務め、弟・次晴氏と共に出場した記憶も新しい。２００２年ソルトレークシティ冬季五輪で４大会連続出場を果たし、２００２年５月、惜しまれながら現役を引退した。

梶川洋子（ドッジボール全国大会優勝監督）

広島県出身。平成４年７月に廿日市市の子どもたちのドッジボールチーム「金剛寺ファイターズ」を結成し、平成１４年３月までの約１０年間監督を務めた。この間、チームを全国制覇３回、３位３回のチームに育てた。容赦ない梶川さんの厳しい特訓に戸惑いながらも、メンバーたちに徐々に変化が起こる姿は全国に感動を呼んだ。現在は府中町のドッジボールチーム「マンテン・スターキッズ」顧問。平成１４年８月の全国大会では３位に入賞。

河上典子（ボディパーカッション・インストラクター）

岡山県出身。昭和５７年から劇団「レット・アス・ビー」、ミュージカル劇団「アフター・ファイブ・キッズ」を旗揚げ。岡山市制１００周年記念市民ミュージカル「おかやまものがたり」主役。ミュージカル劇団「アフター・ファイブ・キッズ」のオリジナルミュージカル「ピコの冒険」では演出、脚本、作詞・作曲、振り付けを担当し、主役「ピコ」を演じる。レクリエーション指導者として活躍し、平成１３年以降「スポレク広島２００２」のボディパーカッション・インストラクターを務めた。

福山市立駅家小学校ボディパーカッションクラブ

５、６年生のクラブ活動の中の「おどりクラブ」から発展して生まれたクラブ。流行歌、民謡、古典の長唄など日本の踊りや、様々な海外の踊りの中で、身体を叩いて演奏しながら踊るボディパーカッションは「宇宙にも通じるアクション」であると感じながら楽しんでいる。今回は、ボディパーカッションクラブのメンバーに加え、駅家小学校の仲間たちも応援参加して元気いっぱいのステージを披露した。

ダンスチーム『アフター・ファイブ・キッズ』

今回の「スポレク広島２００２」のために再結成されたスペシャル・ダンスチーム。踊ることにかけてはとにかく「いっしょうけんめい」というメンバーは、仕事も年齢も様々。人間の身体の音を使って踊るボディパーカッションで、どこまで想いを表現できるかに挑戦するメンバーが「元気」パワーを会場中に発散した。

祭典概要

4　種目別大会

【都道府県代表参加種目】

＜グラウンド・ゴルフ＞

主　催　（社）日本グラウンド・ゴルフ協会、福山市

主　管　広島県実行委員会、広島県グラウンド・ゴルフ協会、
福山市実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式 プレー1日目(16ホール)	プレー2日目(8ホール) 表彰式

会　場　福山市　福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場・野球場

＜ゲートボール＞

主　催　（財）日本ゲートボール連合、竹原市

主　管　広島県実行委員会、広島県ゲートボール連合、
竹原市実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式 予選リーグ戦	決勝リーグ戦 表彰式

会　場　竹原市　総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド
多目的グラウンド

＜壮年サッカー＞

主　催　（財）日本サッカー協会、広島市、府中町、吉田町

主　管　広島県実行委員会、（財）広島県サッカー協会
広島市実行委員会、府中町実行委員会、
吉田町実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）・8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ戦	予選リーグ戦	順位決定戦 交流戦 表彰式

会　場　広島市　広島広域公園第一球技場、
広島県総合グランド、
広島修道大学第3グラウンド
府中町　揚倉山健康運動公園球技場、
揚倉山健康運動公園多目的広場
吉田町　吉田サッカー公園

＜ソフトバレーボール＞

主　催　（財）日本バレーボール協会、
日本ソフトバレーボール連盟、三次市

主　管　広島県実行委員会、（財）広島県バレーボール協会、
広島県ソフトバレーボール連盟、三次市実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）・8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ戦	順位別決勝リーグ 表彰式	順位別決勝トーナメント 表彰式

会　場　三次市　県立みよし公園カルチャーセンター

＜女子ソフトボール＞

主　催　（財）日本ソフトボール協会、東広島市、大和町

主　管　広島県実行委員会、広島県ソフトボール協会、
東広島市ソフトボール協会、
三原地区ソフトボール協会、
東広島市実行委員会、大和町実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）・8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ戦	予選リーグ 決勝トーナメントの準決勝	決勝トーナメントの決勝 表彰式

会　場　東広島市　東広島運動公園　多目的広場
東広島運動公園　運動広場
東広島市立向陽中学校
大和町　白竜湖スポーツ村公園　総合運動場
白竜湖スポーツ村公園　野球場

＜ラージボール卓球＞

主　催　（財）日本卓球協会、因島市

主　管　広島県実行委員会、広島県卓球協会、因島市実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）・8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 第1ステージリーグ	順位別決勝リーグ ・トーナメント 表彰式	決勝トーナメント 表彰式

会　場　因島市　因島勤労者体育センター

＜ターゲット・バードゴルフ＞

主　催　日本ターゲット・バードゴルフ協会、尾道市

主　管　広島県実行委員会、広島県ターゲット・バードゴルフ協会
尾道市実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式 個人戦	2人組戦 表彰式

会　場　尾道市　県立びんご運動公園多目的広場

＜男女混合綱引＞

主　催　（社）日本綱引連盟、呉市

主　管　広島県実行委員会、広島県綱引連盟、
呉市実行委員会

期　日　平成14年10月6日（日）・7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式 予選リーグ	決勝リーグ 表彰式

会　場　呉市　呉市体育館

＜年齢別テニス＞

主　催　（財）日本テニス協会、尾道市

主　管　広島県実行委員会、広島県テニス協会、
尾道市実行委員会

期　間　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 予選リーグ	決勝トーナメント 表彰式

会　場　尾道市　県立びんご運動公園テニスコート

＜年齢別ソフトテニス＞

主　催　（財）日本ソフトテニス連盟、福山市
主　管　広島県実行委員会、広島県ソフトテニス連盟、
　　福山市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）・８日（火）

１０月６日（日）	１０月７日（月）	１０月８日（火）
開始式 予選リーグ戦	予選リーグ 順位別決勝リーグ	決勝トーナメント 表彰式

会　場　福山市　福山市竹ヶ端運動公園庭球場

＜バウンドテニス＞

主　催　日本バウンドテニス協会、大野町
主　管　広島県実行委員会、広島県バウンドテニス協会、
　　大野町実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 チーム別対抗BTラリー戦 予選リーグ 順位決定戦	順位決定戦 スポレク・BTラリー戦 表彰式

会　場　大野町　大野町体育館

＜年齢別バドミントン＞

主　催　（財）日本バドミントン協会、呉市
主　管　広島県実行委員会、広島県バドミントン協会、
　　呉市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）・８日（火）

１０月６日（日）	１０月７日（月）	１０月８日（火）
開始式 ２チーム戦 交流ゲーム	勝敗別グループリーグ戦 特別賞表彰式	表彰トーナメント戦 表彰式

会　場　呉市　日新製鋼株式会社呉製鉄所体育館、
　　呉市警固屋体育館

＜壮年ボウリング＞

主　催　（財）全日本ボウリング協会、広島市
主　管　広島県実行委員会、広島県ボウリング連盟、
　　広島市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）・８日（火）

１０月６日（日）	１０月７日（月）	１０月８日（火）
開始式 男女混合4人チーム戦	男女混合4人チーム戦 年代別男女混合2人チーム戦	年代別男女混合2人チーム戦 表彰式

会　場　広島市　ヒロシマ・アリーナ（公認競技場No.33－04）
　　ＢＷ３６Ｌ

＜マスターズ陸上競技＞

主　催　（財）日本陸上競技連盟、日本マスターズ陸上競技連合、
　　広島市
主　管　広島県実行委員会、（財）広島陸上競技協会、
　　広島マスターズ陸上競技連盟、広島市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）・８日（火）

１０月６日（日）	１０月７日（月）	１０月８日（火）
開始式 競技・表彰式	競技 表彰式	競技 表彰式

会　場　広島市　広島広域公園陸上競技場（広島ビッグアーチ）

＜インディアカ＞

主　催　（社）日本インディアカ協会、廿日市市
主　管　広島県実行委員会、広島県インディアカ協会、
　　廿日市市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 順位決定リンクリーグ戦	順位別決勝リンクリーグ戦 表彰式

会　場　廿日市市　廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）

＜フォークダンス＞

主　催　（社）日本フォークダンス連盟、安浦町
主　管　広島県実行委員会、
　　（社）日本フォークダンス連盟広島県支部、
　　安浦町実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 交流プログラム ブロック別研究	課題曲審査 表彰式

会　場　安浦町　安浦町民センター（アリーナかもめ）
　　安浦町立武道館、安浦町立安浦中学校体育館

＜エアロビック＞

主　催　日本エアロビック連盟、豊平町
主　管　広島県実行委員会、広島県エアロビック連盟、
　　豊平町実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 交流プログラム 規定演技合同レッスン 規定演技発表	自由演技発表 優秀チーム発表・再演 交流プログラム 表彰式

会　場　豊平町　豊平町総合体育館（とよひらウイング）

祭典概要

＜トランポリン＞
主　催　（社）日本トランポリン協会、新市町（しんいちちょう）
主　管　広島県実行委員会、広島県トランポリン協会、
　　新市町実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）・７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 予選リーグ	予選リーグ 決勝トーナメント 表彰式

会　場　新市町　新市町体育館

【フリー参加種目】
＜ウォークラリー＞
主　催　広島県レクリエーション協会　瀬戸田町（せとだちょう）
主　管　広島県実行委員会、瀬戸田町実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日（日）
開始式 競技 表彰式

会　場　瀬戸田町　瀬戸田町民会館（主会場）

＜エスキーテニス＞
主　催　日本エスキーテニス連盟、広島市（ひろしまし）
主　管　広島県実行委員会、広島県エスキーテニス連盟、
　　広島市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日(日)
開始式 競技 表彰式

会　場　広島市　広島市東区スポーツセンター

＜サイクリング＞
主　催　広島県自転車競技連盟、尾道市（おのみちし）
主　管　広島県実行委員会、尾道市実行委員会、
　　ツール・ド・しまなみ実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日(日)
開始式 走行 表彰式

会　場　尾道市　瀬戸内しまなみ海道
　　（尾道～今治往復、尾道～大三島往復）

＜３Ｂ体操＞
主　催　日本３Ｂ体操協会、三原市（みはらし）
主　管　広島県実行委員会、日本３Ｂ体操協会中国本部、
　　三原市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日(日)
開始式 競技（研修・交流）（発表・審査） 表彰式

会　場　三原市　三原リージョンプラザ体育館

＜太極拳＞
主　催　（社）日本武術太極拳連盟、熊野町（くまのちょう）
主　管　広島県実行委員会、広島県武術太極拳連盟、
　　熊野町実行委員会
期　日　平成１４年１０月５日（土）・６日（日）

１０月５日(土)	１０月６日(日)
ふれあい交流会 開講式、体験講習会	太極拳競技会 開始式、競技 表彰式

会　場　熊野町　熊野町民体育館、熊野高等学校体育館

＜マスターズ水泳＞
主　催　（財）日本水泳連盟、広島市（ひろしまし）
主　管　広島県実行委員会、（財）広島県水泳連盟、
　　広島市実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日(日)
開始式 競技 表彰式

会　場　広島市　広島市総合屋内プール
　　（広島ビッグウェーブ：公認２５m）

＜マラソン＞
主　催　坂町（さかちょう）
主　管　広島県実行委員会、坂町実行委員会、
　　安芸郡陸上競技協会、広島ベイマラソン大会実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日(日)
開始式 競技 表彰式

会　場　坂町　中国電力坂スポーツ施設
　　（平成ヶ浜～森山ジョギングコース）

＜マラソン＞
主　催　神辺町（かんなべちょう）
主　管　広島県実行委員会、神辺町実行委員会
期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日(日)
開始式 競技 表彰式

会　場　神辺町　神辺町立湯田小学校（主会場）

都道府県代表参加種目参加者数一覧

No.	都道府県	グラウンド・ゴルフ		ゲートボール		壮年サッカー		ソフトバレーボール		女子ソフトボール		ラージボール卓球		ターゲット・バードゴルフ		男女混合綱引		年齢別テニス		年齢別ソフトテニス		バウンドテニス		年齢別バドミントン		壮年ボウリング		マスターズ陸上競技		インディアカ		エアロビック		フォークダンス		トランポリン		男子計	女子計	合計	都道府県	派遣本部参加者数
		福山市		竹原市		広島市府中町吉田町		三次市		東広島市大和町		因島市		尾道市		呉市		尾道市		福山市		大野町		呉市		広島市		広島市		廿日市市		豊平町		安浦町		新市町						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
1	北海道	6	4	7	5	18	0	5	4	2	17	5	3	2	0	7	5	3	3	4	5	4	3	5	3	5	5	15	5	5	5	2	4	0	10	3	4	98	85	183	北海道	7
2	青森県	10	0	9	2	18	0	3	4	2	12	5	3	4	0	4	6	3	3	4	5	3	4	4	4	2	2	16	8	4	5	0	3	0	10	1	2	92	73	165	青森県	8
3	岩手県	8	2	14	3	18	0	5	4	2	17	5	3	4	0	6	5	5	4	4	4	4	3	6	3	3	2	17	7	4	6	1	5	0	10	3	3	109	81	190	岩手県	7
4	宮城県	8	2	9	0	17	0	4	4	2	14	−	−	4	0	6	5	4	3	4	3	3	4	4	4	3	2	12	4	4	5	5	1	0	10	2	4	91	65	156	宮城県	6
5	秋田県	5	5	10	5	18	0	4	4	3	15	3	2	4	0	6	6	4	3	3	3	3	4	5	4	2	2	11	7	4	6	0	4	0	10	−	−	85	80	165	秋田県	5
6	山形県	7	3	11	3	18	0	4	4	2	18	4	4	4	0	7	5	4	3	4	4	4	3	4	3	3	2	8	5	3	7	−	−	2	8	3	4	92	76	168	山形県	4
7	福島県	9	1	15	3	18	0	5	4	1	17	4	3	3	1	5	5	3	3	3	3	4	3	2	2	17	7	3	5	3	0	0	10	4	3	102	74	176	福島県	7
8	茨城県	5	5	4	12	18	0	5	4	3	17	−	−	2	2	−	−	5	4	4	5	4	3	4	3	3	2	15	5	5	5	1	2	−	−	2	4	80	73	153	茨城県	3
9	栃木県	9	1	8	5	18	0	2	4	1	14	5	3	2	2	6	5	3	3	4	3	3	4	3	4	3	2	15	9	4	6	0	4	1	9	3	3	90	81	171	栃木県	9
10	群馬県	4	6	11	6	18	0	4	5	−	−	3	4	3	1	7	5	4	5	5	3	3	3	3	4	2	2	16	4	4	6	1	5	0	10	3	1	91	70	161	群馬県	7
11	埼玉県	6	4	8	5	18	0	−	−	1	13	3	3	2	2	6	6	3	3	3	3	3	3	3	5	−	−	6	1	4	5	2	3	0	10	1	5	69	71	140	埼玉県	3
12	千葉県	9	1	7	5	18	0	4	4	0	20	4	4	2	2	6	6	4	3	3	6	3	4	4	4	2	2	14	4	4	6	2	3	−	−	−	−	86	74	160	千葉県	10
13	東京都	6	4	8	5	17	0	4	4	0	20	−	−	3	1	7	5	4	4	5	4	3	3	−	−	4	4	9	3	5	5	1	4	0	10	4	3	80	79	159	東京都	4
14	神奈川県	5	5	6	8	18	0	4	3	1	13	5	3	2	2	7	5	3	3	4	3	3	3	4	4	2	2	10	4	3	6	0	6	2	8	3	4	82	82	164	神奈川県	2
15	山梨県	9	1	4	6	18	0	5	4	4	15	5	3	3	1	7	5	5	4	6	3	4	3	4	4	2	2	16	7	4	5	−	−	0	10	3	2	99	75	174	山梨県	8
16	新潟県	9	1	7	6	16	0	4	5	3	17	5	3	4	0	7	5	4	4	3	3	3	4	6	3	2	2	16	6	4	6	0	4	3	7	4	3	100	79	179	新潟県	4
17	長野県	3	7	8	4	18	0	3	5	2	16	3	2	4	0	7	5	3	3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	4	6	0	6	3	7	4	3	76	77	153	長野県	5
18	富山県	5	5	11	5	18	0	4	5	2	17	5	2	3	1	6	6	4	4	3	3	3	3	5	4	2	2	10	6	3	6	4	2	0	10	4	3	92	84	176	富山県	7
19	石川県	7	3	10	1	18	0	4	5	3	17	3	4	4	0	7	5	3	3	3	3	4	3	4	5	4	4	10	10	4	6	0	5	−	−	3	4	91	78	169	石川県	8
20	福井県	5	5	10	4	18	0	3	3	3	17	4	3	4	0	7	5	3	3	3	3	4	3	5	4	3	2	15	9	4	6	5	1	0	10	4	3	100	81	181	福井県	7
21	静岡県	10	0	7	5	16	0	4	4	1	17	5	3	4	0	7	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	13	3	3	5	0	5	0	10	4	3	89	74	163	静岡県	3
22	愛知県	5	5	13	4	18	0	4	5	0	13	4	3	3	1	7	5	3	3	3	3	3	3	4	4	5	4	15	6	3	7	1	5	0	6	2	4	93	81	174	愛知県	5
23	三重県	4	6	9	3	18	0	5	4	3	17	4	4	3	1	5	6	4	5	4	4	3	4	3	3	3	2	15	8	3	7	5	1	0	10	2	5	93	90	183	三重県	5
24	岐阜県	8	2	15	0	18	0	5	4	3	16	4	4	4	0	6	6	3	3	4	3	3	4	3	4	3	2	16	3	3	7	0	6	0	10	3	4	101	78	179	岐阜県	7
25	滋賀県	8	2	9	4	18	0	4	5	3	16	3	3	4	0	7	5	4	3	3	3	3	4	4	3	2	3	16	8	3	5	0	6	3	7	4	1	98	78	176	滋賀県	4
26	京都府	6	4	8	3	18	0	4	5	0	15	5	2	2	2	6	6	4	4	3	3	3	3	3	3	4	5	15	2	4	6	−	−	1	9	4	2	90	74	164	京都府	6
27	大阪府	3	7	8	2	18	0	4	4	2	16	3	3	4	0	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	15	2	4	6	0	6	0	10	3	3	85	80	165	大阪府	5
28	兵庫県	6	0	9	3	18	0	4	5	1	13	5	3	4	0	6	6	4	3	3	3	3	4	4	4	2	2	12	3	3	7	2	3	0	10	2	5	88	73	161	兵庫県	4
29	奈良県	5	5	11	4	18	0	4	3	2	17	4	3	4	0	7	5	4	3	5	4	3	3	5	3	3	2	14	6	3	6	−	−	0	6	1	4	93	74	167	奈良県	7
30	和歌山県	10	0	7	5	18	0	5	4	−	−	4	2	4	0	7	5	−	−	3	3	3	3	4	3	2	3	11	1	4	6	2	2	0	10	3	3	87	50	137	和歌山県	4
31	鳥取県	10	0	9	4	16	0	4	5	2	11	3	2	3	1	7	5	3	3	3	3	3	3	3	4	2	2	15	5	3	5	3	2	0	10	2	5	91	70	161	鳥取県	11
32	島根県	9	1	10	5	18	0	5	4	3	17	5	3	4	0	7	5	3	3	4	3	3	3	5	4	3	2	15	9	3	5	0	3	0	10	3	0	100	77	177	島根県	4
33	岡山県	6	4	5	8	18	0	4	5	1	17	4	3	3	1	5	6	3	3	3	3	3	4	4	5	3	2	17	7	4	5	0	6	2	8	3	4	88	91	179	岡山県	2
34	広島県	45	15	33	9	54	0	37	35	15	115	28	15	29	3	40	34	12	12	8	6	10	9	14	11	13	12	76	23	8	11	12	27	3	57	12	13	449	407	856	広島県	3
35	山口県	4	4	13	1	18	0	4	4	2	17	4	4	4	0	6	6	3	4	3	3	3	3	3	5	2	2	11	3	4	5	1	2	3	7	−	−	88	70	158	山口県	5
36	香川県	3	7	10	4	18	0	4	2	2	17	4	3	4	0	7	5	3	4	4	3	4	3	4	3	3	2	13	4	4	6	0	6	0	10	3	4	90	83	173	香川県	5
37	徳島県	7	3	5	6	18	0	4	3	2	10	3	2	2	2	5	5	4	4	5	4	4	3	4	3	2	2	16	4	4	6	1	4	0	4	−	−	86	65	151	徳島県	4
38	愛媛県	9	1	11	4	18	0	5	4	2	17	5	3	3	1	6	6	4	5	5	4	4	3	5	4	3	2	16	8	3	7	1	5	1	9	4	3	105	86	191	愛媛県	4
39	高知県	5	3	7	6	18	0	4	5	2	12	4	3	1	3	−	−	3	3	3	3	4	4	4	4	2	2	5	2	4	6	−	−	0	10	0	7	65	73	138	高知県	3
40	福岡県	10	0	8	3	18	0	5	4	2	11	4	3	4	0	7	4	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4	16	7	4	6	0	6	2	8	3	2	100	70	170	福岡県	3
41	佐賀県	7	3	7	0	−	−	4	4	2	18	3	4	3	1	4	4	3	3	5	3	3	3	4	3	2	2	16	6	4	6	2	3	1	9	4	3	74	75	149	佐賀県	6
42	長崎県	6	4	8	6	−	−	5	4	−	−	3	3	2	2	−	−	3	3	4	5	−	−	3	3	3	2	9	6	4	6	3	3	0	10	4	0	57	57	114	長崎県	3
43	熊本県	5	5	5	5	18	0	4	4	−	−	4	3	3	1	−	−	5	4	4	3	4	3	3	3	2	2	13	7	5	5	0	4	0	10	3	4	78	63	141	熊本県	4
44	大分県	10	0	9	2	18	0	2	3	1	14	4	3	4	0	6	5	3	4	5	3	4	3	3	4	2	2	13	2	3	6	0	3	0	10	3	1	90	65	155	大分県	4
45	宮崎県	4	6	3	3	18	0	4	5	−	−	3	3	2	2	6	4	3	3	4	3	3	4	5	4	2	2	10	4	3	6	1	5	0	10	4	2	75	66	141	宮崎県	6
46	鹿児島県	4	6	9	5	18	0	4	5	0	13	4	2	2	2	4	7	3	3	4	4	4	3	5	4	2	2	13	3	3	6	0	4	0	10	3	2	82	81	163	鹿児島県	6
47	沖縄県	9	1	12	5	18	0	5	4	2	14	4	2	0	4	6	4	3	3	3	4	3	4	5	4	2	2	5	0	4	6	0	6	0	10	3	3	84	76	160	沖縄県	6
各男女計		353	159	437	202	838	0	223	222	90	749	201	143	172	42	299	253	171	166	180	164	159	158	193	175	134	120	671	255	179	278	61	185	27	449	136	145	4,524	3,865	8,389	合計	250
合計		512		639		838		445		839		344		214		552		337		344		317		368		254		926		457		246		476		281		8,389				
韓国				7	2	17	0					9	4					8	6	5	3			9	6	5	5	15	8									75	34	109	韓国	5
総計		512		648		855		445		839		357		214		552		351		352		317		383		264		949		457		246		476		281		8,498		8,498	総合計	255

祭典概要

フリー参加種目参加者数一覧

No.	都道府県	ウォークラリー	エスキーテニス	サイクリング	3B体操	太極拳	マスターズ水泳	マラソン	マラソン	合計	都道府県
		瀬戸田町	広島市	尾道市	三原市	熊野町	広島市	坂　町	神辺町		
1	北海道			2	2					4	北海道
2	青森県				75					75	青森県
3	岩手県				6	3				9	岩手県
4	宮城県				43	2				45	宮城県
5	秋田県				20	1			1	22	秋田県
6	山形県				22					22	山形県
7	福島県	11			65					76	福島県
8	茨城県			1		2				3	茨城県
9	栃木県			1		2				3	栃木県
10	群馬県				35	2		1		38	群馬県
11	埼玉県				10	2		1		13	埼玉県
12	千葉県			1	13	2		1		17	千葉県
13	東京都			6	1	2		7		16	東京都
14	神奈川県			9	30	3		3		45	神奈川県
15	山梨県							1		1	山梨県
16	新潟県					2				2	新潟県
17	長野県			6		2				8	長野県
18	富山県				19					19	富山県
19	石川県	13		2	15	1		1	1	33	石川県
20	福井県		53	1	4	1				59	福井県
21	静岡県			3	60	2			1	66	静岡県
22	愛知県		12	8	32	3		1		56	愛知県
23	三重県			4	6	2		7		19	三重県
24	岐阜県			2	15	2				19	岐阜県
25	滋賀県			4	9	1		1		15	滋賀県
26	京都府		1	10	165	2		1	1	180	京都府
27	大阪府		3	56	41	2	1	7	2	112	大阪府
28	兵庫県		22	69	167	3	1	12	2	276	兵庫県
29	奈良県		1	5	31	1		2	1	41	奈良県
30	和歌山県			4	1	1		2	2	10	和歌山県
31	鳥取県			2	47			3		52	鳥取県
32	島根県			9	183			11	1	204	島根県
33	岡山県	6		123	588			17	280	1,014	岡山県
34	広島県	955	163	209	880	195	192	866	701	4,161	広島県
35	山口県		32	14	181	3		36	3	269	山口県
36	香川県	13	6	1	50	3		1	4	78	香川県
37	徳島県			1	46	1				48	徳島県
38	愛媛県	8		10	101		10	4	4	137	愛媛県
39	高知県			1	53	2		1		57	高知県
40	福岡県			4	25	3		24	5	61	福岡県
41	佐賀県				2	1			1	4	佐賀県
42	長崎県				4			2	1	7	長崎県
43	熊本県				11			1		12	熊本県
44	大分県				10	1			1	12	大分県
45	宮崎県				4	1				5	宮崎県
46	鹿児島県			2	16	1				19	鹿児島県
47	沖縄県									0	沖縄県
合　計		1,006	293	570	3,088	257	204	1,014	1,012	7,444	合　計

5　閉会式（リレーステージ）

（1）日　時　平成１４年１０月８日（火）
　　１５：００～１６：２０（開場　１４：３０）
（2）会　場　広島国際会議場フェニックスホール
（3）内　容

閉会式は、４日間の祭典を振り返り、祭典を支えた多くの人たちに感謝し、新たな交流と友好の輪を広げ、また、次期開催県の香川県へ祭典旗とともに、広島の祭典の感動をも引き継ぐ、祭典の幕を閉じるにふさわしいセレモニーとなりました。

プロローグは、岩田英憲さんの静かなパンフルートの音色で始まり、中国山地から瀬戸内海に至る広島の美しい自然の映像が大型映像装置に映し出され、続いて、広島交響楽団による演奏の中、映像は広島の四季から祭典の記録映像に変わり、やがて参加者の笑顔で埋め尽くされました。

スポレクテーマソング「明日を信じて」にのせて子どもたちにより運ばれてきた祭典旗は、広島県副知事から文部科学省代表者を介して、次期開催県である香川県副知事に引き継がれました。

続いて、香川県のアトラクションとして少林寺拳法が披露され、広島県のキャンペーン隊と香川県のキャンペーン隊がエールの交換を行いました。

フィナーレは、会場全員による「ヤングマン２００２」の大合唱となり、ステージは、文部科学省代表者、両県副知事、選手、ボランティアで埋め尽くされ、ミュージックキッズのダンスと手拍子で大いに盛り上がりました。

続いて、広島交響楽団の演奏と少年少女合唱団の合唱により、エンディングテーマ曲「シー・ユー・トゥモロー」が流れる中、ステージでは全員が手をつなぎ、お互いの健闘をたたえ合いながら、すべての関係者への感謝のうちに、会場が一体となった感動的なフィナーレを迎え、広島の祭典の感動とともに、新たな交流と友好の輪の広がりを香川県へ引き継ぎ、祭典の幕を閉じました。

次　　第		時　刻	内　　容
プロローグ	パンフルート演奏	15:00	パンフルート演奏と映像　～自然賛歌～ パンフルート演奏：岩田　英憲
	広島交響楽団演奏 詩の朗読	15:05	広島交響楽団の演奏と映像に加え、子どもたちの詩の朗読　～祭典賛歌～
セレモニー＆アトラクション	開式通告	15:20	キャンペーン隊とアービー登場
	文部科学省代表者・両県副知事登壇	15:23	文部科学省代表者： スポーツ・青少年局生涯スポーツ課長　岩上　安孝
	広島県副知事あいさつ	15:24	広島県副知事　田口　尚文
	祭典旗リレー	15:28	テーマソング演奏及び合唱、スポレクはじけ隊の小学生により祭典旗入場 祭典旗は、広島県副知事から文部科学省代表者へ返還され、文部科学省代表者から次期開催県の香川県副知事に手渡された。
	香川県副知事あいさつ	15:33	香川県副知事　川北　文雄
	香川県大会ＰＲ	15:37	香川県大会のキャンペーン隊・マスコットの紹介
	香川県アトラクション	15:41	香川県のＰＲアトラクションとして、少林寺拳法の演武
	エール交換	15:51	香川県のキャンペーン隊と広島県のキャンペーン隊及び両マスコットも加わり、エールの交換
	キッズ・パフォーマンス	15:55	広島の自然と子どもたちの夢を謳歌 ～ＬＯＶＥ＆ＰＥＡＣＥ～
フィナーレ	「ヤングマン２００２」合唱	16:05	会場全員による「ヤングマン２００２」の大合唱
	グランドフィナーレ	16:10	エンディングテーマ曲「シー・ユー・トゥモロー」の演奏と合唱
	閉式通告	16:20	司会者による閉式通告

祭典概要

【協賛事業】

1月1日から10月8日までの期間、県内全市町村で、それぞれの地域や主催団体の特色あるスポーツ・レクリエーション活動が249事業開催され、多くの県民が参加しました。

No.	開催日	事業名称	会場施設	主催団体等	参加者数
1	1月1日	第1回新春グラウンド・ゴルフ大会	高宮ハーモニー広場	高宮町教育委員会	140
2	1月12日	第15回熊野新春スター駅伝大会	熊野町民グラウンド他周辺	熊野町一スポーツ推進協議会、熊野町教育委員会	787
3	1月13日	第26回みわ町スター式駅伝大会	三和中学校グラウンド他町内	三和町教育委員会、三和町体育協会	1,650
4	1月13日	第31回新市町ロードレース大会	戸手高等学校グラウンド、芦田川堤防線	新市町教育委員会、新市町体育協会	416
5	1月13日	第42回大和町一周駅伝大会	大和町内一円	大和町体育協会・大和町他	1,100
6	1月13日	2002新春府中市マラソン大会	府中市役所～芦田川周辺	府中市教育委員会	370
7	1月14日	第25回倉橋町駅伝大会	倉橋町内(桂浜ふれあいセンター～鹿島宮の口)	倉橋町、倉橋町体育協会	1,131
8	1月14日	第17回沼隈町駅伝大会	沼隈町内全域	沼隈町教育委員会	2,100
9	1月20日	第29回府中市健脚大会	JR備後三川駅～府中市役所	府中市教育委員会	225
10	1月20日	第5回豊田郡ロードレース兼万葉の里マラソンinあきつ大会	三津小学校グラウンド他町内	安芸津町教育委員会、豊田郡体育協会他	1,045
11	1月20日	第21回三原市民ビーチボールバレー大会	三原リージョンプラザ主体育館	三原市教育委員会	800
12	1月20日	第43回世羅西町駅伝大会	山福田分館～せらにしタウンセンター	世羅西町体育協会、世羅西町他	1,125
13	1月20～27日	働く青年のための「若衆宿」	国立江田島青年の家	独立行政法人国立青年の家 国立江田島青年の家	264
14	1月26日	地域スポーツ指導者研修事業	県立総合体育館	(財)広島県教育事業団	31
15	1月26・27日	チャレンジ・冬の郡山	県立吉田少年自然の家	県立吉田少年自然の家	49
16	2月3日	第34回廿日市市民ロードレース大会	廿日市市役所市民プラザ～木材港周辺	廿日市市教育委員会、廿日市市体育協会	1,054
17	2月3日	第16回安浦町ふれあい駅伝大会	安浦中学校グラウンド他周辺	安浦町教育委員会、安浦町体育協会、体育指導委員協議会	438
18	2月3日	第28回さわやかオレンジロードレース大会	蒲刈小学校グラウンド他大浦地区	蒲刈町教育委員会、蒲刈町体育協会	480
19	2月3日	第5回広島県雪合戦大会	高野町町民広場特設会場	広島県雪合戦大会実行委員会、高野町他	2,000
20	2月3日	第7回さくらアーチカップバスケット3on3大会	庄原市総合体育館	庄原市教育委員会	120
21	2月3日	第17回瀬戸内ふれあいマラソン大会	内海中学校グラウンド他町内	瀬戸内ふれあいマラソン大会実行委員会、内海町	1,000
22	2月3日	川尻町民マラソン大会	川尻町民グラウンド他町内	川尻町教育委員会、川尻町体育協会	270
23	2月9・10日	子ども自然探検クラブ冬ボランティア・ミーティング	県立福山少年自然の家	県立福山少年自然の家	201
24	2月10日	第29回熊野駅伝大会	熊野町民グラウンド他町内	熊野駅伝大会実行委員会、熊野町教育委員会	10,600
25	2月10日	第27回みつぎ駅伝大会	御調町文化会館他町内	御調町体育協会、御調町教育委員会	1,272
26	2月10日	第37回東城町民スキー大会	道後山高原スキー場	東城町教育委員会、東城町体育協会	250
27	2月10日	第20回作木村卓球大会	作木中学校体育館	作木村体育協会、作木村教育委員会	90
28	2月10・11・17日	第8回大野オイスターカップバドミントン大会	大野町体育館、大野東小・中学校	大野町バドミントン連盟、大野町	650
29	2月16日	第20回豊浜町駅伝大会	豊浜町内一円	豊浜町体育協会、豊浜町教育委員会	317
30	2月17日	第29回黒瀬川駅伝競走大会	黒瀬町文化センター周辺	黒瀬町、黒瀬町教育委員会	885
31	2月17日	安浦町スキー教室	スキーパーク寒曳	安浦町教育委員会	111
32	2月17日	平成13年度瀬戸田町体力つくりスポーツ大会	瀬戸田勤労者体育センター他	瀬戸田町教育委員会	500
33	2月17日	第15回本郷町町民駅伝大会	本郷中学校グラウンド他町内	本郷町体育協会、本郷町教育委員会	400
34	2月17日	第6回広島県障害者卓球大会〔身体障害者の部〕	県立身体障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター	県立身体障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター	176
35	2月17日	第20回深安駅伝大会	神辺町民グラウンド他周辺	神辺町体育協会	436
36	2月23日	地域スポーツ指導者研修事業	県立総合体育館	(財)広島県教育事業団	39
37	2月23・24日	女子サッカーチーム交流会	県立ふれあいの里青年の家	広島県教育委員会	80
38	2月24日	第21回ふくやまマラソン	福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場他周辺	ふくやまマラソン実行委員会、福山市他	4,340
39	2月24日	第23回木江町ロードレース大会	木江町役場他町内	木江町体育協会、木江町教育委員会	320
40	2月24日	平成13年度広島県インディアカ講習会	広島市中区スポーツセンター	広島県インディアカ協会	24
41	3月2日	第9回広島県武術太極拳選手権大会	県立総合体育館武道場	広島県武術太極拳連盟	550
42	3月3日	第25回沖美町かきカキマラソン大会	沖美町高祖埋め立て地他町内	かきカキマラソン実行委員会、沖美町他	5,000
43	3月3日	熊野町スポーツ少年団交流会“みんなともだち”	熊野町民体育館	熊野町スポーツ少年団、熊野町教育委員会	260
44	3月3日	第33回美土里剣道大会	美土里町B&G海洋センター	美土里町体育協会、美土里町他	470
45	3月3日	第22回いんのしま健康マラソン大会	因北小学校グラウンド他周辺	因島市、因島市教育委員会他	1,650
46	3月3日	インドアトライアスロンinひろしま(春)	県立総合体育館	広島県トライアスロン協会	102
47	3月9・10日	ユアーズカップ 第8回広島県ソフトバレーボールフェスティバル	県立総合体育館	広島県バレーボール協会、広島県ソフトバレーボール連盟	3,236
48	3月10日	JINSEKI雪どけマラソン	神石町山村開発センター周辺	神石町体育協会、神石町他	232
49	3月17日	MTB大会	国営備北丘陵公園	国営備北丘陵公園	279

No.	開催日	事業名称	会場施設	主催団体等	参加者数
50	3月17日	第14回コミュニティースポーツ大会	坂町北新地グラウンド、坂町B&G海洋センター	坂町教育委員会、坂町体育協会、坂町体育指導委員協議会	700
51	3月17日	第31回坂町駅伝競走大会	坂町北新地グラウンド他周辺	坂町体育協会、坂町	530
52	3月17日	本郷町健康ウォーク大会	本郷町内	本郷町、本郷町地域保健対策協議会他	86
53	3月21日	のうみグリーンウォーキング	能美海上ロッジ駐車場～真道山森林公園	のうみグリーンウォーキング実行委員会、能美町他	487
54	3月23日	筆の里スポーツクラブフェスティバル	熊野町民体育館・グラウンド	筆の里スポーツクラブ、熊野町教育委員会	200
55	3月23日	親子自転車学校	県立中央森林公園サイクルセンター	(財)中央森林公園協会	1,076
56	3月24日	東野町ふるさと探検ウォークラリー	東野町文化センター他町内	東野町教育委員会、東野町体育指導委員会	193
57	3月26～28日	安芸府中チャンピオンシップサッカー大会	揚倉山健康運動公園、空城山公園	安芸府中サッカー協会、府中町教育委員会	250
58	4月7日	2002古鷹山ウォーキングフェスティバル	江田島町古鷹山林道、オタカ広場	古鷹山ウォーキングフェス実行委員会、江田島町教育委員会	500
59	4月13日	親子自転車学校	県立中央森林公園サイクルセンター	(財)中央森林公園協会	1,078
60	4月14日	第14回江の川親水マラソン	三次市十日市河川敷(親水公園)	江の川親水マラソン実行委員会、三次市	1,308
61	4月14日	向島町民グラウンド・ゴルフ大会	向島町運動公園	向島町教育委員会、向島町体育協会	202
62	4月21日	第71回加計町民運動会	加計町民体育館	加計町体育協会、加計町教育委員会	1,600
63	4月21日	豊浜町ゲートボール大会	大浜小学校グラウンド	豊浜町教育委員会	45
64	4月23日	尾道市ゲートボール連合選手権大会	向東市民スポーツ広場	尾道市ゲートボール連合、尾道市教育委員会	160
65	4月27～29日	安芸府中サッカーフェスティバル	揚倉山健康運動公園	安芸府中サッカー協会、府中町教育委員会	350
66	4月28日	第13回広島県バウンドテニス ダブルス選手権大会	広島市佐伯区スポーツセンター	広島県バウンドテニス協会、中国新聞社	140
67	4月28日	第8回新市町グラウンド・ゴルフ大会	芦田川緑地(芦田川河川敷)	新市町教育委員会、新市町体育指導委員協議会	130
68	4月29日	呉みなとまつり(大綱引大会)	呉市蔵本通り	呉観光協会、中国新聞社、呉市	26,040
69	4月29日	広島県障害者水泳競技大会2002	県立身体障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター	県立身体障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター	256
70	4/29・5/5	「わんぱくの森」アスレチックコース体験	県立もみのき森林公園	(財)もみのき森林公園協会	980
71	5月11日	第13回東広島市民スポレク祭グラウンド・ゴルフ大会	アクアパーク多目的広場	東広島市、東広島市教育委員会	150
72	5月11・12日	西日本カバディ大会	美土里町総合運動公園	広島県カバディ協会	140
73	5月12日	どんぐりテニス大会	豊平町総合運動公園テニス場	(財)とよひらふれあい公園協会、豊平町教育委員会	130
74	5月12日	豊浜町ターゲット・バードゴルフ大会	豊浜町架橋記念公園	豊浜町体育協会、豊浜町教育委員会	12
75	5月12日	第7回豊松村グラウンド・ゴルフ大会	豊松村山村広場	豊松村体育協会、豊松村教育委員会	49
76	5月12日	第15回廿日市市民スポーツ大会	廿日市市スポーツセンター他	廿日市市教育委員会、廿日市市体育協会	2,566
77	5月12日	第20回安浦町総合体育大会	安浦中学校、安浦町民センター他	安浦町教育委員会、安浦町体育協会	400
78	5月12日	中国地区春季エスキーテニス大会	県立総合体育館小アリーナ	広島県エスキーテニス連盟	380
79	5月12日	第12回広島県グラウンド・ゴルフ交歓大会	休暇村帝釈峡グラウンド・ゴルフ場	広島県グラウンド・ゴルフ協会	565
80	5月12日	第15回広島県ソフトバレーボール大会兼全国大会・中国大会広島県予選会	広島サンプラザ	広島県ソフトバレーボール連盟	1,622
81	5月18・19日	第23回広島市南区民スポーツ大会	マツダ体育館、南区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	2,650
82	5月19日	第5回おおがきスポーツデー	大柿町総合運動公園	大柿町、大柿町教育委員会	590
83	5月19日	第8回音戸町ファミリーバドミントン大会	音戸勤労者体育センター	音戸町、音戸町教育委員会	250
84	5月19日	第29回さいきアーチェリー大会	佐伯国際アーチェリーランド	さいきアーチェリー大会実行委員会	390
85	5月19日	第23回広島市中区民スポーツ大会	千田公園、中区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	1,865
86	5月19日	第23回広島市安佐北区民スポーツ大会	安佐北区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	3,379
87	5月19日	第18回広島市佐伯区民スポーツ大会	佐伯区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	2,468
88	5月19日	第13回比婆山国際スカイラン大会	県民の森、比婆山連峰	西城町、広島県山岳連盟他	995
89	5月19日	2002もみのきサイクル耐久レース(春)	県立もみのき森林公園サイクリングコース	(財)もみのき森林公園協会、広島県自転車競技連盟	2,329
90	5月25日	「スポレク広島2002」キンボール体験会及び普及指導者講習会兼交流大会	県立総合体育館	日本キンボール連盟	108
91	5月26日	下蒲刈町ゲートボール大会	下蒲刈町民広場	下蒲刈町ゲートボール連合会、下蒲刈町他	150
92	5月26日	初夏の野鳥ウォッチングと新緑の森の散策	県立中央森林公園	(財)中央森林公園協会	2,035
93	5月26日	第25回総領町民運動会	総領小学校グラウンド	総領町、総領町教育委員会他	650
94	5月26日	第23回広島市東区民スポーツ大会	戸坂運動広場、東区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	1,964
95	5月26日	第23回広島市西区民スポーツ大会	広島サンプラザ、西区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	2,100
96	5月26日	第23回広島市安佐南区民スポーツ大会	広島修道大学、広島市立大学他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	3,912
97	5月26日	第23回広島市安芸区民スポーツ大会	瀬野川公園、安芸区スポーツセンター他	広島市、(財)広島市スポーツ事業団他	2,163
98	5月26日	第16回ビーチボールバレー大会	福富町民体育館	福富町体育協会、福富町教育委員会	144
99	5月26日	第28回蒲刈町PTA球技大会	蒲刈町B&G海洋センター	蒲刈町教育委員会、蒲刈町体育協会	178
100	5月26日	豊町内親善ソフトボール大会	豊中学校グラウンド	豊町体育協会、豊町教育委員会	200
101	5月26日	世羅町地区民体育大会	大田小学校、西大田農村広場グラウンド他	世羅町教育委員会、世羅町体育協会他	2,510

祭典概要

No.	開催日	事業名称	会場施設	主催団体等	参加者数
102	5月26日	第19回上下町民運動会	上下運動公園グラウンド	上下町、町民運動会実行委員会他	800
103	6月1・2日	フィットネスフェスティバルinはつかいち 第1回サンチェリーカップエアロビック選手権大会	廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）	広島県エアロビック連盟	1,300
104	6月2日	宮島町民グラウンド・ゴルフ大会	宮島小・中学校グラウンド	宮島町、宮島町教育委員会	170
105	6月2日	第8回あったか村スポーツフェスティバル	君田村総合グラウンド	あったか村スポーツフェスティバル実行委員会、君田村教育委員会	1,200
106	6月2日	第12回大和町民ソフトボール大会	白竜湖スポーツ村公園総合運動場	大和ソフトボール協会、大和町他	450
107	6月2日	第14回三原市民ゲートボール大会	三原運動公園（三原市陸上競技場）	三原市教育委員会	304
108	6月2日	第16回三原市民グラウンド・ゴルフ大会	三原運動公園（三原市民球場）	三原市教育委員会	365
109	6月2日	第14回東広島市民スポーツ大会（陸上競技の部）	アクアパーク陸上競技場	東広島市民スポーツ大会実行委員会、東広島市他	4,000
110	6月5日	第11回安芸津万葉バドミントン大会	安芸津町B&G海洋センター	安芸津町、安芸津町教育委員会	57
111	6月5・12・19日	豊町内親善ソフトバレーボール大会	豊小学校・旧久比小学校体育館	豊町体育協会、豊町教育委員会	130
112	6月8日	第13回尾道市グラウンド・ゴルフ大会	県立びんご運動公園多目的広場	尾道市グラウンド・ゴルフ協会、尾道市教育委員会	126
113	6月8日	デュアスロンヒロシマ2002スプリング	県立中央森林公園サイクリングロード	広島県トライアスロン協会	510
114	6月8・9日	100フェスティバル&カーニバル（100セットソフトバレーボール）	呉市体育館	呉市	950
115	6月9日	第18回三原マスターズ水泳大会	三原リージョンプラザ温水プール	三原市教育委員会	400
116	6月9日	第4回東城町チャレンジ・スポーツ大会	東城中央運動公園陸上競技場	東城町教育委員会、東城町体育協会	450
117	6月9日	第20回広島県バウンドテニス親善大会	広島市安芸区スポーツセンター	広島県バウンドテニス協会、中国新聞社	130
118	6月9日	第34回福山地区市町村対抗競技大会	福山市竹ヶ端運動公園、福山市体育館	福山地区体育協会連絡協議会	450
119	6月9日	第1回上下町民ソフトバレーボール大会	上下高等学校体育館	上下町教育委員会、上下町体育協会他	300
120	6月9日	わが村を歩こう会	作木村内	作木村体育指導委員会、作木村教育委員会	86
121	6月15・16・22・23日	ウイングカップフットサル大会	豊平町総合体育館（とよひらウイング）	（財）とよひらふれあい公園協会、豊平町教育委員会	630
122	6月16日	第3回広島県ターゲット・バードゴルフ大会	県立びんご運動公園多目的広場	広島県ターゲット・バードゴルフ協会	126
123	6月16日	第10回自治会対抗市民ラージボール卓球大会	大竹市総合体育館	大竹市教育委員会、大竹市体育協会	440
124	6月16日	向島町民ペタンク大会	向島町運動公園芝グラウンド	向島町教育委員会、向島町体育協会	260
125	6月16日	第22回神辺町スポーツ祭	神辺町民グラウンド他	神辺町体育協会、神辺町教育委員会	600
126	6月16日	第7回比和町吾妻山クロスカントリー大会	国定公園吾妻山	比和町吾妻山クロスカントリー大会実行委員会、比和町他	500
127	6月16日	第6回油木町グラウンド・ゴルフ大会	仙養ヶ原ふれあいの里草原広場	油木町体育協会、油木町教育委員会	116
128	6月22日	親子自転車学校	県立中央森林公園サイクルセンター	（財）中央森林公園協会	1,079
129	6月22・23日	第31回庄原市民キャンプ	県民の森キャンプ場	庄原市教育委員会、庄原市体育協会	37
130	6月23日	呉市・下蒲刈町ソフトバレーボール大会	下蒲刈町民体育館	下蒲刈町体育協会、下蒲刈町	220
131	6月23日	第6回美土里ビーチボールバレー大会	美土里町B&G海洋センター	美土里町体育協会、美土里町他	170
132	6月23日	平成14年度瀬戸田町生涯スポーツ大会	瀬戸田中学校グラウンド他	瀬戸田町教育委員会	745
133	6月23日	ファミリーバドミントン交流大会	海田中学校体育館	海田町教育委員会、ミズノ株式会社広島営業所	149
134	6月28日	せらにし青少年旅行村グラウンド・ゴルフ大会	せらにし青少年旅行村グラウンド	せらにし青少年旅行村	144
135	6月29日	みつやの里スポーツクラブ交流会	吉田運動公園	みつやの里スポーツクラブ、吉田町教育委員会	175
136	6月29日	We Love Sports ひろしま スポーツフェスタ2002	広島広域公園（陸上競技場、補助競技場）	（財）広島県体育協会	1,500
137	6月29日	全国カローリング交流広島大会	呉市体育館	呉市教育委員会、ミズノ株式会社広島営業所	162
138	6/29・7/6	全国スポレク祭協賛事業兼 第9回村長杯ビーチボールバレー大会	布野小・中学校体育館	布野村体育協会、布野村教育委員会	220
139	6月30日	七瀬川フィッシング大会	佐伯町七瀬川渓流釣り場	佐伯町教育委員会、佐伯町北公民館運営審議会	71
140	6月30日	広島県インディアカ交流会	廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）	広島県インディアカ協会、廿日市市実行委員会	250
141	6月30日	第18回芸北町民グラウンド・ゴルフ大会	大佐スキー場特設コース	芸北町教育委員会、芸北町B&G海洋センター	170
142	6月30日	第21回熟年ソフトバレーボール大会	久井町B&G海洋センター、久井高等学校	久井町教育委員会	288
143	6月30日	第2回広島県障害者フライングディスク競技大会	東広島運動公園陸上競技場	県立身体障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター	350
144	7月5日	第20回上下町民ゲートボール大会	上下運動公園グラウンド	上下町教育委員会、上下町体育協会他	150
145	7月7日	第4回三次市民グラウンド・ゴルフ大会	みよし運動公園陸上競技場	三次市体育振興会連絡協議会、三次市教育委員会	75
146	7月7日	広島県ゲートボール選手権大会	三原市運動公園陸上競技場	広島県ゲートボール連合	480
147	7/7～7/21	第12回庄原市スポーツフェスティバル	庄原市総合体育館他	庄原市、庄原市教育委員会他	4,500
148	7月13日	第9回カーター記念球場招待ゲートボール大会	甲奴町カーター記念球場	甲奴町、甲奴町教育委員会	220
149	7月13日～21日	働く青年のための「若衆宿」	国立江田島青年の家	独立行政法人国立青年の家　国立江田島青年の家	317
150	7/13～10/5	第25回広島市スポーツ少年団大会	広島県総合グランド陸上競技場 各区スポーツセンター他	（財）広島市体育協会、広島市スポーツ少年団、広島市	14,388
151	7月14日	大朝町支部対抗球技大会	大朝中学校、クローバードーム	大朝町体育協会、大朝町他	603

No.	開催日	事業名称	会場施設	主催団体等	参加者数
152	7月14日	河内町コミニティソフトバレーボール大会	入野小学校体育館	河内町体育指導委員協議会、河内町教育委員会	200
153	7月14日	ニュースポーツフェスタ2002	湯来町総合体育館	湯来町教育委員会、湯来町体育指導委員協議会	80
154	7月14日	第34回御調町内ソフトボール大会	御調町ソフトボール球場	御調町体育協会、御調町教育委員会	215
155	7月14日	第35回御調町内バレーボール大会	御調町民体育館	御調町体育協会、御調町教育委員会	73
156	7月14日	第8回三和町グラウンド・ゴルフ大会	三和中学校グラウンド	三和町体育協会、三和町教育委員会	120
157	7月14日	向島町民ソフトバレーボール大会	向島町マリン・ユース・センター	向島町教育委員会、向島町体育協会	100
158	7月15日	第12回作木村内ビーチボールバレー大会	作木中学校体育館	作木村体育協会、作木村教育委員会	70
159	7月20日	吉舎町内グラウンド・ゴルフ交歓大会	吉舎町農山村広場	吉舎町体育指導委員協議会、吉舎町教育委員会	130
160	7月21日	第16回千代田町支部対抗ソフトボール大会 第43回千代田町支部対抗バレーボール大会	千代田町運動公園	千代田町体育協会、千代田町教育委員会	550
161	7月21日	さわやかウォークの日	小谷小学校、小谷ウオーキングコース他	東広島市、東広島市教育委員会	450
162	7月21日	安浦町小学生スポーツ大会	安浦中学校、安浦町民センター	安浦町教育委員会、安浦町体育協会	520
163	7月27日	みんなであそぼう　ゆうすふる　サンデー	高宮町B&G海洋センター	青少年育成高宮町民会議、高宮町教育委員会	52
164	7月27日	第2回ミニトライアスロン競争大会	千代田町古保利橋周辺	有田十日会、千代田町教育委員会	160
165	7月28日	吉和村内グラウンド・ゴルフ大会	吉和村農村広場	吉和村教育委員会	155
166	7月28日	2002MTBもみのきサイクル耐久レース&MTBクロスカントリーレース	県立もみのき森林公園サイクリングコース	(財)もみのき森林公園協会、広島県自転車競技連盟	2,312
167	7月28日	第36回三次地区陸上競技大会	みよし運動公園陸上競技場	備北体育協会連絡協議会他	850
168	7月28日	第19回八幡川リバーマラソン	広島市八幡川河川敷(三島橋下)	八幡川リバーマラソン大会委員会、広島市佐伯区	2,746
169	7月28日	第7回比和町かさべるで杯親善ゲートボール大会	比和町総合運動公園多目的広場	比和町かさべるで杯ゲートボール大会実行委員会、比和町	550
170	8月1日	第5回近郷市健康づくり親善ゲートボール大会	総領町田総の里多目的広場	総領町	465
171	8月1・2日	2002年度口和町分館対抗ソフトボール大会	口和町運動公園	口和町体育協会、口和町公民館	150
172	8月3日	第1回庄原市民グラウンド・ゴルフ大会	(株)ニッテツグラウンド	庄原市教育委員会	53
173	8月3日	高蓋地区ジョギングの会	三和町さんわ総合センター周辺	三和町教育委員会	50
174	8月3・4日	第8回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース	道後山高原クロカンパーク	西城町、日本トライアスロン連合他	700
175	8月4日	第53回呉の夏まつり(よしゃこい踊り大会)	呉市中央公園	呉観光協会、中国新聞社、呉市	29,100
176	8月4日	八千代湖交流ボート大会	八千代町八千代湖	八千代湖畔祭実行委員会、八千代町	650
177	8月4日	第56回県内オープンソフトテニス大会	世羅町せら香遊ランドテニスコート	世羅郡体育協会、世羅町教育委員会他	187
178	8月4日	第13回高宮町民健康づくり朝のつどい	川根コミュニティ広場他9会場	高宮町、高宮町教育委員会、高宮町体育協会	484
179	8月4日	甲山町ソフトバレーボール大会	甲山中学校体育館	甲山町教育委員会	98
180	8月4日	第26回上下町民ソフトボール大会	上下運動公園、上下高等学校、上下中学校	上下町教育委員会、上下町体育協会他	500
181	8月8日	第14回吾妻山グリーンラリー	比和町民会館、国定公園吾妻山	比和町教育委員会	80
182	8月10・11日	第3回おりづる広島オープン車いすバスケットボール大会	県立身体障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター他	県立身体障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター	849
183	8月13～15日	夏だキャンプだファイヤーだ	県民の森キャンプ場	県立県民の森、(財)比婆山地域開発公社	2,415
184	8月11日	第38回三次地区学童水泳記録会	三次市営水泳プール	三次市水泳連盟、三次市教育委員会	785
185	8月15日	第47回甲奴町内野球大会	カーター記念球場、甲奴中学校グラウンド	甲奴町教育委員会、甲奴町体育協会	200
186	8月17日	100フェスティバル&カーニバル(100イニングソフトボール)	呉市民広場	呉市	750
187	8月17日	豊浜町グラウンド・ゴルフ大会	豊浜町架橋記念公園	豊浜町体育協会、豊浜町教育委員会	38
188	8月17日	第3回ひろしまクロスカントリー大会	道後山高原クロカンパーク	西城町、(財)広島陸上競技協会他	1,857
189	8月17・18日	青少年剣道錬成大会	県立ふれあいの里青年の家、御調高等学校、御調中学校	広島県教育委員会	580
190	8月18日	水辺の自然観察と野外ゲーム	県立中央森林公園	(財)中央森林公園協会	754
191	8月18日	第3回ウイングカップJrソフトボールフェスティバル	豊平町総合運動公園野球場(どんぐりスタジアム)	(財)とよひらふれあい公園協会、豊平町教育委員会	700
192	8月18日	第14回東広島市民スポーツ大会(球技の部)	アクアパーク陸上競技場、体育館他	東広島市民スポーツ大会実行委員会、東広島市他	1,300
193	8月20～22日	安芸っ子チャレンジキャンプ	倉橋町桂浜ふれあいセンター他周辺	倉橋町、安芸郡公民館連合会	154
194	8月23～25日	夏山ワクワクなぎなたフェスティバル兼 第5回西城町長杯なぎなた競技大会	道後山高原総合体育館	西城町、広島県なぎなた連盟他	420
195	8月24・25日	第10回宮島コーラルソフトバレーボール交流フェスティバル	大野町体育館	大野町ソフトバレーボール連盟、大野町	450
196	8月24・25日	ラグビーフットボール交流会	県立ふれあいの里青年の家	広島県教育委員会	150
197	8月25日	第27回竹原市民体育大会	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド他	竹原市、竹原市教育委員会、竹原市体育協会	1,700
198	8月25日	尾三地区体育協会連絡協議会交流競技大会	世羅町せら香遊ランド芝生広場	尾三地区体育協会連絡協議会	150
199	8月25日	第21回東区親善スポーツ大会	戸坂中学校	広島市学区体育団体東区連合会、広島市東区	380
200	8月25日	第7回広島県インディアカ大会	廿日市市スポーツセンター(サンチェリー)	広島県インディアカ協会	400
201	8月26日	2002年度口和町グラウンド・ゴルフ大会	口和町運動公園	口和町体育協会、口和町教育委員会	220

祭典概要

No.	開催日	事業名称	会場施設	主催団体等	参加者数
202	9月1日	吉田町スポーツ･レクリエーション大会	吉田運動公園	吉田町スポーツ･レクリエーション大会実行委員会、吉田町教育委員会	186
203	9月1日	第19回八幡高原聖湖マラソン大会	八幡高原191スキー場～八幡高原聖湖畔	第19回八幡高原聖湖マラソン大会実行委員会、芸北町他	6,000
204	9月1日	2002尾道市スポーツフェスティバル	県立びんご運動公園、東尾道市民スポーツ広場他	尾道市体育協会、尾道市他	850
205	9月1日	広島県女子ゲートボール選手権大会	三次市河川敷特設コート	広島県ゲートボール連合	470
206	9月8日	第4回広島県ターゲット･バードゴルフ大会	県立びんご運動公園多目的広場	広島県ターゲット･バードゴルフ協会	143
207	9月8日	第24回筒賀村民運動会	筒賀小学校グラウンド	筒賀村民運動会実行委員会、筒賀村教育委員会	400
208	9月8日	第20回神辺町陸上選手権大会	神辺町民グラウンド	神辺町体育協会、山陽新聞社	550
209	9月14日	豊町内職域団体対抗ゲートボール大会	旧久比小学校グラウンド	豊町教育委員会	130
210	9月14日	親子自転車学校	県立中央森林公園サイクルセンター	(財)中央森林公園協会	1,080
211	9月18･19日	全国レクリエーションラージボール卓球大会	吉田運動公園体育館	日本レクリエーション卓球連盟	400
212	9月21･22日	ファミリーキャンプ	県立吉田少年自然の家	県立吉田少年自然の家	85
213	9月21･22日	ファミリーキャンプ「ふれあい･スポレクまつり」	県立福山少年自然の家	県立福山少年自然の家	30
214	9月22日	第7回筒賀村グラウンド･ゴルフ大会	筒賀村多目的スポーツ広場	筒賀村教育委員会	200
215	9月22日	第54回ふくやまスポーツ祭	福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場他	福山市教育委員会	3,648
216	9月22日	第4回広島県ユニカール大会	福山市立東小学校体育館	広島県ユニカール協会	209
217	9月22日	2002もみのきサイクル耐久レース(秋)	県立もみのき森林公園サイクリングコース	(財)もみのき森林公園協会、広島県自転車競技連盟	2,400
218	9月23日	第8回沼隈町グラウンド･ゴルフ大会	みろくの里ショートコースゴルフ場	沼隈町教育委員会	99
219	9月23日	中国地区秋季エスキーテニス大会	広島市東区スポーツセンター	広島県エスキーテニス連盟	410
220	9月28日	みつやの里スポーツクラブ交流会	吉田運動公園	みつやの里スポーツクラブ、吉田町教育委員会	277
221	9月29日	豊町内職域団体対抗バレーボール大会	旧沖友小学校体育館	豊町教育委員会	120
222	9月29日	ファミリー投げ釣り大会“宮島キス投げ釣り大会”	宮島町桟橋前広場、町内の海岸	(財)日本釣振興会中国地区支部	330
223	9月29日	第1回広島県身体障害者陸上競技大会	東広島運動公園陸上競技場	県立身体障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター	284
224	9月29日	第9回三良坂町オープンふれあいビーチボールバレー大会	三良坂町立体育館	三良坂町体育協会、三良坂町教育委員会	225
225	9月29日	広島マウンテンバイカーズ･フェスティバル2002	国営備北丘陵公園	日本マウンテンバイク協会	287
226	9月29日	デュアスロンヒロシマ2002チャンピオンシップ	県立中央森林公園サイクリングロード	広島県トライアスロン協会	550
227	10月5日	インドアトライアスロンinひろしま(秋)	県立総合体育館	広島県トライアスロン協会	135
228	10月5日	スポレク広島2002･親子ふれあいトスボール大会	広島市西部埋立第五公園	日本トスボール協会広島県支部、廿日市市支部	400
229	10月5･6日	全日本ポケットビリーヤードU.Sナインボール大会	東広島市　賀茂ボール	(社)日本ビリヤード協会	330
230	10月5･6日	10人制ラグビーフットボール大会	広島県総合グランド、ラグビー場	広島県ラグビーフットボール協会	546
231	10月6日	大崎町町民体育大会	中野小学校グラウンド	大崎町、大崎町教育委員会、大崎町体育協会	2,470
232	10月6日	ふるさと再発見“ウォーク･ラリー　KAITA”	海田小学校グラウンド他町内	海田町教育委員会	700
233	10月6日	ウォークラリー大会“歩いてわが町を知ろう”	黒瀬町文化センター周辺	黒瀬町教育委員会	665
234	10月6日	ひろしま国体記念第6回甲田町民スポーツ大会 地区対抗グラウンド･ゴルフ大会	甲立多目的広場	甲田町教育委員会	232
235	10月6日	平成14年度第37回早暁登山	豊栄町板鍋山、天神嶽	豊栄町教育委員会	220
236	10月6日	第6回広島ミニテニス交流大会	広島市中区スポーツセンター	日本ミニテニス協会	292
237	10月6日	のうみ健康ウォーク	のうみスポーツセンター他町内	能美町、能美町教育委員会	170
238	10月6日	第58回東野町民体育大会	東野小･中学校グラウンド	東野町、東野町体育協会	1,050
239	10月6日	青年の家ひろば	県立七塚原青年の家	広島県教育委員会	15
240	10月6日	むかいはら　ふれあいピック	向原町運動広場	向原町教育委員会	990
241	10月6日	第5回深入山グラウンド･ゴルフ大会	戸河内町深入山グリーンシャワー	戸河内町教育委員会、戸河内町グラウンド･ゴルフ協会	424
242	10月6日	第16回もみのき森林公園ファミリーマラソン	県立もみのき森林公園	(財)もみのき森林公園協会、中国新聞社他	5,600
243	10月6日	「スポレク広島2002」広島パーク･オリエンテーリング大会	広島市中央公園、県立総合体育館周辺	広島県オリエンテーリング協会	150
244	10月6日	広島市立大学国際学部「フライングディスク教室」	広島市立大学グラウンド	広島市立大学国際学部	47
245	10月6日	「スポレク広島2002」スポーツチャンバラ大会	県立総合体育館武道場	国際スポーツチャンバラ協会	216
246	10月6日	全国パドルテニス大会	佐伯町総合スポーツ公園、友和小学校体育館	日本パドルテニス協会	149
247	10月6日	ヒューストン吹矢競技全日本選手権大会	大竹市総合体育館	日本安全吹矢協会	30
248	10月6日	第11回フィンスイミング短水路日本選手権大会	県立総合体育館プール	日本水中スポーツ連盟	295
249	10月7･8日	全国マレットゴルフひろしま交流大会	県立みよし公園	日本マレットゴルフ協会	330
総事業数：249事業					
参加者総人数：254,654人					

準備概要
総務

広島県実行委員会等の設置

1　準備連絡会

≪平成１１年７月１４日≫
・準備連絡会の運営方法を協議・決定

≪平成１１年９月９日≫
・祭典基本構想（素案）を協議
・祭典の名称、主会場、会期、種目別大会開催方針等を協議
・スローガン・マスコット制定の基本方針を協議

≪平成１１年１１月２５日≫
・祭典基本構想案を協議
・会期、種目別大会実施種目案を協議
・種目別大会会場地等希望調査方法等を協議

≪平成１２年３月１７日≫
・祭典基本構想案、会期案、種目別大会実施種目案等を協議
・広島県準備委員会の設立方法を協議

2　準備委員会

（１）準備委員会

≪平成１２年６月１４日≫
・平成１２年度事業計画及び収支予算を承認
・祭典基本構想広島県案を決定
・会期、種目別大会実施種目広島県案を決定

≪平成１２年１０月２４日≫
・種目別大会実施種目及び会場地を決定
・スローガン及びマスコットの決定
・祭典基本計画の策定方針を協議

≪平成１３年３月２１日≫
・平成１２年度事業報告及び収支決算(見込み)を承認
・祭典基本計画を策定
・広報・宿泊・輸送交通・医事衛生計画を策定
・広島県実行委員会の設立方法を協議

（２）企画検討委員会

≪平成１２年６月１４日≫
・企画検討委員会の運営方法を承認
・スローガン・マスコットの募集の基本方針等を協議
・種目別大会会場地の選定方針等を協議
・祭典基本計画の策定方針を協議

≪平成１２年９月２５日≫
・祭典基本計画の策定方法を協議
・スローガン・マスコット優秀作品の選考
・マスコット愛称募集の基本方針を協議

≪平成１３年２月１５日≫
・祭典基本計画案を協議
・マスコット愛称の決定

≪平成１３年３月６日≫
・祭典基本計画案を協議
・広報・宿泊・輸送交通・医事衛生計画案を協議

3　実行委員会

（１）総　会

≪平成１３年５月２１日≫
・広島県実行委員会会則を承認
・平成１３年度事業計画及び収支予算を承認

≪平成１４年５月３１日≫
・平成１３年度事業報告及び収支決算を承認
・平成１４年度事業計画及び収支予算を承認

≪平成１５年３月２０日≫
・平成１４年度事業報告及び収支決算(見込み)を承認
・平成１４年度決算の確定に関する権限の委任を承認
・広島県実行委員会解散

（２）常任委員会

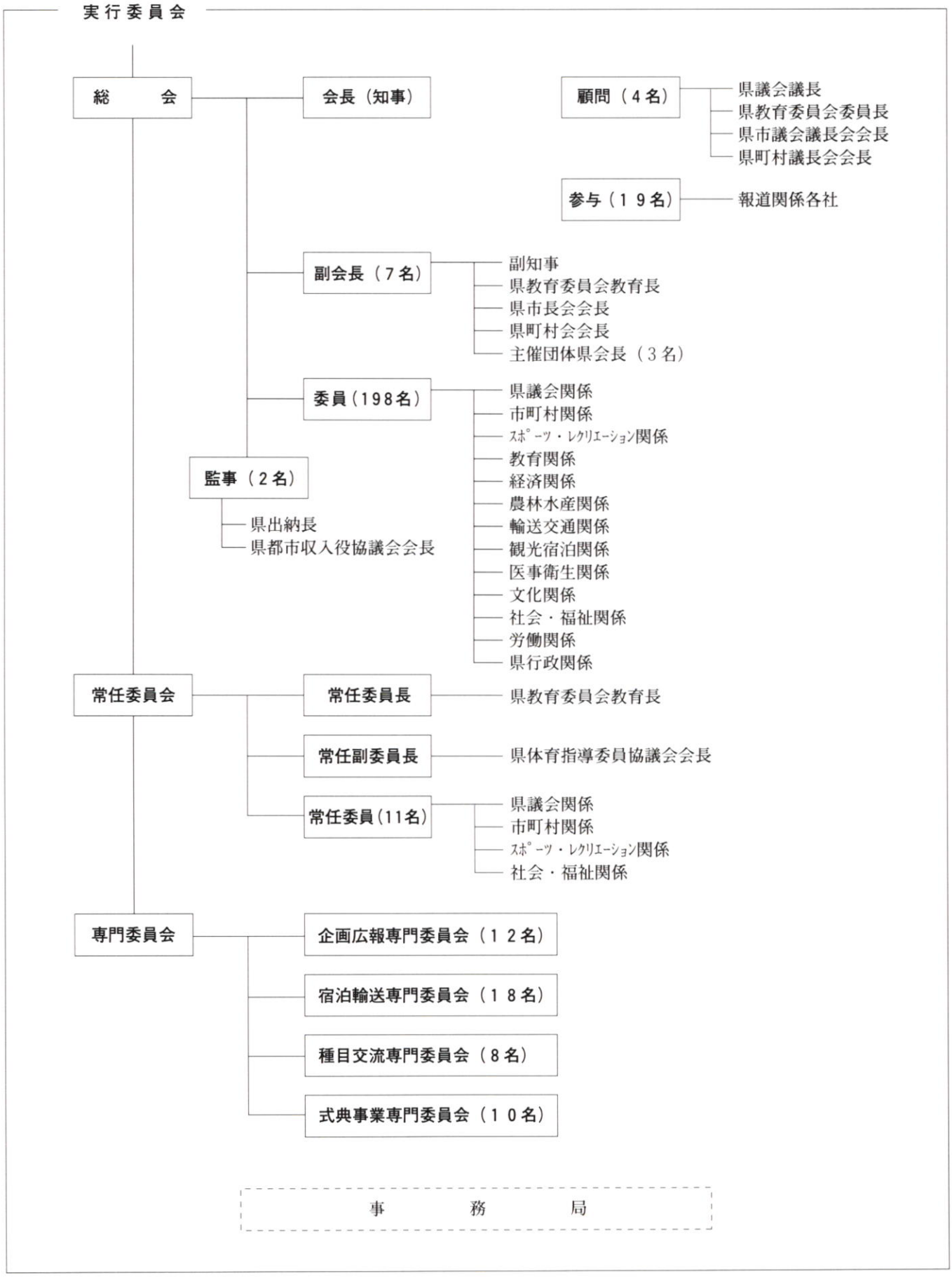
≪平成１３年１１月２６日≫
・種目別大会実施計画を策定
・宿泊・輸送交通・医事衛生・安全管理要項を策定

≪平成１４年３月２５日≫
・祭典実施要項を策定
・開会式・閉会式・シンポジウム・特別行事実施計画を策定
・種目別大会実施要項を策定
・祭典役員編成基準及び招待者基準を承認
・平成１３年度事業報告及び収支決算(見込み)を承認
・平成１４年度事業計画及び収支予算を承認

準備概要

総務

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会組織



第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会構成

会　長	知事　１名	顧　問	県議会議長 県教育委員会委員長 県市議会議長会会長 県町村議会議長会会長 ４名
副会長	副知事		
副会長・常任委員	県教育委員会教育長 県市長会会長 県町村会会長 県体育協会会長 県レクリエーション協会会長 県体育指導委員協議会会長 ７名	参　与	朝日新聞社広島支局長 産経新聞社広島支局長 全国新聞情報農業協同組合連合会中国四国支所長 日刊工業新聞社中四国支社長 日本工業新聞社中国支局長 読売新聞社広島総局長 中国放送代表取締役社長 広島テレビ放送代表取締役社長 広島エフエム放送代表取締役社長 時事通信社広島支社長 山陰中央新報社広島支社長 山陽新聞社広島支社長 中国新聞社代表取締役社長 日本経済新聞社広島支局長 毎日新聞社広島支局長 日本放送協会広島放送局長 テレビ新広島代表取締役社長 広島ホームテレビ代表取締役社長 共同通信社広島支局長 １９名
常任委員	県議会議員 県都市教育長会会長 県町村教育長会会長 広島市立大学教授 県女性会議理事長 ひろしまＮＰＯセンター理事 県社会福祉協議会会長 ７名	監　事	県出納長 県都市収入役協議会会長 ２名

委　員	県議会関係 県議会議員 １名	輸送交通関係 県バス協会会長 県タクシー協会会長 県個人タクシー協会会長 県トラック協会会長 県旅客船協会会長 西日本旅客鉄道執行役員広島支社長 広島電鉄代表取締役社長 広島高速交通代表取締役社長 日本航空広島支店長 全日本空輸西日本販売カンパニー広島支店長 日本エアシステム中四国支店長 県交通安全協会会長 １２名	文化関係 県合唱連盟理事長 県吹奏楽連盟理事長 県文化団体連合会会長 文化振興基金理事長 ４名
	市町村関係 市町村長（８４名） ８４名	観光宿泊関係 県観光連盟会長 日本ホテル協会中国四国支部支部長 全日本シティホテル連盟中国四国支部支部長 日本観光旅館連盟広島連絡会会長 県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長 県観光土産品協議会会長 日本旅行業協会中四国支部広島地区会会長 ７名	社会・福祉関係 広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会運営委員長 県地域女性団体連絡協議会会長 広島市地域女性団体連絡協議会会長 県老人クラブ連合会会長 広島市老人クラブ連合会会長 県青年連合会会長 青少年育成広島県民会議会長 県子ども会連合会会長 広島市子ども会連合会会長 ふるさと会議ひろしま会長 ひろしま国際センター会長 ライオンズクラブ国際協会336-C地区ガバナーエレクト 国際ロータリー2710地区ガバナー 日本ボーイスカウト広島県連盟理事長 ガールスカウト日本連盟広島県支部長 県消防協会会長 県消防長会会長 県公民館連合会会長 １８名
	スポーツ・レクリエーション関係 種目団体の長（２３名） 県スポーツ少年団本部長 ２４名	医事衛生関係 県医師会会長 県歯科医師会会長 県薬剤師会会長 県生活衛生同業組合連合会会長 日本赤十字社広島県支部長 県病院協会会長 県看護協会会長 県食品衛生協会会長 県栄養士会会長 県調理師会連合会会長 県環境保健協会理事長 県生活衛生営業指導センター理事長 県飲食業生活衛生同業組合理事長 １３名	労働関係 日本労働組合総連合会広島県連合会会長 県雇用開発協会会長 ２名
	教育関係 県連合小学校長会会長 県公立中学校長会会長 県公立高等学校長協会会長 県障害児学校長会会長 県幼稚園協議会理事長 県私立中学高等学校協会会長 県私立幼稚園連盟理事長 県専修学校各種学校連盟会長 県ＰＴＡ連合会会長 県高等学校ＰＴＡ連合会会長 広島市ＰＴＡ協議会会長 県私立中学高等学校教育後援会会長 県教育事業団理事長 県高等教育機関協議会代表幹事 １４名		県行政関係 県警察本部長 １名
	経済関係 県商工会議所連合会会頭 県商工会連合会会長 県中小企業団体中央会会長 県経営者協会会長 日本青年会議所中国地区協議会広島ブロック協議会会長 中国経済連合会会長 広島経済同友会代表幹事 ７名		
	農林水産関係 県農業協同組合中央会会長 県漁業協同組合連合会代表理事会長 県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長 県森林組合連合会代表理事会長 ４名		

準備概要
総務

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実行委員会専門委員会

企画広報専門委員会	
委員長	元広島市立高校教諭（美術）
副委員長	県観光連盟事務局長
委　員	県市長会事務局長
	県町村会事務局長
	県公立学校校長会連合会会長
	広島商工会議所事務局長
	県商工会連合会事務局長
	マツダ（株）デザイン部主幹
	ひろしまＮＰＯセンター事務局長
	（株）中国新聞社営業事業本部事業センター長
	日本放送協会広島放送局広報・事業担当部長
	県総務企画部秘書広報総室広報室長
	１２名

宿泊輸送専門委員会	
委員長	日本ホテル協会中国四国支部事務局長
副委員長	県バス協会専務理事
委　員	西日本旅客鉄道（株）広島支社営業課長
	国土交通省中国運輸局広島陸運支局輸送課長
	全日本シティホテル連盟中国四国支部広島支部長
	日本旅行業協会中四国支部広島地区会会長
	県医師会事務局長
	県生活衛生同業組合連合会専務理事
	県看護協会事務局長
	県食品衛生協会副会長
	県ホテル旅館生活衛生同業組合専務理事
	県飲食業生活衛生同業組合筆頭副理事長
	県消防長会事務局長
	県環境生活部防災管理総室消防室長
	県福祉保健部保健医療総室医務看護室長
	県福祉保健部衛生・被爆者総室生活衛生室長
	県警察本部交通部交通規制課長
	県警察本部警備部警備課長
	１８名

種目交流専門委員会	
委員長	県体育指導委員協議会副会長
副委員長	県レクリエーション協会副会長
委　員	県市長会事務局長
	県町村会事務局長
	県体育協会専務理事
	県体育指導委員協議会女性委員長
	県教育事業団事務局長
	県教育委員会事務局スポーツ健康課長
	８名

式典事業専門委員会	
委員長	広島市立大学教授
副委員長	余暇生活開発士
委　員	県体育協会専務理事
	県レクリエーション協会副会長
	県体育指導委員協議会副会長
	県合唱連盟理事長
	県吹奏楽連盟理事長
	県文化団体連合会事務局長
	広島文化短期大学教授
	県教育委員会事務局スポーツ健康課長
	１０名

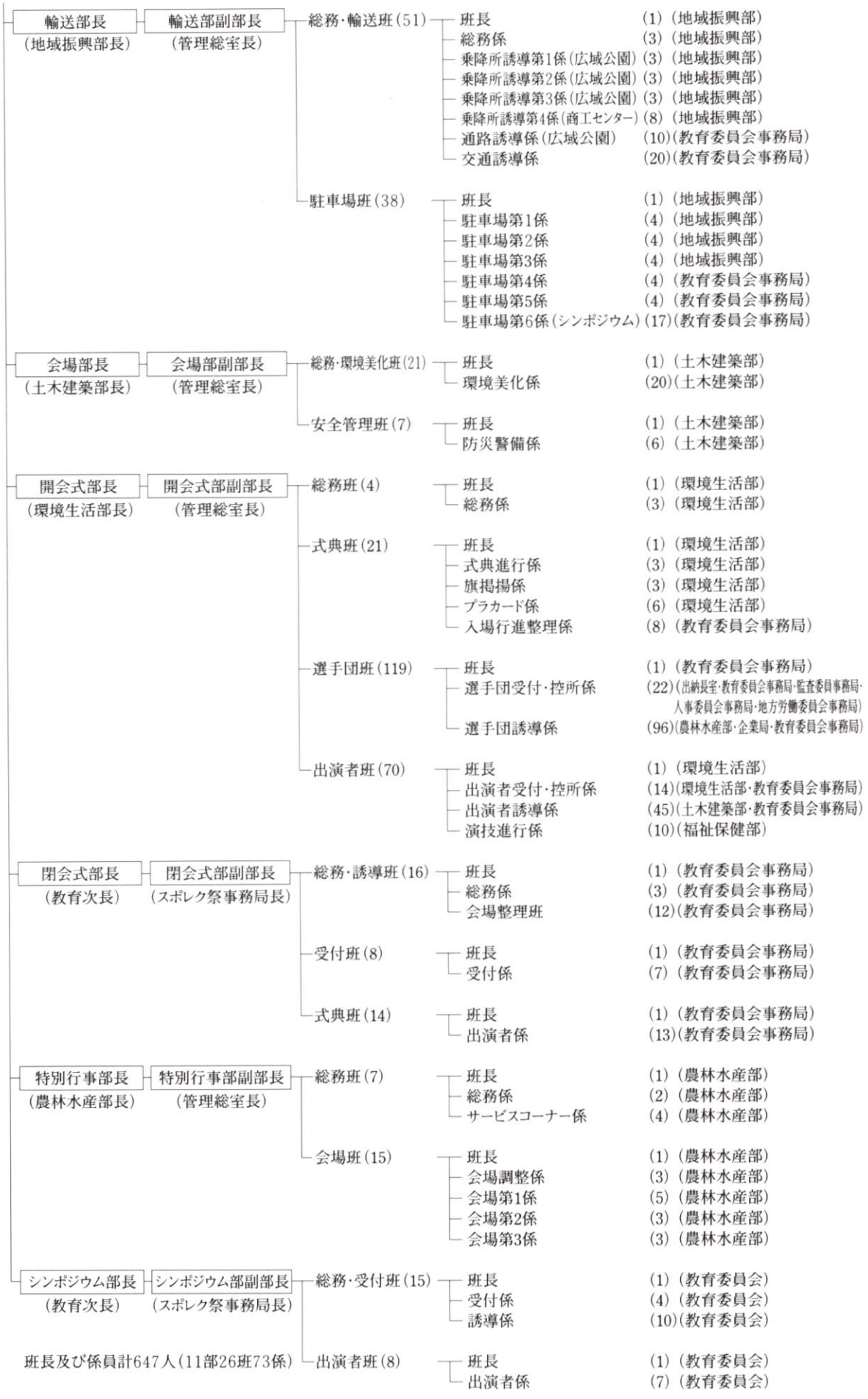
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭　祭典役員編成表

職　名	文部科学省	日体協	日レク協	全国体指	広島県	県内市町村	県体協	県レク協	県体指	種目団体	都道府県	合計
名誉会長	大臣											1
会　長					知事							1
副会長	スポーツ・青少年局長	会長	会長	会長	副知事							5
顧　問	副大臣 大臣政務官 事務次官	副会長　2 常務理事3	副会長　3 常務理事3	副会長3 専務理事	国会議員22 県議会議長 出納長 教育委員会委員長	市長会会長 町村会会長 都市教育長会会長 町村教育長会会長	会長	会長	会長	中央団体 会長24		74
参　与	スポーツ・青少年局審議官 スポーツ・青少年局総括官 スポーツ・青少年局企画・体育課長				県議会副議長 県議会議員2 県警本部長1	市町村長86 市議会議長会会長 町村議会議長会会長						95
祭典委員長					教育長							1
祭　典 副委員長	生涯スポーツ課長 競技スポーツ課長	事務局長	事務局長	事務局長	教育次長							6
委　員	スポーツ・青少年局スポーツ指導専門官				全国ｽﾎﾟﾚｸ祭事務局長 スポーツ健康課長					県内団体 会長25	スポレク 主管課長46	74
合　計	11	7	8	6	35	92	1	1	1	49	46	257

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実施本部組織図



準備概要
総務


輸送部長（地域振興部長）
輸送部副部長（管理総室長）
総務・輸送班（51）
班長 (1)（地域振興部）
総務係 (3)（地域振興部）
乗降所誘導第1係（広域公園） (3)（地域振興部）
乗降所誘導第2係（広域公園） (3)（地域振興部）
乗降所誘導第3係（広域公園） (3)（地域振興部）
乗降所誘導第4係（商工センター） (8)（地域振興部）
通路誘導係（広域公園） (10)（教育委員会事務局）
交通誘導係 (20)（教育委員会事務局）
駐車場班（38）
班長 (1)（地域振興部）
駐車場第1係 (4)（地域振興部）
駐車場第2係 (4)（地域振興部）
駐車場第3係 (4)（地域振興部）
駐車場第4係 (4)（教育委員会事務局）
駐車場第5係 (4)（教育委員会事務局）
駐車場第6係（シンポジウム） (17)（教育委員会事務局）
会場部長（土木建築部長）
会場部副部長（管理総室長）
総務・環境美化班（21）
班長 (1)（土木建築部）
環境美化係 (20)（土木建築部）
安全管理班（7）
班長 (1)（土木建築部）
防災警備係 (6)（土木建築部）
開会式部長（環境生活部長）
開会式部副部長（管理総室長）
総務班（4）
班長 (1)（環境生活部）
総務係 (3)（環境生活部）
式典班（21）
班長 (1)（環境生活部）
式典進行係 (3)（環境生活部）
旗掲揚係 (3)（環境生活部）
プラカード係 (6)（環境生活部）
入場行進整理係 (8)（教育委員会事務局）
選手団班（119）
班長 (1)（教育委員会事務局）
選手団受付・控所係 (22)（出納長室・教育委員会事務局・監査委員事務局・人事委員会事務局・地方労働委員会事務局）
選手団誘導係 (96)（農林水産部・企業局・教育委員会事務局）
出演者班（70）
班長 (1)（環境生活部）
出演者受付・控所係 (14)（環境生活部・教育委員会事務局）
出演者誘導係 (45)（土木建築部・教育委員会事務局）
演技進行係 (10)（福祉保健部）
閉会式部長（教育次長）
閉会式部副部長（スポレク祭事務局長）
総務・誘導班（16）
班長 (1)（教育委員会事務局）
総務係 (3)（教育委員会事務局）
会場整理班 (12)（教育委員会事務局）
受付班（8）
班長 (1)（教育委員会事務局）
受付係 (7)（教育委員会事務局）
式典班（14）
班長 (1)（教育委員会事務局）
出演者係 (13)（教育委員会事務局）
特別行事部長（農林水産部長）
特別行事部副部長（管理総室長）
総務班（7）
班長 (1)（農林水産部）
総務係 (2)（農林水産部）
サービスコーナー係 (4)（農林水産部）
会場班（15）
班長 (1)（農林水産部）
会場調整係 (3)（農林水産部）
会場第1係 (5)（農林水産部）
会場第2係 (3)（農林水産部）
会場第3係 (3)（農林水産部）
シンポジウム部長（教育次長）
シンポジウム部副部長（スポレク祭事務局長）
総務・受付班（15）
班長 (1)（教育委員会）
受付係 (4)（教育委員会）
誘導係 (10)（教育委員会）
出演者班（8）
班長 (1)（教育委員会）
出演者係 (7)（教育委員会）
班長及び係員計647人（11部26班73係）

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実施本部係別従事計画

実施本部名	班　　名	係　　名	9/28（土）第1回総合リハーサル	10/4（金）第2回総合リハーサル	10/5（土）開会式 特別行事	10/6（日）種目別大会 特別行事 シンポジウム	10/7（月）種目別大会	10/8（火）種目別大会 閉会式	延　計	動員数
祭典総務部	祭典総務班	班長	1	1	1	1	1	1	6	1
		副班長（総務企画担当）	1	1	1	1	1	1	6	1
		総務係	4	4	4	4	4	4	24	4
		広報調整係	4	4	4	4	4	4	24	4
		宿泊輸送･医事衛生調整係	3	3	3	3	3	3	18	3
		副班長（種目式典担当）	1	1	1	1	1	1	6	1
		種目交流調整係	3	3	3	3	3	3	18	3
		開･閉会式係	4	4	4	4	4	4	24	4
		特別行事･シンポジウム係	3	3	3	3	3	3	18	3
祭典総務部計			24	24	24	24	24	24	144	24
招待部	総務・特別招待者班	班長		1	1			1	3	1
		総務・案内係			5				5	5
		特別接遇係			36	36	18	18	108	36
		昼食会場係			3				3	3
		控所係			8				8	8
		小　計	0	1	53	36	18	19	127	53
	一般招待者班	班長		1	1				2	1
		一般招待者係			15				15	15
		一般招待者弁当係			5				5	5
		小　計	0	1	21	0	0	0	22	21
	受付班	班長		1	1				2	1
		特別招待者受付係			5				5	5
		一般招待者受付係			15				15	15
		小　計	0	1	21	0	0	0	22	21
招待部計			0	3	95	36	18	19	171	95
案内部	総務・案内班	班長		1	1	1			3	1
		総合案内所第１係			6	4			10	6
		総合案内所第２係			4	4			8	4
		迷子遺失物係			3	3			6	3
		広島駅案内所第１係		4	4	3	3	3	17	4
		広島駅案内所第２係		4	4	3	3	3	17	4
		広島空港案内所係		3	3				6	3
		小　計	0	12	25	18	6	6	67	25
	入場整理班	班長		1	1				2	1
		入場口係		1	8				9	8
		スタンド係		1	24				25	24
		小　計	0	3	33	0	0	0	36	33
案内部計			0	15	58	18	6	6	103	58
広報部	総務・広報班	班長		1	1	1			3	1
		プレスセンター係		2	4	4	2	3	15	4
		現地報道係		1	4	4		4	13	4
		写真係		1	2	2		2	7	2
		小　計	0	5	11	11	2	9	38	11
	大会記録班	班長		1	1	1	1	1	5	1
		記録センター係		1	2	2	2	2	9	2
		小　計	0	2	3	3	3	3	14	3
広報部計			0	7	14	14	5	12	52	14

準備概要
総務

実施本部名	班　名	係　名	9/28（土）第1回総合リハーサル	10/4（金）第2回総合リハーサル	10/5（土）開会式 特別行事	10/6（日）種目別大会 特別行事 シンポジウム	10/7（月）種目別大会	10/8（火）種目別大会 閉会式	延　計	動員数
医事・衛生部	総務・医療救護班	班長	1	1	1	1		1	5	1
		総務係	1	1	2				4	2
		医療救護第1係（開会式）	2	2	3				7	3
		医療救護第2係（特別行事）			3	2			5	3
		医療救護第3係（ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ）				2			2	2
		医療救護第4係（閉会式）						2	2	2
		小　計	4	4	9	5	0	3	25	13
	食品衛生班	班長		1	1	1			3	1
		食品衛生係			5	5			10	5
		小　計	0	1	6	6	0	0	13	6
	弁当班	班長		1	1				2	1
		弁当配布第1係（実施本部員）		3	6				9	6
		弁当配布第2係（出演者）		6	6				12	6
		弁当配布第3係（選手団）			10				10	10
		小　計	0	10	23	0	0	0	33	23
医事・衛生部計			4	15	38	11	0	3	71	42
輸送部	総務・輸送班	班長		1	1	1			3	1
		総務係			3	3			6	3
		乗降所誘導第1係（広域公園）			3				3	3
		乗降所誘導第2係（広域公園）			3				3	3
		乗降所誘導第3係（広域公園）			3				3	3
		乗降所誘導第4係（商工センター）			8	8			16	8
		通路誘導係（広域公園）			10	4			14	10
		交通誘導係			20	10			30	20
		小　計	0	1	51	26	0	0	78	51
	駐車場班	班長		1	1				2	1
		駐車場第1係		4	4				8	4
		駐車場第2係		4	4				8	4
		駐車場第3係		4	4				8	4
		駐車場第4係		4	4				8	4
		駐車場第5係		4	4				8	4
		駐車場第6係（ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ）				17			17	17
		小　計	0	21	21	17	0	0	59	38
輸送部計			0	22	72	43	0	0	137	89
会場部	総務・環境美化班	班長	1	1	1	1			4	1
		環境美化係	10	10	20	20			60	20
		小　計	11	11	21	21	0	0	64	21
	安全管理班	班長		1	1	1			3	1
		防災警備係		2	6	4			12	6
		小　計	0	3	7	5	0	0	15	7
会場部計			11	14	28	26	0	0	79	28

実施本部名	班　　名	係　　名	9/28（土）第1回総合リハーサル	10/4（金）第2回総合リハーサル	10/5（土）開会式 特別行事	10/6（日）種目別大会 特別行事 シンポジウム	10/7（月）種目別大会	10/8（火）種目別大会 閉会式	延　計	動員数
開会式部	総務班	班長	1	1	1				3	1
		総務係	3	3	3				9	3
		小　計	4	4	4	0	0	0	12	4
	式典班	班長	1	1	1				3	1
		式典進行係	3	3	3				9	3
		旗掲揚係		3	3				6	3
		プラカード係		6	6				12	6
		入場行進整理係		8	8				16	8
		小　計	4	21	21	0	0	0	46	21
	選手団班	班長		1	1				2	1
		選手団受付･控所係		22	22				44	22
		選手団誘導係		96	96				192	96
		小　計	0	119	119	0	0	0	238	119
	出演者班	班長	1	1	1				3	1
		出演者受付･控所係	11	14	14				39	14
		出演者誘導係	10	45	45				100	45
		演技進行係	10	10	10				30	10
		小　計	32	70	70	0	0	0	172	70
開　会　式　部　計			40	214	214	0	0	0	468	214
閉会式部	総務･誘導班	班長						1	1	1
		総務係						3	3	3
		会場整理係						12	12	12
		小　計	0	0	0	0	0	16	16	16
	受付班	班長						1	1	1
		受付係						7	7	7
		小　計	0	0	0	0	0	8	8	8
	式典班	班長						1	1	1
		出演者係						13	13	13
		小　計	0	0	0	0	0	14	14	14
閉　会　式　部　計			0	0	0	0	0	38	38	38
特別行事部	総務班	班長		1	1	1			3	1
		総務係		2	2	2			6	2
		サービスコーナー係		4	4				8	4
		小　計	0	7	7	3	0	0	17	7
	会場班	班長		1	1	1			3	1
		会場調整係		3	3	3			9	3
		会場第1係		5	5	5			15	5
		会場第2係		3	3	3			9	3
		会場第3係		3	3	3			9	3
		小　計	0	15	15	15	0	0	45	15
特　別　行　事　部　計			0	22	22	18	0	0	62	22
ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ部	総務･受付班	班長				1			1	1
		受付係				4			4	4
		誘導係				10			10	10
		小　計	0	0	0	15	0	0	15	15
	出演者班	班長				1			1	1
		出演者係				7			7	7
		小　計	0	0	0	8	0	0	8	8
シ　ン　ポ　ジ　ウ　ム　部　計			0	0	0	23	0	0	23	23
総　　計			79	336	565	213	53	102	1,348	647

準備概要
総務

傷害保険等の加入

（1）祭典に参加する選手等の万一の事故に対応するため、
次のとおり傷害保険等に加入しました。

（2）傷害保険等内容

種　類	対　　象	期　　間	補　償　額
傷害保険	「スポレク広島２００２」種目別大会都道府県代表参加種目に参加する選手、監督、コーチ、トレーナー、スコアラーの傷害	平成１４年 １０月４日～１０月９日	死亡保険金　３００万円 後遺傷害保険金 後遺傷害等級に応じて死亡保険金の ３％～１００％ 入院保険金（日額） ３，０００円 通院保険金（日額） ２，０００円
	「スポレク広島２００２」種目別大会に参加する大会役員、運営役員、運営補助員の傷害	平成１４年 １０月４日～１０月９日	
	「スポレク広島２００２」に参加する祭典役員、ボランティアの傷害（県職員等の公務災害補償制度の対象者は除く。）	平成１４年 １０月４日～１０月９日	
	「スポレク広島２００２」開会式、閉会式、シンポジウム、特別行事に参加する出演者等の傷害	平成１４年 １０月４日～１０月８日	
	「スポレク広島２００２」特別行事のニュースポーツ体験コーナー等参加者の傷害	平成１４年 １０月５日・１０月６日	
施設賠償責任保険	「スポレク広島２００２」開会式、閉会式、シンポジウム、特別行事に来場する不特定多数の第三者に対する傷害	平成１４年 １０月５日・１０月６日 １０月８日	対人賠償 １名　５，０００万円 １事故　３億円 対物賠償 １事故　２００万円
生産物賠償責任保険	「スポレク広島２００２」特別行事において販売、提供した飲食物に関する傷害	平成１４年 １０月５日・１０月６日	対人賠償 １名　５，０００万円 １事故　３億円 対物賠償 １事故　１００万円

（3）傷害保険適用者　　計　２３人
（施設賠償責任保険、生産物賠償責任保険は適用なし。）

内　訳　骨折　６人　　肉離れ、靭帯断裂等　６人
捻挫　３人　　脱臼　１人
打撲　５人　　その他　２人

※適用者は種目別大会都道府県代表参加種目選手が２２人、運営役員が１人

「スポレク広島２００２」開催経費　（単位：円）

区　分		平成13年度	平成14年度見込み	計
歳入	県負担金	113,074,359	769,673,912	882,748,271
	国庫支出金	0	(153,500,000)	(153,500,000)
	協賛金	0	15,075,000	15,075,000
	参加料	0	8,439,000	8,439,000
	諸収入	5,187	4,321	9,508
	計	113,079,546	793,192,233	906,271,779
歳出	総務費	24,791,354	52,218,064	77,009,418
	企画広報費	32,222,085	67,922,028	100,144,113
	宿泊輸送費	1,425,700	209,442,419	210,868,119
	式典事業費	22,463,309	270,200,790	292,664,099
	種目交流費	32,177,098	193,408,932	225,586,030
	計	113,079,546	793,192,233	906,271,779

協賛企業

協賛金企業	物品協賛企業
株式会社ヤクルト本社	ミズノ株式会社
広島県遊技業協同組合	オタフクソース株式会社
広島県農業協同組合中央会	コカ・コーラウエストジャパン株式会社
広島中央郵便局	カルビー株式会社中四国カンパニー
社団法人広島県医師会	西日本旅客鉄道株式会社
社団法人広島県歯科医師会・広島県歯科医師協同組合	日本たばこ産業株式会社広島支店
社団法人広島県薬剤師会	
株式会社にしき堂	
キリンビール株式会社中国地区本部	
砂糖を科学する会・精糖工業会	
広島県観光土産品協議会・広島県観光土産公正取引協議会	
財団法人久保スポーツ振興基金	
広島県ゴルフクラブ連盟	
株式会社広島東洋カープ	

企画広報

Ⅰ　広報事業の展開

1　スローガン・マスコットの制定

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」に対する関心と参加気運を盛り上げる一環として、祭典スローガン・マスコット等を広く公募。

平成１２年度「企画検討委員会」において選定し、ポスター等の印刷物や屋外広告看板など各種の広報活動に活用しました。

（1）スローガン「来んさい！　しんさい！　はじけんさい！」
- ①　募集期間　　平成１２年７月１日～８月３１日
- ②　応募総数　　１,２４８点（全国公募）
- ③　最優秀作品　曽田　修（島根県平田市）

（2）マスコット（デザイン）
- ①　募集期間　　平成１２年７月１日～８月３１日
- ②　応募総数　　３８３点（全国公募）
- ③　最優秀作品　田中　康文（広島県東野町）

（3）マスコット（愛称）「アービー」
- ①　募集期間　　平成12年12月1日～平成13年1月19日
- ②　応募総数　　３，８３６点（全国公募）
- ③　最優秀作品　尾越　三津雄（広島県瀬戸田町）

2　広報活動概要

（平成11年度）

平成11年 9月 9日　第15回全国スポレク祭準備連絡会（第2回）開催
・スローガン・マスコット選定の基本方針について協議

10月16日～19日　第12回全国スポレク祭「スポレクやまがた'99」を視察、特別行事出展

（平成12年度）

平成12年 6月14日　第15回全国スポレク祭企画検討委員会（第1回）開催
・スローガン・マスコットの募集の基本方針等について協議

7月 1日　スローガン・マスコット募集開始（～8月31日）

9月12日　第15回全国スポレク祭企画検討委員会委員によりマスコット事前審査

9月25日　第15回全国スポレク祭企画検討委員会（第2回）開催
・スローガン・マスコットの募集結果について報告
・スローガン・マスコットの優秀作品の選考
・マスコット愛称募集の基本方針（愛称の決定は企画検討委員会へ委任）

9月30日～10月 3日　第13回全国スポレク祭「スポレク石川2000」を視察、特別行事出展

10月24日　第15回全国スポレク祭広島県準備委員会（第2回）開催
・スローガン・マスコットの決定

12月 1日　マスコット愛称募集開始（～平成13年1月19日）

平成13年 1月20日　「第4回島根ふるさとフェア」（広島市）において出展、PR

2月15日　第15回全国スポレク祭企画検討委員会（第3回）開催
・マスコット愛称「アービー」に決定

（平成13年度）

4月15日　マラソンリハーサル大会（神辺町）においてPR

5月 3日～ 5日　2001ひろしまフラワーフェスティバル（広島市）においてPR

5月 6日　年齢別テニスリハーサル大会（尾道市）においてPR

5月21日　第15回全国スポレク祭広島県実行委員会設立総会において、スローガン・マスコット・マスコット愛称入選作品表彰

6月 3日　スポーツフェスタ2001（広島市）においてPR
女子ソフトボールリハーサル大会（大和町）においてPR

6月 7日　広島県立福山少年自然の家利用者90万人達成記念行事（福山市）においてPR

6月24日　広島県生涯スポーツフェスティバル（三次市）においてPR

6月26日　企画広報専門委員会（第1回）開催
・企画広報実施計画案、キャンペーンスタッフの呼称について協議

7月 1日　キャンペーンスタッフ募集開始（～7月31日）

7月14日　マスターズ陸上競技リハーサル大会（広島市）においてPR

7月21日　サンフレッチェ広島公式戦（広島市）においてPR

7月28日　フォークダンスリハーサル大会（安浦町）においてPR

8月 4日　広島県体育指導委員研究大会（千代田町）においてPR

8月 5日　グラウンド・ゴルフ、年齢別ソフトテニスリハーサル大会（福山市）においてPR

8月 7日　キャンペーンスタッフ第1次審査実施

8月21日　キャンペーンスタッフ第2次審査実施

8月26日　インディアカリハーサル大会（廿日市市）においてPR

8月28日　キャンペーンスタッフ決定
・スポレクキャンペーン隊（来んさい大使、しんさい大使、はじけんさい大使）

9月 1日　生涯学習センターの子供まつり（広島市）においてPR

9月 8日　年齢別バドミントンリハーサル大会（呉市）においてPR

9月23日　ひろしまバスまつり（広島市）において出展、PR

9月26日　山口きらら博（山口県）においてPR

9月28日　スポレクキャンペーン隊委嘱状交付式

9月30日　女子ソフトボールリハーサル大会（東広島市）においてPR
エスキーテニスリハーサル大会（広島市）においてPR

10月 6日　2001ねんりんピック総合開会式会場（ふれあい交流フェア）においてPR

10月 7日～13日　第15回全国スポレク祭1年前WEEKとしてPRを実施（広島市）
・2001ねんりんピック広島さわやか健康フェスティバルステージ出演（8日）及び会場内ブースでのPR（7日～9日）
・シャレオ中央広場でのスポレク祭1年前式典及びPR（10日）
・広島スタジアム　サンフレッチェJリーグ公式戦でのPR（13日）

準備概要
企画広報

平成13年10月13日～14日　西条酒まつり（東広島市）において出展、PR
10月14日　広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル（広島市）においてPR
エアロビックリハーサル大会（豊平町）においてPR
10月16日　広告塔設置（JR広島駅、平和大通り、五日市IC、広島市役所、商工センター）
PR看板設置（県庁）
10月21日　ターゲット・バードゴルフリハーサル大会（尾道市）においてPR
10月28日　エアポートフェスタひろしま（本郷町）においてPR
サイクリングリハーサル大会（尾道市）においてPR
11月 1日　広島中央郵便局年賀葉書発売セレモニー（広島市）においてPR
11月 3日～ 4日　生涯学習フェスタ（東広島市）においてPR
11月10日～13日　第14回全国スポレク祭「スポレク2001みえ」視察、特別行事出展・出演、閉会式出席
・次期開催県としてのPR
・閉会式（リレーステージ）にて「祭典旗」引継ぎ
11月18日　マラソンリハーサル大会（坂町）においてPR
11月19日　ゲートボールリハーサル大会（竹原市）においてPR
11月23日　3B体操リハーサル大会（広島市）においてPR
カープファン感謝デー（広島市）においてPR
11月25日　ソフトバレーボールリハーサル大会（三次市）においてPR
12月 2日　トランポリンリハーサル大会（新市町）においてPR
男女混合綱引リハーサル大会（呉市）においてPR
12月 4日　不法投棄撲滅キャンペーン（県環境局）においてPR
12月11日　年末交通事故防止キャンペーンにおいてPR
平成14年 1月 1日　広島中央郵便局年賀葉書配達出発セレモニー（広島市）においてPR
1月 5日　第15回全国スポレク祭「新春PRイベント」開催
・広島駅南口地下広場において、残日計の除幕式、スポレクはじけ隊によるボディパーカッション、スポレク種目紹介、ニュースポーツ体験コーナーなどを実施
1月 6日　サウンドフェスタ（広島市）においてPR
1月 7日～ 8日　全日本女子柔道合宿（安浦町）においてPR
1月13日　中国地区書き初め大会（広島市）において出展、PR
1月19日　全国都道府県対抗男子駅伝競走大会開催記念「駅伝ふるさとひろば」（広島市）において出演、PR
1月19日～20日　「第5回島根ふるさとフェア」（広島市）において出展、PR
1月20日　スポレクマガジン（第1号）発行（以降第8号まで毎月20日発行）
1月23日　広島県物産展（大阪中央郵便局）においてPR
平成14年度東京広島県人会総会・懇親会（東京都）においてPR
1月24日　スポレクキャンペーン隊が文部科学省　岸田副大臣を表敬訪問
2月 3日　壮年ボウリングリハーサル大会（広島市）においてPR
2月 6日　県教育委員会生涯学習部長等が企業、団体、報道機関など19カ所を訪問し、「スポレク広島2002」の広報について協力依頼
2月 7日　商工会議所青年部全国大会（広島市）においてPR
2月14日～15日　生涯スポーツコンベンション2002（東京都）において出展、PR
2月16日～17日　フードフェスタ広島2002（広島市）において出展、PR
2月24日　ラージボール卓球リハーサル大会（因島市）においてPR
3月 3日　バウンドテニスリハーサル大会（大野町）においてPR
やまなみ大学冬季大学祭（戸河内町）において出展、PR
3月 8日　企画広報専門委員会（第2回）開催
・平成14年度広報実施計画案について協議
3月17日　200日前記念・広島カープオープン戦（呉市）において出演、PR
MTB大会（庄原市）においてPR
3月23日　広島県観光キャンペーンセレモニー（広島市）においてPR
3月24日　東野町ふるさと探検ウォークラリー（東野町）においてPR

（平成14年度）

4月 7日　はつかいち桜まつり（廿日市市）においてPR
たけはら桜まつりinバンブー（竹原市）においてPR
4月14日　三次さくら祭・江の川親水マラソン（三次市）においてPR
4月23日　スポレクキャンペーン隊はじけんさい大使（ジェシンタ・ワンジロ・ムタヒ）が広島中央郵便局一日外務職員に任命される
4月27日　尾道みなと祭り（尾道市）においてPR
4月29日　呉みなと祭（呉市）においてPR
5月 3日～ 5日　2002ひろしまフラワーフェスティバル（広島市）においてPR
・平和大通りパレード（3日、5日）
・ブース運営（ニュースポーツサーキットやスポレク展示コーナー）
・ステージでのPR（3日、5日）
5月11日　西日本カバディ大会（美土里町）においてPR
5月12日　神辺町地区民運動会（神辺町）においてPR
常金丸秩尾地区親睦運動会（新市町）においてPR
市民スポーツ大会（廿日市市）においてPR
5月14日～15日　県家具産地別見本市（広島市）においてパネル展示
5月18日～19日　福山ばら祭2002（福山市）において出展、PR
・ステージでのPRやブース運営
5月19日　比婆山国際スカイライン大会（西城町）においてPR
5月24日　生涯スポーツ推進市町村担当者会議（広島市）においてPR
5月31日　第15回全国スポレク祭広島県実行委員会総会（第2回）においてPR
6月 1日　「環境の日」ひろしま大会（広島市）においてPR
・ラジオのPステーションにて公開生放送
6月 2日　東広島市民スポーツ大会（東広島市）においてPR

6月 2日　大和町民ソフトボール大会（大和町）においてPR
散乱ゴミ追放キャンペーン（広島市）においてPR
フィットネスフェスティバルinはつかいち（廿日市市）においてPR
6月 3日　「スポレク広島2002」ボランティア募集開始（～6月28日）
6月 4日～ 5日　コミューター航空（広島西～出雲線）利用促進&「スポレク広島2002」キャンペーンにおいてPR
・島根県庁、松江市役所、松江商工会議所等表敬訪問等
6月 5日　広島県観光連盟・広島県観光キャンペーン実行委員会合同懇親会（広島市）においてPR
6月 9日　大野みんなの祭（大野町）において出展、PR
6月12日～13日　「スポレクキャラバン隊」として、県教育委員会生涯学習部長とスポレクキャンペーン隊が種目別大会会場地市町を訪問
6月17日～18日　「スポレクキャラバン隊」として、県教育委員会生涯学習部長とスポレクキャンペーン隊が種目別大会会場地市町を訪問
6月20日～21日　首都圏マスコミ関係者を対象にした「中国5県観光情報交換会」においてPR（20日）
広島県東京情報センターにおいてPR（21日）
6月21日～22日　県広報番組「ふれあいひろしま」においてボランティア募集について放映
6月23日　県立みよし公園スポーツ大会（三次市）においてPR
6月23日～24日　県広報番組「ちょっと教えて広島県」においてボランティア募集について放映
6月25日～27日　スポレク祭及び100日前イベントをPRするため、スポレクキャンペーン隊がマスコミを訪問及びテレビ出演
中国放送の番組「中村克洋のごじテレ」出演（26日）
広島テレビの番組「テレビ宣言」出演（27日）
6月29日　100日前イベントの実施（広島市）（県体育協会他主催の「スポーツフェスタ2002」と同時開催）
・ステージでのPR
・「スポレク広島2002」PRブース運営（紹介パネル展示、記念撮影、サンプリング）
・スポレク祭実施種目体験コーナー
7月 6日　中国放送の番組「土曜インタビュー」にスポレクキャンペーン隊はじけんさい大使（ジェシンタ・ワンジロ・ムタヒ）出演
7月 7日　交通安全ふれあいの夕べ（広島市）においてPR
7月12日　県政記者クラブ幹事社との打ち合わせ
7月14日　文化団体連合会交流発表会（大和町）においてPR
豊平町球技大会（豊平町）においてPR
7月20日　広島みなと祭（広島市）において協賛として仕掛け花火
7月22日　文化芸術懇談会（中国ブロック）（広島市）においてPR、パネル展示
7月27日　三次きんさい祭（三次市）においてPR
広島県体育指導委員研究大会（東広島市）においてPR、スポレクコーナーの運営
7月28日　廿日市青少年フェスティバル（廿日市市）においてPR
八幡川リバーマラソン大会（広島市）においてPR
7月29日～8月 2日　安佐北区ケーブルテレビの番組ふれあいチャンネル「暮らしの瓦版」において、スポレク祭の内容、開会式入場者募集、広島市フリー参加種目参加者募集等、1日4回放映
8月 1日　開会式、シンポジウム、閉会式入場者募集開始（～8月31日）
8月 3日　八千代湖交流ボート大会（八千代町）においてPR
8月 7日　「道路ふれあい月間」マナーアップひろしま（広島市）においてPR
8月10日　2002ひろしま夏まつり太田川花火大会（広島市）においてPR（協賛として仕掛け花火）
おりづる広島オープン車いすバスケットボール大会（広島市）においてPR
8月11日　三原やっさ祭（三原市）においてPR
2002広島駅前盆踊り（広島市）においてPR
8月14日　安浦町夏まつり（安浦町）においてPR
8月16日　瀬戸田町夏まつり（瀬戸田町）においてPR
8月17日　24時間テレビ 24時間野球大会（神辺町）においてPR
8月18日　広島県こどもセンター祭（瀬戸田町）においてPR
8月23日　スポレクキャンペーン隊がNHKテレビ番組「お好みワイドひろしま」に出演
8月25日　因島水軍まつり（因島市）においてPR
広島県教育委員会広報番組「見て魅て元気！ひろしまっ子」において、開会式入場者募集、種目別大会開催市町の小・中学校の取り組み等を放映
8月27日　平和大通り他に広報用バナー掲出（～10月8日）
・平和大通り、広島駅前、新幹線口、本通り、福山駅周辺他に612枚掲出
8月28日　スポレクキャンペーン隊がNHKテレビ番組「お好みワイドひろしま」に出演
8月29日　東京・近畿広島県人会両会長を囲んでの経済懇談会（広島市）においてPR
9月 2日～ 8日　佐伯区ケーブルテレビの番組チャンネルu「佐伯区からのお知らせ」において、スポレク祭特別行事の内容、フットサル大会・フリーマーケット参加者募集等、1日4回放映
9月 2日　JR西日本路線県内12駅へポスター掲出（～10月8日）
9月 4日　やまなみ・しまなみ発見ツアー観光説明会（広島市）においてPR
9月 6日　1ヵ月前イベントの実施
・JR広島駅南口広島電鉄電車乗降所付近において広電路面電車「スポレク・アービー号」の出発式（運行期間：9月6日～10月8日）
・広島駅地下広場「エールエール」において1ヵ月前式典及びアトラクション
・「スポレク広島2002」紹介パネル及びモニュメント展示
9月 7日　「スポレク広島2002」ボランティア説明会開催
9月10日　県内タクシー、バスに「スポレク広島2002」PR用車両用ステッカー掲出
9月15日　ひろしまバスまつり（広島市）において出展、PR

準備概要
企画広報

平成14年 9月15日 広島県教育委員会広報番組「見て魅て元気!ひろしまっ子」において、1ヵ月前イベント、種目別大会開催市町の取り組みを放映
9月18日 報道関係者来会調査実施(9月27日締切)
9月21日 テレビCMスポット放送開始(～10月4日)
合計本数116本
9月23日 筆まつり(熊野町)においてPR
9月23日～30日 安佐南区ケーブルテレビの番組「びしゃ丸通信あさみなみ」において、スポレク祭の内容、特別行事の内容等、1日4回放映
9月25日 スポレクキャンペーン隊がNHKテレビ番組「ひるまえフレッシュ便」に出演
9月26日 JR西日本路線県内10駅に歓迎バナー掲出(～10月8日)
9月27日 報道説明会の開催
・取材要領の配布・説明、参加選手等に関する資料提供 ほか
開会式・特別行事会場(広島広域公園)内に歓迎バナーを取り付け、掲出(～10月8日)
スポレクキャンペーン隊が広島ホームテレビ番組「げっきんLIVE」に出演
9月29日 広島市広報番組「サンデーリポート」において、スポレク祭の内容等放映
県広報番組「おはよう!広島県」において、種目紹介、特別行事案内等放映
10月 1日 「スポレク広島2002」エコーはがき発売(50,000枚)
10月 3日 JR西日本路線県内13駅に歓迎看板等の設置(～10月8日)
10月 4日～ 5日 県広報番組「ふれあいひろしま」において、特別行事の内容等放映
10月 4日～ 8日 「スポレク広島2002」案内所の設置
・JR広島駅、広島空港、種目別大会各会場地最寄り駅 など
10月 5日 NHK教育テレビにおいて、「スポレク広島2002」開会式生中継
10月 5日～ 8日 プレスセンター、記録センターを開設
10月11日 第15回スポレク祭種目別大会記録結果(速報版)を送付
12月24日 第15回スポレク祭種目別大会記録結果報告書を送付
平成15年 1月31日 第15回スポレク祭記録ビデオ作成
2月28日 第15回スポレク祭報告書を作成

3 印刷物による広報

ポスター、リーフレット、チラシ、ガイドブック等の印刷物の作成により、広く祭典の周知を行い、開催気運の醸成を図りました。

また、祭典参加者の利便・安全を図り、多くの方々に大会を楽しんでいただくよう努めました。

(1) ポスター

① スローガン及びマスコット募集ポスター
(平成12年 6月) 4,000枚
② マスコット愛称募集ポスター
(平成12年11月) 4,000枚
③ 第1次ポスター
(平成13年 3月) 1,000枚
④ キャンペーンスタッフ募集ポスター
(平成13年 6月) 2,000枚
⑤ 第2次ポスター
(平成13年12月) 2,000枚
⑥ 第3次ポスター
(平成14年 4月) B1 100枚、B2 3,000枚
B3 300枚
(平成14年 6月) B3 700枚
⑦ シンポジウムポスター
(平成14年 8月) 100枚
⑧ 第4次ポスター(祭典案内)
(平成14年 9月) B1 100枚、B2 2,000枚
B3 1,400枚
※第3次ポスター及び第4次ポスター以外はすべてB2

(2) リーフレット等

① デザインシート
(平成12年12月) 300部
② PRリーフレット
(平成13年 3月) 30,000部
③ 協賛事業のご案内(第1次案内)
(平成13年12月) 7,000部
④ 協賛事業のご案内(第2次案内)
(平成14年 3月) 9,000部
⑤ 食品衛生のしおり
(平成14年 6月) 6,000部
⑥ オプショナルツアーのご案内
(平成14年 8月) 20,000部

(3) チラシ等

① スローガン・マスコット募集チラシ
(平成12年 6月) 30,000枚
(平成12年 7月) 10,000枚
② マスコット愛称募集チラシ
(平成12年11月) 40,000枚
(平成12年12月) 30,000枚
③ キャンペーンスタッフ募集チラシ
(平成13年 6月) 18,000枚
④ 第1次公式チラシ
(平成13年 7月) 50,000枚
(平成13年12月) 60,000枚
(平成14年 2月) 60,000枚
⑤ 第2次公式チラシ

（平成１４年　４月）　５０，０００枚
（平成１４年　６月）　３０，０００枚

⑥　開会式・シンポジウム・閉会式入場者募集チラシ
（平成１４年　８月）　２０，０００枚

⑦　シンポジウム案内チラシ
（平成１４年　８月）　１０，０００枚

⑧　祭典案内チラシ
（平成１４年　９月）　６０，０００枚

⑨　開会式会場周辺駐車場案内チラシ
（平成１４年　９月）　１，２００枚

（４）会場案内、プログラム

①　開会式・特別行事案内
（平成１４年　９月）１００，０００部

②　シンポジウムプログラム
（平成１４年　９月）　２，５００部

③　閉会式（リレーステージ）プログラム
（平成１４年　９月）　１，５００部

（５）ガイドブック

①　宿泊・交通・観光ガイドブック
（平成１４年　８月）　１０，０００冊

②　祭典総合ガイドブック
（平成１４年　９月）　３４，０００冊

（６）シール等

①　ＰＲ用シール
（平成１３年　４月）　１０，０００枚

②　タクシー・バス用ＰＲステッカー
（平成１４年　８月）　９，０００枚

③　開会式会場飾花プランター装飾シール
（平成１４年　８月）　５００枚

④　車両標識
（平成１４年　９月）　２，２００枚

（７）封筒類への活用

①　県及び県実行委員会使用封筒への刷り込み（随時）

②　手提袋の作成（大、小）（随時）
大　１７，５５０枚　　小　１７，０５０枚

4　マスメディアによる広報

マスメディアを通して一度に多数の方々の視覚・聴覚に訴えることにより、祭典の概要や情報を広く迅速に伝え、祭典の周知、参加気運の盛り上げを図りました。

（１）パブリシティの活用

祭典開催の準備状況、各種募集、各種イベント等の情報や祭典期間中の各情報を新聞、テレビ・ラジオ等のマスコミ各社へ提供

（２）新聞広告、テレビスポット等の実施

①　新聞広告

・スローガン・マスコット募集告知
（平成１２年　７月３０日朝刊、半３段）中国新聞

・キャンペーンスタッフ募集告知
（平成１３年　７月　８日朝刊、半３段）中国新聞

・キャンペーンスタッフ募集告知
（平成１３年　７月１２日夕刊、半３段）中国新聞

・キャンペーンスタッフ募集告知
（平成１３年６月２６日，７月２４日、７月２８日朝刊、広告枠）中国新聞

・１年前イベント告知
（平成１３年１０月４日、１０月７日、１０月９日朝刊、広告枠）中国新聞

・特別行事出場者募集告知
（平成１４年　８月１８日朝刊、半５段カラー）
中国新聞

・開会式等入場者募集告知
（平成１４年　８月２２日朝刊、半５段）中国新聞

・シンポジウム入場者募集告知
（平成１４年　８月２４日朝刊、半５段）
中国新聞（備後版）

・祭典開催告知
（平成１４年　９月１６日朝刊、全５段カラー）
中国新聞

・祭典開催直前スポレク特集
（平成１４年　９月２３日朝刊、２ページ）中国新聞

・祭典直前告知・特別行事案内
（平成１４年１０月　２日朝刊、半５段）
朝日新聞広島県版
（平成１４年　９月２９日朝刊、半５段）
讀賣新聞広島版
（平成１４年１０月　２日朝刊、半５段）
讀賣新聞備後版
（平成１４年１０月　２日朝刊、半５段）
毎日新聞広島全県版
（平成１４年１０月　３日朝刊、半５段）
産経新聞広島県内版

・祭典直前告知
（平成１４年１０月　４日朝刊、全１５段カラー）
中国新聞

②　テレビスポット

・　祭典案内及び祭典開催告知の２種類作成
平成１４年９月２１日から１０月４日まで２種類のテレビスポット１１６本を放送しました。
中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島の地元民放４局

③　各種刊行物での広報

・　県広報紙「ひろしま県民だより」、教育委員会広報紙「くりっぷ」、広島教育事業団だより「スポカル情報ひろしま」等にスポレク祭の記事、情報等を掲載するとともに、広島県内を中心に発行される月刊紙、情報誌等に随時、記事や広告等を掲載し、祭典の周知と開催気運の醸成を図りました。

・　企業等の社内報・機関誌等へスポレク祭記事の掲載を依頼し、開催気運の醸成に努めました。

（３）インターネットの活用

①　公式ホームページ開設（平成13年3月～平成15年3月）
県庁ホームページに「スポレク広島２００２ホームページ」を開設し、祭典の概要、種目紹介、キャンペーン報告等を随時掲載しました。また、祭典期間中は開会式の様子や種目別大会の結果を掲載しました。

②　テレドームの開設（平成１４年１０月５日～８日）
ＮＴＴのテレドームで祭典案内を行いました。

準備概要
企画広報

5　屋外広告物等による広報

広告塔や残日計等の設置、のぼり旗やバナー等の製作・掲出により、祭典の周知と開催気運の醸成を図るとともに、大会参加者へ温かい歓迎の気持ちを表しました。

また、マスコット着ぐるみは、イベントやPRに活用し、イベント等を盛り上げました。

（1）広報用看板等の製作及び設置

① 広告塔設置
ＪＲ広島駅南口、平和大通りＮＨＫ前、五日市インター入口、広島市役所本庁舎前、商工センター緑地帯

② 広報看板の設置
県庁広島地域事務所庁舎（２面）

③ 広報ブースの設置
広島空港ビルディング　１階ロビー

④ 残日計の設置
県庁正面玄関ロビー

⑤ 県庁内広報用パネルの製作
県庁正面玄関ロビー

⑥ キャンペーン用のぼり旗の製作
全市町村に配布、県庁周辺に掲出

⑦ キャンペーン用横断幕の製作

⑧ 懸垂幕の設置
県庁舎

⑨ 広報用バナー掲出
平和大通り、ＪＲ広島駅前、新幹線口、本通り、福山駅前周辺他に６１２枚掲出

⑩ 歓迎バナー掲出
ＪＲ西日本路線県内１０駅、開会式・特別行事会場

⑪ 歓迎看板の設置
ＪＲ西日本路線県内１３駅

⑫ 歓迎のぼり旗の製作
会場地市町に送付、開会式会場及び周辺に掲出

（2）造形物

① マスコット着ぐるみ　　４体

（3）その他

① 駅張広告
ＪＲ西日本路線県内１２駅

② 広島市内電車車内吊り広告

③ 県内路線バス車内吊り広告

④ 県内タクシーに広報用ステッカー掲示

⑤ 広島市内アストラムライン車内に祭典案内ポスター掲示

⑥ 広島電鉄路面電車側面広告（スポレク・アービー号）

6　キャンペーンによる広報

スポレクキャンペーン隊を編成し、PRキャンペーン活動を県内外随所で繰り広げました。また、節目のイベントを行い、祭典の周知と参加気運の醸成を図りました。

（1）スポレクキャンペーン隊

① 募集及び委嘱
・募集期間　　平成１３年７月１日～７月３１日
・応募人数　　７７人（男１１人、女６６人）
・委嘱状交付式　平成１３年９月２８日　　３名
　来んさい大使　　藤井　亜紀子
　しんさい大使　　河原　亜矢
　はじけんさい大使　ジェシンタ･ワンジロ･ムタヒ

② 活動内容
各種イベント、テレビ・ラジオ等によるＰＲキャンペーン活動や祭典期間中の式典補助などを行いました。

（2）キャンペーンの展開

① １年前イベントの実施
スポレク１年前ＷＥＥＫとして実施
（平成１３年１０月７日～１３日）
・２００１ねんりんぴっく広島さわやか健康フェスティバルステージ出演及び会場内ブースでのＰＲ
・シャレオ中央広場での１年前式典及びＰＲ
・広島スタジアム　サンフレッチェＪリーグ公式戦でのＰＲ

② 新春ＰＲイベントの実施
・広島駅南口地下広場において、残日計の除幕式、スポレクはじけ隊によるボディパーカッション、スポレク種目紹介、ニュースポーツ体験コーナーなどを実施

③ 県内キャラバンの実施
・「スポレクキャラバン隊」として、県教育委員会生涯学習部長とスポレクキャンペーン隊が種目別大会会場地市町を訪問

④ １００日前イベントの実施（県体育協会他主催の「スポーツフェスタ２００２」と同時開催　場所：広島広域公園）
・ステージでのＰＲ
・「スポレク広島２００２」ＰＲブース運営
（紹介パネル展示、記念撮影、サンプリング）
・スポレク祭実施種目体験コーナー

⑤ １ヵ月前イベントの実施
・ＪＲ広島駅南口　広島電鉄電車乗降所付近において、広電路面電車「スポレク・アービー号」の出発式
（運行期間：９月６日～１０月８日）
・広島駅地下広場「エールエール」において、１ヵ月前式典及びアトラクション
・「スポレク広島２００２」紹介パネル及びモニュメント展示

7　啓発物品（ＰＲグッズ）の製作

表のような啓発物品（PRグッズ）を製作し、各種イベントやPRキャンペーンにおいて配布しました。また、会議等においても、啓発物品を配布し啓発に努めました。

アービーぬいぐるみ（立姿、座姿）	ぬいぐるみスタンド台	ぬいぐるみ立ち札	3色ボールペン
ばんそうこう	ゴム風船	ポケットティッシュ	メモ帳（2種）
シールステッカー	携帯アンテナキャップ	ハンドタオル	うちわ
カンバッジ	干菓子	ピンバッジ（2種）	花の種
エコーはがき	ポロシャツ（市町提供用）	ウォッシュタオル（市町提供用）	

8　参加記念品、資料袋等

参加記念品、資料袋として、下記のものを製作・配布しました。

（1）招待者記念品　授産施設製品（便箋、ステンシルはがき、押花しおりのセット（箱入り））

（2）参加者記念品

① 参加者記念品として、アービーポシェットを各県選手団、韓国選手団、報道員、開会式出演の幼稚園児に配布しました。

② バンダナを各県選手団、韓国選手団、開会式出演者、開会式一般観覧者等、開会式会場内の全ての参加者に配布し、開会式のアトラクションでのボディパーカッションで使用しました。

（3）資料袋

項　目	作成数	配　布　先
ポリ手提袋	14,000	開会式一般観覧者
ポリ手提袋（マチ付）	9,700	種目別大会開催市町へ配布（選手・監督・役員用）（希望市町）
ナイロンストリングバッグ	22,000	招待者、各県選手団、韓国選手団、開会式等出演者、実施本部員、ボランティア
紙袋（大）	11,750	種目別大会開催市町へ配布（選手・監督・役員用）（希望市町）
紙袋（小）	9,050	種目別大会開催市町へ配布（選手・監督・役員用）（希望市町）

9　マスコット商標登録

「スポレク広島2002」のマスコット（名称を含む）の商標権について、特許庁に申請し、第14類（キーホルダー、身飾品）、第24類（布製品の回り品、広告宣伝用布製垂れ幕）、第26類（衣服用き章（貴金属製のものを除く。））、第30類（菓子及びパン）、第33類（日本酒、洋酒、果実酒、中国酒、薬味酒）第34類（喫煙用具（貴金属製のものを除く。））について、商標登録を行いました。

10　テレビ中継

開会式をNHK教育テレビで生中継し、NHK衛星第１テレビで録画放送を行いました。

（1）生中継

１０月５日（土）　１３：００～１４：１７

ＮＨＫ教育テレビ（広島県内放映）

（2）録画放送

１０月７日（月）　００：２０～０１：１０

ＮＨＫ衛星第１テレビ（全国放映）

11　祭典の記録等の作成

祭典記録ビデオ等、祭典記録の作成を行いました。

（1）種目別大会報告書

各種目別大会等の大会記録として300部作成しました。

（2）祭典記録ビデオ

祭典の記録映像として、祭典の概要を５１分に編集したビデオを４５０本制作しました。

（3）祭典報告書

祭典の公式記録として１,０００部作成しました。

Ⅱ　スポレクボランティア（開会式・特別行事）

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」の開催に当たり、全国から来県する選手・役員を快く迎え、交流・ふれあいを通じて心潤う祭典とするため、広く県民にボランティアへの参加を呼びかけ、祭典運営業務に従事していただくとともに、県民総参加の気運を盛り上げ、これを契機にボランティアへの関心が一層高まるよう、スポレクボランティアを募集しました。

1　募集方法及び募集経過

（1）募集方法

おおむね５人以上のグループ（原則として県内在住で１５歳以上の方、１人でも応募可能）を募集対象とし、２００人程度を募集しました。

（2）募集経過

平成14年　5月30日　ボランティア募集要項制定

平成14年　6月　3日　ボランティア募集開始（～６月２８日まで）

平成14年　6月28日　ボランティア募集を締切り、応募者２０４人についてスポレクボランティアとして登録

平成14年　8月　8日　ボランティア登録及び研修について通知

平成14年　9月　7日　ボランティア説明会開催（ボランティア共通マニュアルにより説明）

平成14年　9月27日　ジャンパー（エコ製品）等支給物品、個別業務マニュアル等の送付

平成14年　10月14日　ボランティア代表者へ礼状の送付

2　ボランティア参加状況及び編成表

＜参加状況等＞

区　分	10月5日（土）	10月6日（日）	計
一　般	１３０	４０	１７０
高校生	1	6	7
計	１３１	４６	１７７

＜編成表＞

実施本部名	班　名	係　名	10月5日（土）	10月6日（日）	計
招待部	一般招待者	一般招待者	11		11
		一般招待者弁当	5		5
案内部	入場整理	入場口	16		16
		スタンド	24		24
広報部	総務・広報	現地報道	2	2	4
会場部	総務・環境美化	環境美化	35	44	79
開会式部	選手団	選手団受付・控所	12		12
	出演者	出演者受付・控所	16		16
特別行事部	総務	サービスコーナー	10		10
合計			131	46	177

準備概要
企画広報

Ⅲ　報道対応

1　報道関係者来会意向調査

各行事への取材者数等を把握するため、来会調査を実施しました。

（1）調査対象

県政記者クラブ加盟１９社、香川県・福井県県政記者クラブ加盟社、関西写真記者協会、日本雑誌協会、テレビニュース・映画協会、他関係団体出版雑誌社

（2）調査期間

平成１４年９月１８日～２７日

（3）来会調査結果

２７社　１６６名

2　事前打ち合わせ

（1）目的

報道関係業務を円滑に運営するため、県政記者クラブ幹事社に祭典概要等について説明を行い、プレスセンターや報道員控室の設置等について協議を行いました。また、取材要領等についての打ち合わせを行いました。

（2）内容

①　平成１４年７月１２日

県政記者クラブ幹事社とプレスセンターや報道員控室の設置について協議

場所：広島県庁県政記者クラブ

②　平成１４年９月２６日

関西写真記者協会広島支部幹事社と取材要領等について打ち合わせ

場所：広島県実行委員会事務局

③　平成１４年９月２７日

県政記者クラブ幹事社と取材要領等について打ち合わせ

場所：広島県庁県政記者クラブ

3　報道関係者説明会

（1）目的

報道関係者への取材対応を円滑に実施するために、県政記者クラブ加盟社に取材要領等の説明会を実施しました。

（2）期日　　平成１４年９月２７日

（3）場所　　広島県庁県政記者クラブ　記者会見室

（4）内容　　取材要領の配布・説明、参加選手等に関する資料提供　その他

（5）その他　県政記者クラブ加盟社以外の来会予定報道機関には、資料を郵送

4　報道員用施設

報道関係者への対応及び資料提供を行うために、報道員控室及びプレスセンターを設置しました。

（1）報道員控室

報道関係者作業スペース及び資料提供をする場所

平成１４年１０月５日

広島広域公園陸上競技場２階報道員控室

平成１４年１０月６日

ふくやま芸術文化ホール２階メインホワイエ内

平成１４年１０月８日

広島国際会議場地下１階報道員控室

（2）プレスセンター

報道関係者への対応及び資料提供をする場所

平成１４年１０月５日～８日

広島県実行委員会事務局

（3）その他

平成１４年１０月６日は報道員控室は設置しなかったが、広島広域公園内実施本部テントにおいて報道関係者への対応及び資料提供を行いました。

5　知事コメントの提供

閉会式終了後、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭を終えての広島県知事のコメントを公表しました。

（1）日　　時　　平成１４年１０月８日

（2）提供方法　　県政記者クラブ加盟各社へＦＡＸ送信

宿泊輸送

Ⅰ　会議等

1　県実行委員会宿泊輸送専門委員会の開催

《平成１３年７月５日》

・安全管理計画策定

・宿泊要項、輸送交通要項、医事衛生要項及び安全管理要項の策定について協議

2　来県意向調査等の実施

県外から参加する選手・監督等の交通手段を把握し、計画輸送バス確保及びバス輸送計画策定のため、次のとおり来県意向調査等を実施しました。

来県意向調査

平成１３年　７月３１日（締切　８月３１日）

参加選手等決定時期調査

平成１４年　１月２５日（締切　２月２２日）

都道府県選手派遣本部バス輸送調査

平成１４年　９月　９日（締切　９月１３日）

来県方法調査

平成１４年　９月　９日（締切　９月１８日）

3　食品衛生・火災予防指導の実施

宿泊施設・出展業者に対し、宿泊施設説明会等の場で、食品衛生又は火災予防について次のとおり指導・講習を実施しました。

平成１４年７月　２日

宿泊施設説明会広島会場（広島県立生涯学習センター）

平成１４年７月　８日

宿泊施設説明会福山会場（福山市役所）

平成１４年７月１１日

宿泊施設説明会呉会場（呉市体育館）

平成１４年８月２８日

特別行事出展者説明会（広島広域公園陸上競技場）

Ⅱ　宿泊・弁当

1　趣旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する選手・監督、役員、招待者及び視察員等の宿泊及び昼食弁当については、「宿泊要項」等を策定するとともに、県実行委員会事務局内に旅行代理店等で構成する「スポレク広島２００２トラベルセンター」を設置し業務を遂行しました。

2　トラベルセンターの設置

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭の参加者の宿泊、輸送、昼食弁当等の業務を効率的かつ円滑に対応するため、旅行代理店４社及び社団法人広島県バス協会で構成するトラベルセンターを設置しました。

（１）名　称　スポレク広島２００２トラベルセンター

（２）構　成

株式会社ジェイティービー、社団法人広島県バス協会、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社日本旅行、東急観光株式会社（旅行代理店４社の幹事は株式会社ジェイティービー、副幹事は近畿日本ツーリスト株式会社）

3　宿泊施設の選定・確保

宿泊施設の選定及び確保については、会場地市町及びその周辺に所在する宿泊施設のうち旅館業法の許可を得て営業を行う旅館、ホテル、公共施設等を充て、風紀、衛生、食事、サービス、火災予防上において支障があると認められる宿泊施設は利用しないことを原則として、次の選定基準を満たす宿泊施設を選定・確保しました。

（１）「防火基準適合表示制度」に基づく適マークの交付を受けていること。また、適マーク交付対象外施設にあっては、管轄消防本部が火災予防上問題がないと認めていること。

（２）各室に施錠ができる等防犯上問題がないこと。

（３）食事を自家調理できること。ただし、トラベルセンター及び保健所等が問題ないと判断すれば、ケータリング対応を認める。

（４）食事はバランスのとれた日替わりメニューで提供できること。また、特にバイキング方式の場合は、食事を切らすことがないよう対応できること。

（５）朝食の提供開始が、祭典の参加に支障がない時刻（６：００～６：３０）にできること。

（６）夕食を提供する時間帯を、最低でも１８：００～２０：３０に設定できること。

（７）風呂、トイレが各室に設置がなく共同の場合は、男女それぞれ１ケ所以上あること。

（８）部屋に寝具（浴衣）、タオル、歯ブラシ（歯磨き粉を含む）を備え付け、宿泊期間中は毎日交換できること。

（９）風呂にシャンプー、石鹸が備え付けてあること。

（10）布団の上げ下ろし及びシーツの交換については、原則として、毎日宿泊施設において行うこと。

（11）ファクシミリが設置されていること。

（12）祭典参加者の宿泊期間中、旅館賠償責任保険（補償額１名７，０００万円以上）に加入していること。

（13）バス輸送計画に支障がない場所にあること。

4　配宿

（１）配宿対象者は、祭典参加者のうち所定の手続きにより、トラベルセンターに申込みがあった者としました。宿泊施設については、宿泊料金区分表による申込時の希望料金帯を考慮して配宿しました。

（２）会場地内において宿泊施設が不足した市町については、近隣市町の宿泊施設に配宿しました。

5　宿泊料金等

（１）1泊2食付き及び1泊朝食付きの2種類に区分し、6,500円から17,000円（税金、サービス料、入湯税（温泉地のみ）込み）の範囲内において、料金帯を設定しました。

（２）祭典期間中は曜日、部屋タイプが異なる場合においても同一料金としました。

（３）原則として、食事不要の希望は受け付けないこととしました。

6　昼食弁当

祭典期間中に参加者に斡旋する昼食弁当は、食品衛生、搬送、配布等について会場地市町実行委員会と相互に連絡調整を行い、関係機関と協力のうえ万全を期しました。

業者の選定及び受注、個数変更、搬送、空容器回収等は県実行委員会がトラベルセンターに依頼しました。

（１）料金は１食９００円（お茶付き、税込み）としました。

（２）対象者はトラベルセンターに申込みのあった者としました。

（３）引き換えはトラベルセンター発行の引換券により手渡すものとしました。

準備概要
宿泊輸送

市町別宿泊施設数一覧

市町名	施設数	市町名	施設数	市町名	施設数
広島市	36	竹原市	5	千代田町	2
大野町	4	木江町	1	尾道市	12
呉市	11	三原市	8	因島市	5
東広島市	7	安浦町	1	向島町	1
大和町	2	三次市	7	瀬戸田町	3
河内町	1	庄原市	2	福山市	18
本郷町	3	美土里町	1		
計				20市町	130

宿泊人数実績（トラベルセンター取扱い分）

（単位:人）

区分		10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	計
都道府県代表参加種目	グラウンド・ゴルフ		247	441	503	82		1,273
	ゲートボール		246	548	557	206		1,557
	壮年サッカー(広島市)		71	238	241	228	47	825
	壮年サッカー(府中町)		82	209	229	223		743
	壮年サッカー(吉田町)		26	254	262	253	29	824
	ソフトバレーボール		90	316	313	274	31	1,024
	女子ソフトボール(東広島市)		42	282	311	184		819
	女子ソフトボール(大和町)		57	260	269	179	13	778
	ラージボール卓球		125	293	299	262	27	1,006
	ターゲット・バードゴルフ		84	178	178	58	2	500
	男女混合綱引		56	310	320	62		748
	年齢別テニス		83	285	285	100		753
	年齢別ソフトテニス		127	303	314	284	16	1,044
	バウンドテニス		100	273	277	109	7	766
	年齢別バドミントン		90	290	290	237	9	916
	壮年ボウリング		125	216	217	216	25	799
	マスターズ陸上競技		278	587	598	531	37	2,031
	インディアカ		117	359	352	97		925
	フォークダンス		155	444	475	40	19	1,133
	エアロビック		53	189	194	32		468
	トランポリン		46	216	214	15		491
	小計	0	2,300	6,491	6,698	3,672	262	19,423
フリー参加種目	ウォークラリー			2				2
	エスキーテニス			12				12
	サイクリング			14	1			15
	3B体操	2	2	312				316
	太極拳			60	16			76
	マスターズ水泳							0
	マラソン(坂町)			3				3
	マラソン(神辺町)			3				3
	小計	2	2	406	17	0	0	427
引率者			163	182	144	106	24	619
大会役員			32	133	190	153		508
視察員・招待者		1	87	413	229	104	6	840
応援・その他			67	447	343	178	6	1,041
合計		3	2,651	8,072	7,621	4,213	298	22,858

宿泊料金一覧

●旅館・ホテル

宿泊料金 区分	宿泊料金 料金帯	宿泊条件
A	14,000円以上17,000円以下	①1泊2食付 ②税、サービス料及び入湯税(温泉地のみ)込み ③同一施設で部屋タイプが異なる場合でも同一料金 ④宿泊の曜日にかかわらず同一料金
B	11,000円以上14,000円未満	
C	9,000円以上11,000円未満	
D	6,500円以上 9,000円未満	

●ホテル

E	10,000円以上12,000円以下	①1泊朝食付 ②税、サービス料及び入湯税(温泉地のみ)込み ③同一施設で部屋タイプが異なる場合でも同一料金 ④宿泊の曜日にかかわらず同一料金
F	8,500円以上10,000円未満	
G	6,500円以上8,500円未満	

昼食弁当斡旋個数実績(トラベルセンター取扱い分)

（単位:個）

区分		10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	計
都道府県代表参加種目	グラウンド・ゴルフ	373	528	521		1,422
	ゲートボール	368	608	565		1,541
	壮年サッカー(広島市)	184	278	289	233	984
	壮年サッカー(府中町)	176	277	251	189	893
	壮年サッカー(吉田町)	167	255	275	244	941
	ソフトバレーボール	261	353	345	85	1,044
	女子ソフトボール(東広島市)	231	349	273		853
	女子ソフトボール(大和町)	171	282	212	14	679
	ラージボール卓球	219	316	315	66	916
	ターゲット・バードゴルフ	136	195	186		517
	男女混合綱引	85	380	344		809
	年齢別テニス	146	303	242		691
	年齢別ソフトテニス	174	312	310	67	863
	バウンドテニス	202	326	325		853
	年齢別バドミントン	140	267	258	38	703
	壮年ボウリング	159	230	212	110	711
	マスターズ陸上競技	324	440	440	270	1,474
	インディアカ	188	414	371		973
	フォークダンス	413	535	495		1,443
	エアロビック	92	193	176		461
	トランポリン	68	171	146		385
	小計	4,277	7,012	6,551	1,316	19,156
フリー参加種目・協賛事業			234			234
視察員・招待者		950	17	10		977
式典出演者		8,174			202	8,376
県実施本部関係者		1,876	390		148	2,414
会場地市町本部関係者		420	2,889	1,921	1,150	6,380
その他		130	89	70	60	349
合計		15,827	10,631	8,552	2,876	37,886

Ⅲ　輸送・交通

1　趣　　旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する選手・監督、祭典参加者（役員・招待者・報道員・視察者等）及び一般来場者の輸送に関して、「輸送交通要項」を策定するとともに、開会式会場及び各種目別大会会場等への公共交通機関等の条件を考慮し、安全かつ円滑な輸送を図りました。

2　全国輸送

各都道府県から参加する選手・監督及び祭典参加者の来県・離県については、自由集合・自由解散としました。

ＪＲ利用による来県者に対し、ＪＲ各社の協力により運賃の割引（普通乗車運賃の２割引）を適用しました。なお、割引証の発行枚数は4,２１９枚でした。

3　開会式の輸送

（１）選手・監督

＜前日来県者＞

トラベルセンターを通して宿舎を申し込まれた来県者に対しては、宿舎又は指定集合場所から計画輸送バスを運行しました。

＜当日来県者＞

ＪＲ広島駅、広島空港及び商工センター（ＪＲ新井口駅より徒歩約５分）から無料シャトルバスを運行しました。

自家用車及び貸切バスによる来県者に対しては、会場又は会場周辺に駐車場を確保し、駐車許可証を交付し対応しました。

（２）式典出演者

出演団体ごとに指定の集合場所から会場まで計画輸送バスを運行しました。

（３）特別招待者

自家用車による来場者に対しては、会場内に指定駐車場を確保するとともに、駐車許可証を交付し対応しました。

（４）一般来場者

アストラムライン等公共交通機関の増便を図るとともに、商工センター（ＪＲ新井口駅より徒歩約５分）から無料シャトルバスを運行しました。

4　特別行事の輸送

１０月５日（土）は、開会式の輸送に準じました。６日（日）は、商工センター（ＪＲ新井口駅より徒歩約５分）から無料シャトルバスを運行しました。

5　種目別大会の輸送

トラベルセンターを通して宿泊を申し込まれた選手・監督については、宿泊施設又は指定集合場所から会場まで計画輸送バスを運行しました。

6　シンポジウムの輸送

原則として公共交通機関を利用し、各自で移動することとしました。

7　閉会式の輸送

自家用車による来場者に対しては、会場周辺の市営駐車場等の利用を促すほか、公共交通機関を利用し、各自で移動することとしました。

8　開会式の駐車場対策

会場内及び会場周辺において、既存の駐車場はもとより臨時に駐車場として使用できる場所が非常に少なく、次のとおり必要最低限の駐車場を確保し、対応しました。

なお、計画輸送バス待機場所及びタクシー乗り場（待機場所）は、別に確保しました。

（１）特別招待者用、消防関係者用

約１００台

（２）特別行事出展者用

約１４０台

（３）来県選手･監督､報道関係者用(一部出展者用を含む。)

約1,０００台

9　交通対策

１０月５日（土）、６日（日）の両日の交通については、県警本部及び広島北警察署と協議のうえ、会場内及び会場周辺における祭典関係者車両並びに一般通行車両の円滑な通行を確保するため、次のような交通案内、交通規制等の対策を講じました。

また、交通誘導及び駐車場誘導警備に関しては、警備会社に一部委託し、警備員（祭典期間中延べ１８３人）を配置しました。

（１）交通誘導員の配置

警察官、県職員（実施本部員）、警備員を会場内及び会場周辺主要交差点、各駐車場並びにシャトルバス乗降所等に配置し、交通誘導及び交通整理を行いました。

（２）交通案内看板等の掲示

交通規制・誘導看板、駐車場及びシャトルバス乗降所案内看板を沿線道路及び関係施設等に掲示しました。

（３）交通規制

開会式当日の計画輸送バス、祭典参加者許可車両等の円滑な運行を図るため、県警本部及び広島北警察署と協議し、会場周辺の一部において１０月５日午前８時３０分から午後５時までの間、一般車両通行止めの交通規制を実施しました。

（４）周辺住民への周知

地元町内会連合会に開会式の交通規制等について説明を行い、周辺住民への周知を図りました。

なお、地元町内会連合会の御好意により沿道の清掃、幟旗の設置等の協力を得ました。

準備概要
宿泊輸送

選手団輸送バス台数

（単位：台）

種目名	会場地	開会式（10月5日）				種目別大会③			計
		往路	復路①	代表者バス②	小計(①+②)	10/6	10/7	10/8	①+②+③
グラウンド・ゴルフ	福山市	11	12	3	15	15	14		44
ゲートボール	竹原市	10	16	5	21	19	19		59
壮年サッカー	広島市･府中町･吉田町	37	37	3	40	40	41	41	162
ソフトバレーボール	三次市	8	10	3	13	11	11	11	46
女子ソフトボール	東広島市･大和町	24	24	3	27	29	28	16	100
ラージボール卓球	因島市	7	8	3	11	10	10	10	41
ターゲット･バードゴルフ	尾道市	4	5	3	8	6	6		20
男女混合綱引	呉市	3	7	3	10	8	7		25
年齢別テニス	尾道市	5	7	3	10	10	10		30
年齢別ソフトテニス	福山市	7	9	3	12	9	9	9	39
バウンドテニス	大野町	5	7		7	8	8		23
年齢別バドミントン	呉市	7	8	3	11	8	8	9	36
壮年ボウリング	広島市	5	6	3	9	10	9	10	38
マスターズ陸上競技	広島市	15	17	3	20	19	17	17	73
インディアカ	廿日市市	5	10	3	13	13	13		39
フォークダンス	安浦町	6	14	2	16	13	13		42
エアロビック	豊平町	4	6		6	6	6		18
トランポリン	新市町	5	6	2	8	8	8		24
計		168	209	48	257	242	237	123	859

出演団体等輸送バス台数

（単位：台）

区分	リハーサル		開会式	計
	9月28日	10月4日	10月5日	
式典出演者	26	139	182	347
派遣本部等			6	6
計	26	139	188	353

シャトルバス台数

１０月５日（土）　開会式・特別行事

運行区間	運行時間	台数
商工センター⇔広島広域公園	7:30～17:30 （5分～15分間隔）	80
広島駅北口⇒広島広域公園	7:30～11:30 （状況に応じて随時）	51
広島空港⇒広島広域公園	8:00～11:30 （状況に応じて随時）	7
駐車場⇔広島広域公園	12:00～18:00 （状況に応じて随時）	10
計		148

１０月６日（日）　特別行事

運行区間	運行時間	台数
商工センター⇔広島広域公園	8:00～16:30 （5分～15分間隔）	20

Ⅳ　医事・衛生

1　趣　　旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する選手・監督、役員及び一般来場者に対し、医療救護、食品衛生及び環境衛生等について万全を期し、祭典の円滑な運営に寄与することを基本方針として「医事衛生要項」を策定し、それに基づき関係業務を遂行しました。

2　医療救護

（１）救護体制

祭典における傷病発生時に対処するため、県医師会、県看護協会、会場地消防本部等の協力を得ながら開会式、特別行事、シンポジウム、閉会式会場及び宿泊施設における医療救護体制を整備しました。

また、種目別大会会場では、県実行委員会で作成した救護体制に準じ、各会場地の実情に応じた救護体制を整備しました。

（２）救護所

開会式会場、特別行事会場、シンポジウム会場及び閉会式会場については、県実行委員会が、また、種目別大会会場については、会場地市町実行委員会が分担して救護所を設置し、傷病者の応急処置を行い、必要に応じて傷病者を医療機関へ搬送しました。

3　防　　疫

防疫対策については、消化器系感染症、食中毒の予防を重点とした関係施設の衛生検査及び従事者の健康診断を実施するよう指導するなど、県食品衛生室、保健所、関係市町等の協力を得て、防疫対策に万全を期しました。

4　食品衛生

食品衛生対策については、食中毒等の未然防止に重点を置き、県食品衛生室、保健所、関係市町、県食品衛生協会、県生活衛生同業組合連合会、県飲食業生活衛生同業組合、県ホテル旅館生活衛生同業組合等の協力を得て、食品衛生体制を整備し、食品取扱施設等の監視・指導を行うとともに、宿泊施設等を対象とした食品衛生講習会を開催しました。

昼食弁当については、県食品衛生室、保健所の指導を受け、材料、保管方法に配慮するとともに、容器に製造年月日、消費期限、保存方法を表示しました。

また、配布の際には、消費期限内での飲食を呼びかけました。

5　環境衛生

祭典参加者に清潔で快適な環境を提供するため、県食品衛生室、保健所、市町等の協力を得て、祭典会場の清掃、施設・設備の安全点検及び宿泊施設の衛生指導等を行いました。

Ⅴ　防災・警備・案内

1　趣旨

祭典期間中の防災・警備については、実施本部内に安全管理班を設置し自主警備方式を構築するとともに、所轄の広島北警察署、広島市消防局の署員の支援を仰ぎました。

また、参加者の利便を図るため、「宿泊・交通・観光ガイドブック」を作成・配布するとともに、会場、ＪＲ駅構内等に案内所を設置しました。

2　防災体制

火災その他の災害を未然に防止するとともに、災害が発生した場合、その被害を最小限に留めるため防災体制を構築しました。

開会式会場では、広島市消防局に依頼し、所轄の消防署員の協力を得て、会場全体の消防防災の業務にあたりました。

3　警備体制

会場内における祭典参加者及び一般来場者の安全を確保することと、会場内及び周辺における事件・事故の未然防止のため、警備体制を構築しました。

実施本部内に安全管理班を設置し、防災体制を総括するとともに、所轄の広島北警察署と連携を密にし、会場内の警備を実施しました。

また、不審者・不審物の発見、火災の予防等及びその処置方法については全実施本部員の共通理解事項とし、共通マニュアルに記載して、それぞれの担当箇所においても対応できるようにしました。

4　案内体制

（１）「宿泊・交通・観光ガイドブック」の作成・配布

県外からの選手・監督・視察員等の宿泊、交通、観光等の利便を図るため、宿泊施設の案内図・交通の案内・会場市町観光施設の案内・土産品の案内等を掲載した「宿泊・交通・観光ガイドブック」を作成し、事前に配布しました。

（２）案内所の設置

選手・監督・役員及び一般来場者等に会場内の開催行事などの案内をするため、会場内に総合案内所を設置するとともに、迷子、拾得物・遺失物対応を行うため、迷子センター、遺失物・拾得物センターを設置しました。また、下表のとおり、市町実行委員会と連携し、関係ＪＲ駅及び空港に案内所を設置しました。

10月4日（金）	広島空港、JR広島駅、JR大野浦駅、JR宮島口駅 JR呉駅、JR西条駅、JR東広島駅、JR竹原駅
10月5日（土）	広島空港、JR広島駅、JR西条駅、JR東広島駅、JR竹原駅
10月6日（日）	JR広島駅、JR西条駅、JR東広島駅、JR三次駅 JR竹原駅、JR三原駅
10月7日（月）	JR広島駅、JR三次駅
10月8日（火）	JR広島駅、JR三次駅

※上記以外にも各会場市町独自で、駅周辺に案内所を設置

（３）種目別大会会場市町等の観光施設の案内

全国から来県された祭典参加者に広島の魅力に触れていただく機会を設けるため、「祭典総合ガイドブック」及び「宿泊・交通・観光ガイドブック」に、種目別大会会場地の観光案内を掲載しました。

また、参加者の施設利用の便宜を図るために割引制度を設けることとし、この趣旨に賛同していただいた施設においては、ガイドブックに添付した「観光割引証」を提示することにより、団体割引等の料金で入館（場）できるようにしました。

（４）観光コースの企画

広島県の自然、歴史、味覚に触れていただくため、オプショナルツアーを企画しました。

準備概要
宿泊輸送

救護所設置一覧表

1　県実行委員会所管の救護所

式典種類	設置期日		設置場所
	9月28日	10月4日	
開会式リハーサル	○	○	広島広域公園陸上競技場

式典種類	設置期日				設置場所
	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	
開会式	○				広島広域公園陸上競技場
特別行事	○	○			広島広域公園
シンポジウム		○			ふくやま芸術文化ホール
閉会式				○	広島国際会議場

2　会場地市町実行委員会所管の救護所

都道府県代表参加種目	設置期日				設置場所
	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	
グラウンド・ゴルフ		○	○		竹ヶ端運動公園陸上競技場
ゲートボール		○	○		竹原市総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド
壮年サッカー		○	○	○	広島広域公園、広島県総合グラウンド、広島修道大学 揚倉山健康運動公園、吉田サッカー公園
ソフトバレーボール		○	○	○	広島県立みよし公園カルチャーセンター
女子ソフトボール		○	○	○	東広島運動公園、向陽中学校、白竜湖スポーツ村公園
ラージボール卓球		○	○	○	因島勤労者体育センター
ターゲット・バードゴルフ		○	○		広島県立びんご運動公園
男女混合綱引		○	○		呉市体育館
年齢別テニス		○	○		広島県立びんご運動公園
年齢別ソフトテニス		○	○	○	竹ヶ端運動公園陸上競技場
バウンドテニス		○	○		大野町体育館
年齢別バドミントン		○	○	○	日新製鋼(株)呉製鉄所体育館
壮年ボウリング		○	○	○	ヒロシマ・アリーナ
マスターズ陸上競技		○	○	○	広島広域公園陸上競技場
インディアカ		○	○		廿日市スポーツセンター
フォークダンス		○	○		安浦中学校
エアロビック		○	○		豊平町総合体育館とよひらウイング
トランポリン		○	○		新市町体育館

フリー参加種目	設置期日				設置場所
	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	
ウォークラリー		○			瀬戸田町民会館
エスキーテニス		○			広島市東区スポーツセンター
マスターズ水泳		○			広島市総合屋内プール
サイクリング		○			コース沿い
3B体操		○			リージョンプラザ
太極拳		○			熊野町民体育館
マラソン		○			中国電力坂スポーツ施設
マラソン		○			神辺町立湯田小学校

警備員配置体制

（単位：人）

区　分	10月3日(木) 会場設営	10月4日(金) 会場設営	10月5日(土) 閉会式・特別行事	10月6日(日) 特別行事	10月6日(日) シンポジウム	計
駐車場	0	0	46	46	6	98
交通誘導	0	0	60	24	1	85
夜間警備	8	8	11	0	0	27
計	8	8	117	70	7	210

取扱傷病者一覧

（単位：人）

行事・種目名	傷病名 / 会場地	胃腸障害		感冒		高血圧貧血		腹痛		頭痛		外傷		骨折脱臼		捻挫肉離れ		打撲筋肉痛		眼症耳症		気分不良		その他		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
リハーサル	広島市								2	1	2							1			1		3			2	8	10
開会式・特別行事	広島市	1	2	1				1	1			3	6				1	1	4			2	14	1 (1)	1 (1)	10 (1)	29 (1)	39 (2)
シンポジウム	福山市																									0	0	0
閉会式	広島市																									0	0	0
小計		1	2	1	0	0	0	1	3	1	2	3	6	0	0	0	1	2	4	0	1	2	17	1 (1)	1 (1)	12 (1)	37 (1)	49 (2)
都道府県代表参加種目 グラウンド・ゴルフ	福山市													1 (1)												1 (1)	0	1 (1)
ゲートボール	竹原市	1	1		1	2	1				1	2				2		1								8	4	12
壮年サッカー	広島市			1								5				8		16		1 (1)				1 (1)		32 (2)	0	32 (2)
壮年サッカー	府中町											5		2 (2)		2		15 (1)						1		25 (3)	0	25 (3)
壮年サッカー	吉田町									1		11		1 (1)		5 (1)		17 (1)								35 (3)	0	35 (3)
ソフトバレーボール	三次市				1								1			3 (1)		3	4							6 (1)	6	12 (1)
女子ソフトボール	東広島市												12				2		7 (1)				1			0	22 (1)	22 (1)
女子ソフトボール	大和町			1						2	1		6		1		2		6				3			3	19	22
ラージボール卓球	因島市					1 (1)										1	1									2 (1)	1	3 (1)
ターゲット・バードゴルフ	尾道市											1														1	0	1
男女混合綱引	呉市			1								6						1					3			8	3	11
年齢別テニス	尾道市									1		3	2			2			1							6	3	9
年齢別ソフトテニス	福山市									1	1	4				1			1							6	2	8
バウンドテニス	大野町	1	2			1					1	4	4			1	2	3	2	1		1	4	1	2	13	17	30
年齢別バドミントン	呉市														1 (1)											0	1 (1)	1 (1)
壮年ボウリング	広島市	1		2						1		3	1				1									7	2	9
マスターズ陸上競技	広島市										1	9	2			7	4 (1)	21	9					1		38	16 (1)	54 (1)
インディアカ	廿日市市	2	1													1	2	4 (1)	3	1						8 (1)	6	14 (1)
フォークダンス	安浦町		2								1		1													0	4	4
エアロビック	豊平町		1																							0	1	1
トランポリン	新市町																									0	0	0
小計		5	7	5	2	4 (1)	1	0	0	6	6	53	29	4 (4)	2 (1)	33 (2)	14 (1)	81 (3)	33 (1)	3 (1)	0	1	11	4 (1)	2	199 (12)	107 (3)	306 (15)
フリー参加種目 ウォークラリー	瀬戸田町								1 (1)			3														3	1 (1)	4 (1)
エスキーテニス	広島市										1														1	0	2	2
サイクリング	尾道市																									0	0	0
3B体操	三原市																						3			0	3	3
太極拳	熊野町																								1	0	1	1
マスターズ水泳	広島市															1										1	0	1
マラソン	坂町																									0	0	0
マラソン	神辺町																									0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	4	7 (1)	11 (1)
合計		6	9	6	2	4 (1)	1	1	4 (1)	7	9	59	35	4 (4)	2 (1)	34 (2)	15 (1)	83 (3)	37 (1)	3 (1)	1	3	31	5 (2)	5 (1)	215 (13)	151 (5)	366 (18)

（注）（ ）内の数字は医療機関へ移送した患者数（内数）

準備概要
式典

Ⅰ　式典関係の準備概要

1　式典関係会議の開催

（1）県実行委員会式典事業専門委員会

①　第1回　平成13年7月10日

ア　式典事業推進スケジュールについて

イ　式典実施計画について

②　第2回　平成14年2月8日

ア　開会式実施計画案について

イ　閉会式実施計画案について

ウ　特別行事実施計画案について

エ　シンポジウム実施計画案について

③　第3回　平成14年3月4日

ア　開会式実施計画案について

イ　閉会式実施計画案について

ウ　特別行事実施計画案について

エ　シンポジウム実施計画案について

2　出演団体の選考

第2回式典事業専門委員会で承認を受け、平成14年2月22日以降、順次出演依頼を行った。

Ⅱ　式典出演団体

1　開会式

（1）開会式集団演技練習スケジュール

	月日	曜日	時　間	内　容	場　所
4月	4月7日	日	9:00~21:00	バトン合同練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
5月	5月6日	月	9:00~21:00	バトン合同練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
6月	6月22日	土	10:00~16:00	マーチングバンド練習会	広島市立南観音小学校体育館
	6月29日	土	9:00~21:00	バトン合同練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
7月	7月6日	土	9:30~16:00	マーチングバンド練習会	広島市立南観音小学校体育館
	7月7日	日	9:30~16:00		
	7月27日	土	9:00~19:00	フィールドミュージカル合同練習会	広島県立広島女子大学体育館
	7月28日	日	9:00~19:00		
	7月29日	月	9:00~16:45		
8月	8月2日	金	9:00~19:00	フィールドミュージカル合同練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
	8月26日	月	10:00~19:00	フィールドミュージカル／バトン練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
	8月28日	水	9:00~12:00	吹奏楽合同練習会	マツダ体育館
			13:00~17:00	マーチングバンド練習会	
9月	9月9日	月	16:00~21:00	フィールドミュージカル等合同練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
	9月14日	土	10:00~17:00	フィールドミュージカル合同練習会	広島県立総合体育館小アリーナ
	9月16日	月	10:00~16:30	合唱合同練習会	広島県民文化センター
	9月17日	火	9:30~12:00	吹奏楽合同練習会	広島県立総合体育館小アリーナ
	9月21日	土	10:00~18:00	フィールドミュージカル／ボディパーカッション練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
	9月22日	日	10:00~18:00	フィールドミュージカル合同練習会	広島広域公園第二球技場
			9:00~19:00	バトン合同練習会	広島県立総合体育館大アリーナ
	9月29日	日	10:00~17:00	フィールドミュージカル合同練習会	広島広域公園陸上競技場

※各出演団体については、上記以外に各団体での練習会を実施しました。

（2）開会式総合リハーサルスケジュール

9月	9月28日	土	9:00~15:00	第1回総合リハーサル	広島広域公園陸上競技場
10月	10月4日	金	11:00~16:00	第2回総合リハーサル	広島広域公園陸上競技場

2　閉会式（リレーステージ）

閉会式リハーサルスケジュール

10月	10月7日	月	16:00~18:00	第1回リハーサル	広島国際会議場
	10月8日	火	10:00~13:30	当日リハーサル	広島国際会議場

3　出演団体一覧

（1）開会式出演団体一覧表

出演部門		団体名	人数
マーチングバンド		広島市立大町小学校	41
バトン・鼓笛		山陽女子高等学校	67
		比治山女子中学・高等学校	42
		安田女子中学校・高等学校	37
		広島工業大学附属中学校・広島高等学校	4
		広島バトン	28
		ＰＬ広島第一ＭＢＡ	34
		ＰＬ広島第二ＭＢＡ	12
		幾田バトンスタジオ	6
		ヨーコ・ラブリーバトン	5
実施種目紹介	グラウンド・ゴルフ	福山市立西小学校	20
	ゲートボール	竹原市立大乗小学校	26
	壮年サッカー	広島市立大塚小学校	44
		府中町立府中中央小学校	40
		吉田町みつやの里フットボールクラブ	25
	ソフトバレーボール	三次市立田幸小学校	27
	女子ソフトボール	東広島市立造賀小学校	26
		大和町立和木小学校	34
	ラージボール卓球	因島市立土生小学校	14
		因島市立因北小学校	12
	ターゲット・バードゴルフ	尾道市立原田中学校	23
	男女混合綱引	呉市立本通小学校	48
	年齢別テニス	尾道市立原田中学校	23
	年齢別ソフトテニス	福山市立箕島小学校	16
	バウンドテニス	大野町立大野東中学校	24
	年齢別バドミントン	呉市立鍋小学校	25
	壮年ボウリング	広島市立大塚小学校	44
	マスターズ陸上競技	広島市立大塚小学校	44
	インディアカ	廿日市市立四季が丘中学校	19
	フォークダンス	安浦町子ども会連合会	40
	エアロビック	豊平町立豊平南小学校	19
		豊平町立豊平西小学校	14
		豊平町立豊平東小学校	10
	トランポリン	新市町トランポリンクラブ	20
合唱		崇徳高等学校	55
		広島工業大学附属広島高等学校	12
		広島城北高等学校	150
		個人参加	283
吹奏楽		広島県警察音楽隊	30
		広島市消防音楽隊	46
フィールドアート		広島市立日浦中学校	200
		廿日市市立四季が丘中学校	200
風船放天		吉島幼稚園（保護者含む）	210
		みみょう幼稚園（　〃　）	140
		ひとみ幼稚園（　〃　）	52
		光輪幼稚園（　〃　）	210
		山口短期大学附属広島幼稚園（　〃　）	154
		安田女子大学付属幼稚園（　〃　）	120
		ほうりん沼田幼稚園（　〃　）	300
		虹山幼稚園（　〃　）	160
		安佐幼稚園（　〃　）	76

準備概要
式典

風船放天	五月が丘幼稚園（保護者含む）	200
国旗・祭典旗・県旗 入場・掲揚	日本ボーイスカウト広島県連盟	19
	ガールスカウト日本連盟広島県支部	9
ヒューマンアート	広島県立広島皆実高等学校	430
	広島県立広島観音高等学校	323
	広島県立廿日市高等学校	399
	広島県立安古市高等学校	396
	広島県立広島井口高等学校	357
	広島県立廿日市西高等学校	390
	広島県立祇園北高等学校	358
	広島県立広島工業高等学校	399
プラカード保持	広島県立広島皆実高等学校	50
フィールドミュージカル ～いのちの旅～	FUNKY JAM KID'S（スタジオY）	30
	YSK新体操クラブ	34
	五日市ジュニアジャズダンスクラブ	140
	海田町立海田中学校新体操クラブ	7
	かわせみキッズクラブ	28
	ケイダンスカンパニー	8
	己斐ダンスＪｒ	45
	小井手学園広島ファッションビジネス専門学校	48
	小井手学園広島ファッションビジネス専門学校 高等課程タレントコース	10
	チャイルド新体操クラブ	15
	トライスターアカデミー	21
	トリムハウスオープンスクール	33
	広島コンピュータ専門学校	10
	府中・府中南新体操クラブ	10
	五日市ジュニア新体操クラブ	8
	広島県立海田高等学校新体操部	1
	広島県立熊野高等学校新体操部	2
ボディパーカッション　リーダー	ボディパーカッション協会　山田俊之	1
ボディパーカッション　インストラクター	個人参加	200
ボディパーカッション　アクションリーダー	広島県立広島国泰寺高等学校	360
ヤングマン２００２	西城秀樹	1
	上綱克彦＆レイニーウッズ	4
司会・進行	風見しんご、森好香、森本愛	3
合　計		7,660

（2）閉会式（リレーステージ）出演団体一覧表

出　演　部　門	団　体　名	人　数
祭典賛歌	広島交響楽団	40
パンフルート演奏	岩田英憲	1
エレクトーン演奏	藤原由紀	1
合唱	ジュピター少年少女合唱団	50
キッズパフォーマンス	トライスターアカデミー	50
	個人参加	10
祭典旗リレー	スポレクはじけ隊	4
詩の朗読	スポレクはじけ隊	2
司会者	門田洋子	1
香川県アトラクション	（財）少林寺拳法連盟	10
合　計		169

種目交流

Ⅰ　開催種目

1　種目別大会会場地の選考・決定

（1）市町村説明会（平成12年1月17・18・20・21日）
　祭典の概要、種目別大会開催希望種目の意向調査
（2）第4回準備連絡会（平成12年3月17日）
　祭典基本構想案、種目別大会実施種目の検討
（3）市町村ヒアリング（平成12年4月～9月）
（4）第1回県準備委員会開催（平成12年6月14日）
　種目別大会実施種目広島県案の承認
（5）第1回企画検討委員会開催（平成12年6月14日）
　種目別大会会場地の選定方針、祭典基本計画の策定
（6）第2回企画検討委員会開催（平成12年9月25日）
　種目別大会会場地の選考
（7）第2回県準備委員会開催（平成12年10月24日）
　種目別大会実施種目、会場地の決定

2　種目別大会開催準備

（1）県実行委員会種目交流専門委員会の開催
　第1回（平成13年6月28日）
　種目別大会実施計画、種目別大会実施要項、協賛事業の審議
　第2回（平成14年2月26日）
　種目別大会実施要項、種目別大会参加申込書、種目別大会各実施要領の審議
（2）会場地市町及び種目団体合同会議の開催
　第1回（平成12年10月31日）
　祭典基本構想、種目別大会等
　第2回（平成13年2月21日）
　種目別大会、会場地市町実行委員会、協賛事業等
　第3回（平成13年6月28日）
　種目別大会実施計画、種目別大会実施要項作成方法、種目別大会運営補助金等
　第4回（平成13年10月10日）
　種目別大会参加申込書作成方法、表彰状、委嘱状、ゼッケン等
　第5回（平成14年2月28日）
　種目別大会実施要項、種目別大会参加申込書、種目別大会開催事業補助金等
　第6回（平成14年4月18日）
　種目別大会各種実施要領、種目別大会組合せ抽選会実施要領、種目別大会資格審査及び選手変更、種目別大会運営マニュアル等
　第7回（平成14年6月21日）
　種目別大会プログラム作成、都道府県担当者マニュアル作成、表彰状・ゼッケン・式典旗作成、種目別大会記録センター等
　第8回（平成14年8月22日）
　種目別大会等
（3）会場地市町連絡会の開催
　第1回（平成14年4月18日）
　種目別大会開催事業補助金、宿泊輸送、広報、式典、総務
　第2回（平成14年6月21日）
　式典、宿泊輸送、広報、総務
　第3回（平成14年8月22日）
　宿泊輸送、総務

3　種目別大会開催

（1）参加者の募集
　種目別大会実施要項及び都道府県代表参加種目申込書・フリー参加種目募集要項全国発送、参加者募集開始（平成14年5月16日）
　ア　都道府県代表参加種目（7月10日申込締切り）
　イ　フリー参加種目（7月31日・8月10日・8月31日申込締切り）
（2）組み合わせ抽選会
　各会場地市町実行委員会主催で実施（平成14年7月18日～8月6日）
　抽選結果を全国発送（8月19日）
（3）種目別大会プログラム
　各会場地市町実行委員会で作成及び全国発送（平成14年9月）
（4）記録センターの設置
　ア　期　　間
　　平成14年10月5日～10月8日
　イ　場　　所
　　全国スポレク祭広島県実行委員会事務局
　　広島市中区中町8－18クリスタルプラザ12階
　ウ　記録の報告
　　6グループ別に会場地市町実行委員会からファックスで送付(大会開始・進行状況・大会結果報告等)
　エ　記録の配布
　・大会期間中は、要求のあった報道機関や各都道府県教育委員会事務局等
　・大会終了後は、速報(大会結果等)を各都道府県教育委員会事務局へ送付（平成14年10月11日）
　・大会記録報告書を全国発送（平成14年12月24日）

Ⅱ　国際交流

1　日韓スポーツ交流事業

（1）主　催　（財）日本体育協会
（2）主　管
　ア　派遣（財）広島県体育協会（平成13・14年度）
　　（財）三重県体育協会（平成13年度）
　　（財）香川県体育協会（平成14年度）
　イ　受入（財）広島県体育協会（平成14年度）
（3）事業内容
　ア　平成13年度派遣事業
　（ア）期間　平成13年6月4日～6月20日
　（イ）対象　広島県と三重県の成人男女112名
　（ウ）競技　8競技（うち広島県3競技：陸上競技、テニス、バドミントン）
　（エ）会場　大韓民国　済州島
　イ　平成14年度派遣事業
　（ア）平成14年4月25日～5月1日
　（イ）対象　広島県と香川県の成人男女112名
　（ウ）競技　8競技（うち広島県5競技：サッカー、卓球、ソフトテニス、ボウリング、ゲートボール）

準備概要
種目交流

（エ）会場　大韓民国　忠清北道及びソウル市
ウ　平成１４年度受入事業
（ア）期間　平成１４年１０月４日～１０月１０日
（イ）対象　韓国の成人男女１１２名及び本部役員５名　計１１７名
（ウ）競技　８競技（陸上競技、テニス、バドミントン、サッカー、卓球、ソフトテニス、ボウリング、ゲートボール）
（エ）会場　広島県内各会場地

Ⅲ　種目別大会への協力参加

1　協力団体
（社）広島県柔道接骨師会
（社）広島県鍼灸マッサージ師会
（社）広島県鍼灸師会

2　支援内容
・広島県柔道接骨師会：負傷防止のためのテーピング施術等
・広島県鍼灸マッサージ師会：疲労回復促進のための鍼灸マッサージ施術等
・広島県鍼灸師会：疲労回復促進のための鍼灸施術等

3　参加状況

種　目（会場地）	10/5	10/6	10/7
特　別　行　事	柔	柔	
グラウンド・ゴルフ（福山市）		鍼	
壮年サッカー（広島市）		柔	柔
壮年サッカー（府中町）		柔	柔
壮年サッカー（吉田町）		柔	柔
ソフトバレーボール（三次市）		マ	
女子ソフトボール（東広島市）		柔	
男女混合綱引（呉市）		柔	
年齢別ソフトテニス（福山市）		柔	
バウンドテニス（大野町）		マ	
年齢別バドミントン（呉市）		柔	
壮年ボウリング（広島市）		柔	
マスターズ陸上競技（広島市）		柔・マ	
インディアカ（廿日市市）		柔	
マスターズ水泳（広島市）		マ・鍼	
参　加　人　数	１１人	８９人	１５人
	１１５人		

柔＝（社）広島県柔道接骨師会……（参加総数７４人）
マ＝（社）広島県鍼灸マッサージ師会…（参加総数２３人）
鍼＝（社）広島県鍼灸師会……（参加総数１８人）

Ⅳ　種目別大会へのボランティア参加（各会場地市町）

1　参加者・団体
一般ボランティア、ボランティア連絡協議会、女性会、体育協会、体育指導委員協議会、学区体育連合、子ども会関係、PTA関係、老人クラブ、シルバー人材センター、消防団、商工会、地域スポーツクラブ関係、公衆衛生推進協議会、区長会、JA、漁協、観光協会、保・幼・小・中・高校生等

2　参加内容
受付案内、接待、開始式、表彰式、記録掲示、会場美化、プランター等花づくり、駐車場、サービスコーナー、弁当配布、出店、ニュースポーツ体験コーナー、輸送バス添乗、広報、観光案内等

3　参加状況
延べ参加者総数　５,２４０名

Ⅴ　協賛事業開催準備

1　開催希望調査（平成１３年４月３日～１０月３１日）
（１）加盟団体への開催希望調査
（財）日本レクリエーション協会、（財）広島県体育協会、広島県レクリエーション協会
（２）県内全市町村、関係団体等への開催希望調査
８６市町村、県内スポーツ・レクリエーション関係施設、他主管団体等

2　市町村説明会（平成１３年４月９日～５月８日）
趣旨、事業内容、期間、スケジュール等

3　種目交流専門委員会で検討、県案の決定

4　名義使用承認申請
（１）名義の使用承認申請書の集約及び一括申請（文部科学省）
・第一次申請（平成１３年８月３日）
・第二次申請（平成１３年１２月25日）
（２）名義の使用承認（文部科学省）
・第一次承認（平成１３年９月７日）
・第二次承認（平成１４年２月１２日）

5　事業内容
（１）市町村等主催事業　　１７８事業（県内８６市町村）
（２）施設・種目団体等主催事業　　８０事業

6　役割分担
（１）主催者（市町村、施設・種目団体等）
ア　実施要項の作成及び参加者の募集
イ　参加料の徴収及び開催経費負担
ウ　事業の運営管理及び安全対策並びに応急処置
エ　参加者、役員の輸送宿泊
（２）県実行委員会
ア　会場地市町村の紹介・斡旋（種目団体主催事業）
イ　協賛事業のＰＲ
ウ　開催支援の物品提供（大会名入り横断幕、アービーマスコット人形等）

資料

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭 準備経過の概要

平成6年　6月　全国スポーツ・レクリエーション祭の誘致について調査開始
平成7年　9月30日～10月　3日　第8回全国スポーツ・レクリエーション祭（奈良県開催）視察
平成8年　3月21日　文部省へ平成15年度の全国スポーツ・レクリエーション祭開催要望書を提出
11月　2日～　5日　第9回全国スポーツ・レクリエーション祭（群馬県開催）視察
平成9年　10月13日　文部省から平成14年度開催可否の打診
11月15日～18日　第10回全国スポーツ・レクリエーション祭（沖縄県開催）視察
平成10年　1月29日　都道府県・指定都市教育委員会 体育・スポーツ・保健・給食主管課長会議で、文部省から第15回全国スポーツ・レクリエーション祭の広島県開催予定を発表
8月18日　文部省へ第15回全国スポーツ・レクリエーション祭開催申請書を提出
10月　3日～　6日　第11回全国スポーツ・レクリエーション祭（岐阜県開催）視察
11月11日　文部省体育局長から広島県知事へ祭典の開催内定書を交付
平成11年　4月　1日　広島県教育委員会事務局スポーツ振興課内に全国スポーツ・レクリエーション祭担当2名を配置
4月22日　三重県（第14回祭典）開催準備状況調査
7月14日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭準備連絡会（第1回）開催
・全国スポレク祭の概要について
・準備連絡会の運営について
8月31日　石川県（第13回祭典）開催準備状況調査
9月　9日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭準備連絡会（第2回）開催
・基本構想素案について
・名称、主会場、会期、種目別大会について
・スローガン、マスコット制定の基本方針について
10月16日～19日　第12回全国スポーツ・レクリエーション祭（山形県開催）視察、特別行事出展
10月28日～29日　主催団体への進捗状況報告
11月25日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭準備連絡会（第3回）開催
・基本構想案について
・市町村の種目別大会開催希望種目の意向調査について
平成12年　1月17日　市町村説明会（三次会場）開催
・全国スポレク祭の概要について
・種目別大会開催希望種目意向調査について
（1月18日 広島会場、1月20日 福山会場、1月21日 三原会場においても同様に開催）
2月17日　山形県（第12回祭典）開催準備状況調査
3月　1日～　2日　主催団体への進捗状況報告
3月17日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭準備連絡会（第4回）開催
・基本構想案、会期及び種目別大会実施種目について
・準備委員会の設立について
4月　1日　広島県教育委員会事務局スポーツ振興課内に全国スポーツ・レクリエーション祭準備室を設置（10名体制）
6月　7日～　8日　主催団体への進捗状況報告
6月14日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会（第1回）開催
・平成12年度事業計画、平成12年度収支予算、基本構想、会期、種目別大会実施種目広島県案の決定
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭企画検討委員会（第1回）開催
・企画検討委員会の運営、スローガン・マスコットの募集、種目別大会会場地の選定、基本計画の策定について協議
6月20日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会（主催5者協議会）（第1回）開催
・基本構想、会期、種目別大会実施種目決定
7月　1日　スローガン及びマスコットの募集開始（～8月31日）
7月13日　三重県（第14回祭典）開催準備状況調査
8月　1日　石川県（第13回祭典）開催準備状況調査
9月12日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭企画検討委員会委員により、マスコット事前審査
9月25日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭企画検討委員会（第2回）開催
・種目別大会会場地、スローガン・マスコットの募集結果について報告
・基本計画の策定について協議
・スローガン・マスコットの選考及びマスコット愛称募集の基本方針について協議
9月30日～10月　3日　第13回全国スポーツ・レクリエーション祭（石川県開催）視察、特別行事出展
10月24日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会（第2回）開催
・種目別大会実施種目及び会場地の決定、スローガン及びマスコットの決定
・基本計画の策定について協議
10月31日　会場地市町及び種目団体合同会議（第1回）開催
・第15回全国スポーツ・レクリエーション祭基本構想等について
・種目別大会について
11月16日～17日　主催団体への進捗状況報告
12月　1日　マスコット愛称の募集開始（～平成13年1月19日）
平成13年　1月18日　総合企画選定委員会開催
・基本計画策定業務企画コンペ実施
2月15日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭企画検討委員会（第3回）開催

資料

平成13年 2月15日 ・基本計画策定企画コンペ及びマスコット愛称募集結果について報告
・基本計画案について協議
・マスコットの愛称について協議・決定
2月21日 会場地市町及び種目団体合同会議（第2回）開催
・第15回全国スポレク祭開催準備について
・第15回全国スポレク祭種目別大会について
・会場地市町実行委員会について
・協賛事業について
3月 6日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭企画検討委員会（第4回）開催
・基本計画案について協議
・業務別計画案について協議
3月 7日 石川県（第13回祭典）開催準備状況調査
3月21日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会（第3回）開催
・平成12年度事業報告、平成12年度収支決算（見込み）の承認
・基本計画の策定
・広報・宿泊・輸送交通・医事衛生計画の策定
・実行委員会の設立及び準備委員会の解散について協議
4月 1日 広島県教育委員会事務局に全国スポーツ・レクリエーション祭事務局を設置（20名体制）
4月 3日 協賛事業開催希望調査実施（～10月31日）
4月15日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（神辺町　マラソン）
5月 3日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
～ 6日 （尾道市　年齢別テニス）
5月11日 三重県（第14回祭典）開催準備状況調査
～12日
5月19日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（大和町　女子ソフトボール）
5月21日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会設立総会開催
・開催準備経過概要及び基本計画の概要について報告
・広島県実行委員会会則、平成13年度事業計画、平成13年度収支予算について承認
・スローガン・マスコット・マスコット愛称入選作品表彰
5月23日 廿日市市実行委員会設立
5月31日 熊野町実行委員会設立
6月 1日 協賛事業第1次募集開始（～7月31日）
6月 3日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（大和町　女子ソフトボール）
6月 5日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会（主催5者協議会）（第2回）開催
・開催準備状況説明
6月13日 豊平町実行委員会設立
6月24日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（熊野町　太極拳）
6月25日 種目交流専門委員会（第1回）開催
・種目別大会実施計画案、種目別大会実施要項案について協議
6月26日 企画広報専門委員会（第1回）開催
・企画広報実施計画案、キャンペーンスタッフの呼称について、企業協賛募集計画案について協議
新市町実行委員会設立
6月27日 安浦町実行委員会設立
6月28日 会場地市町及び種目団体合同会議（第3回）開催
・種目別大会実施計画について
・種目別大会実施要項作成方法について
・種目別大会実施運営補助金について　ほか
福山市実行委員会設立
7月 1日 キャンペーンスタッフ募集開始（～7月31日）
7月 3日 広島市実行委員会設立
7月 5日 宿泊輸送専門委員会（第1回）開催
・安全管理計画案、宿泊要項、輸送交通要項、医事衛生要項、安全管理要項の策定について協議
7月 6日 呉市実行委員会設立
7月10日 式典事業専門委員会（第1回）開催
・式典事業推進スケジュール及び式典実施計画について協議
7月11日 尾道市実行委員会設立
7月14日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
～15日 （広島市　マスターズ陸上競技）
7月23日 三次市実行委員会設立
7月28日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
～29日 （安浦町　フォークダンス）
8月 1日 協賛事業第2次募集開始（～11月30日）
8月 3日 大野町実行委員会設立
協賛事業名義使用申請（第1次分　208事業）
8月 5日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（福山市　グラウンド・ゴルフ、年齢別ソフトテニス）
8月 7日 キャンペーンスタッフ第1次審査実施
8月21日 キャンペーンスタッフ第2次審査実施
8月24日 竹原市実行委員会設立
8月26日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（廿日市市　インディアカ）
8月28日 キャンペーンスタッフ決定
・スポレクキャンペーン隊（来んさい大使、しんさい大使、はじけんさい大使）
8月31日 因島市実行委員会設立
9月 7日 協賛事業名義使用承認（第1次分　208事業）
東広島市実行委員会設立
9月 8日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（呉市　年齢別バドミントン）
9月28日 スポレクキャンペーン隊委嘱状交付式
9月30日 第15回祭典種目別リハーサル大会実施
（東広島市　女子ソフトボール、広島市　エスキーテニス）
10月 4日 大和町実行委員会設立
10月 5日 坂町実行委員会設立
10月 7日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭1年前WEEKとしてPR実施
～13日

・2001ねんりんピックさわやか健康フェスティバルステージ出演(8日)及び会場内ブースでのPR(7～9日)
・シャレオ中央広場での1年前式典及びPR(10日)
・広島スタジアム　サンフレッチェJリーグ公式戦でのPR(13日)

10月10日　会場地市町及び種目団体合同会議(第4回)開催
・県実行委員会準備状況について
・種目別大会実施要項、参加申込書について
・表彰状、委嘱状、ゼッケンの作成について
・日韓スポーツ交流事業について　ほか

10月14日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(豊平町　エアロビック)

10月16日　広告塔設置(JR広島駅、平和大通り、五日市IC、広島市役所、商工センター)
PR看板設置(県庁)

10月21日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(尾道市　ターゲット・バードゴルフ)

10月25日　神辺町実行委員会設立

10月28日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(尾道市　サイクリング)

11月 5日　三原市実行委員会設立

11月 8日　府中町実行委員会設立
吉田町実行委員会設立

11月10日～13日　第14回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク2001みえ」視察、特別行事出展・出演、閉会式出席
・次期開催県としてのPR
・閉会式(リレーステージ)にて「祭典旗」引継ぎ

11月18日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(坂町　マラソン)

11月19日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(竹原市　ゲートボール)

11月23日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(三原市　3B体操)

11月25日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(三次市　ソフトバレーボール)

11月26日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会常任委員会(第1回)開催
・平成13年度開催準備経過概要、平成13年度広報活動概要、協賛事業、式典実施計画「検討案」について報告
・種目別大会実施計画案、宿泊要項案、輸送交通要項案、医事衛生要項案、安全管理要項案について協議

12月 2日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(新市町　トランポリン)
第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(呉市　男女混合綱引)
第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(安浦町　フォークダンス)

12月13日～14日　三重県(第14回祭典)開催状況調査

12月18日　瀬戸田町実行委員会設立

12月25日　協賛事業名義使用申請(第2次分　45事業)

平成14年 1月 1日　協賛事業スタート(～10月8日まで県内全市町村で開催)

1月 5日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「新春PRイベント」開催
・広島駅南口地下広場において、残日計の除幕式、スポレクはじけ隊によるボディパーカッション、スポレク種目紹介、ニュースポーツ体験コーナーなどを実施
残日計設置(県庁正面玄関ロビー)

1月19日　第7回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会開催記念「駅伝ふるさとひろば」においてPRを実施

1月19日～20日　「第5回島根ふるさとフェア」においてPRを実施
・広島県ブースへの出展、ステージでのPR

1月20日　スポレクマガジン(第1号)発行(以降第8号まで毎月20日発行)

1月23日　平成14年度東京広島県人会総会・懇親会においてPRを実施

2月 3日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(広島市　壮年ボウリング)

2月 8日　式典事業専門委員会(第2回)開催
・開会式実施計画案、閉会式実施計画案、特別行事実施計画案、シンポジウム実施計画案について協議

2月12日　協賛事業名義使用承認(第2次分　45事業)

2月24日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(因島市　ラージボール卓球)
第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(広島市　マスターズ水泳)

2月26日　種目交流専門委員会(第2回)開催
・種目別大会実施要項及び種目別大会参加申込書、種目別大会プログラム作成要領、種目別大会組合せ抽選会要領、表彰式・大会役員等委嘱状・ゼッケン作成について協議

2月28日　会場地市町及び種目団体合同会議(第5回)開催
・県実行委員会準備状況について
・種目別大会実施要項、参加申込書について
・種目別大会開催事業補助金について
・式典、広報、宿泊輸送について　ほか
日韓スポーツ交流事業説明会(第1回)開催
(日本体育協会、広島県体育協会主催)

3月 3日　第15回祭典種目別リハーサル大会実施
(大野町　バウンドテニス)

3月 4日　式典事業専門委員会(第3回)開催
・開会式実施計画案、閉会式実施計画案、特別行事実施計画案、シンポジウム実施計画案について協議

3月 8日　企画広報専門委員会(第2回)開催
・祭典実施要項案、祭典役員編成案・招待者基準案、平成14年度広報実施計画案について協議

3月11日　第14回全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会(主催5者協議会)に出席

資料

平成14年 3月18日 文部科学省が第15回全国スポーツ・レクリエーション祭会場等事前視察
3月25日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会常任委員会（第2回）開催
・開催準備経過概要、協賛事業第2次承認分について報告
・祭典実施要項、式典実施計画、種目別大会実施要項及び種目別大会参加申込書、祭典役員編成基準及び招待者基準について協議
4月 1日 全国スポーツ・レクリエーション祭事務局内にトラベルセンターを設置
4月 7日 バトン合同練習会
4月18日 会場地市町連絡会（第1回）開催
・種目別大会開催事業補助金について
・宿泊輸送、広報、式典、総務について
会場地市町及び種目団体合同会議（第6回）開催
・種目別大会各種実施要領について
・種目別大会プログラム作成要領について
・種目別大会組合せ抽選会実施要領について
・種目別大会「都道府県代表参加種目」の資格審査及び選手変更について
・種目別大会運営マニュアル作成について ほか
日韓スポーツ交流事業説明会（第2回）開催
（広島県体育協会主催）
5月 3日 2002ひろしまフラワーフェスティバルにおいてPR
～ 5日 を実施
・平和大通りパレード（3日、5日）
・ブース運営（ニュースポーツサーキットやスポレク展示コーナー）
・ステージでのPR（3日、5日）
5月 6日 バトン合同練習会
5月18日 「福山ばら祭2002」においてPRを実施
～19日 ・ステージでのPRやブース運営
5月31日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会総会（第2回）開催
・平成13年度事業報告、平成13年度収支決算、平成14年度事業計画、平成14年度収支予算の承認
6月 3日 「スポレク広島2002」ボランティア募集開始
（～6月28日）
6月 4日 文部科学省スポーツ・青少年局長より第15回全国スポーツ・レクリエーション祭開催地決定書交付
6月 6日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会（主催5者協議会）（第3回）開催
・開催準備状況説明
6月12日 「スポレクキャラバン隊」として、県教育委員会生涯学習部長とスポレクキャンペーン隊が種目別大会会場地市町を訪問（6月13日、17日、18日も）
6月20日 首都圏マスコミ関係者を対象にした「中国五県観光情報交換会」においてPRを実施
6月21日 会場地市町連絡会（第2回）開催
・総務、宿泊輸送、広報について
会場地市町及び種目団体合同会議（第7回）開催
・種目別大会について
・種目別大会賞状、ゼッケン、式典旗について
・種目別大会記録センターについて ほか
日韓スポーツ交流事業説明会（第3回）開催
（広島県体育協会主催）
6月22日 マーチングバンド練習会
6月25日 スポレク祭及び100日前イベントをPRするため、スポレクキャンペーン隊がマスコミを訪問
～27日
6月28日 スポレク昼食弁当献立検討会開催
6月29日 バトン合同練習会
100日前イベントの実施（県体育協会他主催の「スポーツフェスタ2002」と同時開催 場所：広島広域公園）
・ステージでのPR
・「スポレク広島2002」PRブース運営（紹介パネル展示、記念撮影、サンプリング）
・スポレク祭実施種目体験コーナー
7月 2日 宿泊施設説明会開催（広島会場）
8日（福山会場）、11日（呉会場）も開催
7月 6日 マーチングバンド練習会
～7日
7月12日 県政記者クラブ幹事社との打ち合わせ
7月15日 幼稚園連盟出演者説明会開催
7月18日 種目別大会組合せ抽選会を実施（各会場地市町）
～8月 6日
7月24日 県立西条農業高校において、開会式会場を飾る飾花をプランターへ植替え
7月27日 フィールドミュージカル合同練習会
～29日
7月30日 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実施本部設置（11部26班73係）
8月 1日 開会式、シンポジウム、閉会式入場者募集開始
（～8月31日）
8月 2日 フィールドミュージカル合同練習会
8月10日 「2002ひろしま夏まつり太田川花火大会」においてPRを実施
8月22日 会場地市町連絡会（第3回）開催
・宿泊輸送について
会場地市町及び種目団体合同会議（第8回）開催
・種目別大会について最終確認
日韓スポーツ交流事業説明会（第4回）開催
（広島県体育協会主催）
8月26日 フィールドミュージカル／バトン練習会
8月27日 平和大通り他に広報用バナー掲出（～10月8日）
・平和大通り、広島駅前、新幹線口、本通り、福山駅前周辺他に612枚掲出
8月28日 特別行事出展者説明会開催
吹奏楽合同練習会、マーチングバンド練習会
9月 4日 シンポジウム会場（ふくやま芸術文化ホール）現地調査
9月 6日 1ヵ月前イベントの実施
・JR広島駅南口 広島電鉄電車乗降所付近において、広電路面電車「スポレク・アービー号」の出発式（運行期間：9月6日～10月8日）
・広島駅地下広場「エールエール」において、

1ヵ月前式典及びアトラクション
・「スポレク広島2002」紹介パネル及びモニュメント展示

9月 7日　「スポレク広島2002」ボランティア説明会開催
9月 9日　フィールドミュージカル等合同練習会
9月14日　フィールドミュージカル合同練習会
9月16日　合唱合同練習会
9月17日　吹奏楽合同練習会
9月18日　報道関係者来会調査実施（9月27日締切）
9月19日　日韓スポーツ交流事業説明会（第5回）開催（広島県体育協会主催）
9月21日　フィールドミュージカル／ボディパーカッション練習会
テレビCMスポット放映開始（～10月4日）
9月22日　フィールドミュージカル合同練習会、バトン合同練習会
9月26日　JR西日本路線県内10駅に歓迎バナー掲出（～10月8日）
9月27日　報道説明会の開催
・取材要領の配布・説明、参加選手等に関する資料提供　ほか
開会式・特別行事会場（広島広域公園）内に歓迎用バナー取り付け、掲出（～10月8日）
9月28日　開会式総合リハーサル（第1回）を実施
9月29日　フィールドミュージカル合同練習会
10月 3日　JR西日本路線県内13駅に歓迎看板等の設置（～10月8日）
10月 4日　開会式総合リハーサル（第2回）を実施
10月 4日　「スポレク広島2002」案内所を設置
～ 8日　・JR広島駅、広島空港、種目別大会各会場地市町最寄り駅など
10月 5日　プレスセンター、記録センターを開設
～ 8日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島2002」開催
・開会式
10月5日（土）　広島広域公園陸上競技場
・特別行事
10月5日（土）～6日（日）　広島広域公園
・シンポジウム
10月6日（日）　ふくやま芸術文化ホール
・種目別大会
10月5日（日）～8日（火）　各会場地市町
・閉会式
10月8日（火）　広島国際会議場
10月 7日　閉会式リハーサル実施
10月 8日　閉会式当日リハーサル実施
10月18日　会場地市町及び種目団体合同会議（第9回）開催
・報告書類の提出について
・種目別大会についての実施状況調査について　ほか
10月31日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実施本部解散
平成15年 3月14日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会（主催5者協議会）（第4回）開催
・祭典実施報告
3月20日　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会総会（第3回）開催
・平成14年度事業報告及び収支決算（見込み）を承認
・平成14年度収支決算の確定に関する権限の委任を承認
・広島県実行委員会解散

資料

全国スポーツ・レクリエーション祭開催要綱

昭和６３年４月７日
文部大臣裁定
最近改正
平成１３年１月６日

1　総則

全国スポーツ・レクリエーション祭（以下「祭典」という。）の開催については、この開催要綱の定めるところによる。

2　趣旨

祭典は、広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的とする。

3　主催者

主催者は、文部科学省、開催地都道府県（開催地が地方自治法第252条の19第１項の指定都市の区域である場合には、開催地指定都市及び当該指定都市の所在する都道府県。以下同じ。）、（財）日本体育協会、（財）日本レクリエーション協会及び（社）全国体育指導委員連合とする。

ただし、種目別大会等については、各種目団体、会場地市町村及びその他この祭典の趣旨に賛同する団体を加えることができる。

4　開催地

開催地は、開催を希望する都道府県又は地方自治法第252条の19第1項の指定都市の区域のうちから、文部科学大臣が決定する。

5　実施事業

祭典は、主催者が実施する主催事業及びスポーツ・レクリエーション関係団体等が実施する協賛事業とする。

6　開催期間

主催事業は、特別行事を除き、原則として４日間程度とする。

7　全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会

文部科学省に祭典を円滑に実行し及び必要な連絡調整を行うため、原則として、文部科学省、開催地都道府県、（財）日本体育協会、（財）日本レクリエーション協会及び（社）全国体育指導委員連合をもって構成する全国スポーツ・レクリエーション祭連絡協議会を置く。

8　全国スポーツ・レクリエーション祭都道府県組織

開催地都道府県は、全国スポーツ・レクリエーション祭都道府県実行委員会その他祭典を実施するために必要な組織を整備するものとする。

9　事業内容

（１）主催事業

ア．開閉会式

広く国民が参加できるようスポーツ・レクリエーションの祭典にふさわしい楽しい内容とする。

イ．特別行事

国民のスポーツ・レクリエーション活動に対する関心を高めるため、各種交流の場を提供する。

ウ．種目別大会

実施種目は、スポーツ・レクリエーション種目であって、広く国民が、各年齢層に応じて楽しく参加できるものとする。

エ．シンポジウム

スポーツ・レクリエーション活動を実践する重要性や生涯スポーツの意義について、広く国民の関心を喚起するとともに、その振興の在り方を探る内容とする。

（２）協賛事業

スポーツ・レクリエーション関係団体等が、祭典の趣旨に賛同して実施する関連事業を、協賛事業として文部科学大臣が承認する。

10　補則

この開催要綱に定めるもののほか、祭典の開催及び運営に必要な事項は、文部科学省スポーツ・青少年局長が定める。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項

平成１４年３月２５日
第１５回全国スポーツ･レクリエーション祭
広島県実行委員会制定

1　趣　旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭は、広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的とする。

2　基本方針

全国から集う人々と県民との交流を図り、楽しさ・気軽さ・感動を発見できる祭典とし、地域を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図る。

（１）楽しさ（Enjoyment）

「“エンジョイ　チャレンジ”スポーツ広島」という２１世紀の広島のスポーツ理念を生かし、スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを発見できる祭典とする。

（２）気軽さ（Ease）

誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも行えるスポーツ・レクリエーション活動の気軽さを発見できる祭典とする。

（３）感　動（Excitement）

広島の自然、歴史、文化、人々とふれあい、心うるおう新たな感動を発見できる祭典とする。

3　名称、スローガン及びマスコット

（１）名　　称　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」

（２）スローガン　「来んさい！しんさい！はじけんさい！」

（３）マスコット　「アービー」

4　主催者

文部科学省、広島県、（財）日本体育協会、（財）日本レクリエーション協会、（社）全国体育指導委員連合とする。

ただし特別行事、種目別大会等については、各種目団体、会場地市町及びその他、この祭典の趣旨に賛同する団体を加えることができる。

5　会　　期

平成１４年１０月５日（土）から１０月８日（火）　４日間

6　事業内容

（１）主催事業

ア　開会式

（ア）方　　針

①　祭典スローガン「来んさい！しんさい！はじけんさい！」を基調とし、観客と参加者の一人ひとりが主体的に参加し、すべての人が感動を分かち合うことのできる一体的な内容とする。

②　広島県の恵まれた自然、歴史と伝統に育まれた文化と、スポーツ・レクリエーションの祭典にふさわしい躍動感の融合により「広島の活力」を全国にアピールする。

（イ）期　　日　　平成１４年１０月５日（土）

（ウ）会　　場　　広島広域公園陸上競技場
（広島ビッグアーチ）

イ　閉会式（リレーステージ）

（ア）方　　針

①　祭典を振り返り、感謝の意を表すとともに、祭典を支えた多くの人たちの共感を深め、新たな交流と友好の輪を拡げるフィナーレにふさわしい内容とする。

②　次期開催県へ祭典旗とともに、広島大会の感動を引継いでいただくことのできるセレモニーとする。

（イ）期　　日　　平成１４年１０月８日（火）

（ウ）会　　場　　広島国際会議場（フェニックスホール）

ウ　特別行事

（ア）方　　針

①　生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動に対する関心を高める場として、情報発信やニュースポーツの体験・紹介などにより、楽しさと気軽さを実感できる構成とする。

②　全国からの参加者と県民が気軽に参加し、交流を深める場として、広島の郷土芸能や伝統工芸、特産物の紹介などにより、広島らしさをアピールする。

③　完全学校週５日制の実施を踏まえ、家族や地域で参加し、楽しめる内容とする。

（イ）期　　日　　平成14年10月5日（土）から10月6日（日）

（ウ）会　　場　　広島広域公園内

エ　シンポジウム

（ア）方　　針

①　スポーツ・レクリエーション活動を実践する重要性や生涯スポーツの意義について、広く関心を喚起するとともに、現実的な課題を抽出し、その振興のあり方を探る内容とする。

②　インターネットを活用し、各界の著名な実践者の提言を発信し、その提言に対する幅広い意見交換の中から「テーマ」を導くとともに、多くの人が興味・関心を持ち、気軽に参加できる形態とする。

（イ）期　　日　　平成１４年１０月６日（日）

（ウ）会　　場　　ふくやま芸術文化ホール
（リーデンローズ）

オ　種目別大会

（ア）方　　針

全国スポーツ・レクリエーション祭の趣旨に基づき、多くの人たちが年代に応じて楽しく参加できるよう、次のことに配慮する。

①　勝敗のみにとらわれることなく、参加者が競技を楽しむことができる、和やかな雰囲気となるよう、日程や組合せを工夫する。

②　競技だけでなく、参加者同士や参加者と県民が友好を深め、互いに交流が広がるような場とする。

③　本県及び会場地市町の特色を生かした創意ある大会とする。

④　大会に関わるすべての人に喜びを感じてもらえるよう、皆で一体となってつくりあげていく大会とする。

（イ）開催種目

①都道府県代表参加種目

No.	種　目　名	会　場　地	期　日			
			10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)
1	グラウンド・ゴルフ	福　山　市	▲	◎ ●	● ◇	
2	ゲ　ー　ト　ボ　ー　ル	竹　原　市	▲	◎ ●	● ◇	
3	壮　年　サ　ッ　カ　ー	広　島　市 府　中　町 吉　田　町	▲	◎ ●	●	● ◇
4	ソフトバレーボール	三　次　市	▲	◎ ●	● ◇	● ◇
5	女子ソフトボール	東広島市 大　和　町	▲	◎ ●	●	● ◇
6	ラージボール卓球	因　島　市	▲	◎ ●	● ◇	● ◇
7	ターゲット・バードゴルフ	尾　道　市	▲	◎ ●	● ◇	
8	男　女　混　合　綱　引	呉　　市	▲	◎ ●	● ◇	
9	年　齢　別　テ　ニ　ス	尾　道　市	▲	◎ ●	● ◇	
10	年齢別ソフトテニス	福　山　市	▲	◎ ●	●	● ◇
11	バ　ウ　ン　ド　テ　ニ　ス	大　野　町	▲	◎ ●	● ◇	
12	年齢別バドミントン	呉　　市	▲	◎ ●	● ◇	● ◇
13	壮　年　ボ　ウ　リ　ン　グ	広　島　市	▲	◎ ●	●	● ◇
14	マスターズ陸上競技	広　島　市	▲	◎ ● ◇	● ◇	● ◇
15	イ　ン　デ　ィ　ア　カ	廿日市市	▲	◎ ●	● ◇	
16	フ　ォ　ー　ク　ダ　ン　ス	安　浦　町	▲	◎ ●	● ◇	
17	エ　ア　ロ　ビ　ッ　ク	豊　平　町	▲	◎ ●	● ◇	
18	ト　ラ　ン　ポ　リ　ン	新　市　町	▲	◎ ●	● ◇	

▲：代表者会議　◎：開始式　●：競技等　◇：表彰式

②フリー参加種目

No.	種目名	会場地	期日			
			10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)
1	ウォークラリー	瀬戸田町		◎●◇		
2	エスキーテニス	広島市		◎●◇		
3	サイクリング	尾道市		◎●◇		
4	3B体操	三原市	▲	◎●◇		
5	太極拳	熊野町	△ ▲	◎●◇		
6	マスターズ水泳	広島市		◎●◇		
7	マラソン	坂町		◎●◇		
		神辺町		◎●◇		

▲：代表者会議　◎：開始式　●：競技等　◇：表彰式　△：交流会

（ウ）実施方法

実施方法については、種目別大会実施要項に定める。

（エ）参加者の資格等

① 都道府県代表参加種目

参加者は、祭典の趣旨に賛同し、種目ごとに定める参加資格を満たす者とする。

参加基準は、次のとおりとする。

a 原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとし、各種目の参加資格については、種目別大会実施要項に定める。

b 年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。

c 参加種目は、原則として一人１種目に限る。

d 原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。

② フリー参加種目

参加者は、祭典の趣旨に賛同し、種目ごとに定める参加資格を満たす者とする。

（オ）組合せ

組合せについては、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「広島県実行委員会」という。）及び第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭会場地市町実行委員会（以下「会場地市町実行委員会」という。）が行う。

（カ）参加申込み

① 都道府県代表参加種目

a 参加希望者は、当該都道府県教育委員会又は生涯スポーツ担当部局（以下「各都道府県教育委員会等」という。）の定める申込方法に基づいて、各都道府県教育委員会等に申し込む。

b 各都道府県教育委員会等は、所定の参加申込書により、広島県実行委員会に申し込む。

c 広島県実行委員会への参加申込み締切りは、平成１４年７月１０日（水）必着とする。

② フリー参加種目

a 参加希望者は、各人が所定の参加申込書により、会場地市町実行委員会に直接申し込む。

b 会場地市町実行委員会への参加申込み締切りは、種目によって異なり、平成１４年７月３１日（水）、８月１０日（土）、８月３０日（金）必着とする。

（キ）参加料

① 都道府県代表参加種目

参加者（監督・コーチ・マネジャー・スコアラー・選手）一人につき、１,０００円（傷害保険料を含む。）とし、納入方法については、所定の参加者数総括申込記入要領による。

② フリー参加種目

種目別大会実施要項に記載する参加料とし、納入方法については、所定の参加申込書等に記載する要領による。

（ク）参加上の注意

① 参加者は、事前に健康診断を受けること。

② 参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

③ 事故発生の場合、主催者は応急処置のみ行うものとする。

④ 参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

（ケ）選手派遣本部参加者

各都道府県の選手派遣本部参加者については、所定用紙で報告する。

（コ）その他

代表者会議については、監督及びそれに準ずる代表者が出席する。

（２）協賛事業

市町村又はスポーツ・レクリエーション関係団体等が、祭典の趣旨に賛同して実施する事業で、協賛事業として文部科学大臣から認められたものとする。

ア 参加者の資格等

参加者は、祭典の趣旨に賛同するもので、協賛事業主催団体が定める。

イ 組合せ

協賛事業主催団体が行う。

ウ 参加申込み

参加希望者は、各人が事業ごとに定める参加申込方法により、協賛事業主催団体に申し込む。

エ 参加料

各協賛事業ごとに定める。

7 宿泊・輸送

宿泊・輸送の申込み手続き等については、別に定める「宿泊要項」及び「輸送交通要項」による。

8 その他

（１）協賛事業のうち、この実施要項を定める日までに、文部科学大臣から承認を得て既に実施した協賛事業については、この要項により実施されたものとみなす。

（２）この実施要項に定めるもののほか、祭典の実施に必要な事項は、別に定める。

関係要項・要領等

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭 スローガン募集要項

全国スポーツ・レクリエーション祭は、各世代がスポーツ・レクリエーション活動に親しめる全国的な祭典として昭和６３年から開催され、開閉会式、種目別大会、シンポジウム、特別行事、協賛事業などからなる総合イベントです。

平成１４年に本県で開催される第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」は、全国からの参加者と県民がスポーツ・レクリエーションを通して、楽しさ（Enjoyment）・気軽さ（Ease）・感動（Excitement）を発見でき、地域を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ることを基本方針としています。

平成１４年秋に４日間、県内各地で開催されるこの祭典を全国にアピールし、多くの方々の関心と参加機運を盛り上げるため、祭典にふさわしいスローガンを全国から募集いたします。

1　募集内容

（1）応募資格　特に制限しない。

（2）作品内容　ア　祭典の趣旨にふさわしいもの
イ　広島の祭典をイメージさせるもの
ウ　自作未発表のもの

（3）応募方法　ア　官製はがきを使用するものとし、１枚につき１点を記入する。
イ　簡単な説明、住所、氏名、年齢（学生の場合は学年）、電話番号を必ず記入する。
ウ　応募点数は１人何点でも可能とする。
エ　インターネット、ＦＡＸでの応募も可能とする。
（http://www.pref.hiroshima.jp/）

（4）応募期間　平成１２年７月１日（土）～平成１２年８月３１日（木）（締切日消印有効）

（5）賞　最優秀賞　１点
５万円又は５万円相当の図書券
優秀賞　２点
１万円又は１万円相当の図書券

（6）その他　ア　最優秀作品を使用するが、一部補作して使用することもある。
イ　最優秀作品の著作権や版権などは、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会に帰属する。なお、応募作品は返却しない。

2　募集方法

関係機関にポスター・リーフレットを配布し、また、公募情報誌及び県内タウン情報誌に募集案内を掲載することにより募集する。

3　審査及び発表

（1）審　査　第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会が選考し決定する。

（2）発　表　入賞者に直接通知するほか、マスコミや広島県の広報紙などで発表する。
（９月下旬予定）

4　応募先及び問い合わせ先

広島県教育委員会事務局全国スポーツ・レクリエーション祭準備室『スローガン・マスコット募集係』
（第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会事務局）
〒７３０－８５１４　広島市中区基町９―４２
電　話：０８２－２２３－６３２２
ＦＡＸ：０８２－５１１－１０６６

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭 マスコット募集要項

全国スポーツ・レクリエーション祭は、各世代がスポーツ・レクリエーション活動に親しめる全国的な祭典として昭和６３年から開催され、開閉会式、種目別大会、シンポジウム、特別行事、協賛事業などからなる総合イベントです。

平成１４年に本県で開催される第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」は、全国からの参加者と県民がスポーツ・レクリエーションを通して、楽しさ（Enjoyment）・気軽さ（Ease）・感動（Excitement）を発見でき、地域を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ることを基本方針としています。

平成１４年秋に４日間、県内各地で開催されるこの祭典を全国にアピールし、多くの方々の関心と参加機運を盛り上げるため、祭典にふさわしいマスコットを全国から募集いたします。

1　募集内容

（1）応募資格　特に制限しない。

（2）作品内容　ア　祭典の趣旨にふさわしいもの
イ　広島の祭典をイメージさせるもの
ウ　ぬいぐるみや着ぐるみとして活用でき、親しみやすいもの
エ　自作未発表のもの

（3）応募方法　ア　原則としてＡ４版程度の画用紙・ケント紙等白い紙を使用し色は５色以内、画材は自由とする。
（はがきでの応募も可）
イ　作品の裏にマスコットの簡単な説明、住所、氏名、年齢（学生の場合は学年）、電話番号を必ず記入する。
（はがきは作品の枠外に記入）
ウ　応募点数は１人何点でも可能とする。

（4）応募期間　平成１２年７月１日（土）～平成１２年８月３１日（木）（締切日消印有効）

（5）賞　最優秀賞　１点
１０万円又は１０万円相当の図書券
優秀賞　２点
１万円又は１万円相当の図書券

（6）その他　ア　最優秀作品を使用するが、一部補作し

て使用することもある。
イ　最優秀作品の著作権や版権などは、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会に帰属する。なお、応募作品は返却しない。
ウ　愛称は別に募集する。

2　募集方法

関係機関にポスター・リーフレットを配布し、また、公募情報誌及び県内タウン情報誌に募集案内を掲載することにより募集する。

3　審査及び発表

（１）審　　査　第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会が選考し決定する。
（２）発　　表　入賞者に直接通知するほか、マスコミや広島県の広報紙などで発表する。（９月下旬予定）

4　応募先及び問い合わせ先

広島県教育委員会事務局全国スポーツ・レクリエーション祭準備室『スローガン・マスコット募集係』
（第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会事務局）
〒７３０－８５１４　広島市中区基町９－４２
電話：０８２－２２３－６３２２

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭マスコット愛称募集要項

1　趣旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島２００２」は、『来んさい！しんさい！はじけんさい！』をスローガンに、平成１４年１０月５日～８日広島県内各地で開催される全国規模の祭典であり、全国からの参加者と県民がスポーツ・レクリエーションを通して、楽しさ（Enjoyment）・気軽さ（Ease）・感動（Excitement）を発見でき、地域を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ることを基本方針としています。

この祭典を全国にアピールし、多くの方々の関心と参加機運を盛り上げ、全国の方々に親しまれる祭典にするため、マスコットの愛称を全国から募集します。

2　募集内容

（１）応募資格　特に制限しません。
（２）作品内容　ア　多くの方々に親しまれるもの
イ　スポーツ・レクリエーションの楽しさや、人々の交流の楽しさをイメージさせるようなもの
ウ　自作未発表のもの
（３）応募方法　ア　はがきもしくはリーフレット応募用はがきを使用してください。
イ　作品の簡単な説明、住所、名前、年齢（学生の場合は学年）、電話番号を必ず記入してください。
ウ　１人何点でも応募できます。
エ　ＦＡＸでの応募も可能です。
オ　インターネットでの応募も可能です。
（suporeku@pref.hiroshima.jp）
（４）募集期間　平成１２年１２月１日(金)～平成１３年１月１９日（金）（締切日消印有効）
（５）賞　　最優秀賞　　１点
３万円又は３万円相当額の図書券
優秀賞　　２点
１万円又は１万円相当額の図書券
スポレク賞　　１０点
マスコットのぬいぐるみ
（完成後、入賞者に発送）
（６）その他　ア　最優秀作品を使用しますが、一部補正して使用することもあります。
イ　最優秀作品の著作権や版権などは、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会に帰属します。
ウ　応募作品は、返却しません。
エ　最優秀作品等に複数の応募があった場合は、抽選により決定します。

3　審査及び発表

（１）審　　査　第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会が審査し決定します。
（２）発　　表　入賞者に直接通知します。

4　応募先及び問い合わせ先

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県準備委員会事務局『マスコット愛称募集係』
〒７３０－８５１４　　広島市中区基町９－４２
電　話：０８２－２２３－６３２２
ＦＡＸ：０８２－５１１－１０６６

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭マスコット等使用取扱要領

（趣旨）
第１条　この要領は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭（以下「祭典」という。）のマスコット（展開したものを含む）、スローガン及び名称ロゴタイプ（以下「マスコット等」という。）を使用する場合の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（使用承認申請）
第２条　マスコット等を使用する者は、あらかじめマスコット等使用承認申請書（様式第１号）を第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会会長（以下「会長」という。）に提出し、承認を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りではない。
（１）会場地市町実行委員会及び種目団体が使用する場合
（２）国、地方公共団体、財団法人日本体育協会、財団法人日本レクリエーション協会及び社団法人全国体育指導委員連合が使用する場合
（３）祭典の開催に協賛する企業で、会長が認めた企業が使用する場合
（４）報道機関が報道又は広報の目的で使用する場合
（５）その他会長が適当と認めた場合
２　使用承認は、マスコット等使用承認書（様式第２号）に

より承認するものとする。
3　第１項第３号に掲げる企業が使用する場合は、あらかじめマスコット等使用届（様式第３号）を会長あて提出するものとする。
4　マスコット等の使用は、無償とする。
（使用上の遵守事項）
第３条　マスコット等を使用する場合は、次の事項を遵守しなければならない。
（１）定められた色、形式などを正しく使用すること。
（２）マスコット等のイメージを損なう展開及び応用使用をしないこと。
（３）承認された用途のみに使用し、会長が指示する使用条件に従うこと。
（４）使用にあたっては、承認番号を付記すること。ただし、使用対象物件の美観又は機能を著しく損なう場合は、これを省略することができる。
（見本品の提出）
第４条　マスコット等の使用承認を受けた者又は、第２条第１項第３号で使用する者は当該承認に係る見本品等を速やかに会長に提出しなければならない。ただし、提出困難なものについては、その写真の提出をもって代えることができる。
（承認内容の変更）
第５条　マスコット等の使用承認を受けた者が、マスコット等使用承認通知書の承認内容について変更しようとするときは、あらかじめ、マスコット等使用承認内容変更申請書（様式第４号）を会長に提出し、その承認を受けなければならない。
（承認の取り消し）
第６条　会長は、マスコット等の使用がこの要領又は承認内容に違反していると認められる場合は、当該承認を取り消すことができる。
2　前号の承認の取り消しは、マスコット等使用承認取消通知書（様式第５号）をもって通知する。
3　前２項の規定により承認を取り消された者は、承認取り消しの通知があった日以降、当該承認に係る物件の使用、配布、掲示及び販売等をしてはならない。
（使用期間）
第７条　マスコット等の使用期間は、使用を承認した日から、平成１４年１２月３１日までを限度とする。
（補則）
第８条　この要領に定めるもののほか、マスコット等の使用に関して必要な事項は、別に定める。

附　則
この要領は、平成１３年４月１日から施行する。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレク広島２００２）キャンペーンスタッフ設置・募集要項

（目的）
第１条　第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレク広島２００２）（以下「スポレク広島２００２」という。）を開催するに当たり、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「実行委員会」という。）がキャンペーンスタッフを設置し、スポレク広島２００２のイメージアップや県内外に向けた積極的なキャンペーン活動、祭典期間中の各式典の活動を行う人を募集する。
（呼称）
第２条　キャンペーンスタッフの呼称は、別途定める。
（職務）
第３条　キャンペーンスタッフは、スポレク広島２００２のＰＲ活動等を行うために、次の諸行事に参加する。
（１）スポレク広島２００２の式典、各種イベント・行事
（２）県内外で開催される各種イベント・行事
（３）テレビ、ラジオ等でのスポレク広島２００２ＰＲ事業
（４）その他実行委員会会長が適当と認めるイベント・行事等
（人数）
第４条　キャンペーンスタッフは、ＰＲ活動を効果的・効率的に行うため、３名とする。
（委嘱期間）
第５条　キャンペーンスタッフの委嘱期間は、平成１３年９月から平成１４年１０月までとする。
（業務を行う日）
第６条　キャンペーンスタッフは、実行委員会があらかじめ指定した日に、第３条に定める職務を行う。
（募集対象）
第７条　県内に在住する満１８歳以上の人。
2　任期期間中に実行委員会が要請する各種活動に参加できること。
（応募締切）
第８条　応募の締切は、平成１３年7月３１日（火）とする。
（当日消印有効）
（応募方法）
第９条　所定の応募用紙に所定事項を記入し、3カ月以内に撮影したカラー写真（上半身１枚）を貼付の上、実行委員会に郵送又は直接持参するものとする。
（選考方法等）
第１０条　選考は実行委員会が行う。
（１）審査は平成１３年８月中に行う。
（２）選考方法は別途定める。
（３）発表は審査終了後に行う。
（報酬等）
第１１条　実行委員会は、キャンペーンスタッフがその職務に従事したときは、その職務に従事した時間により、別表に定める額の報酬を支給する。
2　実行委員会は、委嘱期間終了後、完了謝礼金として２００,０００円を支払う。
（報酬の支給方法）
第１２条　キャンペーンスタッフの報酬は、職務に従事した都度支給する。
2　完了謝礼金については、委嘱期間終了日から起算して30日以内に支払う。
（費用弁償及び支給の方法）
第１３条　実行委員会は、キャンペーンスタッフが職務のために旅行した時に支給する費用弁償の額は、職員の旅費に

資料

関する条例（昭和２８年広島県条例第２３号）の規定を準用し、一般職の職員に支給する旅費（委嘱後は日当を非支給とする）相当額とし、居住地から計算し、一般職の職員の旅費の支給の例により支給する。

（第三者からの派遣依頼）

第１４条　キャンペーンスタッフの派遣を希望するものから依頼があった場合には、実行委員会会長が、派遣の適否を決定し、その結果を依頼者に通知する。

２　前項の規定に基づき派遣した場合のキャンペーンスタッフの報酬、旅費など、派遣に伴う経費は原則として依頼者が負担する。

（損害保険）

第１５条　第３条に規定する業務の遂行上、キャンペーンスタッフが災害を受けた場合は、実行委員会が加入する普通傷害保険の保険金の範囲内で補償する。

（制服の支給）

第１６条　実行委員会はキャンペーンスタッフに制服（付属品一式を含む）を支給する。

（職務上の心得）

第１７条　キャンペーンスタッフは、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

（１）この要綱及び実行委員会の業務を遂行する上の指示に従うこと。

（２）キャンペーンスタッフの名称を用い、実行委員会の指定する業務以外の業務に服さないこと。

（３）業務上知り得た秘密を他に漏らさないこと。

（４）キャンペーンスタッフとしての職務に専念し、誠実にこれを遂行すること。

（承諾書の提出）

第１８条　キャンペーンスタッフの委嘱を受ける者は、キャンペーンスタッフの活動の内容、本要綱及び傷害保険の内容を理解し、承諾していることを証するため、承諾書を提出すること。

（その他）

第１９条　この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に必要な事項は、会長が別に定める。

附　則

この要綱は、平成１３年６月１３日から施行する。

別表　　報酬日額表

職務に従事した時間	報酬の額
５時間以上の場合	１０,０００円
５時間未満の場合	６,０００円

「スポレク広島２００２」ボランティア募集要項（開会式・特別行事）

１　趣旨

「スポレク広島２００２」の開催に当たり、全国から来県する選手・役員を快く迎え、交流・ふれあいを通じて心潤う祭典とするため、広く県民にボランティアへの参加を求め、祭典運営業務に従事していただくとともに、県民総参加の機運を盛り上げ、これを契機にボランティアへの関心が一層高まるようスポレクボランティアを募集する。

２　主催

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会

３　活動期日及び活動場所

活　動　日	活動場所	項　目
10月5日(土)	広島広域公園陸上競技場他	開会式
10月5日(土)～6日(日)	広島広域公園他	特別行事(イベント会場)

４　活動内容

選手団サポート、会場美化、会場案内、入場受付･整理、招待者等受付、来場者アンケート、弁当配布等

５　募集期間

平成１４年６月３日（月）～６月２８日（金）必着

６　募集予定人数

２００人程度

７　募集対象

おおむね５人以上のグループ（原則として県内在住で１５歳以上の方）

※１人でも応募可能です。

８　応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、持参、郵送又はファックスあるいはＥメール、ホームページの応募フォームで応募する。

必要事項

（１）個人の場合　　：名前（フリガナ）、性別、年齢、住所、電話番号、希望活動日

（２）グループの場合：代表者の名前（フリガナ）､性別、年齢、住所、電話番号、団体名、グループの予定人数、グループとしての希望活動日

９　その他

（１）祭典期間中に必要な物品や弁当は支給しますが、報酬、謝礼金、交通費は支給しません。

（２）事務局の負担で傷害保険に加入します。

（３）会場周辺に駐車場はないので、公共交通機関やシャトルバスを利用してください。

（４）募集予定人数に達した場合は希望に沿えない場合があります。

（５）活動は１日単位とし、活動場所･活動内容等については、事務局で決定し、後日連絡します。

（６）平成１４年９月上旬に研修を行う予定です。

１０　応募･お問い合わせ先

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局企画広報課ボランティア募集担当（担当者：木全（きまた）、櫻井（さくらい））
〒７３０－００３７
広島市中区中町８番18号広島クリスタルプラザ12階
ＴＥＬ：０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ：０８２－２４２－１０９５
E-mail：suporeku@pref.hiroshima.jp
URL：http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/sporec/

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
開会式・シンポジウム・閉会式入場券取り扱い要領

1　趣旨

この要領は、第15回全国スポーツ･レクリエーション祭開会式、シンポジウム及び閉会式の一般観覧者入場券の取り扱いについて必要な事項を定めるものとする。

2　入場券の発行

入場券は、第15回全国スポーツ･レクリエーション祭広島県実行委員会が発行する。

3　入場料金

入場料金は無料とする。

4　入場券の取り扱い先

第15回全国スポーツ･レクリエーション祭広島県実行委員会事務局

5　観覧希望の応募方法及び入場券の配布

開会式･シンポジウム・閉会式の観覧希望者は、次の方法により応募を行い、入場券の交付を受けるものとする。

（1）往復はがきにより、それぞれ次の応募先へ直接応募するものとする。

ア　往復はがき1枚につき1行事のみの応募とし、1枚につき2名以内の応募とする。

幼児についても座席が必要な場合は入場券が必要なものとする。

イ　往信はがきには、

① 観覧希望行事(開会式･シンポジウム･閉会式の別を必ず記入すること。)

② 住所

③ 名前

④ 年齢

⑤ 電話番号

⑥ 来場手段（シャトルバス・公共交通機関（アストラム・路線バスの別）・徒歩の別。）

⑦ その他希望事項等（例：車椅子席、手話通訳等の必要がある場合）を記入し、返信はがきには、応募者（代表者）の住所・名前を明記する。

ウ　2名応募する場合には、同伴者の名前、年齢、電話番号及び来場手段も必ず記入するものとする。

（2）応募先

〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８広島クリスタルプラザ１２階
第１５回全国スポーツ･レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局　入場者募集係

（3）入場券の配布については、往復はがきの返信をもって代える。

6　応募期間

平成１４年８月１日(木)～８月３１日(土)　当日消印有効

7　観覧者の決定

応募者が定員を上回る場合は、抽選をもって観覧者を決定する。

8　決定の通知方法

観覧者に該当した場合は、その返信用はがきを入場整理券として送付する。

9　その他

この要領に定めのない事項で必要の生じた事項については、別途定めるものとする。

（参考）

開会式・シンポジウム・閉会式一般観覧者入場券発行枚数

	発行枚数
開会式	３０,０００枚
シンポジウム	2,０００枚
閉会式	1,５００枚

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭宿泊要項

1　趣　旨

この要項は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する選手・監督及び役員等（以下「祭典参加者」という。）の宿泊及び昼食弁当について、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「県実行委員会」という。）は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭会場地市町実行委員会（以下「市町実行委員会」という。）及び協賛事業会場地市町村と相互に連絡調整を図り、「スポレク広島２００２」トラベルセンター及び関係機関・団体等の協力を得て、快適な宿舎の確保及び昼食弁当を調達するため必要な事項を定める。

2　宿舎の選定

（1）宿舎は、旅館業法の許可を得て営業を行う旅館、ホテル及び公共施設等（以下「旅館等」という。）をもって充てる。

（2）風紀、衛生、火災予防上支障があると認められる旅館等は利用しない。

3　配　宿

（1）配宿の対象となる者は、祭典参加者のうち所定の手続きにより、「スポレク広島２００２」トラベルセンターに申込みがあった者とする。

（2）選手・監督の宿舎は種目会場の周辺に選定し、都道府県別、種目別、男女別を考慮して配宿するが、配宿の事情により近隣市町村の宿舎も利用する。

（3）旅館等は定員内での利用とする。

（4）指定された宿舎の変更は、原則として認めない。任意に変更したことによって生じた全ての紛議や損失は変更した者がその責任を負う。

4　宿泊料金等

宿泊料金、休憩料金、料金の精算及び適用期間は、次のとおりとする。

（1）宿泊料金

ア　1泊2食付き

宿泊料金		条件等
ﾗﾝｸ	料金帯	
A	14,000円以上～17,000円以下	◎税、サービス料込み ◎部屋タイプ(和室、シングル、ツイン、トリプル等)が異なる場合でも1施設同一料金 ◎土、日、平日同一料金
B	11,000円以上～14,000円未満	
C	9,000円以上～11,000円未満	
D	6,500円以上～ 9,000円未満	

イ　１泊朝食付き

宿泊料金		条件等
ﾗﾝｸ	料金帯	◎税、サービス料込み ◎部屋タイプ（和室、シングル、ツイン、ﾄﾘﾌﾟﾙ等）が異なる場合でも1施設同一料金 ◎土、日、平日同一料金
E	10,000円以上～12,000円以下	
F	8,500円以上～10,000円未満	
G	6,500円以上～ 8,500円未満	

（２）休憩料金

１０時以降、１５時以前に旅館等の客室を使用する際には、別途旅館等が定める休憩料金が必要となる。ただし、連泊の場合は、この限りでない。

（３）宿泊料金の精算

宿泊料金は、全額事前払込みを原則とし、払込方法は口座振替による。

（４）適用期間

宿泊料金の適用期間は、平成１４年１０月４日（金）から平成１４年１０月９日（水）までとする。

（５）食事不要等の注文は、原則として受け付けないものとする。

5　宿泊の申込み

宿泊の申込みは、申込代表者が所定の申込書により、次のとおり行うものとする。ただし、フリー参加種目及び協賛事業については、別途募集要項に定めるものとする。

（１）申込先

〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２F
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
「スポレク広島２００２」トラベルセンター

（２）申込期限　　平成１４年７月１０日（水）必着

6　宿泊の変更及び取消し

（１）入宿前にあっては、申込代表者が郵便又はFAXで「スポレク広島２００２」トラベルセンターへ連絡するものとし、その効力の発生時期は当該連絡を受理した日時とする。

（２）入宿後にあっては、宿泊責任者が直接当該旅館等へ速やかに申し出るものとし、その効力の発生は申出のあった日時とする。

（３）宿泊の変更及び取消しがあり返金が生じる場合、祭典終了後、所定の取消料を差引のうえ、「スポレク広島２００２」トラベルセンターが口座振替により返金する。

（４）取消料については、別途定めるものとする。

7　昼食弁当

（１）料金

１食９００円（お茶付き、税込み）とする。

（２）取扱期間

平成１４年１０月５日（土）から１０月８日（火）までとする。

（３）申込方法

申込代表者が所定の申込書により、宿泊申込みと同時に行うものとする。

（４）数量変更及び取消し

申込責任者が「スポレク広島２００２」トラベルセンターへ９月２７日（金）１２時までに申込変更依頼書により連絡するものとし、それ以降の取消しは原則として認めないものとする。

（５）引換え

各会場において、弁当引換券により渡すものとする。

8　業務分担

（１）県実行委員会は、祭典参加者の宿泊業務に関し、市町実行委員会、協賛事業会場地市町村、「スポレク広島２００２」トラベルセンター、宿泊施設及び関係機関・団体等相互間の連絡調整にあたる。

（２）「スポレク広島２００２」トラベルセンターは、県実行委員会、市町実行委員会、協賛事業会場地市町村、種目団体、宿泊施設及び関係機関・団体等と連絡調整のうえ、祭典参加者の旅館等の確保、配宿等の業務にあたるとともに、宿泊に関する紛議が生じた場合は、調停・斡旋を行う。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭輸送交通要項

1　趣　　旨

この要項は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する選手・監督・役員等（以下「祭典参加者」という。）及び一般観覧者の輸送について、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「県実行委員会」という。）は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭会場地市町実行委員会（以下「市町実行委員会」という。）及び協賛事業会場地市町村と相互に連絡調整を図り、「スポレク広島２００２」トラベルセンター及び関係機関・団体等の協力を得て、安全かつ円滑に輸送するため必要な事項を定める。

2　全国輸送

（１）祭典参加者の来県及び離県については、特別な輸送は行わず、自由集合、自由解散とする。

（２）「スポレク広島２００２」トラベルセンター及び関係機関・団体等の協力を得て、輸送の便宜を図るとともに輸送力の確保に努める。

ア　JR利用にあたっては、割引証交付申請書により県実行委員会に申込みがあったものに対し、運賃の割引を適用する。

イ　航空機利用にあたっては、「スポレク広島２００２」トラベルセンターに申込みがあったものに対し、航空機の座席確保に努めるとともに運賃の割引を適用する。

3　開会式の輸送

（１）祭典参加者の輸送

ア　選手・監督については、宿舎又は指定集合場所と会場間に計画輸送バスを運行する。

なお、当日来県する選手・監督については、指定乗降所から会場まで、シャトルバスを運行する。

イ　役員等については、指定集合場所と会場間に計画輸送バスを運行する。

ウ　式典出演者については、指定集合場所と会場間に計

画輸送バスを運行する。

（2）一般観覧者の輸送

一般観覧者の輸送については、原則として公共交通機関を利用するものとし、計画輸送は行わないが、指定乗降所から会場まで、シャトルバスを運行する。

（3）駐車場

駐車場については、祭典参加者及び一般観覧者の車両台数を勘案して会場周辺での確保に努めるとともに効率的な利用を図る。

ア　選手・監督については、バス専用の駐車場を設け、計画輸送の便宜を図る。

イ　役員、招待者等関係者については、駐車ステッカーを配布し、計画駐車を実施する。

ウ　その他の祭典参加者については、指定駐車場から会場まで、シャトルバスを運行する。

4　種目別大会等の輸送

（1）選手・監督の輸送

ア　種目参加者の輸送については、近距離を除き、指定集合場所と会場間に原則として計画輸送バスを運行する。

イ　指定集合場所、集合時刻及び輸送ルートについては、関係機関・団体等と協議して決定する。

（2）一般観覧者の輸送

一般観覧者の輸送については、原則として公共交通機関を利用するものとし、計画輸送を行わないが、関係機関・団体等の協力を得て輸送力の確保に努める。

（3）駐車場

市町実行委員会及び協賛事業会場地市町村は、祭典参加者及び一般観覧者の車両台数を勘案して、会場周辺での駐車場の確保に努めるとともに、効率的な利用を図る。

5　特別行事等の輸送

（1）特別行事

特別行事参加者の輸送については、原則として公共交通機関を利用するものとするが、シャトルバスの運行による便宜を図る。

（2）シンポジウム

シンポジウム参加者の輸送については、公共交通機関を利用するものとする。

（3）閉会式（リレーステージ）

ア　選手・監督及び出演者については、計画輸送バスを運行する。

イ　一般観覧者については、公共交通機関を利用するものとする。

6　案内所設置

主要駅、空港等に案内所を設置し、祭典参加者の便宜を図る。

7　交通対策

祭典参加者の交通安全と会場周辺の交通混雑の緩和を図るとともに、円滑な輸送を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、交通規制等の情報を周知するための適切な対応を講ずる。

8　業務分担

開・閉会式、特別行事及びシンポジウムにおける輸送については、県実行委員会が行い、種目別大会等における輸送については、市町実行委員会及び協賛事業会場地市町村が県実行委員会と連絡調整を図り行うものとする。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭医事衛生要項

1　趣　　旨

この要項は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する選手・監督、役員等（以下「祭典参加者」という。）及び一般観覧者の医事衛生について、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「県実行委員会」という。）は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭会場地市町実行委員会（以下「市町実行委員会」という。）及び協賛事業会場地市町村と相互に連絡調整を図り、県・関係市町村及び関係機関・団体等の協力を得て、医療救護、防疫、食品衛生及び環境衛生対策を実施し、祭典の円滑な運営を図るため必要な事項を定める。

2　医療救護対策

（1）業務分担

開・閉会式会場、特別行事会場及びシンポジウム会場における医療救護は県実行委員会が担当し、種目別大会会場等における医療救護は市町実行委員会及び協賛事業会場地市町村が担当する。

（2）救護所の設置

ア　県実行委員会及び市町実行委員会並びに協賛事業会場地市町村は、それぞれ担当する業務の必要に応じ、救護所を設置し、原則として医師、看護婦（保健婦）及び係員等で構成される医療救護班を配置する。

イ　医療救護班は傷病者に対して、応急処置等を行い、必要に応じ傷病者を医療機関へ搬送する。

ウ　救護所には、医薬品等を配備する。

（3）救急車の要請

救急車は、医師又は看護婦（保健婦）の指示により要請する。

（4）医療費の負担

救護所及び救急車において要した費用を除き、医療費は全て傷病者が負担する。

なお、傷害保険の加入により給付されることがある。

（5）宿舎における医療救護

傷病者が発生した場合、迅速に対応できるよう、「救急医療機関一覧」を宿舎に配布する。

（6）経費の負担

県実行委員会及び市町実行委員会並びに協賛事業会場地市町村は、それぞれ担当する医療救護の実施に要する経費を負担する。

（7）赤十字標章の使用許可申請

県実行委員会は、救護所において使用する赤十字標章の使用許可申請を行う。

3　防疫対策

（1）衛生検査及び健康診断の実施

食品取扱施設管理者に対して、消化器系感染症、食中毒の予防を重点とした施設の衛生検査及び従事者の健康診断を実施するよう指導し、保菌者の検索を実施する。

（2）衛生検査等の対象者

ア　祭典参加者の宿泊施設及びその従事者
イ　祭典参加者に飲食、弁当を提供する施設及びその従事者
ウ　その他、保健所長が特に必要と認めた施設及びその従事者

（3）保菌者への対応
保菌者と決定した者については、感染症予防医療法等に基づき、必要な措置を講じる。

4　食品衛生対策

（1）食品関係営業施設等の監視指導
飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食品関係営業施設等に対する監視指導を実施し、設備の整備及び食品取扱いの衛生的向上を図る。

（2）会場等における食品取扱施設に対する衛生指導
祭典会場及び種目別大会会場等における食品取扱施設に対して、衛生指導を実施する。

（3）土産食品の衛生指導
適正表示の徹底及び不良食品の排除のため、必要に応じて収去検査を行い、土産品の安全確保に努める。

5　環境衛生対策

（1）会場の衛生対策
祭典会場内外の清掃及び施設・設備の点検・整備を徹底するとともに、し尿及び廃棄物等を適切に処理し、安全で清潔な会場づくりに努める。

（2）宿舎の衛生対策
宿舎の管理者に対し、宿舎の衛生保持に努めるよう指導する。

（3）飲料水の衛生対策
水道等設置者に対して、給水施設の維持管理等を強化し、飲料水の衛生保持に努める。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭安全管理要項

1　趣　旨

この要項は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭における安全管理について、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「県実行委員会」という。）は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭会場地市町実行委員会（以下「市町実行委員会」という。）及び協賛事業会場地市町村と相互に連絡調整を図り、関係機関・団体等の協力を得て、祭典期間中における事故の未然防止を図るとともに、非常時における措置について万全を期すため必要な事項を定める。

2　重点事項

（1）火災及びその他の災害の予防等に関すること。
（2）開・閉会式会場、特別行事会場、シンポジウム会場及び種目別大会会場等における事件・事故防止の警備に関すること。
（3）各会場への来退場者の安全かつ円滑な誘導に関すること。

3　防災業務

（1）会場内外の火気の取扱指導及び火災・その他の災害の予防、警戒に関すること。
（2）危険物・高圧ガスの取扱い、煙火の打ち上げ等危険行為に対する安全管理指導に関すること。
（3）避難通路及び避難口の確保並びに会場の定員管理に関すること。
（4）災害時の避難誘導及び救出救護・救急搬送等の安全管理に関すること。
（5）ホテル、旅館等宿泊施設の防火管理者等への火災予防指導に関すること。

4　警備業務

（1）開・閉会式、特別行事、シンポジウム及び種目別大会等に参集する者の整理誘導に関すること。
（2）会場内外の関係付属物件の保安警備に関すること。
（3）会場内外の警備及び犯罪防止のための巡回に関すること。
（4）事故発生時の避難誘導に関すること。

5　業務分担

（1）開・閉会式、特別行事及びシンポジウム会場における安全管理業務については、県実行委員会が行い、種目別大会会場等における安全管理業務については、市町実行委員会及び協賛事業会場地市町村が行うものとする。
（2）交通整理等警備全般については、必要に応じ、民間警備会社に委託するものとする。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
種目別大会実施要項

【都道府県代表参加種目】

グラウンド・ゴルフ

1　主　催　（社）日本グラウンド・ゴルフ協会、福山（ふくやま）市
2　主　管　広島県実行委員会、広島県グラウンド・ゴルフ協会、福山市実行委員会
3　期　日　平成14年１０月６日（日）７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開　始　式 プレー１日目（１６ホール）	プレー２日目（８ホール） 表　彰　式

4　会　場　福山市　福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場・野球場

5　参加人数と構成

構成／参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 20歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	（1）	１０	１０	５２	５２０
女子					

（1）監督は、選手を兼ねる。
（2）チーム編成の男女比は問わない。
（3）参加チームは、各都道府県１チーム、広島県６チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
現行の「（社）日本グラウンド・ゴルフ協会オフィシャルルール」を準用する。

（2）試合方法
ア　A・Bブロックに分けて２日間でプレーし、２４ホ

ールの合計打数で競う。
イ　個人対抗とし、１日目１６ホール、２日目８ホールをプレーする。

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（２）年齢基準は平成１４年４月１日現在とする。
（３）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（４）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　Ａ・Ｂブロック各上位１０名を表彰する。
（２）特　別　賞　ホールインワン賞等を授与する。

9　参加申込み方法

（１）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５
（２）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（３）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。
（４）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（５）ボール及びクラブ、マーカーは、参加者が持参すること。
（６）雨天決行とするので、雨具を持参すること。
（７）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（８）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（１）日　時　平成１４年１０月５日（土）
１７時３０分～１８時３０分
（２）会　場　福山ニューキャッスルホテル
福山市三之丸町８－１６
ＴＥＬ　０８４－９２２－２１２１
＊詳細は別途連絡する。

ゲートボール

1　主　催　（財）日本ゲートボール連合、竹原市（たけはらし）

2　主　管　広島県実行委員会、広島県ゲートボール連合、竹原市実行委員会

3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開　始　式 予選リーグ戦	決勝リーグ戦 表　彰　式

4　会　場　竹原市　総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド多目的グラウンド

5　参加人数と構成

構成／参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 20歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	1	8	9	９６	８６４
女子					

（１）チームには、専任の監督１名を置くことができる。
（２）チーム編成は、５名の競技者及び３名以内の交代競技者によって構成し、うち１名を主将とする。
（３）参加チームは、各都道府県２チーム、韓国代表１チーム、広島県３チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（１）実施規則
ア　競技は、「（財）日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則」を適用する。
イ　コートは、インサイドライン縦１５ｍ×横２０ｍとする。（ラインは５cm幅テープ）
ウ　審判員は、「（財）日本ゲートボール連合認定審判員」が当たる。
（２）試合方法
ア　１コート４チーム（２４グループ）による予選リーグを行う。その後、同順位別にクラスを分け、４チーム（６グループ）による同順位別の決勝リーグを行う。
イ　各リーグの順位決定方法は、次の順序による。
①勝ち数　②得失点差　③対戦結果　④抽選

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（２）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。
（３）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（４）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　決勝リーグの各グループ１位を表彰する。
（２）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（１）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５

（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については特に定めないが、チーム内統一のユニフォームが好ましい。
（4）ゼッケンとボールは、主催者が用意したものを使用すること。
（5）スティック及び監督・主将の表示マークは、参加者が持参すること。
（6）小雨決行とするので、雨具を持参すること。
（7）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（8）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　17時～18時
（2）会　場　竹原市民館
　　竹原市中央5丁目5－24
　　TEL　0846－22－0010
　　＊詳細は別途連絡する。

壮年サッカー

1　主　催　（財）日本サッカー協会、広島市、府中町、吉田町
2　主　管　広島県実行委員会、（財）広島県サッカー協会
　　広島市実行委員会、府中町実行委員会、
　　吉田町実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ	予選リーグ	順位決定戦 交流戦 表彰式

4　会　場　広島市　広島広域公園第一球技場（1面）、
　　広島県総合グランド（1面）
　　広島修道大学第3グラウンド（1面）
　　府中町　揚倉山健康運動公園球技場（1面）、
　　揚倉山健康運動公園多目的広場（1面）
　　吉田町　吉田サッカー公園（2面）

5　参加人数と構成

構成／参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 50歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	1	17	18	48	864

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）参加チームは、各都道府県1チーム、韓国代表1チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
　現行の「（財）日本サッカー協会競技規則」を準用する。ただし、選手の交代は、前後半を問わず「7名に限り自由な交代」を実施する。「自由な交代」とは、交代して退いた選手が交代要員として再び出場できることを意味する。
（2）試合方法
　ア　各グループ8チーム（6グループ）による予選リーグ及び順位決定戦・交流戦を行う。
　イ　試合時間は40分（20分－5分－20分）とする。
　ウ　各グループの8チームを2ゾーン（4チームずつ）に分け予選リーグを行う。順位決定戦は、各ゾーンの1位チーム同士、2位チーム同士の対戦により決する。なお、同点の場合は、PK戦により勝敗を決める。交流戦は各ゾーンの3・4位チームの対戦により行う。
　エ　リーグ戦の順位は、①勝ち点（勝ち3点・引き分け1点・負け0点）②得失点差③総得点④抽選により決定する。

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（4）第57回国民体育大会に選手として出場する者を除く。
（5）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　各グループの上位3チームを表彰する。
（2）特別賞　各グループの1チームに授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
　広島県実行委員会
　〒730－0037
　広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
　TEL　082－504－9420
　FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）参加チームは、統一された正・副の異なる色のユニフォーム（上着・パンツ・ストッキング）2着を必ず携行すること。いずれも（4）で定める背番号をつけ

ること。
（4）背番号は、1番から17番（監督が選手を兼ねる場合は18番）までの通し番号とし、参加チームで用意すること。
（5）試合出場選手は、試合での眼鏡の使用を禁止（コンタクトは使用可）する。
（6）事故発生の場合、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（7）参加各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　17時～18時
（2）会　場　広島県立総合体育館　大会議室
広島市中区基町4－1
TEL　082－228－1111
＊詳細は別途連絡する。

ソフトバレーボール

1　主　催　（財）日本バレーボール協会、日本ソフトバレーボール連盟、三次（みよし）市

2　主　管　広島県実行委員会、（財）広島県バレーボール協会、広島県ソフトバレーボール連盟、三次市実行委員会

3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ	順位別決勝リーグ 表彰式	順位別決勝リーグ 表彰式

4　会　場　三次市　県立みよし公園カルチャーセンター

5　参加人数と構成

構成／参加区分	チーム					全体	
	監督	選手			計	参加チーム数	参加人数合計
		40歳代	50歳以上	交代員			
男子	1	1(1)	1(1)	（ ）内は交代員数	9	54	486
女子		1(1)	1(1)				

（1）監督は選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県8チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
2002年度「（財）日本バレーボール協会ソフトバレーボール競技規則」を適用する。
（2）試合方法
3チーム（18ブロック）による予選リーグを行い、その後順位別グループによる決勝リーグ・決勝トーナメントを行う。
（3）順位決定方法
リーグ戦の順位決定方法は次の順序による。
ア　勝ち点が多いチーム（勝者2点、敗者1点、棄権・没収試合0点）
イ　セット率が高いチーム（全試合の総得セット数／全試合の総失セット数）
ウ　ポイント率が高いチーム（全試合の総得点数／全試合の総失点数）
エ　なお、上記のア、イ、ウが、同率の場合は相互の試合の勝ちチーム

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（4）（財）日本バレーボール協会主催の全国大会（国民体育大会・日本リーグ・Vリーグ・実業団リーグ・V1リーグを含む。但し、小・中・高校生を対象とする大会を除く。）へ選手として出場した者は50歳以上でなければ参加できない。
（5）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　順位別決勝リーグ及び決勝トーナメントに出場したチームを表彰する。
（2）特別賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。
（4）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（5）背番号及び胸番号については、次のとおりとする。
40歳代男子　1番･2番　40歳代女子　3番･4番
50歳以上男子　5番･6番　50歳以上女子　7番･8番
（6）主催者が用意した監督章・主将章を、所定の位置に付けること。
（7）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（8）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

資料

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日(土)　17時～18時
（2）会　場　みよしまちづくりセンター
三次市十日市西6－10－45
TEL　0824－64－0091
＊詳細は別途連絡する。

女子ソフトボール

1　主　催　(財)日本ソフトボール協会、東広島市、大和町
2　主　管　広島県実行委員会、広島県ソフトボール協会、東広島市ソフトボール協会、三原地区ソフトボール協会、東広島市実行委員会、大和町実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日(日)7日(月)8日(火)

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ	予選リーグ 決勝トーナメントの準決勝	決勝トーナメントの決勝 表彰式

4　会　場　東広島市　東広島運動公園多目的広場(2球場)
東広島運動公園運動広場　(1球場)
東広島市立向陽中学校　(1球場)
大和町　白竜湖スポーツ村公園総合運動場
(3球場)
白竜湖スポーツ村公園野球場
(1球場)

5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム					全体	
	監督	コーチ	スコアラー	選手	計	参加チーム数	参加人数合計
				30歳以上			
男子	1	1	1		20	50	1000
女子				17			

（1）監督・コーチ・スコアラーは、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県4チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
現行の「(財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ルール」を準用する。
ア　試合時間について、予選リーグは60分、決勝トーナメントは80分を超えて新しいイニングに入らない。
イ　7回終了時又は時間経過後に同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。
ウ　試合球は検定3号球、ゴム製とする。
（2）試合方法
ア　参加チームを16組に分け、予選リーグを行う。ただし、チームが行う試合数は2試合とする。
イ　各組上位2チームによる8ブロックの決勝トーナメントを行う。
ウ　予選リーグの順位は勝率によって決定する。ただし、同率の場合は失点の少ないチームを上位とする。

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在（選手は30歳以上）とする。
（3）原則として、種目団体等への登録の有無は条件としない。
（4）第57回国民体育大会に選手として出場する者は除く。
（5）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　各ブロックの上位2チームを表彰する。
（2）特別賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者（監督・主将）会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）参加チームは統一されたユニフォームを着用すること。
（4）ユニフォームナンバーは1番から99番とし、参加者で用意すること。ただし、監督30番・コーチ31番・主将10番とする。
（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者（監督・主将）会議

（1）日　時　平成14年10月5日(土)　17時～18時
（2）会　場　東広島運動公園　体育館
東広島市西条町田口67－1
TEL　0824－25－2525
＊詳細は別途連絡する。

12　連絡事項

（1）大会期間中、雨天の場合は軽スポーツを行う。内容等は代表者（監督・主将）会議にて連絡する。
（2）代表者（監督・主将）会議にはユニフォームを着用し出席すること。

ラージボール卓球

1　主　催　（財）日本卓球協会、因島市（いんのしまし）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県卓球協会、因島市実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）8日（火）

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開　始　式 第1ステージリーグ	順位別決勝リーグ ・トーナメント 表　彰　式	決勝トーナメント 表　彰　式

4　会　場　因島市　因島勤労者体育センター
5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム						全体	
	監督	選手				計	参加チーム数	参加人数合計
		40歳以上	50歳以上	60歳以上	交代員			
男子	1	1	1	1	2	8	52	416
女子		1	1					

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）高い年齢者が低い年齢者の代わりに出場することができる。（この代替出場選手は試合毎に変更することができる。）
（3）参加チームは、各都道府県1チーム、韓国代表2チーム、広島県4チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法
（1）実施規則
　現行の「（財）日本卓球協会新卓球（ラージボール）ルール」を準用する。
　ア　試合球は、直径44mmのラージボールを使用する。
　イ　（財）日本卓球協会が公認した表ソフトラバーだけ貼ったラケットを使用すること。粒高ラバーは使用できない。使用しない面に表ソフトラバー以外のラバーを貼ることはできない。
　ウ　1ゲームは11点先取した方を勝者とし、10対10以後は2点リードした競技者を勝者とする。ただし、12対12になったときは、先に13点先取した方を勝者とする。
　エ　サービスルールは、「日本卓球ルール」と同様にする。ただし、ボールを投げ上げる高さは任意とする。なお、平成14年9月にサービスルールが改正されるので、再度検討する。
　オ　1マッチは3ゲームとし、1対1となった後の最終ゲームでは、どちらかの得点が5点となった時にエンドの交替をする。
　カ　サービスは2本交替とし、10対10以後は1本交替とする。
　キ　促進ルールは試合開始後、8分経過すると適用される。ただし、8分経過した時点で9対9以上の場合は、そのゲームに対して適用されないが、次のゲームから適用される。
　ク　タオルの使用は各ゲームの開始から6点ごと、及び最終ゲームのエンド交替時とする。
　ケ　「オブストラクション」を「日本卓球ルール」に合わせる。
（2）試合方法
　ア　3チームまたは4チーム（13ブロック）による第1ステージリーグを行い、その後、同順位別 グループによる決勝リーグ・トーナメントを行う。
　イ　5人のシングルスによる対抗戦とし、リーグ戦は3点先取（3勝）しても最後まで行う。（公式記録は3点先取の場合と同様に取り扱う。）決勝トーナメントの準決勝以上は3点先取で試合終了とする。
　ウ　試合順序は、次の順序とする。
　1番－40歳以上の男子、2番－50歳以上の女子、3番－60歳以上の男女いずれか、4番－40歳以上の女子、5番－50歳以上の男子

7　参加者の資格等
（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等への登録の有無は条件としない。
（4）次の大会に選手として出場した者は本大会に出場できない。
　平成13年度　全日本選手権大会（マスターズを含む）、全日本社会人選手権大会、全日本軟式選手権大会、全日本実業団選手権大会、第56回国民体育大会
　平成14年度　全日本選手権大会（マスターズを含む）、全日本社会人選手権大会、全日本実業団選手権大会、第57回国民体育大会
（5）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰
（1）スポレク賞　各トーナメント戦の上位4チームを表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法
（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
　広島県実行委員会
　〒730－0037
　広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
　TEL　082－504－9420
　FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意
（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、現行の「(財)日本卓球協会新卓球（ラージボール）ルール」を準用する。
（4）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日(土)　18時～19時
（2）会　場　芸予文化情報センター
因島市土生町100－4
TEL　0845 2－2－8660
＊詳細は別途連絡する

ターゲット・バードゴルフ

1　主　催　日本ターゲット・バードゴルフ協会、尾道市（おのみちし）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県ターゲット・バードゴルフ協会、尾道市実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開　始　式 個　人　戦	2　人　組　戦 表　彰　式

4　会　場　尾道市　県立びんご運動公園多目的広場
5　参加人数と構成

構成／参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 20歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	（1）	4	4	54	216
女子					

（1）監督は、選手を兼ねる。
（2）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県8チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）現行の「日本ターゲット・バードゴルフ協会競技規則」を準用する。
（2）試合方法
ア　コース競技とし、アウトコース9ホール、インコース9ホール、計18ホールのストロークプレイとする。
イ　第1日目は、一般の部（60歳未満）、シニアの部（60歳以上70歳未満)、グランドシニアの部（70歳以上）とも個人戦を行い、第2日目は、ツーボールフォアサム方式で2人組戦を行う。

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（4）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　総合成績上位8県を団体表彰する。
個人戦は一般の部、シニアの部とも男女別に上位8名を、グランドシニアの部は上位8名を表彰する。
2人組戦は上位8チームを表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。
（4）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（5）参加者はP、PW又は10番の表示があるクラブを必ず持参すること。
（6）シューズは、運動靴を使用し、ゴルフシューズは使用しないこと。
（7）小雨決行とするので、雨具を持参すること。
（8）事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行うものとする。
（9）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　17時～18時
（2）会　場　尾道国際ホテル　尾道市新浜1丁目13－6
TEL　0848－25－5931
＊詳細は別途連絡する。

男女混合綱引

1　主　催　（社）日本綱引連盟、呉市（くれし）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県綱引連盟
呉市実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開　始　式 予選リーグ	決勝リーグ 表　彰　式

4　会　場　呉市 呉市体育館

5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム					全体	
	監督	トレーナー	選手		計	参加チーム数	参加人数合計
			20歳以上	交代員			
男子	1	1	4	1	12	50	600
女子			4	1			

（1）監督・トレーナーは、選手を兼ねることができる。
（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）出場8選手の合計年齢が260歳以上とする。
（3）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県4チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
現行の「(社)日本綱引連盟競技規則」を適用する。
ア　競技選手のクラスは、ライト級（出場8選手の合計体重560kg以内）とする。
イ　選手のポジションは、自由とする。
ウ　主催者側が準備した炭酸マグネシュウムの使用は認める。
エ　競技大会期間中（予選リーグ戦・決勝リーグ戦）で不正行為をしたチーム及び選手個人は、チーム失格とする。
＊不正行為＝競技役員の指示に従わない勝手な行為や、計量後に他の選手の名札シールで出場する等
（2）試合方法
ア　使用レーンは、A・B・Cの3レーンとする。
イ　予選リーグは、10ブロックで各ブロック5チームによる1セットマッチで実施する。
ウ　決勝リーグは、予選ブロックの同順位10チームを2ブロックに分け、1位～5位それぞれ2ブロックで、計10ブロックで行う。
エ　決勝リーグは、それぞれのブロック分けによる2セットマッチのポイント制で実施する。（2：0で勝ったチームは3点、負けたチームは0点、1：1と引き分けた場合は、各チーム1点となる。）
オ　予選リーグにおいて同率の場合は、抽選により順位を決定する。なお、決勝リーグでは抽選は行わない。

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（4）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　決勝リーグの各ブロック上位3位までを表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。
（4）監督・トレーナー・選手は、主催者が用意した名札シールを着用すること。
（5）履物は、底の平らなかかとのないスポーツシューズを着用すること。
（6）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（7）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　17時～18時
（2）会　場　呉阪急ホテル
呉市中央1丁目1－1
TEL　0823－20－1111
＊詳細は別途連絡する。

12　連絡事項

（1）計量は大会前日に行う。ただし、前日計量を受けられないチームは当日計量を受けること。
（2）計量日程　前日計量　10月5日（土）
15時～16時30分　呉市体育館
当日計量　10月6日（日）
8時～　8時30分　呉市体育館

年齢別テニス

1　主　催　（財）日本テニス協会、尾道市（おのみちし）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県テニス協会、尾道市実行委員会
3　期　間　平成14年10月6日（日）7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式 予選リーグ	決勝トーナメント 表彰式

4　会　場　尾道市　県立びんご運動公園テニスコート

5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム						全体	
	監督	選手				計	参加チーム数	参加人数合計
		30歳以上	40歳以上	50歳以上	交代員			
男子	1	1	1	1	2	9	52	468
女子		1	1	1				

資料

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）チーム編成は、年代別男女混合ダブルス3組とする。
（3）参加チームは、各都道府県1チーム、韓国代表2チーム、広島県4チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
　現行の「（財）日本テニス協会競技規則」を準用する。
　ア　審判は、全試合セルフジャッジとする。
　イ　使用球は、（財）日本テニス協会公認球とする。
（2）試合方法
　ア　4チーム（13グループ）による予選リーグを行い、その後同順位グループ別（13チーム）による決勝トーナメントを行う。
　イ　3種目の対抗戦とし、全種目の試合を行う。
　ウ　全ての対抗戦を3ショートセットとする。
　エ　試合順は、1セット目―50歳以上、2セット目―40歳以上、3セット目―30歳以上とする。
　オ　天候等の事情により、試合方法を変更する場合もある。
　カ　選手を交代する場合は、交代員の中から行う。この場合、高い年齢者が低い年齢者に代わりに出場することができる。

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（4）過去5年間に全日本テニス選手権大会、全日本ベテランテニス選手権大会、国民体育大会、及び全日本学生テニス選手権大会に選手として出場した者、並びに一般JOP（ジャパンオフィシャルポイント）を保持したことのある者は除く。その期間は本大会前日までとする。また、プロ資格を有している者も除く。
（5）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　各決勝トーナメントの上位2チームを表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
　広島県実行委員会
　〒730－0037
　広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
　TEL　082－504－9420
　FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）試合時の服装は、テニスウェアを原則とする。
（4）番号の若いチームは、主催者が用意した赤いリボンを着用の上試合を行う。
（5）事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）17時～18時
（2）会　場　尾道国際ホテル
　尾道市新浜1丁目13－6
　TEL　0848－25－5931
　＊詳細は別途連絡する。

年齢別ソフトテニス

1　主　催　（財）日本ソフトテニス連盟、福山市（ふくやまし）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県ソフトテニス連盟、福山市実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日(日) 7日(月) 8日(火)

10月6日（日）	10月7日（月）	10月8日（火）
開始式 予選リーグ	予選リーグ 順位別決勝リーグ	決勝トーナメント 表彰式

4　会　場　福山市　福山市竹ヶ端運動公園庭球場
　（人工芝砂入コート　12面）

5　参加人数と構成

参加区分＼構成	チーム 監督	選手 45歳以上	選手 50歳以上	選手 55歳以上	選手 交代員	計	全体 参加チーム数	全体 参加人数合計
男子	1	2		1	2	9	49	441
女子		2	1					

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）チーム編成は、上記構成の中から、次のような3組とする。
　ア　45歳以上の男子1組
　イ　45歳以上の女子1組
　ウ　50歳以上の女子と55歳以上の男子の混成チーム1組
（3）登録された選手は、種別間の変更は認めない。
（4）交代員は性別の出場基準年齢に該当すれば、どの種別にも出場することができるが、一度出場した場合は、その種別の選手とする。その場合、対戦ごとに交代して出場することができる。
（5）参加チームは、各都道府県1チーム、韓国代表1チーム、広島県2チームとする。ただし、不参加のチームがあれば広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
　現行の「（財）日本ソフトテニス連盟競技規則（国際

ルール）」を適用する。
（2）試合方法
ア　4チームまたは5チーム（12グループ）による予選リーグを行い、その後同順位別に4グループに分け、3チームまたは4チームによる決勝リーグ・トーナメントを行う。
イ　3組の対抗戦とし、2組で勝敗が決しても3組目の試合を行う。
ウ　全試合7ゲームマッチとする。
エ　審判は、準決勝以上は本部審判とするが、それまでの試合は相互審判で行う。
オ　試合順（オーダー）は、1番…45歳以上の男子、2番…45歳以上の女子、3番…50歳以上の女子と55歳以上の男子の混成チームとする。

7　参加者の資格等
（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。
（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（4）過去5年間（平成9年～平成13年の間）に国民体育大会及び全日本総合選手権大会に選手として出場した者は除く。
（5）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰
（1）スポレク賞　各決勝トーナメントの上位4チームを表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法
（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病･傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意
（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めないが、靴はテニスシューズを使用すること。
（4）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議
（1）日　時　平成14年10月5日（土）
17時30分～18時30分
（2）会　場　福山ニューキャッスルホテル
福山市三之丸町8－16
TEL　084－922－2121
＊詳細は別途連絡する。

12　連絡事項
荒天時の会場は土足厳禁のため、屋内用シューズを持参すること。

バウンドテニス

1　主　催　日本バウンドテニス協会、大野町（おおのちょう）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県バウンドテニス協会、大野町実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式 チーム別対抗BTラリー戦 予選リーグ 順位決定戦	順位決定戦 スポレク・BTラリー戦 表彰式

4　会　場　大野町　大野町体育館
5　参加人数と構成

構成／参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 20歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	1	3	7	48	336
女子		3			

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）チーム編成は、男子ダブルス、女子ダブルス及び混合ダブルスの3組とする。なお、選手は、男子ダブルス、女子ダブルス及び混合ダブルスを兼ねて出場することができない。
（3）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県2チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法
（1）実施規則
現行の「日本バウンドテニス協会競技規則」を準用する。
（2）試合方法
ア　ダブルス戦
男子、女子、混合ダブルスの試合によるチーム別対抗戦とする。
（ア）48チームを2ブロック（24チーム）に分け、各ブロック3チーム（8グループ）による予選リーグを行い、その後、同順位別グループによる順位決定戦を行う。
（イ）ゲームは、7ゲームマッチとし、4ゲーム先取をもって勝ちとする。
（ウ）予選リーグにおいて勝率が同じ場合の順位決定は、次の順序による。

①当該チームの対戦結果　②得失種目数差
③得失ゲーム数差　④得失ポイント数差

（エ）３種目（男子、女子、混合）の対抗戦とし、２種目を先取（２勝）しても３種目目の試合を行う。

（オ）予選リーグ、順位決定戦のそれぞれ最初の試合開始前に、選手の組合せ変更を認める。ただし、１試合において２種目の出場はできない。

イ　チーム別対抗ＢＴラリー戦

（ア）４８チームの対抗戦とし、１試合を行う。

（イ）試合は、１分間×３回とし、３回目の合計得点で順位を決定する。

（ウ）合計得点が同数の場合は、３回目の数の多い方を上位とし、さらに同順位の場合は,２回目の数の多い方を上位とする。

ウ　スポレク・ＢＴラリー戦

（ア）出場選手と監督を中心に、抽選によってスポレク・ラリーチームを編成（男女各３名、計６名）し、６０チーム以内の対抗戦とする。

（イ）試合方法及び順位の決定は、チーム別対抗ＢＴラリー戦と同様とする。

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。

（２）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。

（３）原則として、種目団体等の登録の有無を条件としない。

（４）その他、１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　ダブルス戦は、同順位別グループの上位３チームを表彰する。ＢＴラリー戦は、上位１０チームを表彰する。

（２）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（１）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５

（２）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

（３）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。

（４）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。

（５）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。

（６）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（１）日　時　平成１４年１０月５日（土）　１７時～１８時

（２）会　場　安芸グランドホテル
佐伯郡大野町宮島口西１丁目１－１７
ＴＥＬ　０８２９－５６－０１１１
＊詳細は別途連絡する。

年齢別バドミントン

1　主　催　（財）日本バドミントン協会、呉市（くれし）

2　主　管　広島県実行委員会、広島県バドミントン協会、呉市実行委員会

3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）８日（火）

１０月６日（日）	１０月７日（月）	１０月８日（火）
開始式 ２チーム戦 交流ゲーム	勝敗別グループリーグ戦 特別賞表彰式	表彰トーナメント 表彰式

4　会　場　呉市　日新製鋼株式会社呉製鉄所体育館、呉市警固屋体育館

5　参加人数と構成

参加区分＼構成	チーム						全体	
	監督	選手				計	参加チーム数	参加人数合計
		30歳以上	40歳以上	50歳以上	交代員			
男子	1		2	1	2	9	５０	４５０
女子		2		1				

（１）監督は、選手を兼ねることがでる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）

（２）チーム編成は３０歳以上女子ダブルス、４０歳以上男子ダブルス、５０歳以上男女混合ダブルス、計３組とする。

（３）参加チームは、各都道府県１チーム、韓国代表２チーム、広島県２チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（１）実施規則
現行の「（財）日本バドミントン協会競技規則」を準用する。

（２）試合方法

ア　２チーム（２５グループ）戦を行い、その後、勝敗別に３チームまたは４チーム(１６グループ）による（勝敗別グループ）リーグ戦を実施する。その結果より、１位チームを２パートに分けて表彰トーナメント戦を行う。

イ　１５ポイント、３ゲームマッチとする。

ウ　リーグ戦において勝率が同じ場合は、①得失試合数の率、②得失ゲームの率、③得失ポイント数の率、④直接対戦の勝敗の率で決定する。

エ　オーダーは、すべて、第１試合５０歳以上男女混合ダブルス、第２試合３０歳以上女子ダブルス、第３試

合４０歳以上男子ダブルスの順とする。

オ　試合はすべて３ダブルス行うが、勝敗決定後の試合は、メンバー変更を認める。

（３）その他

第１日目の各２チーム戦後に、交流ゲームを行う。

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。

（２）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。

（３）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。

（４）平成１３年度全日本総合選手権大会出場者及び５０歳未満で過去の世界選手権大会の出場者並びに第５７回国民体育大会に選手として出場する者を除く。

（５）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　表彰トーナメント戦の全チームを表彰する。

（２）特別賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（１）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５

（２）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

（３）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。

（４）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。

（５）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。

（６）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（１）日　時　平成１４年１０月５日（土）　１７時～１８時

（２）会　場　呉阪急ホテル
呉市中央１丁目１－１
ＴＥＬ　０８２３－２０－１１１１
＊詳細は別途連絡する。

壮年ボウリング

1　主　催　（財）全日本ボウリング協会、広島市（ひろしまし）

2　主　管　広島県実行委員会、広島県ボウリング連盟、広島市実行委員会

3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）８日（火）

１０月６日(日)	１０月７日（月）	１０月８日(火)
開　始　式 男女混合４人チーム戦	男女混合４人チーム戦 年代別男女混合２人チーム戦	年代別男女混合２人チーム戦 表　彰　式

4　会　場　広島市　ヒロシマ・アリーナ
（公認競技場No.３３－０４）ＢＷ３６Ｌ

5　参加人数と構成

構成 ＼ 参加区分	チーム			全体		
	監督	選手		計	参加チーム数	参加人数合計
		50歳代	60歳以上			
男子	1	1	1	5	６０	３００
女子		1	1			

（１）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）

（２）チーム編成は、年代別男女混合２チーム戦と男女混合４チーム戦とする。

（３）参加チームの基本割当は、各都道府県１チームと広島県２チームとする。なお、１２チームのボーナス割当は、（財）全日本ボウリング協会競技委員会で審議し、次のとおりとする。ただし、不参加のチームがあれば広島県及び中国地区から補充することができる。

北海道１　東京都１　神奈川県１　石川県１
愛知県１　京都府１　大阪府　１　福岡県１
岡山県１　山口県１　韓国代表２

6　実施上の規則及び試合方法

（１）実施規則

現行の「（財）全日本ボウリング協会競技規則」を準用する。

（２）試合方法

ア　年代別男女混合２人チーム戦と男女混合４人チーム戦とし、ともに前・後半それぞれ３ゲームの合計６ゲームを行う。

イ　男女別、年代別の個人戦は行わず、年代別男女混合２人チーム戦と男女混合４人チーム戦の合計１２ゲームの個人成績により順位を決定する。

ウ　６０歳以上の部に１ゲームにつき、次のとおりハンディキャップを与える。

６０～６４歳　０点　　６５～６９歳　５点
７０～７４歳　１０点　　７５～７９歳　１５点
８０～８４歳　２０点　　８５～８９歳　２５点

また、９０歳以上についても５歳ごとに５点ずつのハンディキャップを加える。

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。

（２）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。

（３）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。

資料

（4）第５７回国民体育大会に選手として出場する者を除く。
（5）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　チーム戦は、上位８チームを表彰する。
　　個人戦は、男女別・年齢別にそれぞれ上位８名を表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年7月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。(締切期日厳守)
　第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
　広島県実行委員会
　〒７３０－００３７
　広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
　ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
　ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５
（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病･傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証を持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。
（4）ゼッケンは主催者が用意したものを着用すること。
（5）選手はボール検査合格証を持参すること。
（6）ボール検査合格証の不携帯及び未検査のボールを使用する場合は、ボール登録時に大会認証部の検査を受けること。(ボール登録は､平成１４年１０月５日（土）１７時から２２時３０分まで大会会場で実施予定)
（7）事故発生の場合、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（8）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成１４年１０月５日(土)　１７時～１８時
（2）会　場　広島市中央公民館　ホール
　　広島市中区西白島町２４－３６
　　ＴＥＬ　０８２－２２１－５９４３
　　＊詳細は別途連絡する。

マスターズ陸上競技

1　主　催　（財）日本陸上競技連盟、日本マスターズ陸上競技連合、広島市

2　主　管　広島県実行委員会、（財）広島陸上競技協会、広島マスターズ陸上競技連盟、広島市実行委員会

3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）８日（火）

１０月６日（日）	１０月７日（月）	１０月８日（火）
開　始　式 競技・表彰式	競　技 表　彰　式	競　技 表　彰　式

4　会　場　広島市　広島広域公園陸上競技場
　　（広島ビッグアーチ）

5　参加人数と構成

（1）参加人数と構成
　ア　各都道府県は、監督１名、選手２３名（男子１６名以内、女子１０名以内）、計２４名以内で編成できる。
　イ　監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
　ウ　広島県は、全クラス、全種目に１名エントリーできる（最大１８４名）。
（2）競技クラス
　〔男子〕４０～４４歳、４５～４９歳、５０～５４歳、５５～５９歳、６０～６４歳、６５～６９歳、７０～７４歳、７５～７９歳、８０歳以上の９クラス
　〔女子〕３５～３９歳、４０～４４歳、４５～４９歳、５０～５４歳、５５～５９歳、６０～６４歳、６５歳以上の７クラス
（3）種目（各クラス共通）
　〔男子〕１００ｍ、２００ｍ、４００ｍ、８００ｍ、１５００ｍ、６０ｍ（65～80歳以上の4クラス）
　３０００ｍ（６０～８０歳以上の５クラス）
　５０００ｍ（４０～５９歳の４クラス）
　走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投
　〔女子〕１００ｍ、２００ｍ、８００ｍ、１５００ｍ、６０ｍ（６０～６５歳以上の２クラス）
　３０００ｍ（５０～６５歳以上の４クラス）
　５０００ｍ（３５～４９歳の３クラス）
　走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、やり投
（4）都道府県交流種目
　ア　男子４×１００ｍリレー
　　①６０歳以上　②５５～５９歳　③５０～５４歳
　　④４０～４９歳各１名
　イ　女子４×１００ｍリレー
　　①５０歳以上　②４５～４９歳　③４０～４４歳
　　④３５～３９歳各１名
　ウ　男女混合８×１００ｍリレー
　　①７０～７９歳男子１名　②５０～５９歳女子１名
　　③６０～６９歳男子１名　④５０～５９歳男子１名
　　⑥４０～４９歳女子１名　⑦５０～５９歳男子１名
　　⑧３５歳以上女子１名　⑨４０～４９歳男子１名
　エ　男女混合スウェーデンリレー
　　①５０歳以上女子１００ｍ１名
　　②６０歳以上男子２００ｍ１名
　　③３５～４９歳女子３００ｍ１名
　　④４０～５９歳以上男子４００ｍ１名
　オ　３人一組男女混合ボール投
　　〔３人の合計距離で順位を競う〕
　　①５０歳以上男子１名　②５０歳以上女子１名
　　③３５～４９歳女子１名
　なお、編成は都道府県単位とし、高い年齢者が低い年齢者の代わりに出場することができる。リレーの走

者順は、○印の中の数字順とする。

6　実施上の規則及び競技方法

（1）実施規則

「平成１４年（財）日本陸上競技連盟競技規則」及び「日本マスターズ陸上競技連合競技規則」を準用する。

なお、投てき種目における用具の使用基準（重量）は、別表とする。

（2）競技方法

トラック競技は、全種目タイムレースとし、フィールド競技における試技は、各３回とする。

7　参加者の資格等

（1）各都道府県からの出場は、各クラス１種目１人とする。また、同一人の出場は２種目までとする。ただし、都道府県交流種目は各クラス２名（交代者を含む。）のエントリーができる。

（2）第１１回から１４回の全国スポーツ・レクリエーション祭に選手として参加した者で次の者は除く。

ア　男子は１～３位

イ　女子は１位

上記の者は、種目を変えての出場もできない。ただし、競技クラスが変われば出場できる。また、リレー入賞者、男子７０歳以上と女子６０歳以上の者及び今回監督を専任とする者は出場できる。

（3）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。

（4）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。

（5）第５７回国民体育大会に選手として出場する者を除く。

（6）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　　彰

（1）スポレク賞　各種目上位３人を表彰する。

（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

（3）認　定　証　参加者全員に記録証を進呈する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５

（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病･傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、変更する選手が申し込んだクラス及び種目とし、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

（3）ナンバーカードは、主催者が用意したものを着用すること。

（4）ユニフォーム等の服装については、特に定めないが、リレー競技については、チーム内統一ユニフォームが好ましい。

（5）この大会の参加にあたり、平成１４年度日本マスターズ陸上競技連合への未登録者が日本マスターズ陸上競技連合による記録の公認を得るためには、各都道府県マスターズ陸上競技連盟の一時登録を必要とする。〔一時登録料１,２００円〕なお、公認記録の年齢は大会当日を基準とする。

（6）事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行うものとする。

（7）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日(土)　17時～18時

（2）会　場　アステールプラザ　大会議室
広島市中区加古町４－１７
ＴＥＬ　０８２－２４４－８０００
＊詳細は別途連絡する。

	クラス	砲丸	円盤	やり	備考
男子	40～49歳	7.26kg以上	2kg以上	最小800ｇ	競技規則の規定による仕様のうち重量のみ明記した。
	50～59歳	6kg以上	1.5kg以上	最小700ｇ	
	60～69歳	5kg以上	1kg以上	最小600ｇ	
	70～79歳	4kg以上		最小500ｇ	
	80歳以上			最小400ｇ	
女子	35～49歳	4kg以上	1kg以上	最小600ｇ	
	50～59歳	3kg以上		最小500ｇ	
	60歳以上			最小400ｇ	

※３人一組男女混合ボール投の使用球は、ゴムソフトボール３号球とする。

インディアカ

1　主　催　（社）日本インディアカ協会、廿日市市（はつかいちし）

2　主　管　広島県実行委員会、広島県インディアカ協会、廿日市市実行委員会

3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開　始　式 順位決定リンクリーグ戦	順位別決勝リンクリーグ戦 表　彰　式

4　会　場　廿日市市　廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）

資料

5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム		全体		
	監督	選手（２０歳以上）	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	1	3	１０	４８	４８０
女子		6			

（１）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（２）チーム編成は、男子３名以上、女子５名以上で成立し、男女合わせて１０名までとする。
（３）参加チームは、各都道府県１チーム、広島県２チームとする。ただし、不参加のチームがあれば広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（１）実施規則
平成１３年度の「（社）日本インディアカ協会競技規則」及び本大会規則による。ネットの高さは、女子２．００m、男女混合２．１５mとする。
（２）試合方法
順位決定リンクリーグ戦、順位別決勝リンクリーグ戦
ア　１日目は、６チーム（８ブロック）による順位決定リンクリーグ戦（３試合）を行い、1位から４８位までを決定する。２日目は、順位別に６チーム（８ブロック）に分け、順位別決勝リンクリーグ戦（３試合）を行う。
イ　１５点先取のオープン３セットでラリーポイント制とし、ジュースは行わない。
ウ　１セット…女子
２セット…男女混合
（男女各２人が常時プレーすること）
３セット…男女混合
（男子1人、女子3人が常時プレーすること）
男女混合の場合のメンバーチェンジは、男子は男子、女子は女子とする。
エ　順位の決定は、①勝率、②得失セット率、③得失点差の順位により決定する。ただし、この順序で決しない場合は、平均年齢の高い方とする。

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が、優先して参加できるものとする。
（２）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。
（３）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（４）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　順位別決勝リンクリーグ戦の各ブロック上位３チームを表彰する。
（２）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（１）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５
（２）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（３）ユニフォーム等の服装については特に定めないが、チーム内統一ユニフォームが好ましい。
（４）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（５）ゼッケン番号は、１番から９番（監督が選手を兼ねる場合は１０番）までの通し番号とする。ただし、主将は１番とする。
（６）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（７）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（１）日　時　平成１４年１０月５日(土)
１６時３０分～１７時３０分
（２）会　場　廿日市市総合健康福祉センター多目的ホール
廿日市市新宮１丁目１３－１
ＴＥＬ　０８２９－２０－０５５５
※詳細は別途連絡する。

フォークダンス

1　主　催　（社）日本フォークダンス連盟、安浦町（やすうらちょう）
2　主　管　広島県実行委員会、（社）日本フォークダンス連盟広島県支部、安浦町実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開始式 交流プログラム ブロック別研究	課題曲審査 表彰式

4　会　場　安浦町　安浦町民センター　アリーナかもめ、安浦町立武道館、安浦町立安浦中学校体育館

5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 20歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	（1）	１０	１０	５２	５２０
女子					

（１）監督は、選手を兼ねる。
（２）チーム編成は、フォークダンス６名、日本民踊４名とする。

（3）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県6チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施方法及び審査方法

（1）実施方法

ア　課題曲は、フォークダンス4曲、日本民踊4曲とし、曲名は別表のとおりとする。

イ　参加チームを8ブロックに分け、1ブロック毎に発表を行う。審査員は各ブロックの中から1名ずつ選出し、（社）日本フォークダンス連盟より1名、（社）日本フォークダンス連盟広島県支部より1名（計9名）で審査を行う。

ウ　ブロック分けは代表者会議において抽選により行う。

エ　交流プログラムについては、別途連絡する。

（2）審査方法

ア　ブロックとしての統一性、踊りの正確さ、雰囲気、表情及びアイデア（構成演出等）を採点基準として採点する。

イ　採点は、10点法で行う。

7　参加者の資格等

（1）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。

（2）年齢基準は平成14年4月1日現在とする。

（3）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。

（4）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　最上位1ブロックを表彰する。（同点のブロックがある場合は、審査委員長がいずれかに決定する）

（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095

（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。

（4）ゼッケン等は、主催者が用意したものを着用すること。

（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。

（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　17時～19時

（2）会　場　グリーンピア安浦
広島県豊田郡安浦町三津口
TEL　0823－84－6624
＊詳細は別途連絡する。

【別表】

	フォークダンス	日本民踊
課題曲	カルナバリィト（アルゼンチン）	相内坊さま踊り（青森県）
	ゴレンカ（ロシア）	長潟藻たぐり甚句（新潟県）
	アスマル・アフチク（アルメニア）	市木ハンヤ節（島根県）
	フラーン（チェコ）	鹿児島おはら節（鹿児島県）

エアロビック

1　主　催　日本エアロビック連盟、豊平町（とよひらちょう）

2　主　管　広島県実行委員会、広島県エアロビック連盟、豊平町実行委員会

3　期　日　平成14年10月6日（日）7日（月）

10月6日（日）	10月7日（月）
開始式	自由演技発表
交流プログラム	優秀チーム発表・再演
規定演技合同レッスン	交流プログラム
規定演技発表	表彰式

4　会　場　豊平町　豊平町総合体育館　とよひらウイング

5　参加人数と構成

構成 ＼ 参加区分	チーム			全体	
	監督	選手 20歳以上	計	参加チーム数	参加人数合計
男子	1	3～5	3～6	54	162～324
女子					

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）

（2）チーム編成は、選手は3名から5名とする。

（3）参加チームは、各都道府県1チーム、広島県8チームとする。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）自由演技の実施規則

ア　演技中に「ジャンピングジャック」、「キック」及び「プッシュアップ」の必修動作をチームメンバー全員が、同じタイミングで4回連続して実施すること。身体の向きの変化や移動などは自由である。付加的な腕・脚の動きも自由であり、4回同じ動きを反復する必要はない。

イ　演技時間は、1分30秒から2分までとする。

ウ　演技エリアは、10m×10mを目安とする。

（2）審査方法

ア　「自由演技」では音楽の曲調を生かした創造的な振り付けや、ハーモナイズしたチームワークの良さなど、観る人に感動を与える「チームエアロビック」ならで

はの表現を重視する。
イ　規定演技（３０％）と自由演技（７０％）の合計点を１０点満点に換算する。
（３）交流プログラムについては、別途連絡する。

7　参加者の資格等

（１）原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとする。
（２）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。
（３）原則として、種目団体の登録の有無は条件としない。
（４）選手の中から１チーム１名の職業的あるいは専門的な指導者の参加を認める。
（５）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　優秀チーム１０チームを表彰する。その内、1チームを最優秀チーム とする。
（２）特　別　賞　スポレク賞以外のチームに授与する。

9　参加申込み方法

（１）参加申込みは、所定の様式により２通作成し、平成１４年７月１０日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
ＴＥＬ　０８２－５０４－９４２０
ＦＡＸ　０８２－２４２－１０９５
（２）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（３）演技中の服装については、必ずしも同一である必要はないが、チームとして統一感のある デザイン・色であることが好ましく、身体の動きの見づらいもの、また、他のスポーツと紛らわしい服装（チアリーディング等）は不可とする。
（４）ゼッケン等は、主催者が用意したものを着用すること。
（５）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（６）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（１）日　時　平成14年10月5日（土）　１７時～１８時
（２）会　場　八丁堀シャンテ
広島市中区上八丁堀８－２８
ＴＥＬ　０８２－２２３－２１１１
＊詳細は別途連絡する。

トランポリン

1　主　催　（社）日本トランポリン協会、新市町（しんいちちょう）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県トランポリン協会、新市町実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月６日（日）７日（月）

１０月６日（日）	１０月７日（月）
開　始　式 予選リーグ	予選リーグ 決勝トーナメント 表　彰　式

4　会　場　新市町　新市町体育館
5　参加人数と構成

構成 / 参加区分	チーム					全体	
	監督	選手			計	参加チーム数	参加人数合計
		20歳以上	30歳以上	40歳以上			
男子	1	2	2	2	7	49	343
女子							

（１）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（２）チーム編成は、２０歳以上２名、３０歳以上２名、４０歳以上２名、計6名とする。しかし、チームは選手３名から成立するものとする。
（３）年齢の高い者が、年齢の低い者の代わりに出場することができる。
（４）男女混合比について、男子選手は３名までとする。また、各年齢区分は男女比を問わない。
（５）参加チームは、各都道府県１チーム、広島県３チームとする。ただし、不参加のチームがあれば、広島県から補充することができる。

6　実施上の規則及び試合方法

（１）実施規則
現行の「（社）日本トランポリン協会競技規則（シャトル競技）」を準用する。
（２）試合方法
ア　使用器具は、ＪＴＡ公認ミドルサイズ・トランポリン８基とする。
イ　全チームを４グループに分け、さらに各グループを２ブロックに分け、予選リーグを行い、各ブロックの上位１チーム（８チーム）が決勝トーナメントに進出する。
ウ　チームの勝敗数が同じ場合（不戦勝も１勝とする）は、１名の代表選手が個人競技の規則に則り決定戦を行う。
エ　決勝トーナメントに進むチームを選ぶ際、勝敗数が同じ場合は試合内容により順位を決定する。

7　参加者の資格等

（１）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。
（２）原則として、種目団体等の登録の有無は条件としない。
（３）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）スポレク賞　上位８位まで表彰する。

（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。

9　参加申込み方法

（1）参加申込みは、所定の様式により2通作成し、平成14年7月10日（水）までに必着するよう次のあて先に書留郵便で送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
TEL　082－504－9420
FAX　082－242－1095

（2）参加申込み締切り後の選手の変更は、疾病・傷害等特別な場合に限り、広島県実行委員会及び代表者会議において認める。その場合は、所定の用紙により申し出ること。

10　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、原則として定めない。
（4）ゼッケンは、主催者が用意したものを使用すること。
（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

11　代表者会議

（1）日　時　平成14年10月5日（土）　18時～
（2）会　場　新市町立中央中学校
芦品郡新市町新市1305
TEL　0847－52－5534
＊詳細は別途連絡する。

【フリー参加種目】

ウォークラリー

1　主　催　広島県レクリエーション協会　瀬戸田町（せとだちょう）
2　主　管　広島県実行委員会、瀬戸田町実行委員会
3　期　日　平成14年10月6日（日）〈雨天決行〉

10月6日（日）
開　始　式
競　技
表　彰　式

4　会　場　瀬戸田町　瀬戸田町民会館
5　参加人数と構成

（1）参加チーム数＝各コース60チーム（1チーム2～6名）
＊先着順で受け付けるが、申し込み数が多い場合はコースを変更していただくことがある。
＊ウォーキングは、個人・団体（7人以上）での参加を認め、参加制限なし。

（2）コース

＜ウォークラリーコース＞　町民会館起点
○Aコース（耕三寺・平山郁夫生家・本通り）平地、車椅子対応コース
○Bコース（耕三寺・平山郁夫生家・向上寺・本通り・南寄り）
○Cコース（耕三寺・平山郁夫生家・向上寺・本通り・南寄り、逆周り）
○Dコース（耕三寺・向上寺・本通り・厳島神社・中野旧家・東寄り）
○Eコース（耕三寺・向上寺・本通り・厳島神社・中野旧家・東寄り、逆周り）
＜ウォーキングコース＞
○F「潮風空中散歩コース」シトラスパーク―多々羅大橋―町民会館
○G「みかんの島一周コース」町民会館―高根―町民会館

6　実施上の規則及び競技方法

（1）実施規則
ア　各コースともチーム参加とし、チーム編成は2～6名とする。
イ　順位は課題得点、時間得点、観察ゾーン得点の合計したもので決定する。
ウ　ウォーキングコースは、フリー参加とし、順位なしとする。

（2）競技方法
ア　チーム毎に一定間隔でスタートする。
イ　コース図（コマ図）を見て移動し、各チェックポイントで問題を解き、ゲームをしてゴールをめざす。また、ゴールするまでの時間も課題とする。
ウ　ウォーキングコースは、一斉スタートし、コース図を見て移動する。各チェックポイントで文字を探し、キーワードを解く。

7　参加者の資格等

（1）年齢を問わず、誰でも参加できる。ただし、18歳未満の参加については、保護者の同意を必要とする。また、小学生以下の参加については必ず保護者も参加すること。
（2）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項の定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　ウォークラリー各コースの上位を表彰する。
（2）特　別　賞　アービー賞、遠来賞、シルバー賞等を授与する。
（3）認　定　証　完歩者全員に完歩証を進呈する。

9　参加申込み方法

参加申込みは、所定の様式（郵便振替払込書）により、平成14年8月30日(金)までに郵便局に参加料を払い込むか、実行委員会へ直接持参すること。ただし、参加費不要チームにあっては、参加申込書を実行委員会へ郵送すること。なお、締切後でも所定のチーム数に達しない場合は、随時受け付ける。
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭瀬戸田町実行委員会
〒722－2411　広島県豊田郡瀬戸田町瀬戸田535－1
瀬戸田町教育委員会内
TEL　08452－7－1877
FAX　08452－7－2973

10　参加料〈傷害保険料を含む〉

参加区分	参加料
一般（1名）	500円
高校生以下	無　料

＊ただし、一度納入された参加料は返金しない。

資料

11　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）参加者は、歩きやすい服装、靴で参加すること。
　なお、雨天の場合は雨具を持参すること。
（4）ナンバーカードは主催者が用意したものを着用すること
（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

12　連絡事項

　宿泊については、次の「スポレク広島２００２トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成１４年８月３０日（金）までに参加者各自で行うこと。

＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島２００２トラベルセンター」
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
ＴＥＬ　０８２（５４５）５１５６
ＦＡＸ　０８２（２４９）３００２

エスキーテニス

1　主　催　日本エスキーテニス連盟、広島市（ひろしまし）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県エスキーテニス連盟、広島市実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日（日）
開　　始　　式
競　　　　技
表　　彰　　式

4　会　場　広島市　広島市東区スポーツセンター
5　参加人数と構成

構成／区分	チーム				全体	
	監督	選手	交代員	計	参加チーム数	参加人数合計
男子の部	1	4～6	0～2	4～6	１８	162
女子の部	1	4～6	0～2	4～6	１８	162

（1）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は、参加申込書の選手欄に記入すること。）
（2）参加人数は、競技会の部３２４人（男子１８チーム、女子１８チーム）、体験コーナーの部制限なしとする。
（3）競技会の部のチーム編成は、原則として６名から９名とする。

6　実施上の規則及び試合方法

（1）実施規則
　現行の「日本エスキーテニス連盟競技規則」を準用する。
（2）試合方法
　ア　団体戦とし、原則として３チームによる予選リーグを行い、その後同順位グループ別による決勝トーナメントを行う。
　イ　３組のダブルス対抗戦とし、２組で勝敗が決した場合、予選リーグのみ３試合目の試合を行う。
　ウ　１ゲーム１１本の３セットマッチとする。
　エ　選手を交代する場合は、交代員の中から行う。
　オ　審判は、相互審判とする。

7　参加者の資格等

（1）競技会の部は、原則として、各都道府県における同一職場、地域、学校で編成されたチームとする。
（2）体験コーナーの部は、だれでも参加できる。
（3）１８歳未満の参加者は保護者の同意を必要とする。

8　表　彰

（1）スポレク賞　各順位グループ３位まで表彰する。
（2）特　別　賞　主催者の定めた基準により授与する。
（3）参　加　賞　参加者全員に進呈する。

9　参加申込み方法

　参加申込みは、所定の様式（参加申込書）により、平成１４年７月３１日(水)までに必着するよう次のあて先に送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ･レクリエーション祭広島市実行委員会
〒７３０－８５８６　広島市中区国泰寺町一丁目６番３４号
ＴＥＬ　０８２－５０４－２４９９
ＦＡＸ　０８２－５０４－２６１０

10　参加料〈傷害保険料を含む〉

参加区分	参加料
競技会の部（１チーム）	６,０００円
体験コーナーの部（１名）	５００円

※ただし、一度納入された参加料は返金しない。

11　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ユニフォーム等の服装については、特に定めない。
（4）会場では、必ず室内シューズを着用すること。
（5）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。
（6）事故発生の場合、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（7）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

12　連絡事項

　宿泊については、次の「スポレク広島２００２トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成１４年８月３０日（金）までに参加者各自で行うこと。

＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島２００２トラベルセンター」
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
ＴＥＬ　０８２（５４５）５１５６
ＦＡＸ　０８２（２４９）３００２

サイクリング

～第４回ツール・ド・しまなみ（センチュリーラン）～

1　主　催　広島県自転車競技連盟、尾道市（おのみちし）

2　主　管　広島県実行委員会、尾道市実行委員会、
ツール・ド・しまなみ実行委員会

3　期　日　平成１４年１０月６日（日）〈雨天決行〉

１０月６日（日）
開　始　式
走　　行
表　彰　式

4　会　場　尾道市　瀬戸内しまなみ海道（尾道～今治往復、尾道～大三島往復）

5　参加人数と構成

（１）５００名（先着順）

（２）コース及び参加対象者

コース	内　　容	参加対象者
Aコース（150km）	尾道駅前～今治サイクリングターミナル～尾道駅前	中学生以上
Bコース（80km）	尾道駅前～大三島多々羅リゾートパーク～尾道駅前	中学生以上

※１８歳未満は保護者の承諾書を要する。

6　実施上の規則及び競技方法

（１）実施規則（申し合せ事項）

ア　各自の体力にあわせたフリー走行で、交通規則を遵守し安全には特に注意して走行すること。

イ　自転車は各自整備されたものを持参し、実走中の修理は原則として各自の負担となる。

ウ　所定の時刻(７：３０)までに参加証を持参し受付を済ませ、自転車の点検を受けること。

エ　走行については、サイクリングに適した服装でヘルメットを必ず着用し、主催者の指示に従うこと。（指示に従わない場合は中途退会の場合もある。また、危険な走行、著しい遅れ、体調の変化等がみられる場合は主催者が走行中止を指示することがある。）

オ　自転車以外の車両による参加及び参加者以外の伴走は認めない。

カ　橋上での飲食は禁止。また走行中は禁煙とする。

キ　走行を中止した場合は収容車両でゴールまで搬送する。

（２）走行形態

各自が自分の体力に応じ、交通規則に従ってチェックポイントを通過していくフリー走行とする。（センチュリーラン）

7　参加者の資格等

（１）中学生以上の健康で自己の責任において、多段式変速機付自転車で参加できる者。

（２）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（１）特別賞　主催者の定めた基準により授与する。

（２）認定証　完走者全員に完走証を進呈する。

9　参加申込み方法

参加申込みは、所定の参加申込書・誓約書及び承諾書に必要事項を記入し、平成１４年８月３０日（金）までに必着するよう、必ず郵送で次のあて先に送付すること。（締切期日厳守）なお、受付は先着順とし、締め切り日以前でも定員になり次第締め切る。参加決定者には参加料振込用紙等を送付するので、所定の手続きをすること。折り返し参加証等を送付する。（振込手数料は各自負担、振込時の振込票（受領証）を領収証とする。）

第15回全国スポーツ･レクリエーション祭尾道市実行委員会
（ツール・ド・しまなみ実行委員会）
〒７２２－００３５　広島県尾道市土堂２丁目１０－３
尾道商工会議所ビル内
ＴＥＬ　０９０－７５４１－９２０３
E-mail sawayaka@h.do-up.com

10　参加料　＜傷害保険料等を含む＞

5,000円	バナナ、ドリンク、渡橋通行料、完走証、記念品を含む

＊ただし、一度納入された参加料は返金しない。（自然条件、不可抗力によりやむを得ず中止した場合も含む。）

11　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

（３）参加者は、雨具・ヘルメット・水筒・タオル・手袋・修理道具等持参すること。

（４）ゼッケンは、主催者が用意したものを着用すること。

（５）事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行うものとする。

（６）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

12　連絡事項

（１）豪雨・強風などの天候不良、自然災害等主催者が危険と判断したときは中止する。

（２）事故については各自の責任において対処すること。主催者は加入傷害保険の補償以外の賠償はしない。
（保険：死亡・後遺障害１,０００万円、入院保険日額＝５,０００円、通院保険日額＝３,０００円、賠償責任保険付）

（３）宿泊については、次の「スポレク広島２００２トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成１４年８月３０日（金）までに参加者各自で行うこと。

＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島２００２トラベルセンター」
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
ＴＥＬ　０８２（５４５）５１５６
ＦＡＸ　０８２（２４９）３００２

資料

3B体操

1　主　催　日本３Ｂ体操協会、三原市（みはらし）
2　主　管　広島県実行委員会、日本３Ｂ体操協会中国本部、三原市実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日（日）
開　始　式
競　　技
（研修・交流）
（発表・審査）
表　彰　式

4　会　場　三原市　三原リージョンプラザ体育館
5　参加人数と構成
（１）参加人数　３，０００人
（２）部門及び参加対象者

部　門	参加対象者
研修・交流部門	１，５００人
発表・審査部門	１，５００人

6　実施上の規則及び競技方法
（１）実施規則
日本３Ｂ体操協会指定の用具を使用すること。
（２）競技形式
日本３Ｂ体操協会の地方本部単位　１チーム　４０人以上とする。
7　参加者の資格等
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭の趣旨に賛同する者。
8　表　彰
（１）スポレク賞　１チームを表彰する。
（２）特別賞　１チームを表彰する。
（３）参加賞　全チームに進呈する。
9　参加申込み方法
参加申込みは、所定の様式により、平成１４年７月３１日（水）までに必着するよう次のあて先に送付すること。（締切期日厳守）また、申し込みのあったチーム代表者に折り返し参加料振込書を送付するので期日までに所定の手続きをすること。
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭三原市実行委員会
〒７２３－００１５　広島県三原市円一町２丁目１－１
三原リージョンプラザ内
ＴＥＬ　０８４８－６４－７２１９
ＦＡＸ　０８４８－６４－７５５９
10　参加料〈傷害保険料を含む〉

参加区分	参加料
全参加者	１名につき１，０００円

＊ただし、一度納入された参加料は返金しない。

11　参加上の注意
（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（３）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（４）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
12　代表者会議
（１）日　時　平成１４年１０月５日（土）　１８時～２０時
（２）会　場　三原国際ホテル
三原市城町１丁目２－１
ＴＥＬ　０８４８－６３－２１１１
＊詳細は別途連絡する。
13　連絡事項
宿泊については、次の「スポレク広島２００２トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成１４年７月３１日（水）までに参加者各自で行うこと。
＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島２００２トラベルセンター」
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
ＴＥＬ　０８２（５４５）５１５６
ＦＡＸ　０８２（２４９）３００２

太極拳

1　主　催　（社）日本武術太極拳連盟、熊野町（くまのちょう）
2　主　管　広島県実行委員会、広島県武術太極拳連盟、熊野町実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月５日（土）６日（日）

１０月５日（土）	１０月６日（日）
ふれあい交流会 開講式、体験講習会	太極拳競技大会 開始式、競技 表彰式

4　会　場　熊野町　熊野町民体育館・熊野高等学校体育館
5　参加人数と構成
（１）ふれあい交流会　10月5日(土)　10:00～12:00
ア　参加人数　　何人でも参加できる。
イ　部門及び参加対象者　　誰でも参加できる。

部　門	内　容
太極拳体験してみませんか	初心者を対象とした太極拳動作の講習
カンフー体操	小･中学生向けの入門カンフー動作の講習

＊参加者は、各都道府県・広島県内・熊野町及び近隣市町から広く募集する。

（２）太極拳競技大会　１０月６日（日）
ア　参加人数　　１４４名
イ　部門及び参加対象者

部門＼構成	チーム			全体	
	監督	選手	計	参加チーム数	参加人数合計
①30歳代の部･42式太極拳	1	2	3	48	144
②40歳代の部･24式太極拳					
③50歳代の部･24式太極拳					

（ア）監督は、選手を兼ねることができる。（兼ねる場合は選手欄に記入すること。）
（イ）各都道府県代表選手２名、広島県４名とする。ただし、①～③の部門から２部門を選び、男女別は問わない。

6　実施上の規則及び試合方法（太極拳競技大会）

（１）実施規則
ア　現行の「全日本武術太極拳選手権大会競技ルール」を準用する。
イ　審判は、日本武術太極拳連盟公認審判員による。

（２）競技形式
ア　音楽付きの自選套路（自分で動作順序、動作の回数等を自由に組替えて編成した套路）の個人競技を実施する。
イ　套路の演技は、必ず音楽の伴奏を伴って行われなければならない。音楽は、選手が事前に準備して、（社）日本武術太極拳連盟を通じて大会運営委員会に提出したカセットテープを使用するものとする。
ウ　演技時間は、３～４分とし、起勢動作の始まりから収勢動作の終わりまでを計時する。選手の演技時間に過不足があった場合は、競技ルールに基づき減点する。音楽の前奏時間及び終奏時間は競技時間に算入しない。

（３）競技方法
１コートにより抽選で決定した順に選手が１名ずつ演技する。

（４）審査方法
「技術点１０点」「表現点１０点」の配点で採点し、その合計得点を選手の得点とする。技術点と表現点の内訳を発表する。

7　参加者の資格等

（１）年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。ただし、１８歳未満の参加者については、保護者の同意を必要とする。
（２）その他、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項の定めるところによる。

8　表　　彰

（１）スポレク賞　太極拳競技大会の各部門に１位～１０位の選手を表彰する。
（２）特　別　賞　ふれあい交流会にて特別賞を授与する。

9　参加申込み方法

参加申込みは、所定の様式により（郵便振替申込書）により、平成１４年８月１０日（土）までに必着するよう次のあて先に送付すること。（締切期日厳守）

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭熊野町実行委員会
〒７３１－４２９２　広島県安芸郡熊野町３８１５－１
ＴＥＬ　０８２－８２０－５６２１
ＦＡＸ　０８２－８５５－１１１０

10　参加料〈傷害保険料を含む〉

参　加　区　分	参　加　料
ふれあい交流会　１人	大人２００円、小人無料
太極拳競技大会　１人	１，０００円

＊ただし、一度納入された参加料は返金しない。

11　参加上の注意

（１）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（２）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（３）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（４）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
（５）競技用服装のデザイン、カラーは原則として自由とする。ただし、服装が武術太極拳演技の風格を損なうほど華美にならないようにすること。

12　代表者会議

（１）日　時　平成１４年１０月５日（土）　１７時～１８時
（２）会　場　熊野町民体育館
安芸郡熊野町大字川角２８３
ＴＥＬ　０８２－８５４－７６９５
＊詳細は別途連絡する。

マスターズ水泳

1　主　催　（財）日本水泳連盟、広島市（ひろしまし）
2　主　管　広島県実行委員会、（財）広島県水泳連盟、広島市実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月６日（日）

１０月６日（日）
開　　始　　式
競　　　　技
表　　彰　　式

4　会　場　広島市　広島市総合屋内プール
（広島ビッグウェーブ：公認２５ｍ）

5　参加人数と構成

（１）参加人数　　３００人（予定）
（２）競技クラス〔男女共通〕
（Ａ）３０～３４歳　（Ｂ）３５～３９歳
（Ｃ）４０～４４歳　（Ｄ）４５～４９歳
（Ｅ）５０～５４歳　（Ｆ）５５～５９歳
（Ｇ）６０歳以上
（３）種目（各クラス共通）〔男子・女子〕
自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ（25m･50m･100m）
個人メドレー（１００ｍ）

6　実施上の規則及び試合方法

（１）実施規則
現行の「（財）日本水泳連盟競技規則」及び「（社）日本マスターズ水泳協会競技規則」を準用する。

（２）競技方法及び出場制限
ア　タイムレースとする。
イ　すべて男女別及び原則としてクラス別の組分けに従い、高い年齢から低い年齢へタイムの遅い組から速い組の順で進める。
ウ　１人２種目以内とする。

資料

（3）競技順序

1	女男	50m	背泳ぎ決勝	8	女男	25m	自由形決勝
2	女男	50m	平泳ぎ決勝	9	女男	100m	背泳ぎ決勝
3	女男	50m	バタフライ決勝	10	女男	100m	平泳ぎ決勝
4	女男	50m	自由形決勝	11	女男	100m	バタフライ決勝
5	女男	25m	背泳ぎ決勝	12	女男	100m	自由形決勝
6	女男	25m	平泳ぎ決勝	13	女男	100m	個人メドレー決勝
7	女男	25m	バタフライ決勝				

7　参加者の資格等

（1）満30歳以上で自己の健康に責任のもてる男女で、定期的（週一回以上）に練習を行っており、出場種目の距離を完泳する能力のある者とする。

（2）年齢基準は、平成14年4月1日現在とする。

（3）原則として、団体等の登録の有無は条件としない。

（4）その他、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

8　表　彰

（1）スポレク賞　各クラス全種目上位3位まで表彰する。

（2）特　別　賞　主催者の定める基準により授与する。

（3）認　定　証　記録証を進呈する。

9　参加申込み方法

参加申込みは、所定の様式（参加申込書）により、平成14年7月31日（水）までに必着するよう次のあて先に送付すること。（締切期日厳守）

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島市実行委員会
〒730−8586　広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
TEL　082−504−2499
FAX　082−504−2610

10　参加料〈傷害保険料を含む〉

参　加　区　分	参　加　料
1　種　目	1,000円

※ただし、一度納入された参加料は返金しない。

11　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。

（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。

（3）参加申し込み後のエントリーの変更は認めない。

（4）事故発生の場合、主催者は応急処置のみ行うものとする。

（5）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

12　連絡事項

宿泊については、次の「スポレク広島2002トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成14年8月30日（金）までに参加者各自で行うこと。

＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島2002トラベルセンター」
〒730-0037
広島市中区中町8−18　クリスタルプラザ12階
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
TEL　082（545）5156
FAX　082（249）3002

マラソン

～第12回広島ベイマラソン大会～

1　主　催　坂町（さかちょう）

2　主　管　広島県実行委員会、坂町実行委員会、安芸郡陸上競技協会、広島ベイマラソン大会実行委員会

3　期　日　平成14年10月6日（日）〈雨天決行〉

10月6日（日）
開始式（　9：00）
競　技（　9：40）
表彰式（14：00）

4　会　場　坂町　中国電力坂スポーツ施設（平成ヶ浜～森山ジョギングコース）

5　参加人数と構成

（1）参加人数　　2，000名

（2）種目部門（コース）及び参加対象者

種目部門（コース）	参加対象者
① フルマラソンの部（42.195km） ・未公認平坦コース 平成ヶ浜コース（5km）後、片道2.5kmを7往復及び中国電力坂スポーツ施設内で2.195km	健康な方でフルマラソンを走れる方
② ジョギングの部（5km） ・平成ヶ浜コース	健康な方
③ ウォーキングの部（2km） ・平成ヶ浜コース	健康な方

6　実施上の規則及び競技方法

（1）実施規則
本大会の申し合わせ事項による。

（2）競技形式
ア　各部門ごとに時間差をつけてスタートする。
イ　左側走行を厳守し、いかなる場合でも大会役員等の指示に従うこと。

7　参加者の資格等

18歳未満の者は保護者の同意を必要とする。

8　表　彰

（1）スポレク賞　フルマラソンの部・ジョギングの部の男女とも各上位6名を表彰する。

（2）特　別　賞　フルマラソンの部50歳以上の男女とも上位6名を表彰する。

（3）認　定　証　フルマラソンの部5時間以内の完走者、並びにジョギングの部完走者全員に完走証を進呈する。ウォーキングの部完歩者全員に完歩証を進呈する。

（4）参　加　賞　参加者全員に参加賞を進呈する。

9　参加申込み方法

参加申込みは、所定の郵便振替払込書により、平成14年8月30日（金）までに必着するよう次のあて先に送付すること。(締切期日厳守)

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭坂町実行委員会
〒731−4393 広島県安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目1番1号
TEL　082−820−1525
FAX　082−820−1523
（土・日）TEL・FAX　082−884−2525

10　参加料〈傷害保険料を含む〉

参　加　区　分	参　加　料
フルマラソンの部	3,300円
ジョギングの部(一般)	2,000円
ジョギングの部(中学生以下)	1,000円
ウォーキングの部(一般)	2,000円
ウォーキングの部(中学生以下)	1,000円

※ただし、一度納入された参加料は返金しない。

11　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ナンバーカード（ゼッケン）は、主催者が用意したものを着用する。
（4）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（5）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

12　連絡事項

（1）フルマラソンの給水所はスタートして、2.5km毎に設置する。主催者側で水、スポーツ飲料、バナナ、レモン、あめを準備する。（スペシャル、スポンジは準備しない。）
（2）昼食にはカキ雑炊を用意している。（無料食べ放題）
（3）フルマラソン、ジョギングの部はナンバーカードに同封のＲＣチップでタイムを計測するので、必ず左右どちらかのシューズの紐に装着すること。ＲＣチップをつけていない場合や、落とした場合は記録が取れない。また、出走する、しないに関わらずＲＣチップは必ず返却すること。
（4）フルマラソンはコースを周回するので、参加者は自分自身で間違えないよう周回すること。
（5）宿泊については、次の「スポレク広島２００２トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成１４年８月３０日(金)までに参加者各自で行うこと。

＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島２００２トラベルセンター」
〒７３０－００３７
広島市中区中町８－１８　クリスタルプラザ１２階
第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
ＴＥＬ　０８２（５４５）５１５６
ＦＡＸ　０８２（２４９）３００２

マラソン

～第１９回山陽備後路健康マラソン～

1　主　催　神辺町（かんなべちょう）
2　主　管　広島県実行委員会、神辺町実行委員会
3　期　日　平成１４年１０月６日（日）＜雨天決行＞

１０月６日（日）	
開　始　式	(9:30～)
競　　技	(10:30～)
表　彰　式	各部門終了次第

4　会　場　神辺町　神辺町立湯田小学校（主会場）
5　参加人数と構成

（1）参加人数　　制限なし
（2）種目部門（コース）及び参加対象者

部門コース	参加対象者	部門コース	参加対象者
10km	第１部 男子30才未満 第２部 男子50才未満 第３部 男子50才以上	5km	第11部 中学生女子 第12部 女子30才未満 第13部 女子50才未満 第14部 女子50才以上
10km	第４部 女子30才未満 第５部 女子50才未満 第６部 女子50才以上	2.5km	第15部 小学男子4･5･6年 第16部 小学男子1･2･3年
5km	第７部 中学生男子 第８部 男子30才未満 第９部 男子50才未満 第10部 男子50才以上	2.5km	第17部 小学女子4･5･6年 第18部 小学女子1･2･3年
2.5km	第19部 フレッシュ&エンジョイ (男女年齢を問わず出場出来る)(記録･表彰の対象外)		

6　実施上の規則及び競技方法

（1）実施規則
　本大会の申し合わせ事項による。
（2）競技形式
　ア　各部門ごとに時間差をつけてスタートする。
　イ　コースは全面交通規制を行っていないため、左側走行を厳守し警察官・大会役員等の指示に従うこと。

7　参加者の資格等

（1）全部門とも健康で完走能力のある者。（１０ｋｍ９０分以内・５km５０分以内・２.５km３０分以内・２.５kmフレッシュ＆エンジョイ４０分以内）
（2）１８歳未満の者は保護者の同意を必要とする。

8　表　彰

（1）スポレク賞　各部門とも上位６位までを表彰する。（１０ｋｍ一般男子優勝者に、阪本峰照杯を、１０ｋｍ一般女子優勝者に、武田京一杯を授与する。）
（2）特別賞　「遠路はるばる賞」・「いつまでも元気で賞」・「第１５回で賞」・「ファミリー賞」「権と八賞」を授与する。
（3）認定証　制限時間内の完走者全員に完走記録証を授与する。
（4）参加賞　参加者全員に参加賞を進呈する。

9　参加申込み方法

参加申込みは、所定の様式により（郵便振替払込書等）平成１４年８月３０日（金）までに必着するよう次のあて先に送付すること。（締切期日厳守）
第15回全国スポーツ･レクリエーション祭神辺町実行委員会
〒７２０－２１９５　広島県深安郡神辺町川北８９５－１
ＴＥＬ　０８４－９６２－５０５２
ＦＡＸ　０８４－９６２－３７８９

資料

10　参加料＜傷害保険料を含む＞

参　加　区　分	参　加　料
高校生以下	1,000円
一　般	1,500円

※ただし、一度納入された参加料は返金しない。

11　参加上の注意

（1）参加者は、事前に健康診断を受けること。
（2）参加者は、健康保険証又は写しを持参すること。
（3）ナンバーカード（ゼッケン）は、主催者が用意したものを着用する。
（4）当日のエントリー変更は認めない。
（5）事故発生の場合は、主催者は応急処置のみ行うものとする。
（6）参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

12　連絡事項

（1）ゴール後、ナンバーカードのタグの部分を役員が回収するので必ず返却すること。また、記録証を受け取るまでナンバーカードは外さないこと。
（2）宿泊については、次の「スポレク広島2002トラベルセンター」で斡旋するが、申込み等の手続きは、平成14年8月30日（金）までに参加者各自で行うこと。

＜申込み・問合せ先＞
「スポレク広島2002トラベルセンター」
〒730－0037
広島市中区中町8－18　クリスタルプラザ12階
第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内
TEL　082（545）5156
FAX　082（249）3002

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭種目別大会実施計画

1　基本方針

全国スポーツ・レクリエーション祭の趣旨に基づき、多くの人達が年代に応じて楽しく参加できるよう、次のことに配慮する。

（1）勝敗のみにとらわれることなく、参加者が競技を楽しむことができる、和やかな雰囲気となるよう、日程や組合せを工夫する。
（2）競技だけでなく、参加者や参加者と県民が友好を深め、互いに交流が広がるような場とする。
（3）本県及び会場地市町の特色を生かした創意ある種目別大会とする。
（4）大会に関わるすべての人に喜びを感じてもらえるよう、皆で一体となってつくりあげていく大会とする。

2　主　催

（1）都道府県代表参加種目　中央種目団体、会場地市町
（2）フリー参加種目　中央種目団体又は県種目団体、会場地市町

3　主　管

県実行委員会、県種目団体、会場地市町実行委員会等

4　期　間　平成14年10月5日（土）～8日（火）

10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)
代表者会議	開始式・競技・表彰式	競技・表彰式	競技・表彰式

5　種目・会場・期日

（1）都道府県代表参加種目（18種目）

No.	種目名	会場地	期日			
			10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)
1	グラウンド・ゴルフ	福山市	▲	◎ ●	● ◇	
2	ゲートボール	竹原市	▲	◎ ●	● ◇	
3	壮年サッカー	広島市 府中町 吉田町	▲	◎ ●	●	● ◇
4	ソフトバレーボール	三次市	▲	◎ ●	● ◇	● ◇
5	女子ソフトボール	東広島市 大和町	▲	◎ ●	●	● ◇
6	ラージボール卓球	因島市	▲	◎ ●	● ◇	● ◇
7	ターゲット・バードゴルフ	尾道市	▲	◎ ●	●	
8	男女混合綱引	呉　市	▲	◎ ●	● ◇	
9	年齢別テニス	尾道市	▲	◎ ●	● ◇	
10	年齢別ソフトテニス	福山市	▲	◎ ●	●	● ◇
11	バウンドテニス	大野町	▲	◎ ●	● ◇	
12	年齢別バドミントン	呉　市	▲	◎ ●	● ◇	● ◇
13	壮年ボウリング	広島市	▲	◎ ●	●	● ◇
14	マスターズ陸上競技	広島市	▲	◎●◇	● ◇	● ◇
15	インディアカ	廿日市市	▲	◎ ●	● ◇	
16	フォークダンス	安浦町	▲	◎ ●	● ◇	
17	エアロビック	豊平町	▲	◎ ●	● ◇	
18	トランポリン	新市町	▲	◎ ●	● ◇	

▲：代表者会議　◎：開始式　●：競技等　◇：表彰式

（2）フリー参加種目（7種目）

No.	種目名	会場地	期日			
			10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)
1	ウォークラリー	瀬戸田町		◎●◇		
2	エスキーテニス	広島市		◎●◇		
3	サイクリング	尾道市		◎●◇		
4	3B体操	三原市	▲	◎●◇		
5	太極拳	熊野町	△ ▲	◎●◇		
6	マスターズ水泳	広島市		◎●◇		
7	マラソン	坂　町		◎●◇		
		神辺町		◎●◇		

▲:代表者会議　◎:開始式　●:競技等　◇:表彰式　△:交流会

6　種目別大会

（1）実施方法等

実施方法については、各種目別大会実施要項に定める。実施要項は、種目別大会実施計画に基づき、県種目団体及び会場地市町実行委員会が協議のうえ案を作成し、県実行委員会が関係機関及び関係団体と協議し決定する。

ア　日程・組合せ

会場地市町実行委員会及び県種目団体は、大会運営に支障のない範囲で、十分に交流が図れるよう、次のことに配慮する。

①参加者が、開催地の自然、歴史、文化、人々とふれあい、心うるおう感動が発見できるよう大会日程を工夫する。
②日程に交流プログラムを取り入れるなど、参加者や参加者と会場地住民の交流ができるよう大会日程を工夫する。また、周辺施設の活用も考慮する。
③組合せは、近隣都道府県との対戦を避け、全国各地

地域間の幅広い交流ができるよう配慮する。

イ　代表者会議

①会場地市町実行委員会は、種目別大会を円滑に運営するために、各チームの代表者及び種目団体の関係者と代表者会議を行う。なお、フリー参加種目は必要に応じて開催するものとする。

②代表者会議は会場地市町実行委員会が県種目団体及び関係団体と協議し運営する。

③代表者会議実施要領は、別に定める。

ウ　開始式

①会場地市町実行委員会は、種目別大会の開催にあたり、競技開始前に、全国からの参加者を歓迎する場として開始式を開催する。

②開始式実施要領は、別に定める。

エ　表彰式

①閉会を兼ねて、競技終了後実施する。

②上位表彰として「スポレク賞」等を設けるほか、必要に応じて特別賞を設ける。会場地市町実行委員会は、副賞を設けることができる。

③表彰式実施要領は、別に定める。

（2）荒天時対応

ア　可能な限り小雨でも決行し、大会の順延はしない。予定どおり実施できない場合は、可能な範囲で会場や日程・組合せを変更して実施する。

イ　荒天時対応の細目は、別に定める。

（3）競技用備品

ア　競技用備品は、競技運営に支障のない範囲で既存のものを使用する。

イ　会場地で不足している競技用備品で、県及び近隣市町村等で補えるものについては借用する。

（4）参加者資格

ア　都道府県代表参加種目

参加者は、祭典の趣旨に賛同し、種目ごとに定める参加資格を満たす者とする。

参加基準は、次のとおりとする。

①原則として、過去の全国スポーツ・レクリエーション祭に参加したことのない者が優先して参加できるものとし、各種目の参加資格については、種目別大会実施要項に定める。

②年齢基準は、平成１４年４月１日現在とする。

③参加種目は、原則として一人1種目に限る。

④原則として種目団体等の登録の有無は、条件としない。

イ　フリー参加種目

参加者は、祭典の趣旨に賛同し、種目ごとに定める参加資格を満たす者とする。

（5）参加申込み方法

ア　都道府県代表参加種目

①参加希望者は、当該都道府県教育委員会又は生涯スポーツ担当部局（以下「各都道府県教育委員会等」という。）の定める申込み方法に基づいて、各都道府県教育委員会等に申し込む。

②各都道府県教育委員会等は、所定の参加申込書により、広島県実行委員会に申し込む。

③広島県実行委員会への参加申込み締切りは、平成１４年７月１０日（水）必着とする。

イ　フリー参加種目

①参加希望者は、各人が所定の参加申込書により、会場地市町実行委員会に直接申し込む。

②会場地市町実行委員会への参加申込み締切りは、種目によって異なり、平成１４年７月３１日（水）、平成14年８月１０日(土)、平成１４年８月３０日(金)必着とする。

（6）参加料

ア　都道府県代表参加種目

参加者（監督、コーチ、トレーナー、スコアラー、選手）一人につき、1、000円（傷害保険料を含む。）とし、納入方法については、所定の参加者数総括申込書記入要領による。

イ　フリー参加種目

種目別大会実施要項に記載する参加料とし、納入方法については、所定の参加申込書等に記載する要領による。

（7）役　　員

役員は、大会役員、運営役員及び大会係員とし、種目別大会役員編成基準に基づき編成するものとし、編成基準は別に定める。

（8）記録センター

県実行委員会は、種目別大会の運営状況を把握し、運営上の諸問題に迅速かつ円滑な対応をするとともに、種目別大会の交流結果をまとめ、各都道府県及び関係機関等に配布するため記録センターを設置する。

なお、細目については、別に定める。

7　交流行事

（1）基本的な考え方

ア　会場市町実行委員会は、参加者や参加者と会場地住民との友好を深め、共に楽しめる交流行事を行う。

イ　交流行事は、ふれあい広場、サービスコーナー、歓迎レセプションを中心とする。

ウ　会場市町実行委員会は、全国からの参加者に県及び会場地市町の伝統文化、観光、物産等を積極的に紹介する。

（2）ふれあい広場

ア　全国から集う参加者同士及び参加者と大会関係者や会場地住民との交流を深める場とする。

イ　場　所　種目別大会会場、周辺施設

ウ　内容例

①交流プログラム（交流試合、ミニ大会、講習会等）

②ニュースポーツ等体験コーナー

③地域行事への参加

④会場地市町伝統芸能等の紹介

⑤会場地の特産品展示及び販売

（3）サービスコーナー

ア　全国から集う参加者、大会関係者等をもてなす友好の場とする。

イ　場　所…種目別大会会場、周辺施設

ウ　内容例…飲み物、会場地市町特産品等のサービス

（4）歓迎レセプション

ア　全国から種目別大会に参加する大会関係者を招いて、

友好を深める機会とする。

イ　開催期日は、会場地の事情等を考慮し、平成１４年１０月５日（土）又は１０月６日（日）に実施する。

ウ　各都道府県参加者の人数は原則２名とする。

エ　場　所…会場地市町実行委員会が決定する。

オ　標準次第

①開　会

②主催者あいさつ（会場地市町実行委員会長）

③乾　杯

④歓　談（アトラクション等）

⑤閉　会

8　その他

県種目団体及び会場地市町実行委員会は、種目別大会の実施にあたっては、関係機関・関係団体等と連携を密にし、円滑な運営を図る。

種目別大会役員等の編成について

1　基本的な考え方

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭種目別大会における役員の編成にあたっては、種目別大会の運営を円滑にするため、県実行委員会、会場地市町実行委員会及び県種目団体が協議のうえ、編成する。なお、役員の編成にあたっては、1人1種目を原則として、必要充分な人員を配置し、大会運営に万全を期する適切な配置を行う。

2　役員の構成

役員については、大会役員、運営役員、大会（会場地市町）係員とする。

（１）大会役員

種目別大会役員編成基準（別表１）に基づいて編成する。

（２）運営役員

種目別大会運営役員編成基準（別表２）に基づいて、県種目団体関係者、会場地市町及び会場地周辺に在住するスポーツ・レクリエーション関係者を中心に編成する。

（３）大会係員

種目別大会係員編成基準（別表３）に基づいて、会場地市町実行委員会関係者を中心に編成する。

3　役員の重複者の調整

役員が重複する恐れのある場合は、次の原則に基づき、関係者が協議のうえ、調整する。

（１）監督及び選手と大会役員・運営役員等の重複については、原則として認めない。

（２）運営役員等が２種目以上にわたり重複して依嘱された場合は、その業務内容により調整する。

（３）同一種目における、大会役員、運営役員及び大会係員の重複については、その業務内容によりこれを認める。

4　役員の職名及び業務

（１）大会役員は、編成基準（別表１）により、名誉会長、名誉顧問、会長、副会長、顧問、参与、大会委員長、大会副委員長、委員で構成し、大会に関与する事項の全般を総括する。

（２）運営役員は、編成基準（別表２）により、運営委員長を中心に各種目別大会の直接の運営に携わる。なお、種目によっては、その種目に応じた名称を使用し、必要な業務を加えることができる。また、補助員については必要最小限の人員を配置し、会場地の運営を円滑に運ぶよう適切な配置を考慮する。

（３）大会係員は、編成基準（別表３）により会場地の運営全般に携わる。なお、会場地によっては、さらに必要な業務の係員を加えることができる。また、補助員については必要最小限の人員を配備し、会場地の運営を円滑に運ぶよう適切な配置を考慮する。

（別表１）大会役員編成基準

団体名 / 役職名	中央種目団体	県体育協会	県レクリエーション協会	県体育指導委員協議会	県種目団体	会場地市町				
						市町	体育協会	レクリエーション協会	体育指導委員協議会	種目団体
名誉会長	会長									
名誉顧問		会長	会長	会長						
会長						市町長				
副会長	副会長				会長	助役	会長	会長	会長	
顧問		副会長	副会長	副会長		議会議員 教育委員長				
参与	理事長又はこれに準ずる者	理事長又はこれに準ずる者	理事長又はこれに準ずる者	理事長又はこれに準ずる者	副会長	議会議員 教育委員 収入役 教育長				
大会委員長					理事長					
大会副委員長							副会長	副会長	副会長	会長
委員						関係部（課）長	理事長又はこれに準ずる者	理事長又はこれに準ずる者	理事長又はこれに準ずる者	副会長

（別表２）運営役員編成基準

役　職　員	業　務　内　容
運営委員長	大会運営全体の統括
運営副委員長	委員長の補佐
総 務 委 員	大会運営に関する庶務全般
審　判　長	審判業務全体の総括
副 審 判 長	審判長の補佐
審　判　員	規定に準じた円滑な審判
記録・報道	各会場の記録収集・管理、記録センターへの報告、報道機関への迅速な対応
進　　行	プログラムに準じた競技運営
放　　送	選手の召集、紹介、記録等の会場への通告
救　　護	会場での傷病者に対する応急処置､医師及び看護婦への協力､救急車の手配
補　助　員	大会運営全体の補助

（別表３）大会係員編成基準

役　職　員	業　務　内　容
総 務 係 員	大会会場の維持管理等に関する庶務全般
受付･案内係員	参加者･大会関係者の受付･案内、一般来場者の案内
式 典 係 員	開始式･表彰式の円滑な運営･管理及び賞状の筆耕等
接 待 係 員	参加者・大会関係者への飲み物等のサービス
宿泊･弁当係員	参加者・大会関係者への宿泊案内、弁当配布
輸 送 係 員	参加者・大会関係者への輸送案内、送迎バスの添乗
駐 車 場 ・ 警 備 係 員	会場及びその周辺駐車場への誘導･整理、会場内の巡回警備
会場･施設係員	会場内の施設･設備等の維持管理
補　助　員	会場での大会運営業務全般の補助

記録センター運営について

1　記録等の報告

種目別大会結果の収集は、会場地市町実行委員会からのファクシミリによる。ただし、会場地の実情に応じてEメール対応も行います。

（１）グループ別報告

会場地市町実行委員会を６グループに分けてファクシミリを固定し、業務の効率化を図ります。

（２）報告内容

原則として、大会期間中１日２回（大会開始報告、大会結果報告）とします。ただし、マスターズ陸上競技・マスターズ水泳においては、順次記録を報告してください。

ア　大会開始報告（業務開始後１時間以内）

①ＦＡＸ送信表
②進行運営状況報告書
③代表者会議報告書

イ　大会結果報告（大会終了後１時間以内）

①ＦＡＸ送信表
②進行運営状況報告書
③大会結果報告書
④組合せ報告書

ウ　その他

○緊急を要するけが・病気等が発生した時は、速やかに電話又はＦＡＸにより報告してください。

2　記録の配布等

大会記録等の配布は、大会期間中及び大会終了後とします。

（１）大会期間中は、記録等要求のある各都道府県選手派遣本部参加者並びに報道関係に配布します。
期間:10月6日(日)～8日(火)午前9時～午後8時まで
場所：第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局内

（２）大会終了後は、種目別大会公式記録（スポレク賞・特別賞・大会記録）を各都道府県及び関係団体に送付します。

○大会記録速報は大会終了後１週間以内に送付予定
○大会記録報告書は、平成１４年１２月に送付予定
＊会場地市町実行委員会は､大会終了後記録をフロッピーに保存し､県実行委員会まで提出してください。

3　日　程

１０月３日（木）　記録センターの設営
４日（金）　記録センターの設置　午後１時～
会場地市町実行委員会と送信等リハーサル
５日（土）　記録センターの開設
午前８時３０分～午後８時
６日（日）　記録センターの開設
午前５時３０分～午後８時
７日（月）　記録センターの開設
午前５時３０分～午後８時
８日（火）　記録センターの開設
午前５時３０分～午後８時
９日（水）　記録センターの開設
午前８時３０分～午後１時
記録センター撤去　午後１時～

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭協賛事業参加募集要項

1　趣　旨

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭において、協賛事業を開催することにより、参加機会の拡大を図るとともに、祭典の気運を高める。また、全国から集う人々との交流を図り、スポーツ・レクリエーション活動の振興に資する。

2　主　催

「全国スポーツ・レクリエーション祭協賛事業の名義の使用承認基準」（昭和６３年文部省制定）に定める団体、企業及び市町村等とする。

3　期　日

平成14年1月1日から10月8日の期間中に開催する事業とする。

4　会　場

スポーツ・レクリエーション関係団体主催事業の会場は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「広島県実行委員会」という。）と主催団体で調整し決定する。

5　事業内容

（１）第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭の祭典の趣旨に沿うものとする。

（２）「全国スポーツ・レクリエーション祭協賛事業の名義の使用承認基準」による事業内容に沿うものとする。

6　申請手続

広島県実行委員会が事業内容を検討し、一括して文部科学省へ申請する。

7　申請方法

（1）協賛事業開催開催希望調査表（別紙様式）に必要事項を記入し、広島県実行委員会に提出する。

（2）事業内容、会場、開催期日等について、広島県実行委員会と調整後、後日送付する第15回全国スポーツ・レクリエーション祭協賛事業の名義の使用承認申請書に必要書類を添付して提出する。

8　提出先

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局
〒730－0037
広島市中区中町8番18号　クリスタルプラザ12階

9　提出期限

開催希望調査票：平成13年　6月11日（月）(一次)
平成13年10月31日（水）(二次)
名義の使用承認申請書：平成13年　7月31日（火）(一次)
平成13年11月30日（金）(二次)

10　その他

協賛事業に必要な経費は、主催団体負担金及び参加費等をもって充てる。

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会会則

第1章　総　則

（名称）

第1条　この会は、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

（事務所）

第2条　本会の事務所は、広島県庁内に置く。

（目的）

第3条　本会は、全国スポーツ・レクリエーション祭開催要綱（昭和63年4月7日付け文部大臣裁定）に基づき、第15回全国スポーツ・レクリエーション祭（以下「祭典」という。）を円滑に開催するために必要な事業を行うことを目的とする。

（事業）

第4条　本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

（1）祭典の総合計画に関すること。

（2）祭典の開催準備に関すること。

（3）祭典の実施運営に関すること。

（4）文部科学省、財団法人日本体育協会、財団法人日本レクリエーション協会、社団法人全国体育指導委員連合、その他関係機関及び団体との連絡調整に関すること。

（5）前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

第2章　組　織

（組織）

第5条　本会は、次の各号に掲げる者のうちから会長が委嘱した委員をもって組織する。

（1）祭典の開催に関係する機関及び団体の役職員

（2）スポーツ又はレクリエーションについて、学識経験を有する者

（3）前2号に掲げる者のほか、会長が必要と認める者

（役員）

第6条　本会に、次に掲げる役員を置く。

（1）会長　　1名

（2）副会長　　若干名

（3）常任委員　　若干名

（4）監事　　若干名

2　会長は、広島県知事をもって充てる。

3　副会長及び常任委員は、委員のうちから会長が委嘱する。

4　監事は、会長が委嘱する。ただし、委員を兼ねることはできない。

（役員の職務）

第7条　会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指定する順序により、その職務を代理する。

3　常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第4項に定める事項について審議する。

4　監事は、会計その他の事務を監査する。

（顧問及び参与）

第8条　本会に顧問及び参与を置くことができる。

2　顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3　顧問は、重要な事項について、会長の諮問に応じ意見を述べることができる。

4　参与は、会長が必要と認める事項について、その諮問に応じ意見を述べることができる。

（任期）

第9条　委員、役員、顧問及び参与（以下「役員等」という。）の任期は、委嘱の日から祭典が終了し、その精算事務が完了するときまでとする。

2　前項の規定にかかわらず、委員等（第5条第2号の委員を除く。）に委嘱された者が、委嘱されたときに属していた機関又は団体で役職の異動があったときは、後任者が委員等を引き継ぐものとみなす。この場合において当該委員の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

第3章　会　議

（会議の種類）

第10条　本会に、次の会議を置く。

（1）総会

（2）常任委員会

（3）専門委員会

（総会）

第11条　総会は、会長及び委員をもって構成する。

2　総会は、会長が招集し、会長がその議長となる。

3　総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

（1）会則の改廃に関すること。

（2）祭典の総合的な計画に関すること。

（3）事業計画及び事業報告に関すること。

（4）予算及び決算に関すること。

（5）前各号に掲げるもののほか、祭典開催に関わる重要な

事項に関すること。
4　総会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長が決定する。
（常任委員会）
第１２条　常任委員会は、常任委員長、常任副委員長及び常任委員をもって構成する。
2　常任委員長及び常任副委員長は、会長が指名する。
3　常任委員会は、必要に応じて会長が招集し、常任委員長がその議長となる。
4　常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
（１）祭典の実施計画及び実施要項に関すること。
（２）総会を招集するいとまがない緊急な事項に関すること。
（３）前２号に掲げるもののほか、祭典開催に必要な事項に関すること。
5　常任委員長は、常任委員会を代表し、会務を総理する。
6　常任委員長は、第４項の規定により審議し、決定したときは、次の総会において報告しなければならない。
7　常任副委員長は、常任委員長に事故あるとき、その職務を代理する。
8　常任委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは常任委員長が決定する。
9　常任委員長は、必要に応じて関係者の出席を求めて、その意見を聞くことができる。
（専門委員会）
第１３条　本会に別表に掲げる専門委員会を置く。ただし、必要に応じて他の専門委員会を置くことができる。
2　専門委員会は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱した専門委員をもって構成する。
（１）祭典に関係する機関及び団体の役職員
（２）スポーツ又はレクリエーションに関する事業に精通した者、その他スポーツ又はレクリエーションについて学識経験を有する者
（３）前２号に掲げる者のほか、会長が必要と認める者
3　専門委員会は、常任委員会の付託を受け、それぞれ別表に掲げる専門的事項について調査、審議する。
4　各専門委員会に委員長を置き、専門委員のうちから会長が指名する。
5　専門委員会は、必要に応じて専門委員長が招集し、その議長となる。
6　専門委員長は、専門委員会を代表し、会務を総理する。
7　専門委員長は、第３項の規定により調査、審議したときは、その結果を次の常任委員会に報告しなければならない。
8　専門委員会の会議については、第１２条第８項の規定を準用する。
9　専門委員の任期は、第９条の規定を準用する。

第４章　専決事項

（会長の専決）
第１４条　会長は、総会又は常任委員会の権限に属する事項について、急を要し、総会又は常任委員会を招集するいとまがないと認めるときは、これを専決処分することができる。
2　会長は、前項の規定により専決処分をしたときは、これを次の総会又は常任委員会に報告し、その承認を求めなければならない。

第５章　事務局

（事務局）
第１５条　本会の事務を処理するために事務局を置く。
2　事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第６章　会計

（会計）
第１６条　本会の経費は、県負担金、協賛金、その他の収入をもって充てる。
（会計年度）
第１７条　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。
2　本会の会計に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第７章　解散

（解散）
第１８条　本会は、祭典が終了し、その精算事務が完了したときをもって解散する。

第８章　補則

（補則）
第１９条　この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附　則

1　この会則は、平成１３年５月２１日から施行する。
2　この会則施行の際、現に第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会が有する権利及び義務は、本会が承継する。

別表（第１３条第３項関係）専門委員会への付託事項

種　　類	付　託　事　項
企画広報専門委員会	企画広報に関すること及び他の専門委員会に属さないこと
宿泊輸送専門委員会	宿泊、輸送交通、医事衛生及び安全管理に関すること
種目交流専門委員会	種目別大会及び協賛事業に関すること
式典事業専門委員会	開会式、閉会式、特別行事及びシンポジウムに関すること

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会事務局規程

第１章　総　則

（趣旨）
第１条　この規程は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会会則第１５条の規定に基づき、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会事務局（以下「事務局」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第２章　事務局

（事務局）
第２条　事務局は、広島県教育委員会事務局に置く。
（業務）
第３条　事務局は、第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会に関する事務を処理する。
（職員）
第４条　事務局に、次の職員を置く。

（1）事務総長
（2）事務局長
（3）事務局次長
（4）部長
（5）課長
（6）課長代理
（7）課員

2　事務総長は、広島県教育委員会事務局教育次長をもって充てる。

3　事務局長は、広島県教育委員会事務局全国スポーツ・レクリエーション祭事務局長をもって充てる。

4　事務局次長は、広島県教育委員会事務局全国スポーツ・レクリエーション祭事務局次長をもって充てる。

5　部長、課長、課長代理及び課員は、広島県教育委員会事務局全国スポーツ・レクリエーション祭事務局職員をもって充てることとし、事務局長が指名する。

6　会長は、前項に定めるもののほか、特に必要があると認めるときは、職員を任命又は委嘱することができる。

（職務）

第5条　事務総長は、会長の命を受け、事務を統轄する。

2　事務局長は、事務局の事務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

3　事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるときは、その職務を代理する。

4　部長は、上司の命を受け、職員を指揮監督し、部の事務を掌理する。

5　課長は、上司の命を受け、職員を指揮監督し、課の事務を掌理する。

6　課長代理は、上司の命を受け、課内の総合調整に関する事務に従事する。

7　課員は、上司の命を受け、事務に従事する。

第3章　事務の決裁

（専決）

第6条 事務総長は、広島県教育委員会事務局等決裁規程第6条の3に定められている教育次長専決事項に相当する事項を専決することができる。

2　事務局長は、広島県教育委員会事務局等決裁規程第6条の3に基づいて定められた事務局長専決事項に相当する事項を専決することができる。

3　事務局を総括する部長は、広島県教育委員会事務局等決裁規程第6条の3に基づいて定められた総括専門員専決事項に相当する事項を専決することができる。

4　課長は、広島県教育委員会事務局等決裁規程第6条の2に定められている係長専決事項に相当する事項を専決することができる。

5　前各項の規定に関わらず、重要又は異例に属すると認められる事項については、上司の決裁を受けなければならない。

（代決）

第7条　会長が不在のときは副会長が、会長及び副会長がともに不在のときは事務総長がその事務を代決する。

2　事務総長が不在のときは、事務局長がその事務を代決する。

3　事務局長が不在のときは、事務局次長がその事務を代決する。

4　前各項の規定に関わらず、代決権者において重要若しくは異例に属すると認められる事項については、代決することができない。

（代決した事務の処理）

第8条　前条第1項から第3項の規定により代決した者は、その代決した事務について決裁権者に報告を要すると認められるときは、速やかに決裁権者に報告しなければならない。

第4章　文書

（文書）

第9条　文書には記号及び一連番号を付さなければならない。ただし、軽易な文書については、これを省略することができる。

2　記号は「全スポ広実」とする。

（発信者名）

第10条　文書の発信者名は、会長名を用いるものとする。ただし、軽易な文書については、事務局長名を用いることができる。

（保存）

第11条　施行を完了した文書は、編纂し、事務局長が指定する日まで保存しなければならない。

（準用）

第12条　前条に定めるもののほか、文書の取扱いに関しては、広島県教育委員会事務局の文書の取扱いの例による。

第5章　公　印

（公印）

第13条　事務局で使用する公印は、別表に掲げるとおりとする。

2　前項に定める公印の保管者は、事務局次長とする。

（準用）

第14条　前条に定めるもののほか、公印の取扱いに関しては、広島県教育委員会事務局の公印の取扱いの例による。

第6章　服務並びに給与及び旅費

（服務）

第15条　職員の服務については、広島県教育委員会事務局職員の例による。

（賃金等）

第16条　第4条第6項に基づく職員の賃金、勤務時間その他の勤務条件については、事務局長が別に定める。

（旅費）

第17条　職員の旅費の額及び支給方法については、広島県教育委員会事務局職員の例による。

第7章　財　務

（予算の編成）

第18条　事務局長は、予算を編成しようとするときは、事業計画についてあらかじめ会長の承認を受けなければならない。

（会計事務）

第19条　事務局に出納員を置く。

2　出納員は、事務局員の中から事務局長が別に指名する。

3　出納員は、出納その他の会計事務を行う。

（金融機関の指定）
第２０条　現金の出納は、事務局長が指定する金融機関を通じて行うものとする。
（決算）
第２１条　事務局長は、出納に関する事務を完了したときは、速やかに歳入・歳出決算書を作成し、証拠書類を添付して会長に提出しなければならない。
（準用）
第２２条　この章に定めるもののほか、財務の取扱いに関して必要な事項については、広島県の財務に関する諸規程の例による。

第８章　補則

第２３条　この規程に定めるもののほか、事務局の運営について必要な事項は事務局長が別に定める。

附　則

この規程は、平成１３年５月２１日から施行する。
この規程は、平成１４年４月１日から施行する。

別表（第１３条関係）

公印の種類	様　式	寸　法	書　体
実行委員会会長印	第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会会長印	方27ミリメートル	てん書
実行委員会事務局長印	第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会事務局長印	方23ミリメートル	てん書

名簿

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭祭典役員

役員区分	所属・職名	名前
名誉会長	文部科学大臣	遠山敦子
会長	広島県知事	藤田雄山
副会長	文部科学省スポーツ・青少年局長	遠藤純一郎
	財団法人日本体育協会会長	安西孝之
	財団法人日本レクリエーション協会会長	川村皓章
	社団法人全国体育指導委員連合会長	斉藤斗志二
	広島県副知事	田口尚文
顧問	文部科学副大臣	渡海紀三朗
	文部科学大臣政務官	池坊保子
	文部科学省事務次官	小野元之
	財団法人日本体育協会副会長	土屋義彦
	財団法人日本体育協会副会長	長沼健
	財団法人日本体育協会常務理事	大亀孝裕
	財団法人日本体育協会常務理事	豊田博
	財団法人日本体育協会常務理事	日比野弘
	財団法人日本レクリエーション協会副会長	石原信雄
	財団法人日本レクリエーション協会副会長	永野光哉
	財団法人日本レクリエーション協会副会長	弘世徳太郎
	財団法人日本レクリエーション協会常務理事	北村博史
	財団法人日本レクリエーション協会常務理事	鈴木重志
	財団法人日本レクリエーション協会常務理事	佐野政一
	社団法人全国体育指導委員連合副会長	佐々木正人
	社団法人全国体育指導委員連合副会長	島津洋司
	社団法人全国体育指導委員連合副会長	楠見昭二
	社団法人全国体育指導委員連合専務理事	大木昭一郎
	衆議院議員	岸田文雄
	衆議院議員	粟屋敏信
	衆議院議員	増原義剛
	衆議院議員	中川秀直
	衆議院議員	池田行彦
	衆議院議員	亀井静香
	衆議院議員	宮澤洋一
	衆議院議員	宮澤喜一
	衆議院議員	谷川和穗
	衆議院議員	山田敏雅
	衆議院議員	斉藤鉄夫
	衆議院議員	佐藤公治
	衆議院議員	金子哲夫
	参議院議員	亀井郁夫
	参議院議員	柳田稔
	参議院議員	柏村武昭
	参議院議員	溝手顕正
	参議院議員	佐藤昭郎
	参議院議員	佐々木知子
	参議院議員	林紀子
	参議院議員	山本香苗
	参議院議員	福本潤一
	広島県議会議長	檜山俊宏
	広島県出納長	河野二六夫
	広島県教育委員会委員長	小笠原道雄
	広島県市長会会長	三好章
	広島県町村会会長	児玉更太郎
	広島県都市教育長会会長	森功
	広島県町村教育長会会長	瀬戸本東洋
	財団法人広島県体育協会会長	多田公熙
	広島県レクリエーション協会会長	長沼博
	広島県体育指導委員協議会会長	楠見昭二
	社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会会長	鈴木祐一
	財団法人日本ゲートボール連合会長	櫻内義雄
	財団法人日本サッカー協会会長	川淵三郎
	財団法人日本バレーボール協会会長	村井勉
	日本ソフトバレーボール連盟会長	喜島慶一郎
	財団法人日本ソフトボール協会会長	山崎拓
	財団法人日本卓球協会会長	飯田亮
	日本ターゲット・バードゴルフ協会会長	長谷川純三
	社団法人日本綱引連盟会長	中曽根弘文
	財団法人日本テニス協会会長	盛田正明
	財団法人日本ソフトテニス連盟会長	海部俊樹
	日本バウンドテニス協会会長	笹原正三
	財団法人日本バドミントン協会会長	櫻内義雄
	財団法人全日本ボウリング協会会長	赤木恭平
	財団法人日本陸上競技連盟会長	河野洋平
	日本マスターズ陸上競技連合会長	梅田善彦
	社団法人日本インディアカ協会会長	川村皓章
	社団法人日本エアロビック連盟会長	小西晃一
	社団法人日本フォークダンス連盟会長	小西亘
	社団法人日本トランポリン協会会長	森喜朗
	日本エスキーテニス連盟会長	西川正洋
	日本３Ｂ体操協会理事長	佐藤雅子
	社団法人日本武術太極拳連盟会長	加藤六月
	財団法人日本水泳連盟会長	古橋廣之進
参与	文部科学省スポーツ・青少年局審議官	上原哲
	文部科学省スポーツ・青少年局総括官	徳重眞光
	文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課長	高杉重夫
	広島県議会副議長	小島敏文
	広島県議会議員	石橋良三
	広島県議会議員	宮本新八
	広島県警察本部長	竹花豊
	広島市長	秋葉忠利
	呉市長	小笠原臣也
	竹原市長	小坂政司
	三原市長	五藤康之
	尾道市長	亀田良一
	因島市長	村上和弘
	福山市長	三好章
	府中市長	伊藤吉和
	三次市長	吉岡広小路
	庄原市長	八谷泰央
	大竹市長	中川洋
	東広島市長	上田博之
	廿日市市長	山下三郎
	府中町長	和多利義之
	海田町長	加藤天

役員区分	所属・職名	名前
	新市町長	藤原　平
	油木町長	牧野雄光
	神石町長	宮野元壮
	豊松村長	岡崎齊
	三和町長	丸山英三
	上下町長	梶田昌宏
	総領町長	杉谷譯三
	甲奴町長	森岡隆寿
	君田村長	藤原清隆
	布野村長	梶川孝司
	作木村長	増田和俊
	吉舎町長	元廣和亨
	三良坂町長	湯免龍夫
	三和町長	神重和夫
	西城町長	田盛敬三
	東城町長	遠藤晏史
	口和町長	盛谷強
	高野町長	藤原公昭
	比和町長	冨原豊幸
	広島県市議会議長会会長	平野博昭
	広島県町村議会議長会会長	安原保元
祭典委員長	広島県教育委員会教育長	常盤豊
祭典副委員長	文部科学省スポーツ・青少年局生涯スポーツ課長	岩上安孝
	文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課長	小山内優
	財団法人日本体育協会事務局長	岡崎助一
	財団法人日本レクリエーション協会事務局長	浅野祥三
	社団法人全国体育指導委員連合事務局長	深瀬茂夫
	広島県教育委員会事務局教育次長	林誠
委員	文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ指導専門官	長登健
	広島県教育委員会事務局全国スポーツ・レクリエーション祭事務局長	宗貞義孝
	広島県教育委員会事務局生涯学習部スポーツ健康課長	井尻勝
	広島県グラウンド・ゴルフ協会会長	森鳩博美
	広島県ゲートボール連合会長	堀内博
	財団法人広島県サッカー協会会長	野村尊敬
	財団法人広島県バレーボール協会会長	鵜野政人
	広島県ソフトバレーボール連盟会長	根石義一
	広島県ソフトボール協会会長	安田實
	広島県卓球協会会長	喜多弘
	広島県ターゲット・バードゴルフ協会会長	楠見昭二
	広島県綱引連盟会長	民秋史也
	広島県テニス協会会長	林剛吉
	広島県ソフトテニス連盟会長	柳坪進
	広島県バウンドテニス協会会長	岸田文雄
	広島県バドミントン協会会長	林正夫
	広島県ボウリング連盟会長	山本耕
	財団法人広島陸上競技協会会長	川村毅
	広島マスターズ陸上競技連盟会長	津野瀬智
	広島県インディアカ協会会長	安井耕造
	広島県フォークダンス連盟会長	石田幸
	広島県エアロビック連盟理事長	久保怜子
	広島県トランポリン協会会長	永金竹夫
	広島県エスキーテニス連盟会長	西川正洋

役員区分	所属・職名	名前
	熊野町長	平本芳之
	坂町長	吉田隆行
	江田島町長	平木重巳
	音戸町長	川岡孝美
	倉橋町長	石橋杉嘉
	下蒲刈町長	竹内弘之
	蒲刈町長	柴崎龍雄
	大野町長	笠井久雄
	湯来町長	中島正子
	佐伯町長	正木完
	吉和村長	松本重隆
	宮島町長	小田和宣
	能美町長	大津克彦
	沖美町長	谷本英一
	大柿町長	平口武
	加計町長	佐々木清蔵
	筒賀村長	内田和昭
	戸河内町長	野上昭典
	芸北町長	松本建祠
	大朝町長	梅田雅文
	千代田町長	辰崎春男
	豊平町長	前田達郎
	吉田町長	浜田一義
	八千代町長	沖本信男
	美土里町長	織田邦夫
	高宮町長	児玉更太郎
	甲田町長	今井正
	向原町長	眞田良三
	黒瀬町長	高西孝昭
	福富町長	三善明
	豊栄町長	家森建昭
	大和町長	上川弘治
	河内町長	隨行孝文
	本郷町長	惠木慧
	安芸津町長	山下龍男
	安浦町長	沖田範彦
	川尻町長	渡邉正弘
	豊浜町長	北山峯生
	豊町長	長本憲
	大崎町長	長岡昇
	東野町長	濱田紀幸
	木江町長	藤原正孝
	瀬戸田町長	柴田大三郎
	御調町長	若林茂生
	久井町長	門田隆博
	向島町長	杉原孝一郎
	甲山町長	山口寛昭
	世羅町長	松山理人
	世羅西町長	上本仁志
	内海町長	佐藤荒夫
	沼隈町長	村上勝士
	神辺町長	佐藤秀毅

名簿

役員区分	所属・職名	名前
委員	広島県自転車競技連盟会長	樋口誼
	日本3B体操協会中国本部広島県支部支部長	西岡和子
	広島県武術太極拳連盟会長	岸田文雄
	財団法人広島県水泳連盟会長	藤田雄山
	北海道教育庁生涯学習部スポーツ保健体育課 参事	林政則
	青森県教育庁スポーツ健康課長	相川規
	岩手県教育委員会事務局スポーツ健康課長	松尾光則
	宮城県教育庁スポーツ健康課長	高橋稔
	秋田県教育庁保健体育課長	細谷義次
	山形県教育庁スポーツ保健課長	海和章雄
	福島県教育庁スポーツ健康課長	花井宣明
	茨城県教育庁保健体育課長	中村昌平
	栃木県教育委員会事務局保健体育課長	大栗克元
	群馬県教育委員会事務局スポーツ振興課長	鈴木正彦
	埼玉県教育局指導部体育課長	高田正徳
	千葉県教育庁生涯学習部体育課長	佐藤和憲
	東京都教育庁生涯学習スポーツ部スポーツ振興課長	川島邦彦
	神奈川県教育庁教育部スポーツ課長	上島保則
	山梨県教育委員会事務局スポーツ健康課長	今村辰夫
	新潟県教育庁保健体育課長	藤巻健一
	長野県教育委員会事務局体育課長	杉本幸治
	富山県教育委員会事務局スポーツ課長	中沖克美
	石川県教育委員会事務局体育課長	岩下良
	福井県教育庁全国スポーツ・レクリエーション祭準備室長	北山正明
	静岡県教育委員会事務局スポーツ振興室長	山口嘉一
	愛知県教育委員会事務局体育スポーツ課長	伊神勝彦
	三重県教育委員会事務局スポーツ振興チームマネージャー	松ヶ谷光廣
	岐阜県教育委員会事務局スポーツ課長	小谷俊明
	滋賀県教育委員会事務局保健体育課長	井上彌彦
	京都府教育庁指導部保健体育課長	唐松秀幸
	大阪府生活文化部生涯スポーツ振興課長	小野崇
	兵庫県教育委員会事務局地域スポーツ活動室長	藤井利光
	奈良県教育委員会事務局保健体育課長	小林隆
	和歌山県教育庁スポーツ健康課長	谷口久雄
	鳥取県教育委員会事務局体育保健課長	水石裕士
	島根県教育庁保健体育課長	月森宏
	岡山県教育庁保健体育課長	吉井常浩
	山口県教育庁保健体育課長	佐竹博
	香川県教育委員会事務局保健体育課長	原田俊
	徳島県教育委員会事務局体育保健課長	山川勉
	愛媛県教育委員会事務局保健スポーツ課長	御厩祐司
	高知県教育委員会事務局体育保健課長	清岡信光
	福岡県教育庁教育振興部スポーツ健康課長	内藤昭典
	佐賀県教育庁体育保健課長	寺崎邦朗
	長崎県教育庁体育保健課長	黒田哲夫
	熊本県教育庁体育保健課長	久米野安俊
	大分県教育庁体育保健課長	高山誠一
	宮崎県教育庁スポーツ振興課長	中馬光久
	鹿児島県教育庁保健体育課長	末永皓久
	沖縄県教育庁保健体育課長	神谷嘉善

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会

区分	所属・役職	氏名
会長	広島県知事	藤田雄山
副会長	広島県副知事	田口尚文
	広島県教育委員会教育長	常盤豊
	広島県市長会会長	三好章
	広島県町村会会長	児玉更太郎
	財団法人広島県体育協会会長	多田公熙
	広島県レクリエーション協会会長	長沼博
	広島県体育指導委員協議会会長	楠見昭二
委員(議会)	広島県議会議員	石橋良三
	広島県議会議員	宮本新八
(市町村)	広島県都市教育長会会長	森功
	広島県町村教育長会会長	瀬戸本東洋
	広島市長	秋葉忠利
	呉市長	小笠原臣也
	竹原市長	小坂政司之
	三原市長	五藤康之
	尾道市長	亀田良一
	因島市長	村上和弘
	府中市長	伊藤吉和
	三次市長	吉岡広小路
	庄原市長	八谷泰央
	大竹市長	豊田伊久雄
	東広島市長	上田博之
	廿日市市長	山下三郎
	府中町長	和多利義之
	海田町長	加藤天之
	熊野町長	平本芳之
	坂町長	吉田隆行
	江田島町長	平木重巳
	音戸町長	川岡孝美
	倉橋町長	石橋杉嘉
	下蒲刈町長	竹内弘之
	蒲刈町長	柴崎龍雄
	大野町長	笠井久雄
	湯来町長	中島正子
	佐伯町長	正木完
	吉和村長	梅田昭吾
	宮島町長	小田和宣
	能美町長	大津克彦
	沖美町長	谷本英一
	大柿町長	平口武
	加計町長	佐々木清蔵
	筒賀村長	内田和昭
	戸河内町長	野上昭典
	芸北町長	増田邦夫
	大朝町長	梅田雅文
	千代田町長	辰崎春男
	豊平町長	前田達郎
	吉田町長	浜田一義
	八千代町長	沖本信男
	美土里町長	織田邦夫
	甲田町長	今井正三
	向原町長	眞田良昭
	黒瀬町長	高西孝明
	福富町長	三善
	豊栄町長	家森建昭
	大和町長	上川弘治
	河内町長	和久野雅心
	本郷町長	惠木慧

区分	所属・役職	氏名
(スポレク)	広島県スポーツ少年団本部長	野村尊敬
	広島市立大学教授	荒井貞光
(教育)	広島県連合小学校長会会長	桝原弘己
	広島県公立中学校長会会長	平賀正幸
	広島県公立高等学校長協会会長	砂田勝彦
	広島県障害児学校長会会長	永井孝志
	広島県幼稚園協議会理事長	小原友行
	広島県私立中学高等学校協会会長	山中幸平
	財団法人広島県私立幼稚園連盟理事長	奥先楓一
	社団法人広島県専修学校各種学校連盟会長	大橋啓之
	広島県ＰＴＡ連合会会長	佐々木正一
	広島県高等学校ＰＴＡ連合会会長	渡邉綾子
	広島市ＰＴＡ協議会会長	渡部武
	広島県私立中学高等学校教育後援会会長	森本弘道
	財団法人広島県教育事業団理事長	吉田貞之
	広島県高等教育機関協議会代表幹事	市川太一
(経済)	広島県商工会議所連合会会頭	池内浩一
	広島県商工会連合会会長	梶川典之
	広島県中小企業団体中央会会長	伊藤學
	広島県経営者協会会長	白井龍一郎
	社団法人日本青年会議所中国地区協議会広島ブロック協議会会長	奥本松樹
	中国経済連合会会長	高須司登
	広島経済同友会代表幹事	有澤弋保
(農林水産)	広島県農業協同組合中央会会長	原田睦民
	広島県漁業協同組合連合会代表理事会長	勝間譲
	広島県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長	大原一人
	広島県森林組合連合会代表理事会長	安井耕造
(輸送交通)	社団法人広島県バス協会会長	大田哲哉
	社団法人広島県タクシー協会会長	濱田修
	広島県個人タクシー協会会長	木村新三
	社団法人広島県トラック協会会長	小丸法之
	広島県旅客船協会会長	仁田一郎
	西日本旅客鉄道株式会社執行役員広島支社長	近藤隆士
	広島電鉄株式会社代表取締役社長	大田哲哉
	広島高速交通株式会社代表取締役社長	上川孝明
	日本航空株式会社広島支店長	小野瀬順治
	全日本空輸株式会社西日本販売カンパニー広島支店長	石井知祥
	株式会社日本エアシステム中四国支店長	水本幸二
	財団法人広島県交通安全協会会長	岸田俊輔
(観光宿泊)	社団法人広島県観光連盟会長	仁田一也
	社団法人日本ホテル協会中国四国支部支部長	中村剛康
	社団法人全日本シティホテル連盟中国四国支部支部長	沖和代
	財団法人日本観光旅館連盟広島支部連絡会会長	濱田竹士
	広島県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長	後藤晃三
	広島県観光土産品協議会会長	大谷照三
	社団法人日本旅行業協会中四国支部広島地区会会長	門利敏男
(医事衛生)	社団法人広島県医師会会長	真田幸三
	社団法人広島県歯科医師会会長	本山栄荘
	社団法人広島県薬剤師会会長	前田泰則
	社団法人広島県生活衛生同業組合連合会会長	松本雅史
	日本赤十字社広島県支部長	藤田雄山
	社団法人広島県病院協会会長	津久江一郎
	社団法人広島県看護協会会長	野尻昭代
	社団法人広島県食品衛生協会会長	佐藤守幸
	社団法人広島県栄養士会会長	岸田典子
	社団法人広島県調理師会連合会会長	芳岡定夫
	財団法人広島県環境保健協会理事長	平尾忠紀
	財団法人広島県生活衛生営業指導センター理事長	奥河内武人
	広島県飲食業生活衛生同業組合理事長	眞藤和典
(文化)	広島県合唱連盟理事長	山本定男

区分	所属・役職	氏名
(市町村)	安芸津町長	山下龍男
	安浦町長	沖田範彦
	川尻町長	渡邉正弘
	豊浜町長	北山峯生
	豊町長	長本憲
	大崎町長	長岡昇
	東野町長	濱田紀幸
	木江町長	藤原正孝
	瀬戸田町長	柴田大三郎
	御調町長	若林茂生
	久井町長	門田隆博
	向島町長	杉原孝一郎
	甲山町長	山口寛昭
	世羅町長	松山理人
	世羅西町長	上本仁志
	内海町長	佐藤荒夫
	沼隈町長	村上勝士
	神辺町長	佐藤秀毅
	新市町長	藤原平
	油木町長	牧野雄光
	神石町長	宮野元壮
	豊松村長	岡崎齊
	三和町長	丸山英三
	上下町長	梶田昌宏
	総領町長	杉谷譯三
	甲奴町長	森岡隆寿
	君田村長	藤原清隆
	布野村長	梶川孝司
	作木村長	増田和俊
	吉舎町長	元廣和亨
	三良坂町長	湯免龍夫
	三和町長	神重和夫
	西城町長	田盛敬三
	東城町長	遠藤晏史
	口和町長	盛谷強
	高野町長	藤原公昭
	比和町長	冨原豊幸
(スポレク)	広島県グラウンド・ゴルフ協会会長	森鳰博美
	広島県ゲートボール連合会長	堀内博
	財団法人広島県サッカー協会会長	野村尊敬
	広島県ソフトバレーボール連盟会長	根石義一
	広島県ソフトボール協会会長	安田實
	広島県卓球協会会長	喜多弘
	広島県ターゲット・バードゴルフ協会会長	楠見昭二
	広島県綱引連盟会長	民秋史也
	広島県テニス協会会長	林剛吉
	広島県ソフトテニス連盟会長	柳坪進
	広島県バウンドテニス協会会長	岸田文雄
	広島県バドミントン協会会長	林正夫
	広島県ボウリング連盟会長	山本耕
	財団法人広島陸上競技協会会長	川村毅
	広島県インディアカ協会会長	安井耕造
	広島県フォークダンス連盟会長	石田幸
	広島県エアロビック連盟理事長	久保怜子
	広島県トランポリン協会会長	永金竹夫
	広島県エスキーテニス連盟会長	西川正洋
	広島県自転車競技連盟会長	樋口誼
	日本3B体操協会中国本部広島県支部支部長	徳毛邦子
	広島県武術太極拳連盟会長	岸田文雄
	財団法人広島県水泳連盟会長	藤田雄山

名簿

区分	所属・役職	氏名
（文化）	広島県吹奏楽連盟理事長	光成　洋
	広島県文化団体連合会会長	平井隆夫
	財団法人広島文化振興基金理事長	仁田一也
（社会・福祉）	社会福祉法人広島県社会福祉協議会会長	竹下虎之助
	財団法人広島県女性会議理事長	檜山洋子
	広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会運営委員長	片山春子
	広島県地域女性団体連絡協議会会長	澤井清子
	広島市地域女性団体連絡協議会会長	土井迫ヤエ子
	財団法人広島県老人クラブ連合会会長	志田良人
	財団法人広島市老人クラブ連合会会長	吉元正次郎
	広島県青年連合会会長	島田久士
	社団法人青少年育成広島県民会議会長	上田宗嗣
	社団法人広島県子ども会連合会会長	小島厚
	広島市子ども会連合会会長	山田春男
	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター理事	安藤周治
	ふるさと会議ひろしま会長	石原照彦
	財団法人ひろしま国際センター会長	渡辺一秀
	ライオンズクラブ国際協会336-C地区ガバナーエレクト	神原武志
	国際ロータリー第2710地区2002～2003年度ガバナー	川妻二郎
	日本ボーイスカウト広島県連盟理事長	木村広男
	社団法人ガールスカウト日本連盟広島県支部長	笠岡貞江
	財団法人広島県消防協会会長	木山千之
	広島県消防長会会長	中本信雄
	広島県公民館連合会会長	城戸常太
（労働）	日本労働組合総連合会広島県連合会会長	森川武志
	社団法人広島県雇用開発協会会長	矢田貝俊也
（行政）	広島県警察本部長	竹花豊
監事	広島県出納長	河野二六夫
	広島県都市収入役協議会会長	伊藤利彦
顧問	広島県議会議長	檜山俊宏
	広島県教育委員会委員長	小笠原道雄
	広島県市議会議長会会長	平野博昭
	広島県町村議会議長会会長	安原保元
参与	株式会社朝日新聞社広島支局長	阿部正史
	株式会社山陰中央新報社広島支社長	阿川雅志
	株式会社産経新聞社広島支局長	村上栄一
	株式会社山陽新聞社広島支社長	浅山尚三
	全国新聞情報農業協同組合連合会中国四国支所長	柏崎元一
	株式会社中国新聞社代表取締役社長	今中亘
	株式会社日刊工業新聞社中四国支社長	大矢嘉彦
	株式会社日本経済新聞社広島支局長	太田孝
	株式会社日本工業新聞社中国支局長	芝野光佑
	株式会社毎日新聞社広島支局長	滝川栄三
	株式会社読売新聞社広島総局長	梅山賢一
	日本放送協会広島放送局長	宮本克彦
	株式会社中国放送代表取締役社長	金井宏一郎
	株式会社テレビ新広島代表取締役社長	有澤弋保
	広島テレビ放送株式会社代表取締役社長	藤川魏也
	株式会社広島ホームテレビ代表取締役社長	橋本宗利
	広島エフエム放送株式会社代表取締役社長	松田耕平
	社団法人共同通信社広島支局長	清水惠
	株式会社時事通信社広島支社長	土肥一忠

常任委員会

区分	氏名	所属・役職
常任委員長	常盤　豊	広島県教育委員会教育長
副委員長	楠見昭二	広島県体育指導委員協議会会長
常任委員	多田公熙	財団法人広島県体育協会会長
	長沼　博	広島県レクリエーション協会会長
	石橋良三	広島県議会議員
	三好　章	広島県市長会会長
	児玉更太郎	広島県町村会会長
	森　功	広島県都市教育長会会長
	瀬戸本東洋	広島県町村教育長会会長
	荒井貞光	広島市立大学教授
	檜山洋子	財団法人広島県女性会議理事長
	安藤周治	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター理事
	竹下虎之助	社会福祉法人広島県社会福祉協議会会長

企画広報専門委員会

区分	氏名	所属・役職
委員長	土井克彦	元広島市立美鈴が丘高等学校教諭
副委員長	吉井敏弘	社団法人広島県観光連盟事務局長
委員	下江正文	広島県市長会事務局長
	平　昭治	広島県町村会事務局長
	瀬崎宣利	広島県公立学校校長会連合会会長
	絹原勲夫	広島商工会議所事務局長
	足和正規	広島県商工会連合会事務局長
	生水俊彰	マツダ株式会社デザイン部主幹
	中村隆行	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター事務局長
	六拾部忠紀	株式会社中国新聞社営業事業本部事業センター長
	畑田幸弘	日本放送協会広島放送局広報・事業担当部長
	馬場　広	広島県総務企画部秘書広報総室広報室長

宿泊輸送専門委員会

区分	氏名	所属・役職
委員長	片岡知昭	社団法人日本ホテル協会中国四国支部事務局長
副委員長	平加欣立	社団法人広島県バス協会専務理事
委員	徳橋寿憲	西日本旅客鉄道株式会社広島支社営業課長
	坂田俊平	国土交通省中国運輸局広島陸運支局輸送課長
	木村龍史	社団法人全日本シティホテル連盟中国四国支部広島支部長
	門利敏男	日本旅行業協会中四国支部広島地区会会長
	大畑耕三	社団法人広島県医師会事務局長
	今田輝二	社団法人広島県生活衛生同業組合連合会専務理事
	田中留一	社団法人広島県看護協会事務局長
	奥延勝弘	社団法人広島県食品衛生協会副会長
	小林隆夫	広島県ホテル旅館生活衛生同業組合専務理事
	倉本和義	広島県飲食業生活衛生同業組合筆頭副理事長
	園田春男	広島県消防長会事務局長
	田中泰治	広島県環境生活部防災管理総室消防室長
	平田光章	広島県福祉保健部保健医療総室医務看護室長
	冨永嘉文	広島県福祉保健部衛生・被爆者総室生活衛生室長
	関根廣行	広島県警察本部交通部交通規制課長
	黒川博文	広島県警察本部警備部警備課長

種目交流専門委員会

区分	氏名	所属・役職
委員長	東　泰治	広島県体育指導委員協議会副会長
副委員長	柳本良逸	広島県レクリエーション協会副会長
委員	下江正文	広島県市長会事務局長
	平　昭治	広島県町村会事務局長
	大野　徹	財団法人広島県体育協会専務理事
	神本登志江	広島県体育指導委員協議会女性委員長
	屋形武夫	財団法人広島県教育事業団事務局長
	万治　功	広島県教育委員会事務局生涯学習部スポーツ健康課長

式典事業専門委員会

区分	氏名	所属・役職
委員長	荒井貞光	広島市立大学教授
副委員長	三好久美子	余暇生活開発士
委員	大野徹	財団法人広島県体育協会専務理事
	柳本良逸	広島県レクリエーション協会副会長
	東泰治	広島県体育指導委員協議会副会長
	山本定男	広島県合唱連盟理事長
	光成洋	広島県吹奏楽連盟理事長
	宮本寛子	広島県文化団体連合会事務局長
	福原麻子	広島文化短期大学教授
	万治功	広島県教育委員会事務局生涯学習部スポーツ健康課長

第１５回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県準備委員会

区分	氏名	所属・役職
会長	辰野裕一	広島県教育委員会教育長
副会長	楠見昭二	広島県体育指導委員協議会会長
委員	三好章	広島県市長会会長
	児玉更太郎	広島県町村会会長
	大野徹	財団法人広島県体育協会専務理事
	柳本良逸	広島県レクリエーション協会副会長
	石橋良三	広島県議会議員
	森功	広島県都市教育長会会長
	瀬戸本東洋	広島県町村教育長会会長
	荒井貞光	広島市立大学教授
	檜山洋子	財団法人広島県女性会議理事長
	三好久美子	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター理事
	寺崎喜美生	社会福祉法人広島県社会福祉協議会常務理事兼事務局長
	竹本一壽	広島県環境生活部長
	荒谷信子	広島県教育委員会事務局生涯学習部長

企画検討委員会

区分	氏名	所属・役職
委員長	荒井貞光	広島市立大学教授
委員	下江正文	広島県市長会事務局長
	平昭治	広島県町村会事務局長
	沖田史生	財団法人広島県体育協会事務局長
	中野博之	広島県レクリエーション協会理事長兼事務局長
	岡本泰枝	広島県体育指導委員協議会
	上井克彦	元広島市立美鈴が丘高等学校教諭
	生水俊彰	マツダ株式会社デザイン部 主幹
	近藤敦彦	株式会社中国新聞社事業センター長
	畑田幸弘	日本放送協会広島放送局事業担当部長
	久保木敬子	広島市教育委員会事務局生涯学習部スポーツ振興担当課長
	屋形武夫	財団法人広島県教育事業団事務局長
	深本国夫	広島県環境生活部生活文化室長
	宗貞義孝	広島県教育委員会事務局生涯学習部スポーツ振興課長
	中原伸二	広島県教育委員会事務局生涯学習部全国スポーツ・レクリエーション祭準備室長

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭広島県実行委員会事務局

平成14年10月5日現在

事務総長	林誠	教育委員会事務局教育次長
事務局長	宗貞義孝	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局事務局長
事務局次長	福原治	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局事務局次長
総務企画部長	田之脇勇	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局総括専門員
種目式典部長	世良一郎	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任専門員
総務課	寺川和己	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局総務係長
	廣田繁則	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任
	福田枝美	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任主事
	桧山敦	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任主事
	江本友香	実行委員会事務局臨時職員
企画広報課	木全順子	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局企画広報係長
	櫻井敬文	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任主事
	吉本里江子	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主事
	古橋裕子	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主事
	村上泰弘	実行委員会事務局臨時職員
宿泊輸送課	沖田史生	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局宿泊輸送係長
	前久保貞見	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任主事
	河内武彦	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任主事
種目交流課	出雲一行	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局種目交流係長
	小野藤訓	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局専門員
	佐々木利香	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主事
	目崎友寛	実行委員会事務局臨時職員
式典課	仲野裕之	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局式典係長
	伊東良満	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任専門員
	林重憲	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局専門員
	烏川智江	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主事
	岡本純子	実行委員会事務局臨時職員
特別行事課	國光英治	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局特別行事係長
	坂本聰	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任
	影山由美	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主事

前任者

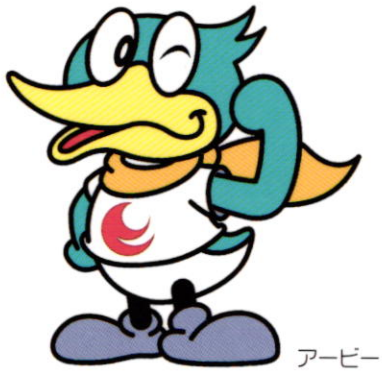
平成13年4月1日～14年3月31日

種目式典部長	住谷清	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局主任専門員
企画広報課	岡河太志	教育委員会事務局全国スポレク祭事務局企画広報係長

名簿は直近の開催時（広島県実行委員会は第２回総会開催時１４.５.３１）をもとに作成いたしましたので、その後に異動がありました場合には、ご容赦願います。　（順不同・敬称略）

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
スポレク広島2002　報告書

2003年2月発行
企画・発行　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭
広島県実行委員会事務局



アービー

第15回全国スポーツ・レクリエーション祭 広島県実行委員会
主催／文部科学省・広島県・（財）日本体育協会・（財）日本レクリエーション協会・（社）全国体育指導委員連合